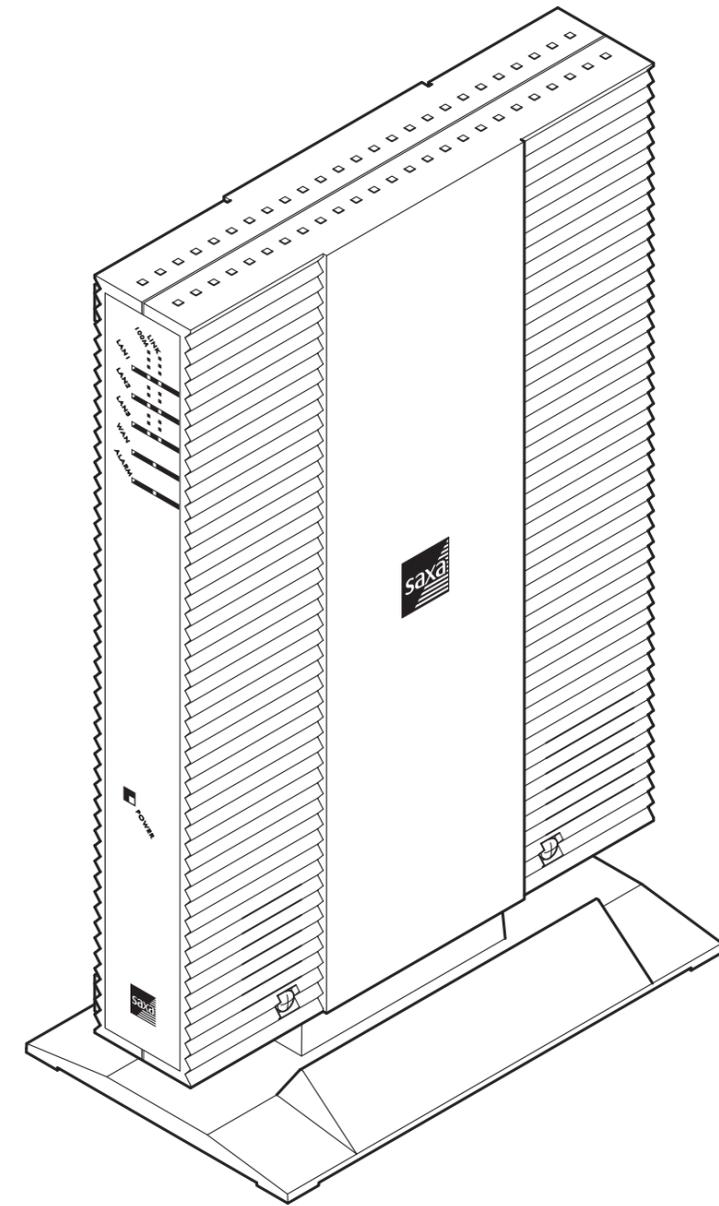


saxa

XT300  
工事マニュアル  
ビジネスコミュニケーションシステム

Actys II  
アクティスII

本マニュアルに掲載の商品および取付調整費、消耗品、オプション（別売品）等についてご購入および有料修理の際、消費税が別途付加されますのでご承知おき願います。



お願い

本マニュアルは、主装置に同梱しておりません。  
設置工事の際は、本マニュアルを持参してください。

XT300 工事マニュアル  
ビジネスコミュニケーションシステム

サクサ株式会社

694BM 04Y-3 M  
4280063000

この資料は再生紙を使用しています。

サクサ株式会社

この資料の内容は平成 21 年 10 月現在のものです。

## ● はじめに

この工事マニュアルには、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を表しています。  
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容を良く理解してから本文をお読みください。  
本書は大切に保存し、必要などきにお読みください。

### 本書中のマーク説明

 <b>危険</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を表しています。
 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。

■ 次の表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

	この表示は、してはいけない「禁止」内容を表しています。
	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容を表しています。

● 本製品は絶対改造しないでください。記載されていない改造、回路変更などを行った場合、当社は一切の責任を負いません。

# 目次

ページ

<b>1</b>	<b>構成品</b> .....	1
<b>2</b>	<b>システム構成図</b> .....	7
<b>3</b>	<b>工事のまえに</b> .....	9
	(1) 工事上の注意.....	9
	(2) 設置上の注意.....	10
	(3) 配線・接続上の注意.....	11
	(4) CL625 電話機、WS605 電話機、DC600 電話機の設置上の注意.....	11
	(5) 無線に関する注意.....	12
<b>4</b>	<b>主装置の工事</b> .....	13
	(1) 主装置の壁掛取り付け方法.....	13
	(2) 主装置の据置方法.....	14
	(3) 主装置の初実装機能.....	15
	(4) 専用電話機接続用端子板と端子箱の接続方法.....	17
<b>5</b>	<b>オプションユニットの接続</b> .....	19
	(1) ユニットの取り付け／取り外し方法.....	19
	(2) デジタル局線ユニット【DDO300】.....	21
	(3) アナログ局線ユニット【2CO300/2CO310】.....	22
	(4) VoIP ユニット【IPFU300/IPNT300】.....	24
	(5) CF インターフェースユニット【CF300】.....	25
<b>6</b>	<b>電話機の工事</b> .....	26
	(1) 停電ユニットの取り付け方法【TD615、TD625 専用】.....	26
	(2) ISDN 停電ユニット【ADI605】.....	27
	(3) アナログ停電ユニット【ADA605】.....	28
	(4) ISDN 停電用電話機の接続方法.....	29
	(5) アナログ停電用電話機の接続方法.....	30
	(6) コールスピーカの接続.....	31
	(7) TD615、TD625、CL625 電話機の角度調節方法.....	32
	(8) LD600 電話機の角度調節方法.....	32
	(9) TD615、TD625、CL625 電話機のパネルとシートの交換方法.....	33

<b>7</b>	<b>電話機の壁掛取り付け方法</b> .....	34
	(1) TD615、TD625、CL625 電話機 .....	34
	(2) LD600 電話機 .....	36
	(3) DC600 電話機接続装置 .....	38
	(4) WS605 親機 .....	39
	(5) 充電器 (WS605 子機用) .....	40
<b>8</b>	<b>ドアホン・カラーテレビドアホンの工事</b> .....	41
	<b>8-1 ドアホンアダプタの工事</b> .....	41
	<b>8-2 ドアホンの工事</b> .....	42
	(1) ドアホン (DR71) とドアホンアダプタ (DA100) との接続方法 .....	42
	(2) ドアホン (DR71) の取り付け方法 .....	42
	<b>8-3 カラーテレビドアホンの工事</b> .....	43
	(1) カラーテレビドアホン (DR63C)、カラーモニタユニット (TM-23) 各部の名称 .....	43
	(2) カラーテレビドアホン (DR63C) の設置 .....	44
	(3) カラーモニタユニット (TM-23) の設置 .....	45
	(4) カラーテレビドアホン (DR63C)、カラーモニタユニット (TM-23)、ドアホンアダプタ (DA100) 接続方法 .....	47
<b>9</b>	<b>CL625 電話機の接続</b> .....	49
	(1) 電波干渉により CL625 電話機にノイズが入る場合 (AFH 使用 CH 設定) .....	52
	(2) CL625 子機待機中に省電力モードで使用する場合 (SNIFF 設定) .....	53
<b>10</b>	<b>WS605 電話機の接続</b> .....	54
	(1) 電波干渉により WS605 電話機にノイズが入る場合 (AFH 使用 CH 設定) .....	57
	(2) WS605 子機待機中に省電力モードで使用する場合 (SNIFF 設定) .....	58
<b>11</b>	<b>DC600 電話機の接続</b> .....	59
<b>12</b>	<b>セーフティ機能</b> .....	61
	(1) TD615、TD625 電話機設置について .....	61
	(2) ネットワークカメラの接続 .....	66
	(3) セーフティログの採取について .....	67

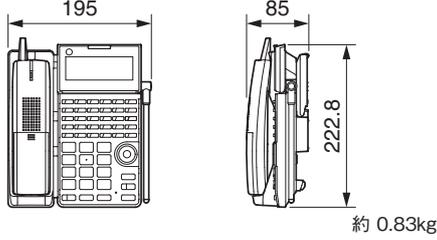
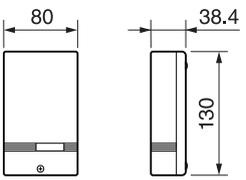
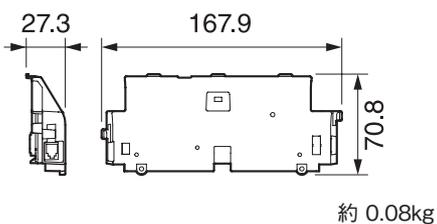
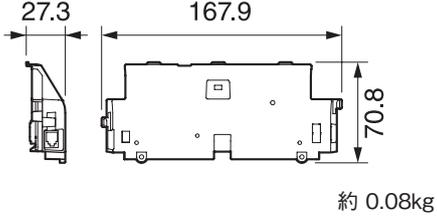
<b>13</b>	<b>VoIP ユニットの設定</b> .....	68
(1)	設定前に用意するもの.....	69
(2)	LAN ケーブルの接続.....	69
(3)	VoIP ユニットの Web 設定を行うためのパソコンの準備.....	70
(4)	VoIP ユニットの設定.....	70
(5)	リモート動作など.....	72
<b>14</b>	<b>停電時の動作</b> .....	73
<b>15</b>	<b>プログラム設定</b> .....	74
<b>16</b>	<b>プログラム設定方法</b> .....	105
<b>17</b>	<b>機能別プログラム設定</b> .....	150
(1)	機能編.....	150
(2)	オプション編.....	154
(3)	ダイヤルイン編.....	157
(4)	i・ナンバー編.....	161
(5)	外線転送編.....	163
(6)	REC（留守番機能）編.....	167
(7)	セーフティ機能編.....	169
(8)	リモートコールバック機能編.....	172
<b>18</b>	<b>保守メニュー</b> .....	174
<b>19</b>	<b>工事終了後の試験</b> .....	179

# 1

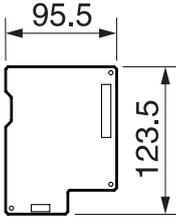
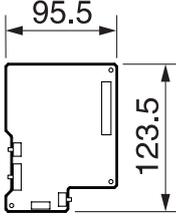
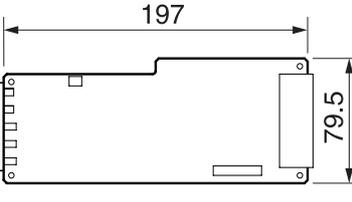
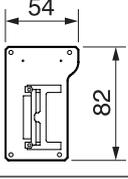
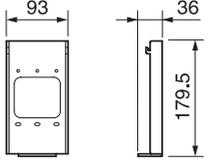
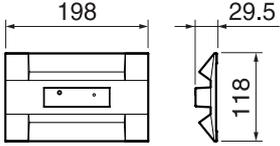
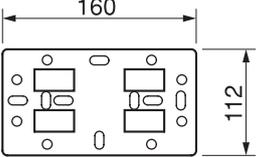
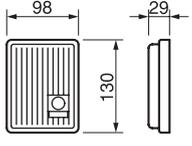
# 構成

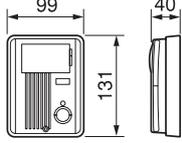
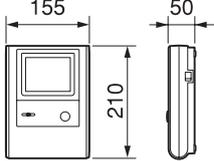
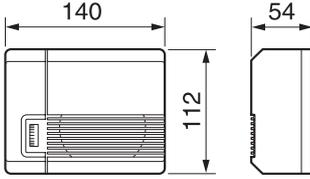
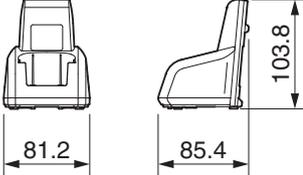
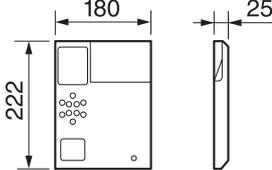
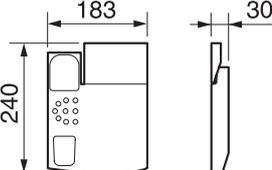
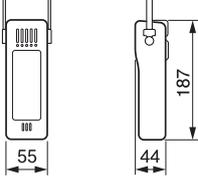
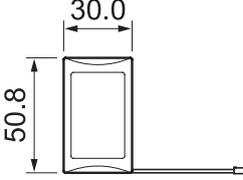
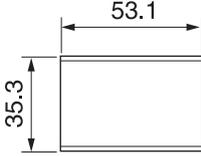
品名	外観寸法 (mm)	数量	備考
XT300 主装置		1	初実装は専用電話機 5 台、(実装番号 1 ~ 5)、単独電話機 1 台が実装できる。 [付属品] 取扱説明書・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 操作早見表ガイド・・・・・・・・・・・・ 1 ステッカ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 ご愛用者シート・・・・・・・・・・・・・・ 1 注意ラベル・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 木ネジ(3.8×28)・・・・・・・・・・・・・・ 4 ソケット(232D-02S1B-DA5)・・・・・・・・ 6(ブルー) ※ソケットは、第一電子工業株式会社製です。
電話機の種類	TD615 電話機		●バックライト人感センサ付・ハンズフリー通話電話機 [付属品] 電話機コード(2m)・・・・・・・・・・・・ 1 シートセット・・・・・・・・・・・・・・ 2
	TD625 電話機		●バックライト人感センサ付・ハンズフリー通話電話機 [付属品] 電話機コード(2m)・・・・・・・・・・・・ 1 シートセット・・・・・・・・・・・・・・ 2
	LD600 電話機		●バックライト付・ハンズフリー通話電話機 [付属品] 電話機コード(2m)・・・・・・・・・・・・ 1 カード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 ステッカ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 カバー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
	DC600 電話機		●デジタルコードレス電話機 [付属品] ハンドストラップ・・・・・・・・・・・・ 1 電池パック(BP3772L-A)・・・・・・・・ 1 ACアダプタ(A50-007604)・・・・・・ 1 電話機コード(2m)・・・・・・・・・・・・ 1 注意シート・・・・・・・・・・・・・・ 1 木ネジ(4.1×25)・・・・・・・・・・・・ 2
		最大 5	最大合計 5 ※
		最大 5	
		最大 5	
		最大 4	

※このシステムに接続できるすべての電話機の合計です。

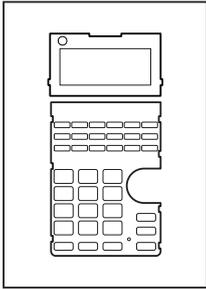
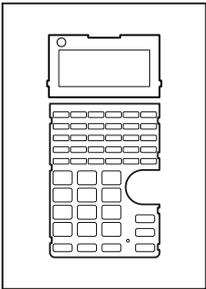
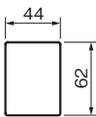
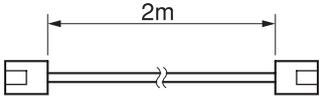
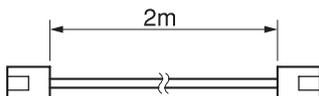
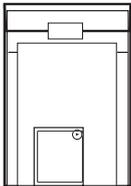
品名	外観寸法 (mm)	数量	備考	
電話機の種類	CL625 電話機		最大 4	<p>●バックライト付・カールコードレス電話機</p> <p>[付属品]</p> <p>電池パック (BP3711L-A) . . . . . 1</p> <p>注意シート . . . . . 1</p> <p>ステッカ (BT600) . . . . . 1</p> <p>電話機コード (2m) . . . . . 1</p> <p>電池カバー . . . . . 1</p> <p>シートセット . . . . . 2</p>
	WS605 電話機	<p>WS605子機      WS605親機      充電器</p> 	最大 4	<p>●Bluetooth コードレス電話機</p> <p>[付属品]</p> <p>電池パック (BP3711L-A) . . . . . 1</p> <p>AC アダプタ (SS-920L) . . . . . 1</p> <p>注意シート . . . . . 1</p> <p>ステッカ (BT600) . . . . . 1</p> <p>電話機コード (2m) . . . . . 1</p> <p>ストッパ . . . . . 2</p> <p>電池カバー . . . . . 1</p>
	ドアホン アダプタ (DA100)		最大 2	<p>ドアホン (DR71) やカラーテレビドアホン (DR63C) を接続するときを使用する。</p> <p>[付属品]</p> <p>木ネジ (3.8 × 20) . . . . . 2</p>
	ISDN 停電ユニット 【ADI605】		最大 1	<p>TD615 / 625 電話機用 ISDN 停電ユニット 1 枚でデジタル局線を 1 局線収容可能</p> <p>[付属品]</p> <p>停電用切替 BOX II . . . . . 1</p> <p>停電表示用ラベル . . . . . 1</p> <p>ケーブルタイ PLT1M . . . . . 1</p> <p>ケーブルタイ PRT-4S . . . . . 1</p> <p>ネジ (2.6 × 8) . . . . . 2</p>
	アナログ 停電ユニット 【ADA605】		最大 2	<p>TD615 / 625 電話機用アナログ停電ユニット 1 枚でアナログ局線を 1 局線収容可能</p> <p>[付属品]</p> <p>停電用切替 BOX II . . . . . 1</p> <p>停電表示用ラベル . . . . . 1</p> <p>ケーブルタイ PLT1M . . . . . 1</p> <p>ケーブルタイ PRT-4S . . . . . 1</p> <p>ネジ (2.6 × 8) . . . . . 2</p>

※このシステムに接続できるすべての電話機の合計です。

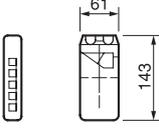
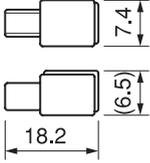
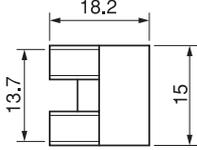
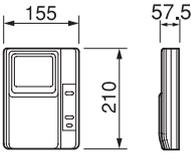
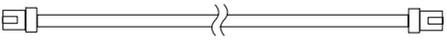
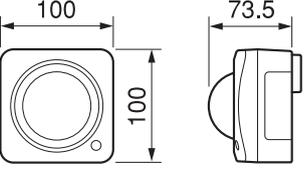
品名	外観寸法 (mm)	数量	備考
アナログ (2) 局線ユニット 【2CO300】 【2CO310】		1	●アナログ2局線ユニット (2CO300) ●エコキャンセラー機能付・アナログ2局線ユニット (2CO310) 1枚でアナログ回線を2回線収容可能 [付属品] ソケット (232D-02S1B-DA5) ..... 2 (ブルー)
デジタル (1) 局線ユニット 【DDO300】		1	1枚でデジタル局線を1局線収容可能 [付属品] ソケット (232D-02S1B-DA5) ..... 1 (ブルー) ソケット (232D-02S1A2-DA5) ..... 1 (ブラック)
VoIP ユニット 【IPFU300】 【IPNT300】		1	● FUSION IP-Phone 対応 VoIP ユニット (IPFU300) ● OCN.Phone Office 対応 VoIP ユニット (IPNT300) 1枚で IP 電話チャンネルを2チャンネル収容可能 [付属品] ネジ (3X8) ..... 1 ケーブルタイ ..... 1 IP 電話サービスシール ..... 1
CF インター フェイスユニット 【CF300】		1	[付属品] ワンタッチスペーサ (WN-17F) ..... 4
主装置 壁掛用品 WU300		1	主装置の壁掛用 [付属品] ネジ (3 × 8) ..... 1 木ネジ (3.8 × 20) ..... 2 テンプレート ..... 1
主装置 据置用品 SU300		1	主装置の据置用 [付属品] ネームラベル ..... 1
壁掛用品 WU-08		必要数	電話機をスイッチボックスや柱に取り付けるときに使用する [付属品] ストッパ ..... 2 ゴム足 ..... 4 木ネジ (3.5 × 20) ..... 2 取扱説明書 ..... 1
ドアホン (DR71)		最大2	標準タイプ (600 Ω 型) [付属品] ネジ (4 × 25) ..... 2 木ネジ (4.1 × 15) ..... 2

品名	外観寸法 (mm)	数量	備考
カラー テレビドアホン (DR63C)		最大 2	カラーモニタユニット (TM-23) と組み合わせる [付属品] ネジ (4 × 25) . . . . . 2 木ネジ (4.1 × 15) . . . . . 2
カラーモニタ ユニット (TM-23)		最大 2	カラーテレビドアホン (DR63C) と組み合わせる [付属品] ネジ (4 × 25) . . . . . 4 木ネジ (4.1 × 15) . . . . . 4 ※ AC コードは添付されておきませんのでご販売店様でご用意願 います。
コールスピー カ (BS-191)		必要 数	TD・LD・CL 電話機に接続するとスピーカから出る 音が拡声される ※ノボル電機製
WS605 充電器	 約0.09kg	必要 数	CL625 子機、WS605 子機用 [付属品] ストップパ . . . . . 2
TD615 電話機 防塵カバー		必要 数	TD615、TD625 電話機用 1袋3枚入り
LD500 電話機 防塵カバー		必要 数	LD600 電話機に使用できます。 1袋3枚入り
キャリング ケース (CC500)		必要 数	WS605 子機の持ち運び用
DC600 電池パック (Li-ion 電池 BP3772L-A)		必要 数	DC600 子機用
電池パック (Li-ion 電池 BP3711L-A)		必要 数	CL625 子機・WS605 子機用

オプション (別売品)

品名	外観寸法 (mm)	数量	備考
TD615 用 プリンタシート		必要数	TD615 電話機用 1袋 10枚入り
TD625 用 プリンタシート		必要数	TD625 電話機用 1袋 10枚入り
端子箱 MJ-4S(M)		必要数	色：白色 1個用ネジ端子・モジュラー
端子箱 MJ-1PS-66		必要数	色：白色 1個用ネジ端子・モジュラー
端子箱 MJ-8SR-MG		必要数	色：白色 1個用ネジ端子・8芯モジュラー
ラインコード 6-6		必要数	6芯モジュラーコード
ラインコード 8-4		必要数	8芯モジュラーコード
BSS 専用 CF / 取説 セット		最大 1	セーフティ機能を使用する場合に必要となります。 [付属品] 取扱説明書～セーフティ機能編・・・・・・・・・・ 1 CFカード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 盗難見舞金申込用紙・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 盗難見舞金申込セット・・・・・・・・・・・・・・ 1 ( ・ID付防犯シール・・・・・・・・・・・・・・ 5 ・セーフティリモコンカード・・・・・・・・ 5 ・BSS使用同意書・・・・・・・・・・・・・・ 1 )

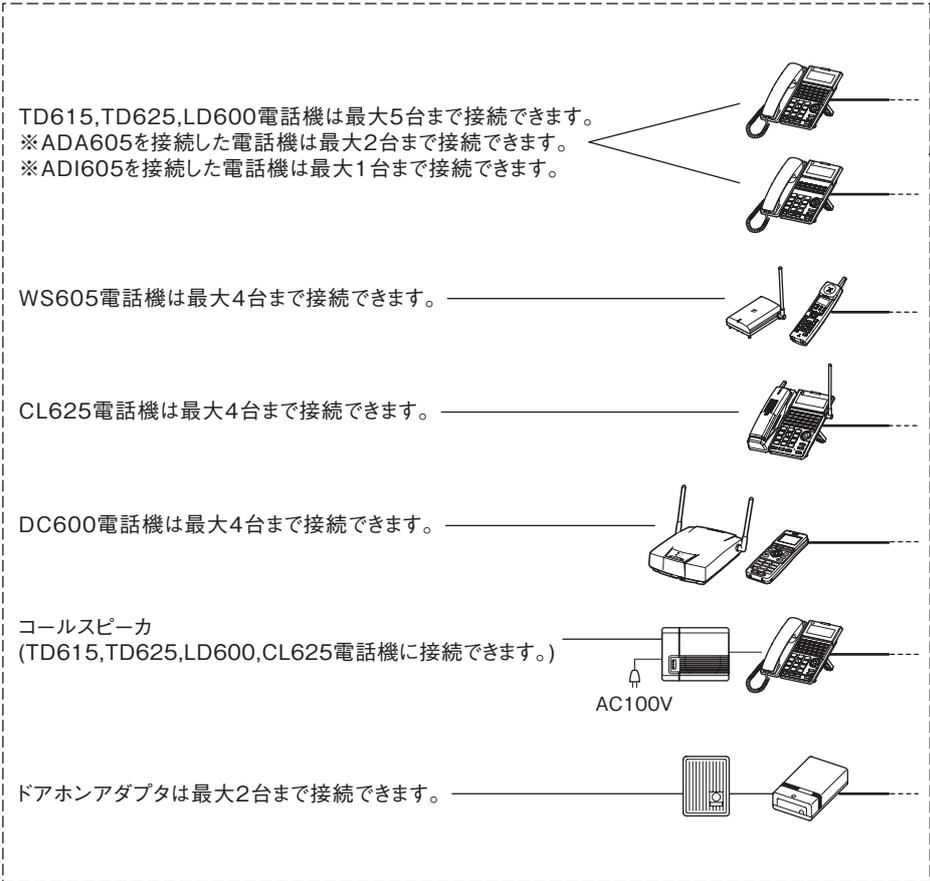
# 推奨品一覧表

品名	外観寸法 (mm)	数量	備考
端子箱		必要数	5 個用クリップ端子・モジュラー 色：ワームグレー ※ヒロセ電機株式会社製の端子箱 (CTB-20TB-M5) を使用してください。
ソケット	 <p>※ ( ) の寸法は、 圧縮後の寸法を示す。</p>	必要数	電話機および各機器接続用 色：ブルー ※第一電子工業株式会社製のソケット (232D-02S1B-DA5) を使用してください。
ソケット		必要数	デジタル回線接続用 色：ブラック ※第一電子工業株式会社製のソケット (232D-02S1A2-DA5) を使用してください。
増設カラーモニター ユニット (JB-HU)		最大 2	カラーモニターユニット (TM-23) の増設用 TM-23 1 台に対して最大 2 台 ※アイホン株式会社製の増設カラーモニターユニット (JB-HU) をご使用ください。 ※ AC コードは添付されておりませんのでご販売店様でご用意いたします。
ヘッドセット		必要数	TD615、TD625、LD600 電話機接続用 ※下記のいずれか 1 つを使用してください。 ・PLANTRONICS 製 (住商エレクトロニクス販売) スープラ NC モジュラー H51N-M12 ・ジーエヌネットコム製 GN2120-NC-APJ PACK GN9120 Flex (ワイヤレス タイプ)
LAN ケーブル (CAT5)		1	LAN コネクタと接続するケーブル パソコンと直接接続する場合は、クロスケーブル、 ハブを介して接続する場合は、クロスもしくはストレートケーブルを使用します。
ネットワーク カメラ BB-HCM311		必要数	セーフティ用 ※パナソニックコミュニケーションズ株式会社製です。

# 2 システム構成図



実装番号6  
1台



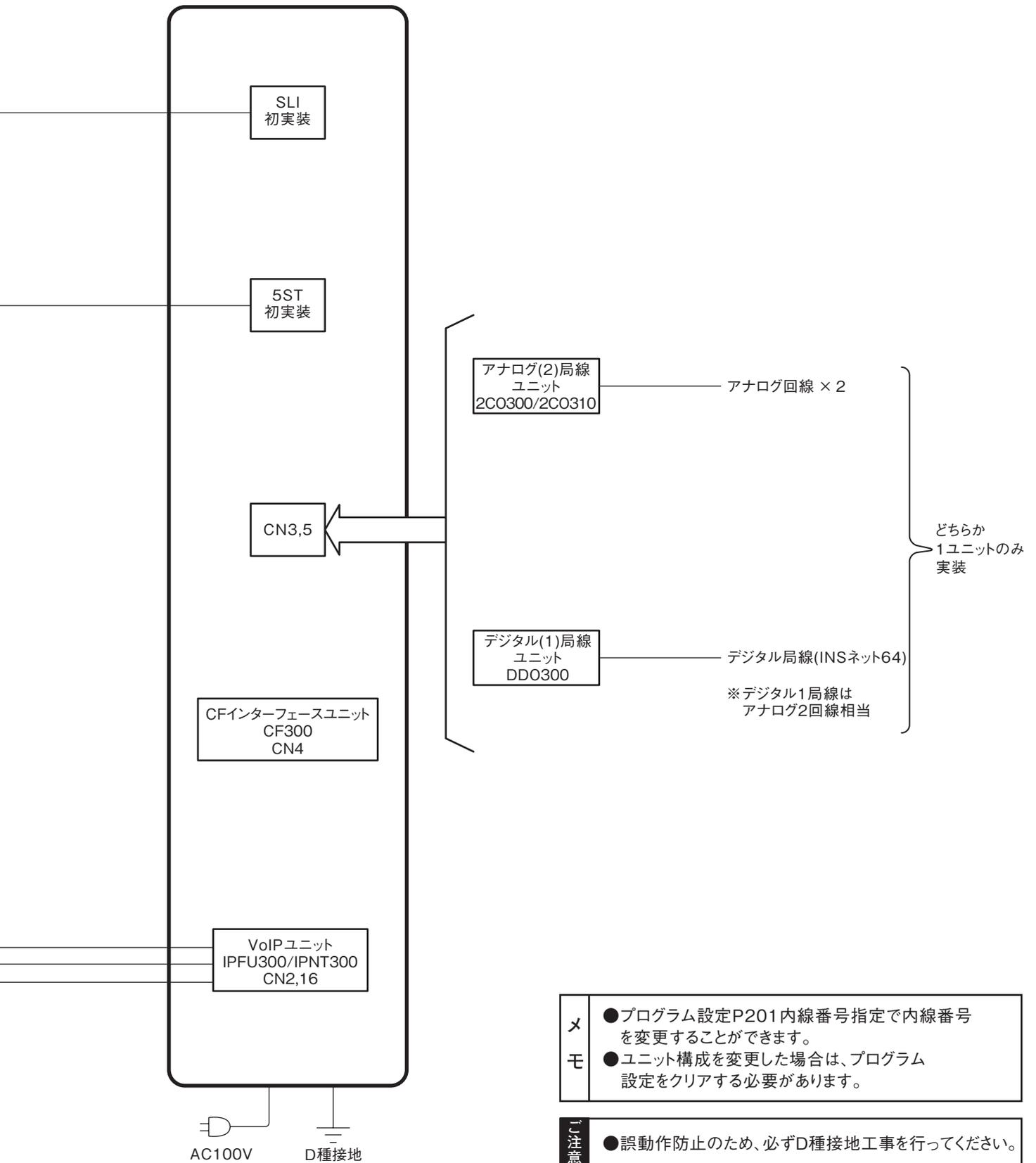
実装番号1~5  
5台

合計  
8台



※1台のドアホンアダプタでドアホン接続とネットワークカメラのデジタル入力端子制御を同時に行えます。

# XT300 主装置



## 3 工事の前に

### ▶ (1) 工事上の注意

#### ⚠ 危険

- ❗ オプションユニットの取り付け・配線工事は必ず主装置の電源スイッチを OFF にし、電源コードを電源コンセント (AC100V) から抜いた状態で行ってください。感電・故障の原因となります。
- ⊘ CL625 子機・WS605 子機・DC 子機の電池パックは絶対にショートさせないでください。爆発・発火の危険があります。
- ⊘ 濡れた手で電源プラグの抜き差し、オプションユニットの取り付け・配線工事はしないでください。感電する危険があります。

#### ⚠ 警告

- ⊘ 指定された電圧以外の電源を使用しないでください。感電・発火・故障の危険があります。
- ⊘ プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスが発生する場所には設置しないでください。
- ❗ WS605 充電器・DC 子機充電器の AC アダプタは、それぞれ専用のものを使用してください。
- ⊘ WS605 充電器・DC 子機充電器の AC アダプタを他の用途に利用しないでください。
- ⊘ 電源延長コードの使用、タコ足配線はしないでください。発熱・発火する恐れがあります。
- ❗ 電源プラグを電源コンセント (AC100V) に差し込む場合は、確実に根元まで差し込んでください。
- ⊘ 装置の開口部から内部にドライバなどの金属類を差し込まないでください。また、ネジなどを落とさないでください。

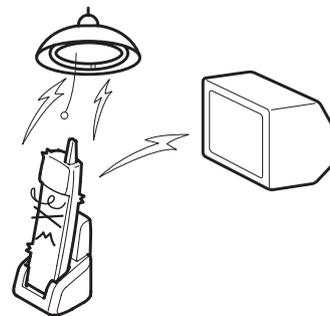
#### ⚠ 注意

- ❗ 漏電による感電などを避けるため、アース線 (D 種接地：接地抵抗 100 Ω 以下) は必ず接続してください。
- ⊘ 電源コードの上に重いものをのせないでください。
- ⊘ 熱器具の近くに電源コードを配置しないでください。
- ❗ 電源プラグは必ずプラグ本体を持って抜いてください。
- ⊘ オプションユニットの取り付け・取り外しの際には、直接半田面に手を触れないでください。けがや故障の原因となります。
- ❗ 壁掛けとして設置する場合は、重みに耐える適正な取り付けをしてください。落下し、装置の破損ばかりでなく、けがの原因となります。
- ⊘ 油煙や湯気の当たる場所、湿気やホコリの多い場所には設置しないでください。
- ⊘ 直射日光の当たる場所への設置はしないでください。
- ❗ 装置の通風孔をふさがないように、周囲スペースを充分確保してください。
- ⊘ 振動の多い場所や不安定な台の上などには設置しないでください。

## ▶ (2) 設置上の注意

安定した場所に設置し、次のようなところには設置しないでください。

- ① 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度の上がる場所。(40℃以上)
- ② 著しく温度が下がる場所。(0℃以下)  
(CL625 電話機、WS605 電話機を使用時は、5℃以下に温度が下がる場所)
- ③ 湿度が高い場所、水や油がかかる場所。
- ④ ホコリが多い場所。
- ⑤ テレビ、ラジオなどに近い場所。  
(受信障害の原因になることがあります。2m 以上離して設置してください)
- ⑥ 電気雑音を受けやすい場所。  
(通話に雑音が入ったり、使用できなくなることがあります)
  - OA 機器、テレビ、電気コタツ、蛍光灯、工作機械などの近く。
  - 放送局や無線局 (アマチュア無線、CB 無線) などの近く。
  - 車やオートバイが近くを通ったとき。
- ⑦ ハンズフリー通話をする電話機は、次のような場所を避けてください。
  - 周囲の騒音が大きい場所。
  - 音が反響しやすい場所。



### ご注意

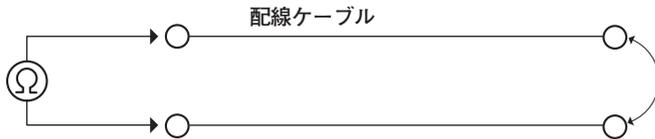
- 電源は、エアコン、工作機械、OA 機器と共用する電源コンセントを使用しないでください。
- 電源の延長コードは使用しないでください。  
(加熱・発火の危険があります)
- 電源は AC100V ± 10V 50/60Hz 以外の電源コンセントに接続しないでください。  
(火災・感電・故障の原因となります)

### ▶ (3) 配線・接続上の注意

※配線工事をするときは、主装置の電源スイッチを「OFF」にし、電源コードを電源コンセント(AC100V)から抜いてください。

- ① 本装置のアナログ局線ユニットの直流抵抗は 285 Ω です。本装置と線路抵抗の合計が 1700 Ω 以下で使用してください。
- ② 本装置のデジタル局線ユニットの直流抵抗は 750 Ω です。本装置と線路抵抗の合計が 1560 Ω 以下で使用してください。
- ③ 配線は必ず電子ボタン電話機用ケーブルを使用してください。  
ETI ケーブル (沖電線)      ICT ケーブル (富士電線)
- ④ 主装置と多機能電話機など (電話機コードを含む) までの許容ループ抵抗は 20 Ω 以下です。(2 線ループ)

#### ■ 2 線ループ



#### ■ 配線ケーブルの芯線径と配線距離

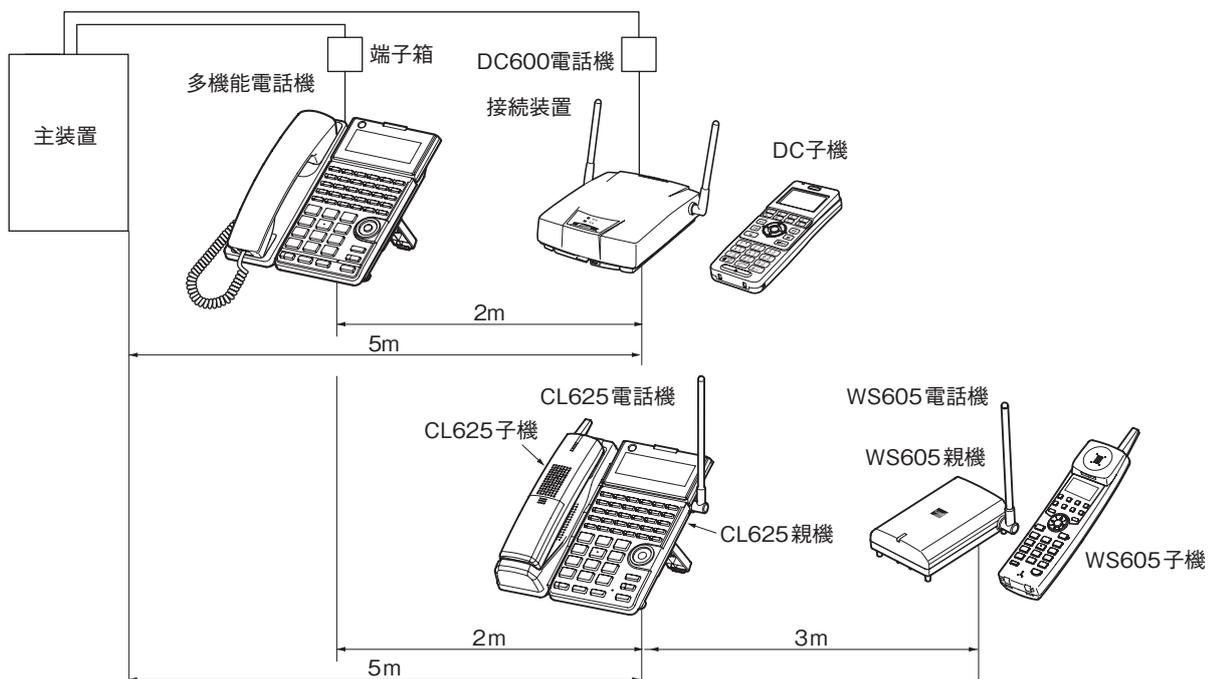
ループ抵抗の最大値	φ 0.4mm	φ 0.5mm	φ 0.65mm
20 Ω	68m	107m	177m

※電話機コード (2m) のループ抵抗は約 5 Ω。

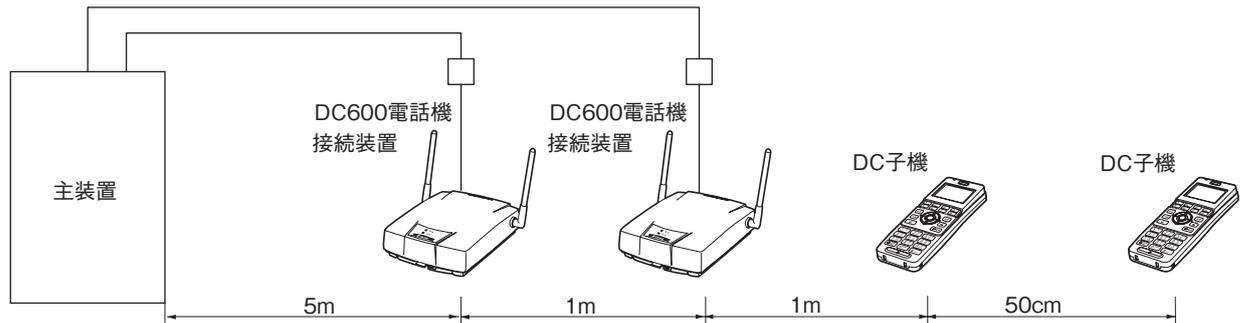
- ⑤ 配線が屋外に及ぶ場合は、両端に保安装置を取り付けてください。
- ⑥ 屋外配線を行う場合のケーブルは、架線用 (屋外) 配線ケーブルを使用するか屋外用カバーをかぶせてください。架空用シールド付配線ケーブルを使用するときは、大地アースをとってください。
- ⑦ 電力線、テレビアンテナ線および FM アンテナ線との並行配線は避けてください。
- ⑧ 配線ケーブルをステップルで強くとめないでください。配線がショートすることがあります。
- ⑨ ジュウタンの下への配線は避けてください。
- ⑩ 机やロッカーなどで、配線ケーブルをはさまないでください。
- ⑪ 床上配線をして踏まれる恐れがある場合は、ワイヤプロテクタなどにより保護してください。

### ▶ (4) CL625 電話機、WS605 電話機、DC600 電話機の設置上の注意

- ① CL625 親機、WS605 親機は主装置から 5m 以上、多機能電話機から 2m 以上、他の親機または接続装置から 3m 以上離してください。  
(通話中に雑音が入ったり、着信ができなくなることがあります)



- ② DC600 電話機接続装置は主装置から 5m 以上、他の接続装置および DC 子機から 1m 以上離してください。  
また、DC 子機は他 DC 子機から 50cm 以上離してください。



- ③ DC600 電話機接続装置を壁掛けにする場合は、天井および両側面の壁から 15cm 以上離してください。  
④ CL625 親機、WS605 親機を設置する場合は、天井および両側面の壁から 15cm 以上離してください。  
⑤ 高周波を発生する機械設備のある場所には設置しないでください。  
⑥ ラジオ・テレビ・ファクシミリ (FAX)・複写機 (コピー機) などから 2m 以上離して設置してください。  
⑦ CL625 親機、WS605 親機のアンテナは、垂直に立てて使用してください。  
⑧ CL625 子機、WS605 子機、DC 子機は、お使いになる前に充電してください。  
※ CL625 子機、WS605 子機：約 8 時間以上の充電で連続通話が約 8 時間できます。  
※ DC 子機：約 3.5 時間以上の充電で連続通話が約 5 時間できます。  
⑨ 子機の充電を完全に行うために、次のことを守ってください。  
・ WS605 充電器には WS605 子機、CL625 子機以外は置かないこと。  
・ CL625 親機には同一製造番号の CL625 子機以外は置かないこと。  
・ CL625 子機、WS605 子機、DC 子機を他の充電器に置かないこと。  
⑩ CL625 子機、WS605 子機、DC 子機の電池パックは、専用のものを使用してください。  
⑪ CL625 親機、WS605 親機、DC600 電話機接続装置の上に、物を載せないでください。  
⑫ CL625 親機、CL625 子機、WS605 子機、WS605 充電器、DC 子機、および DC 子機充電器の充電端子を金属などでショートさせないでください。

## ▶ (5) 無線に関する注意

- ① 電波を使用している CL625 電話機、WS605 電話機、DC600 電話機の通話は、以下の技術により傍受されにくくなっておりますが、通常の手段を超えた方法で第三者が故意に通話の内容を傍受する可能性があります。この点について十分配慮して使用してください。機密が必要な通話は、有線の TD615、TD625、LD600 電話機のいずれかを使用することをおすすめします。  
・ CL625 電話機、WS605 電話機：デジタル信号  
・ DC600 電話機：デジタル信号
- ② 移動しながら使用するときは、位置や向きによって雑音が入ることがあります。
- ③ CL625 電話機、WS605 電話機、DC600 電話機は、通常半径 100m(見通し距離)以内で使用できますが、親機または接続装置と子機間に下記の障害物などがあると、通話中に雑音が入ったり、子機に「圏外」と表示され使いなくなることがあります。設置環境を確認のうえ、CL625 親機、WS605 親機、DC600 電話機接続装置の設置場所を決めてください。  
・ 金属製のドア  
・ アルミはく入りの断熱材が入っている壁  
・ コンクリートやトタン製の壁
- ④ 同一室内で無線 LAN、電子レンジなどを使用している場合、通話中に雑音が入ることがあります。

## 4 主装置の工事

※主装置の電源スイッチを「OFF」にし、電源コードを電源コンセント（AC100V）から抜いて工事してください。

### ⚠ 警告

- ⊘ プロパンガス・ガソリンなどの引火性ガスが発生する場所には設置しないでください。

### ⚠ 注意

- ❗ 壁掛けとして設置する場合は、重みに耐えうる適正な取り付けをしてください。落下し、装置の破損ばかりでなく、けがの原因になります。
- ⊘ 油煙や湯気の当たる場所あるいは湿気やホコリの多い場所には設置しないでください。
- ⊘ 直射日光の当たる場所への設置はしないでください。
- ❗ 装置の通風孔をふさがないように、周囲スペースを充分確保してください。
- ⊘ 振動の多い場所や不安定な台の上などには設置しないでください。

### ▶ (1) 主装置の壁掛取り付け方法

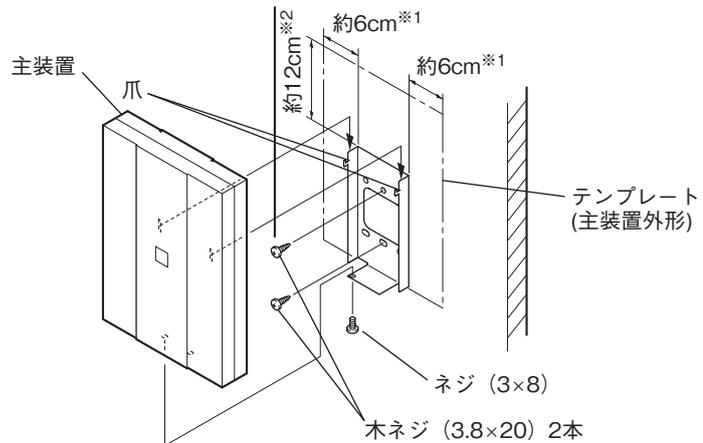
#### ● 取り付け方法（別売品の主装置壁掛用品を使用する）

※ 主装置は、主装置壁掛用品より両側に約 6cm<sup>\*1</sup>、上側に約 12cm<sup>\*2</sup> 外側に出ます。

主装置壁掛用品取り付け時、注意してください。

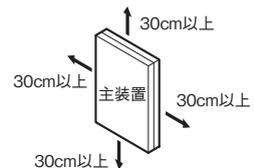
- ① 主装置壁掛用品を付属の木ネジ（3.8 × 20）2本で壁に取り付けます。
- ② 主装置を主装置壁掛用品の爪 2ヶ所に引掛けて、下側をネジ（3 × 8）1本で固定します。

※ 主装置壁掛用品取り付け後、主装置へ配線工事を行って下さい。



### ご注意

- 土壁・ボードなどへの取り付けは、主装置が落下しやすいのでおやめください。
- 主装置は、放熱のため周囲 30cm に、物を置かないでください。（誤動作の原因となります）

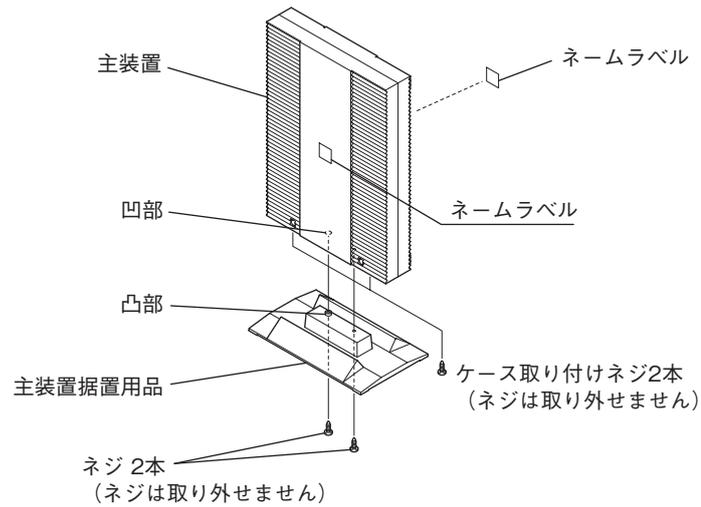


## ▶ (2) 主装置の据置方法

### ●据置方法（別売品の主装置据置用品を使用する場合）

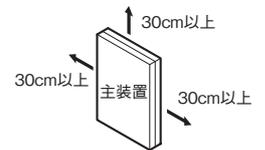
※主装置据置用品の取り付けは、主装置への配線工事終了後行ってください。

- ① 主装置ケースをケース取り付けネジ2本をゆるめて取り外します。
- ② 主装置への配線工事を行います。
- ③ 主装置ケースをケース取り付けネジ2本で固定します。
- ④ 主装置凹部に主装置据置用品の凸部を合わせて据置用品に取り付けられているネジ2本で固定します。
- ⑤ 主装置ケースの裏側にネームラベルを貼ります。



### ご注意

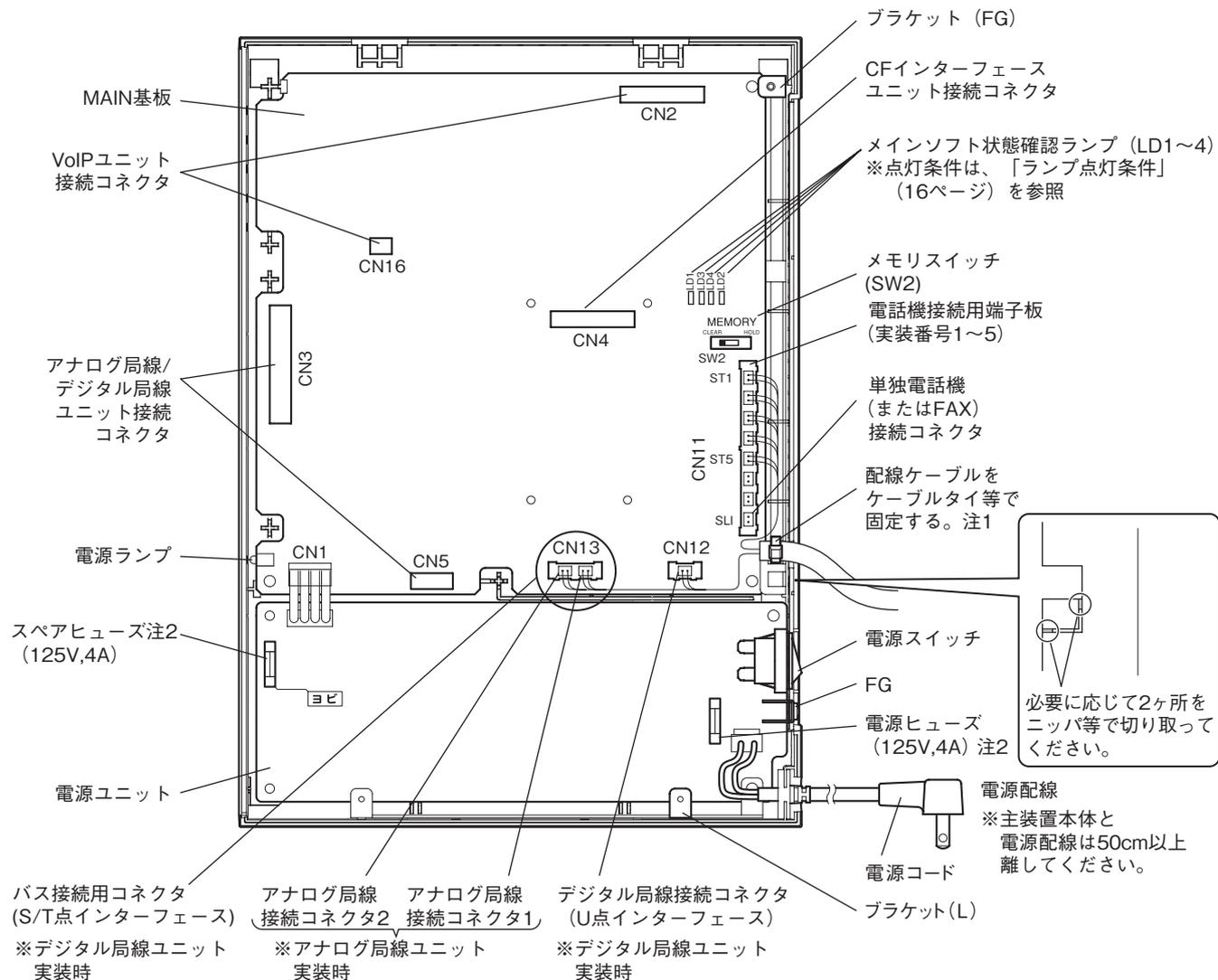
- 主装置は、放熱のため周囲 30cm に、物を置かないでください。(誤動作の原因となります)
- 据置用品取付後、再工事をする場合は、据置用品を取り外し、主装置を倒した状態で工事をしてください。(転倒のおそれがあります)



### ▶ (3) 主装置の初実装機能

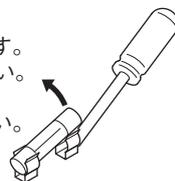
●初実装の XT300 主装置で下記のものを接続することができます。

- ・専用電話機：5台（実装番号1～5）
- ・単独電話機またはFAX：1台（実装番号6）



- 注1 ① 配線ケーブルは、ケーブルタイ等でゆるまないようにしっかりと固定してください。  
 ② 配線ケーブルの余長分が垂れさがって、電源ユニットにかからないようにしてください。

- 注2 ヒューズのはずし方  
 ⊖ ドライバでヒューズ端の金属部を持ち上げます。ガラス部を破損させないように気を付けてください。  
 ⊖ ドライバを差し込みは必ずすようにしてください。



## ⚠ 注意

❗ ヒューズを交換する際は必ず主装置の電源スイッチをOFFにし電源コードを電源コンセント(AC100V)から抜いて行ってください。

## ⚠ 注意

- 誤動作防止のため、D種接地工事を行ってください。
- AC電源を入れた時、約20秒間は不安定な動作をしますが故障ではありません。
- 主装置の各ユニット(基板)の脱着は、必ず電源スイッチを「OFF」に切り替えた後、行ってください。(感電・故障の原因となります)
- 電源スイッチをONし、電源ランプが点灯しない、またはすぐに消灯してしまう場合、電源ユニットの保護回路が動作している可能性があります。電源スイッチを「OFF」に切り替え原因を取り除き約1分間放置後、電源スイッチを「ON」に切り替えてください。(放置時間が短いと立ち上がりません)
- 電源を再度入れる時は、1分以上の間隔を取って行ってください。

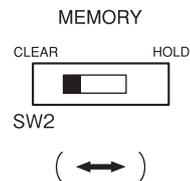
## ●メモリスイッチ (SW2) の設定

SW2 は出荷時、「CLEAR」側に設定してあります。

電源コードを AC100V コンセントに差し込み、電源スイッチを「ON」にしてから 30 秒以上経過後に「HOLD」側に切り替えます。

メモリクリアが必要な場合は、下記の手順で行います。

- ① 電源スイッチを「OFF」にします。
- ② SW2 を「CLEAR」側に切り替えます。
- ③ 電源スイッチを「ON」にします。
- ④ 30 秒以上経過後に、SW2 を「HOLD」側に切り替えます。



### 注意

- 「CLEAR」側のままにしておくと、停電時にプログラム設定や短縮ダイヤルなどの登録内容がすべて初期に戻り、消えてしまいます。必ず「HOLD」側に切り替えてください。

## ●ランプの点灯条件

- メインソフト状態確認ランプ (LD1 ~ 4)

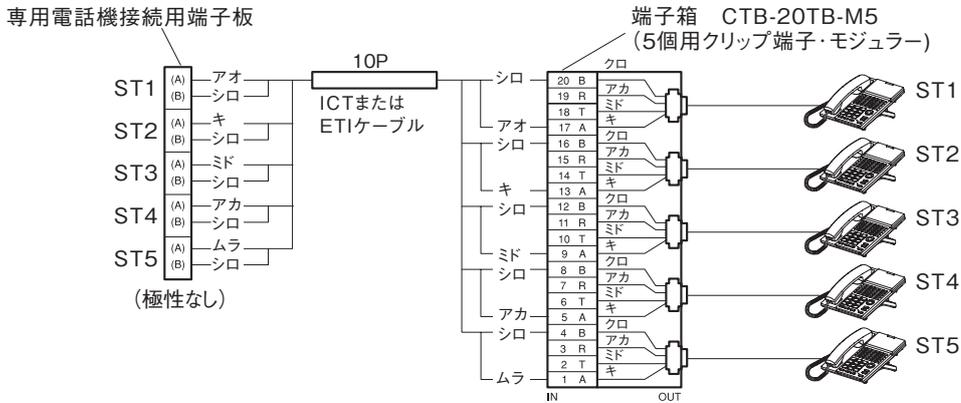
○：消灯 ●：点灯 ◎：点滅 (ON 時間 / OFF 時間)

状態		LD1	LD3	LD4	LD2	備考
AC 電源動作状態					●	
正常動作	[メモリスイッチ] HOLD 側	◎ 1950/50ms			● (又は停電中)	
	[メモリスイッチ] CLEAR 側	◎ 50/50ms			● (又は停電中)	
	システムアイドル		○		● (又は停電中)	
	アイドル以下		●		● (又は停電中)	
	CFカードアクセス中			◎ 50/50ms	● (又は停電中)	CF インターフェースユニット および CF カード引き抜き禁止
プログラム ダウンロード	プログラムダウンロード中	●	○	◎ 50/50ms	●	
	プログラムダウンロード正常終了	○	○	○	◎ 100/100ms	

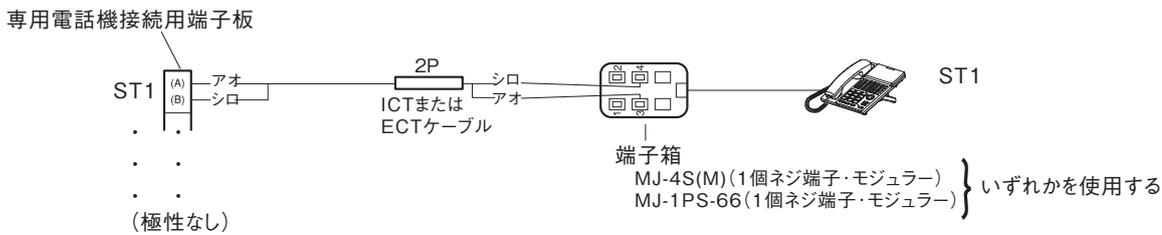
## ▶ (4) 専用電話機接続用端子板と端子箱の接続方法

初実装の専用電話機接続用端子板と5個用端子箱（CTB-20TB-M5）または1個用端子箱（MJ-4S(M)またはMJ-1PS-66）との接続方法を示します。

### ● 5個用端子板の場合



### ● 1個用端子板の場合



- 配線ケーブルは、付属のソケットにカシメ作業（18ページ）後、電話機接続用端子板にソケットを「カチ」音がするまで差し込んでください。
- ソケットを端子板から抜くときは、基板を押さえながら、ソケットをペンチなどではさんで抜いてください。（配線ケーブルを持って抜くと接触不良などの原因となります）

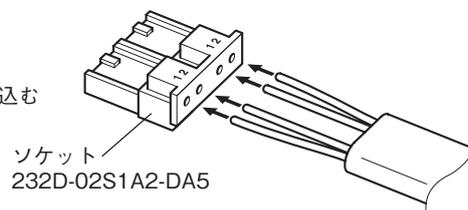
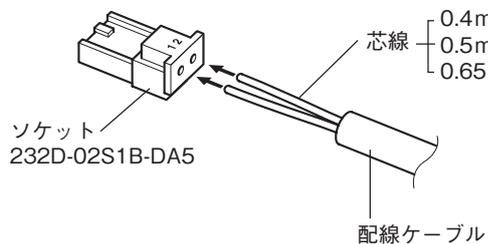
### ● 専用電話機接続用端子板と端子箱の配線

専用電話機接続用端子板	端子箱		備考
	5個用	1個用	
MAIN 基板 CN11 (A) (極性なし) (B)	A B	L3 L4	通電動作時の 端子電圧 約 -28V

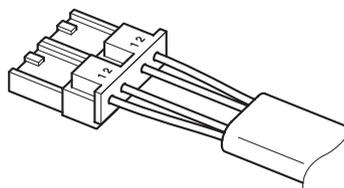
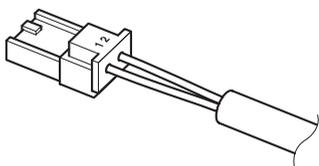
## ソケットのカシメ作業

※ ソケットは第一電子工業株式会社製の232D-02S1B-DA5(ブルー)、232D-02S1A2-DA5(ブラック)を使用します。

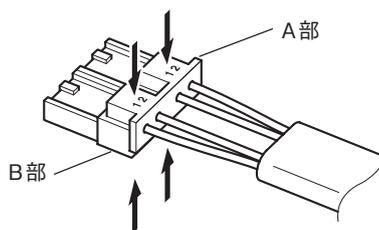
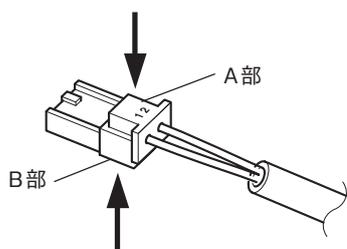
① ソケットに芯線の先端をそろえて差し込みます。



② 芯線を奥まで、押し込みます。



③ ペンチなどでソケットA・B部をはさんで、強く押し込みます。



## 注意

- ソケットの再カシメ(再使用)はしないでください。(接触不良の原因になります)
- ソケットを各ユニットから抜くときは、ユニットを押さえながら、ソケットをペンチなどで、はさんで抜いてください。(芯線を持って抜くと接触不良などの原因になります)

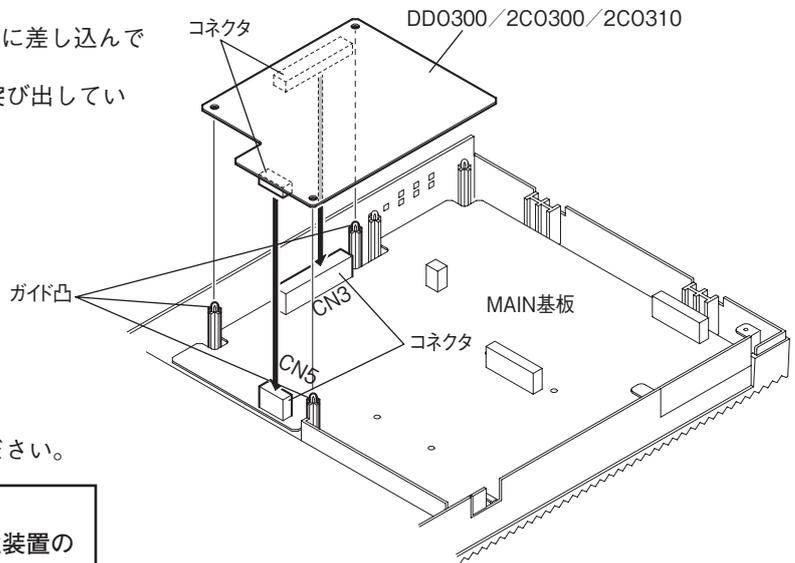
# 5 オプションユニットの接続

## ▶ (1) ユニットの取り付け／取り外し方法

### [ 局線ユニット (DDO300 / 2CO300 / 2CO310) ]

#### 1. 取り付け

- ① 2ヶ所のコネクタを CN3、CN5 コネクタに確実に差し込んでください。
- ② 3ヶ所のガイドの凸が基板の穴から同じように突き出しているのを確認してください。



#### 2. 取り外し

MAIN 基板と水平を保ちながら、引き抜いてください。

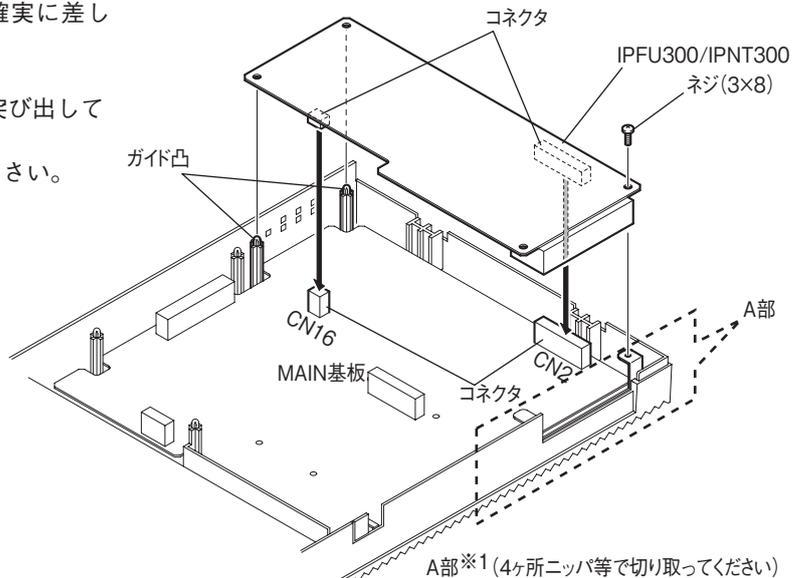
注意

- 局線ユニットの取り付けや取り外しは、主装置の電源が OFF の状態で行ってください。

### [ VoIP ユニット (IPFU300 / IPNT300) ]

#### 1. 取り付け

- ① 主装置の A 部\*1 をニッパなどで切断します。
- ② 2ヶ所のコネクタを CN2、CN16 コネクタに確実に差し込んでください。
- ③ 2ヶ所のガイドの凸が基板の穴から同じように突き出しているのを確認してください。
- ④ 最後に付属のネジ (3 × 8) 1本で固定してください。

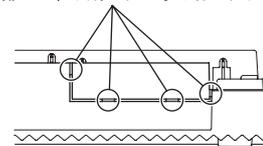


#### 2. 取り外し

ネジを外し、MAIN 基板と水平を保ちながら、引き抜いてください。

注意

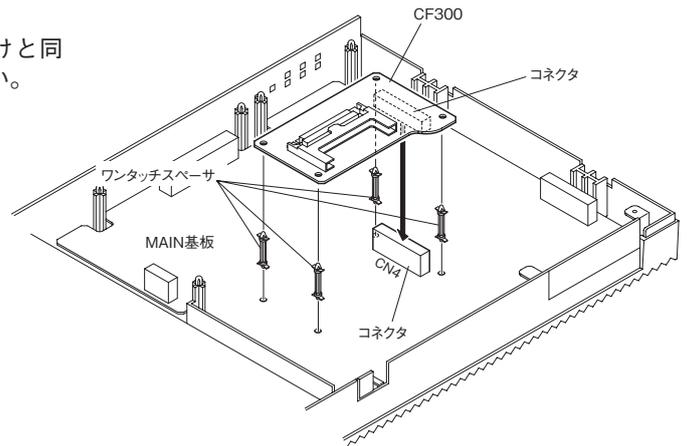
- VoIP ユニットの取り付けや取り外しは、主装置の電源が OFF の状態で行ってください。



## [CF インターフェイスユニット (CF300) ]

### 1. 取り付け

- ① CF300 にワンタッチスペーサ (4 個) を取り付けます。
- ② ワンタッチスペーサ (4 個) を MAIN 基板の穴に取り付けと同時にコネクタを CN4 コネクタに確実に差し込んでください。



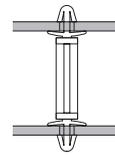
### 2. 取り外し

ワンタッチスペーサ (4 個) をラジオペンチなどでつぶして外し、MAIN 基板と水平を保ちながら引き抜いてください。

注意

- CF インターフェイスユニットの取り付けや取り外しは、主装置の電源が OFF の状態で行ってください。

※ワンタッチスペーサは確実に差し込んでください。



## ▶ (2) デジタル局線ユニット【DDO300】

- デジタル局線ユニット [DDO300] でデジタル1局線、収容することができます。  
アナログ局線ユニットとの同時収容はできません。
  - 本ユニットは終端抵抗 100 Ω が付いています。
- ※ 配線ケーブルは、付属のソケットをカシメ作業 (18 ページ) 後、MAIN 基板の CN12 (U 点インターフェース)、CN13 (S/T 点インターフェース) に接続します。

### 極性切替スイッチ (SW1)

局線の極性を反転します。  
出荷時は N です。

### 終端抵抗 ON/OFF スイッチ (SW3)

終端抵抗の ON/OFF を設定します。  
出荷時は ON です。

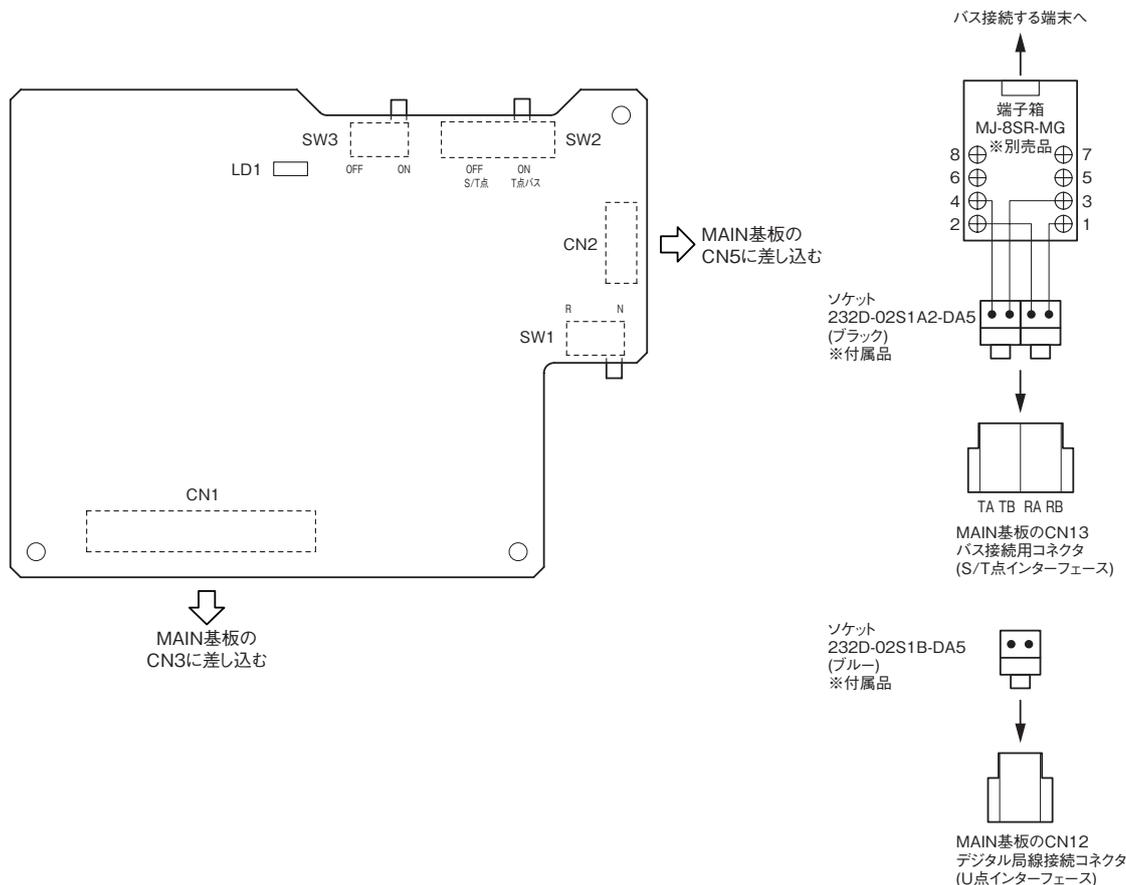
### DSU ON/OFF スイッチ (SW2)

本ユニットの DSU 機能を使用せず、外付け DSU を使用する場合は OFF にします。また、S/T バスの切替も同時に行います。  
出荷時は ON です。      ON : T 点バス  
OFF : S/T 点

### 局線同期ランプ (LD1)

デジタル局線の同期が確立したとき、点灯します。

契約回線のインターフェース形態およびレイヤ 1 起動種別は、「P-MP 常時起動」で申し込んでください。



## ⚠ 危険

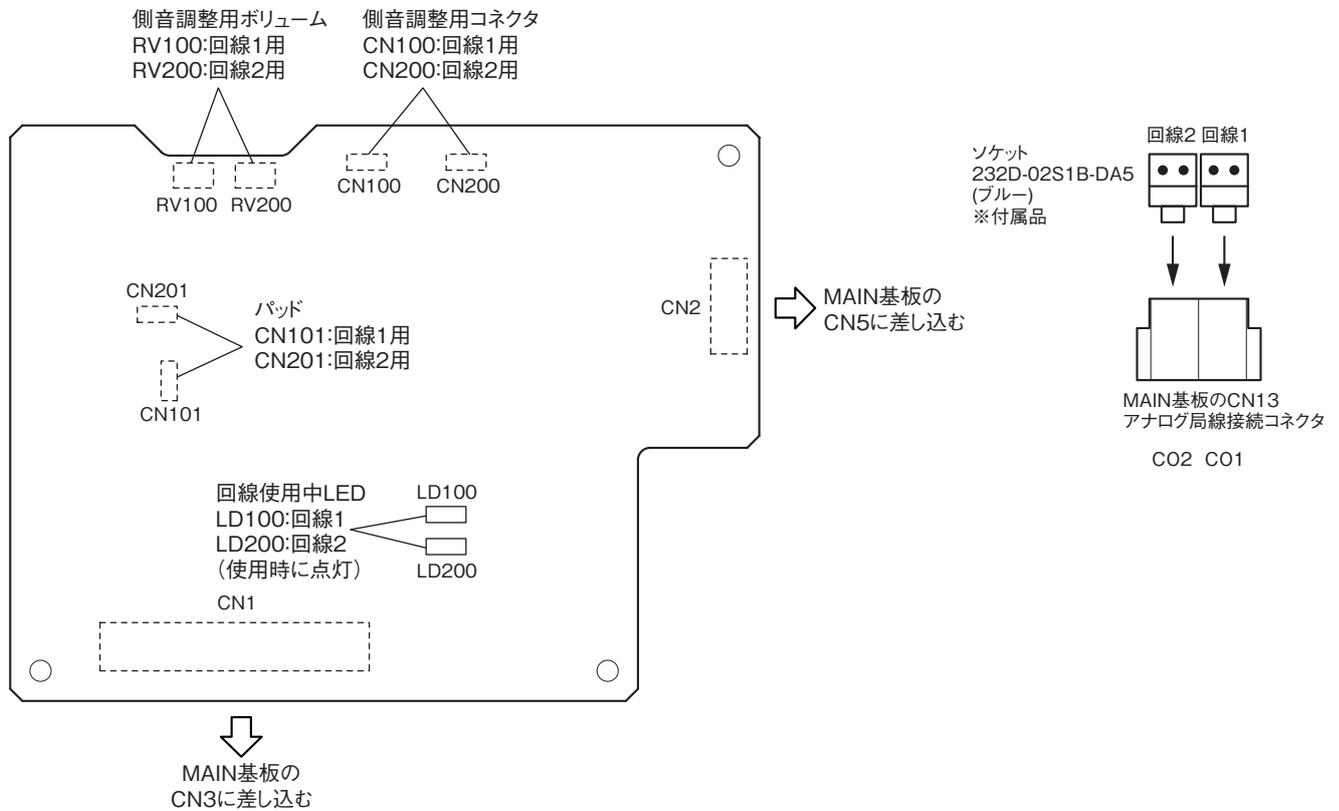
- ⚠ オプションユニットの取り付け・配線工事は必ず主装置の電源スイッチを OFF にし、電源コードを電源コンセント (AC100V) から抜いた状態で行ってください。感電・故障の原因となります。

## ⚠ 注意

- ⊘ オプションユニットの取り付け・取り外しの際には、直接半田面に手を触れないでください。けがや故障の原因になります。

### ▶ (3) アナログ局線ユニット 【2CO300/2CO310】

- アナログ局線ユニット [2CO300] またはエコーキャンセラ機能付きアナログ局線ユニット [2CO310] でアナログ 2 回線を収容することができます。
  - デジタル局線ユニットとの同時収容はできません。
- ※ 配線ケーブルは、付属のソケットをカシメ作業（18 ページ）後 MAIN 基板の CN13（C01,2）に接続します。



## ⚠ 危険

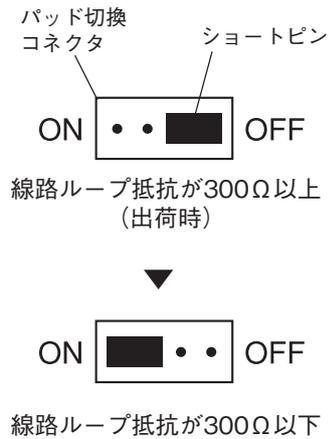
- ❗ オプションユニットの取り付け・配線工事は必ず主装置の電源スイッチを OFF にし、電源コードを電源コンセント (AC100V) から抜いた状態で行ってください。感電・故障の原因となります。

## ⚠ 注意

- ⊘ オプションユニットの取り付け・取り外しの際には、直接半田面に手を触れないでください。けがや故障の原因となります。

## ▶ パッドの切替

- PBX、または局線の線路ループ抵抗が $300\Omega$ 以下（線路損失約 $3\text{dB}$ 以下）のときは、各回線に対応したパッドのショートピンを「ON」側に差し替えてください。  
※ 出荷時は、「OFF」側です。



- |    |                                                                                                                              |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| メモ | <ul style="list-style-type: none"><li>● 線路ループ抵抗が<math>300\Omega</math>以上のときでも、側音が気になる場合はパッドを「ON」に切り替えると側音が小さくなります。</li></ul> |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## ▶ 良好な側音調整の方法

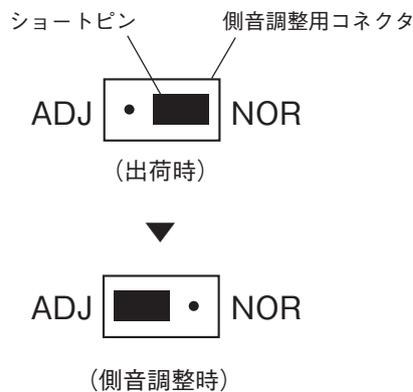
- 最小の側音を必要とする場合、各回線ごとに調整します。  
※ 周囲騒音が非常に大きい場合（工場など）は、下記の側音調整を行ってから使用してください。

- |    |                                                                                                            |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| メモ | <ul style="list-style-type: none"><li>● 側音とは通話中のとき、送話器に入った音声や騒音が電話機内の回路を通り受話器から自分の耳に入ってくる音のことです。</li></ul> |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

### ■ 側音調整方法

- ・ 側音調整は各回線で通話中（受話器を耳に当てた状態）のときに行います。

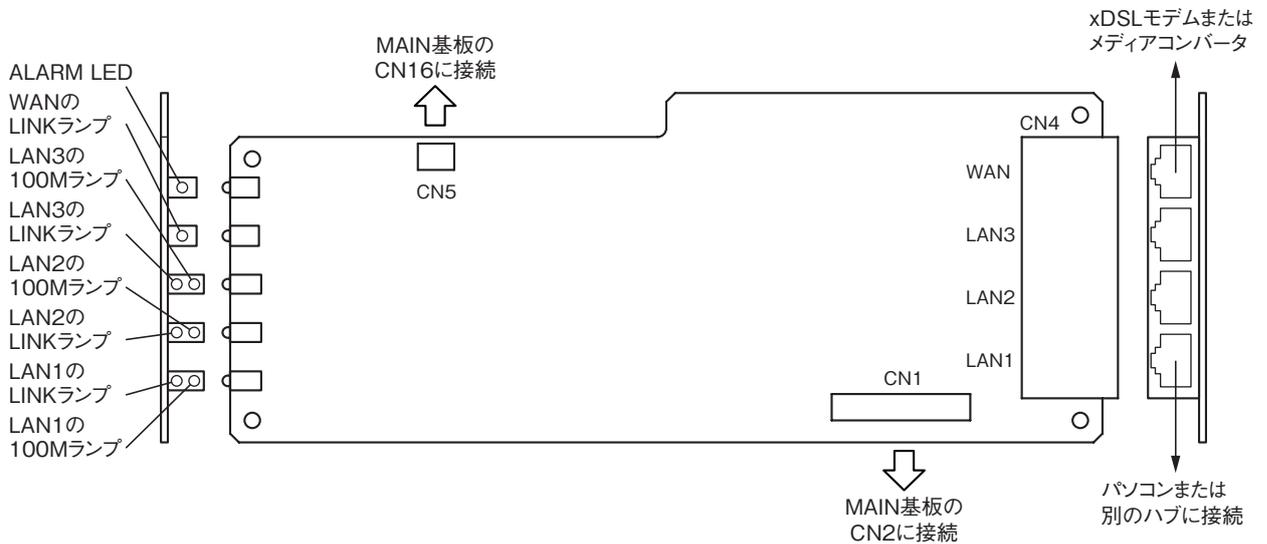
- ① 側音調整用コネクタのショートピンを「ADJ」側に切り替える。  
※ 出荷時は、「NOR」側です。



- ② 側音調整用ボリュームを左・右に⊕ドライバで回しながら良好な位置に調整する。

## ▶ (4) VoIP ユニット 【IPFU300/IPNT300】

● IPFU300 は、FUSION IP-Phone 対応 VoIP ユニットで、IPNT300 は、OCN.Phone Office 対応 VoIP ユニットです。



ALARM LED の点灯について

電源を入れた直後	点灯
初期化中	点灯
正常起動中	消灯
異常動作	点灯

LAN 関連のランプについて

ランプ状態		動作状態
LINK ランプ	100M ランプ	
消灯	消灯	ケーブルが接続されていない。 電源が入っていない。 装置が正常に動作していない。
点灯	消灯	装置が正常に動作している。 10BASE-T で通信している。
点灯	点灯	装置が正常に動作している。 100BASE-TX で通信している。
点滅	—	データの送受信を行っている。

### ⚠ 危険

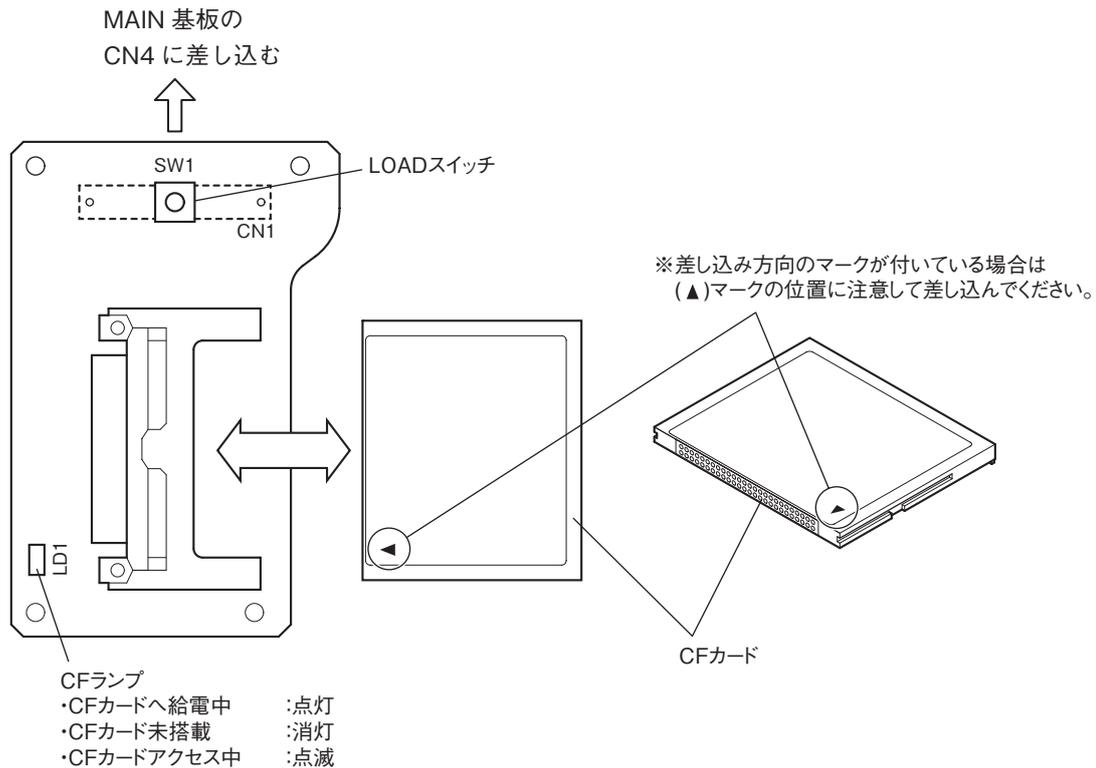
❗ オプションユニットの取り付け・配線工事は必ず主装置の電源スイッチを OFF にし、電源コードを電源コンセント (AC100V) から抜いた状態で行ってください。感電・故障の原因となります。

### ⚠ 注意

⊘ オプションユニットの取り付け・取り外しの際には、直接半田面に手を触れないでください。けがや故障の原因になります。

## ▶ (5) CF インターフェースユニット 【CF300】

- CF (コンパクトフラッシュ) カードをメンテナンス時に搭載する際に使用します。



### ● CF カード

- ・ 推奨品を使用してください。

### ● CF カードの使用方法

※ CF カードの抜き差しは、必ず主装置の電源スイッチを OFF の状態で行ってください。

#### ・ プログラムダウンロード

下記の手順で、主装置プログラムを CF カードからダウンロードができます。

- ① CF カードを CF インターフェースユニットに装着し、LOAD スイッチを押しながら、主装置の電源スイッチを ON にします。
- ② CF ランプが点滅状態に移行したことを確認し (電源スイッチを ON にしてから 6 ~ 7 秒後)、LOAD スイッチを離します。
- ③ プログラムのダウンロードは、数分間かかります。CF ランプが消灯し、メインソフト状態確認ランプが「プログラムダウンロード正常終了」状態 (16 ページ参照) にあることを確認し、電源スイッチを OFF にします。
- ④ CF カードを抜き、電源スイッチを ON にすることでダウンロードされたプログラムでの起動となります。

## ⚠ 危険

- ❗ オプションユニットおよび CF カードの取り付け・取り外しは必ず主装置の電源スイッチを OFF にし、電源コードを電源コンセント (AC100V) から抜いた状態で行ってください。感電・故障の原因となります。

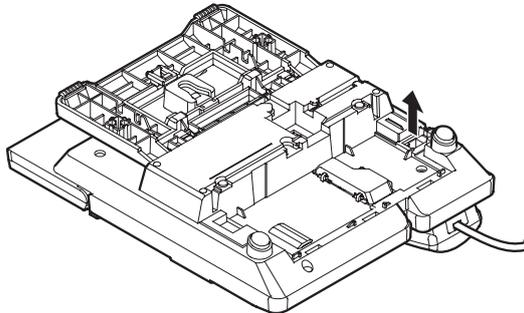
## ⚠ 注意

- ⊘ オプションユニットの取り付け・取り外しの際には、直接半田面に手を触れないでください。けがや故障の原因となります。

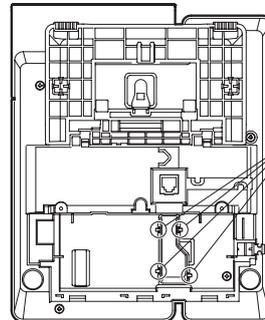
# 6 電話機の工事

## ▶ (1) 停電ユニットの取り付け方法【TD615、TD625 専用】

① ハンドセットを取り外します。



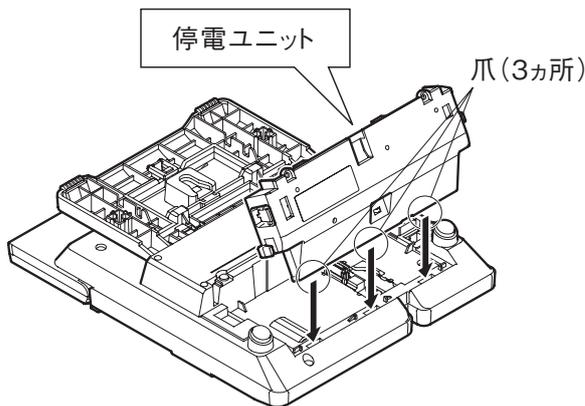
② カバーを取り外します。



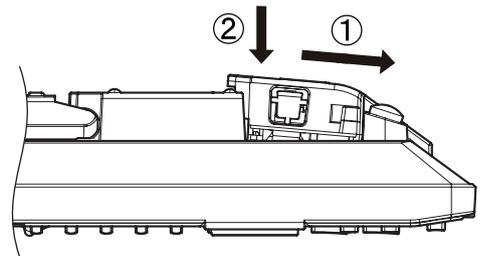
本体の凸部を  
ニッパなどで切ります。  
(4カ所)

③ 停電ユニットを接続します。

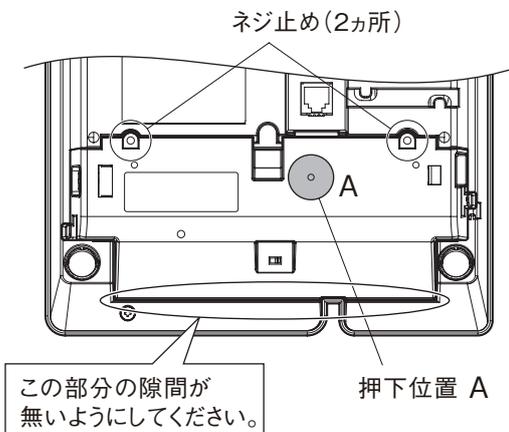
③-1 停電ユニットの下部の爪を本体に合わせ引っ掛けます。



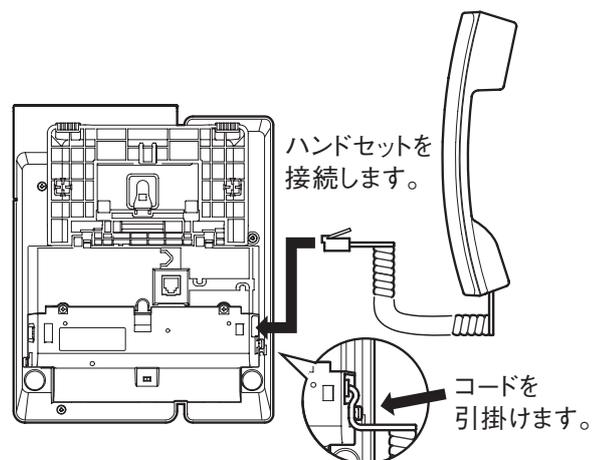
③-2 停電ユニットを下図位置までセットし、矢印①の方向へ押し付けながら矢印②の方向に取り付けます。



③-3 停電ユニット下部と本体に隙間が無いことを確認後、下図 A の位置を押下し、コネクタが確実に固定されていることを確認し、ネジ止め (2カ所) します。  
(停電ユニットに添付のネジをご使用ください)



④ ハンドセットを接続します。

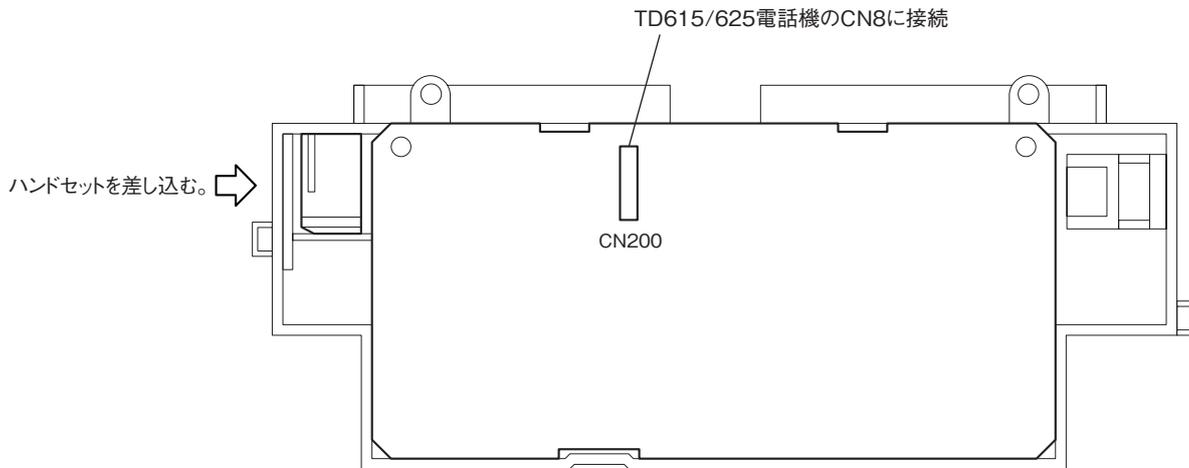


注意

● オプションの停電ユニットを電話機に取り付ける場合、必ずラインコードを抜いてから取り付けを行ってください。

## ▶ (2) ISDN 停電ユニット 【ADI605】

- ISDN 停電ユニット (ADI605) は TD615/625 電話機に接続される ISDN 停電ユニットです。



### 注意

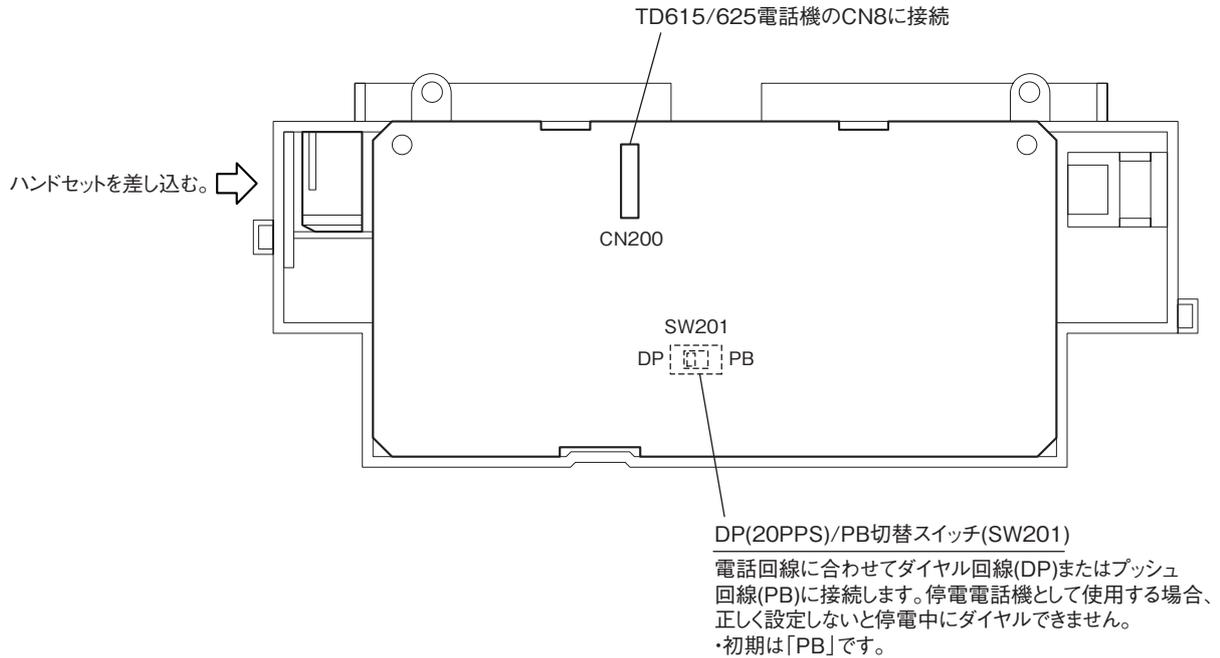
- オプションの停電ユニットを電話機に取り付ける場合、必ずラインコードを抜いてから取り付けを行ってください。

### ⚠ 注意

- ⊘ オプションユニットの取り付け・取り外しの際には、直接半田面に手を触れないでください。けがや故障の原因になります。

### ▶ (3) アナログ停電ユニット 【ADA605】

●アナログ停電ユニット (ADA605) は TD615/625 電話機に接続されるアナログ停電ユニットです。



#### 注意

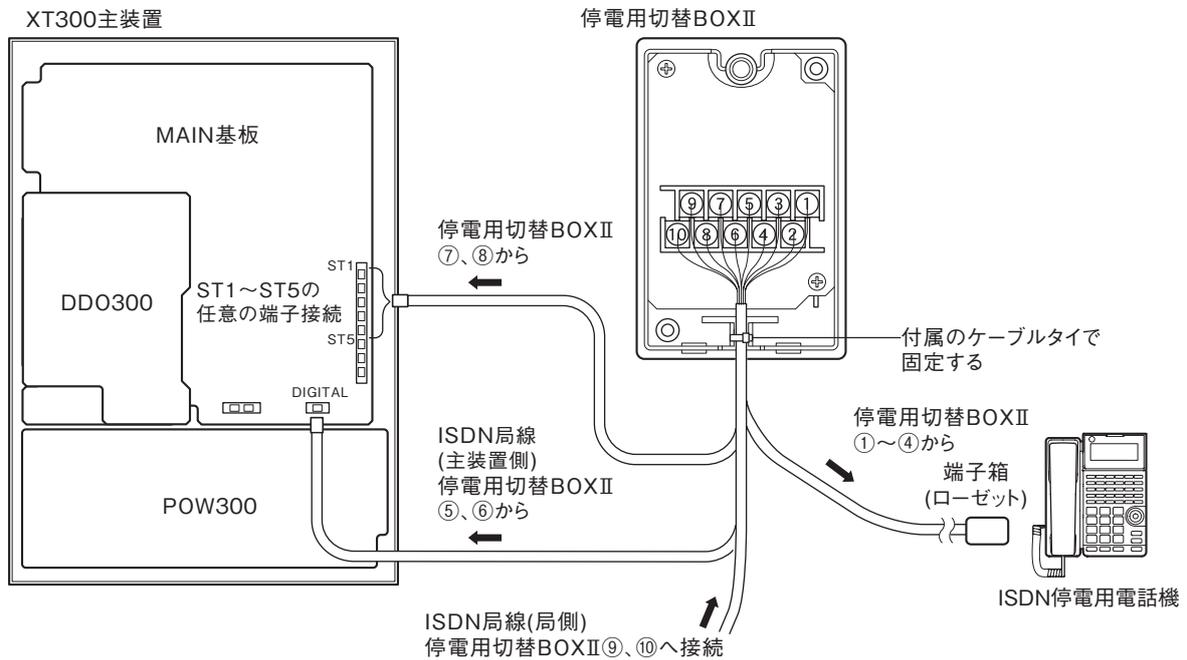
● オプションの停電ユニットを電話機に取り付ける場合、必ずラインコードを抜いてから取り付けを行ってください。

#### ⚠ 注意

⊘ オプションユニットの取り付け・取り外しの際には、直接半田面に手を触れないでください。けがや故障の原因になります。

## ▶ (4) ISDN 停電用電話機の接続方法

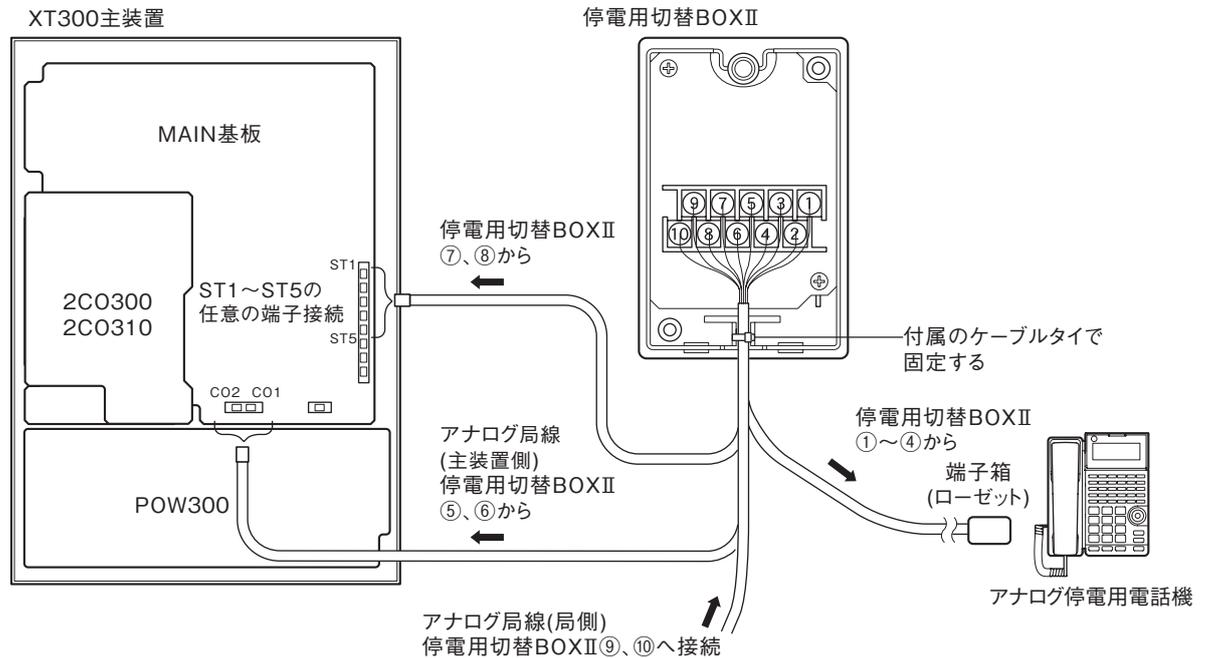
### ●停電用切替 BOX 配線図



停電用切替 BOX II の端子番号	停電用切替 BOX II からの接続先	
①	L1	ISDN 停電用電話機ローゼット
②	L2	
③	L3	
④	L4	
⑤	MAIN 基板のデジタル局線接続コネクタ (DIGITAL) ※ DDO300 が組み込まれているときに有効	
⑦	MAIN 基板の電話機接続用端子板 (ST1 ~ ST5)	
⑧		
⑨	ISDN 局線	
⑩		

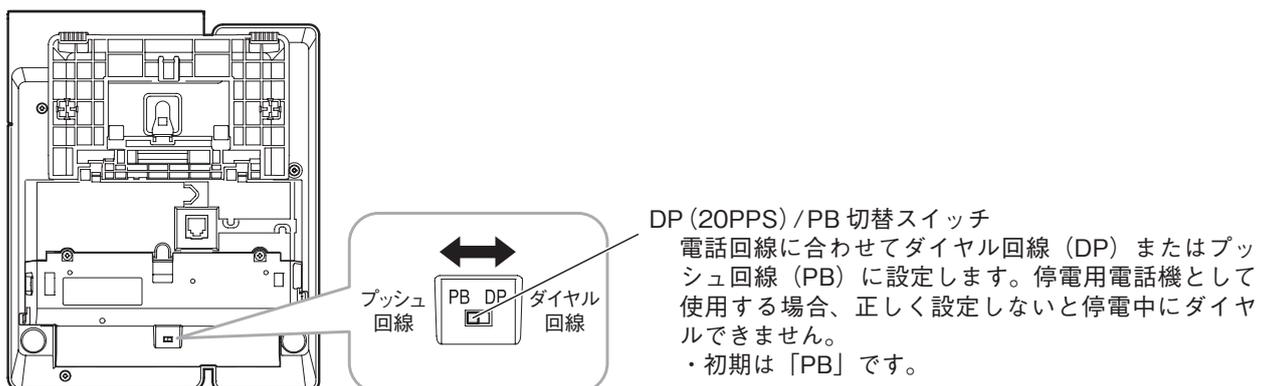
## ▶ (5) アナログ停電用電話機の接続方法

### ●停電用切替 BOX 配線図



停電用切替 BOX II の端子番号	停電用切替 BOX II からの接続先	
①	L1	アナログ停電用電話機ローゼット
②	L2	
③	L3	
④	L4	
⑤	MAIN 基板のアナログ局線接続コネクタ (CO1、CO2) ※ 2C0300 または 2C0310 が組み込まれているときに有効	
⑥		
⑦	MAIN 基板の電話機接続用端子板 (ST1 ~ ST5)	
⑧		
⑨	アナログ局線	
⑩		

### ●アナログ停電用電話機

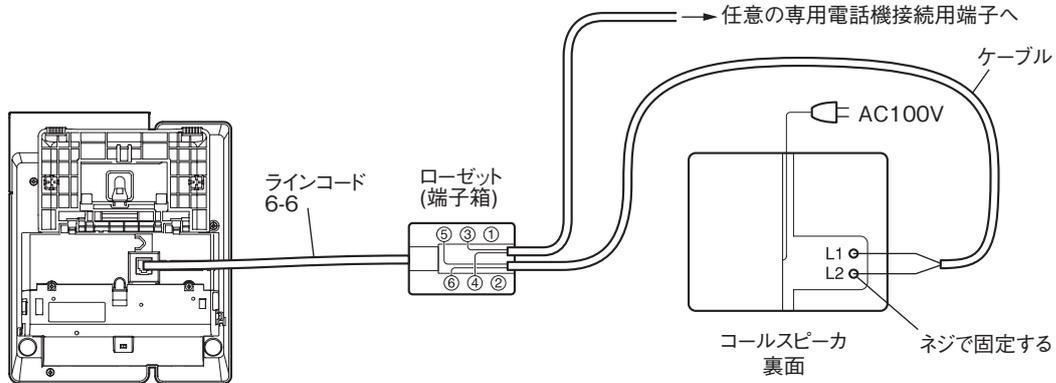


## ▶ (6) コールスピーカの接続

TD615 電話機、TD625 電話機、LD600 電話機、CL625 電話機に接続できます。  
 コールスピーカ（BS-191）を使用します。

### ■ TD615、TD625、CL625 電話機の場合

- ・ コールスピーカを下図のように接続します。



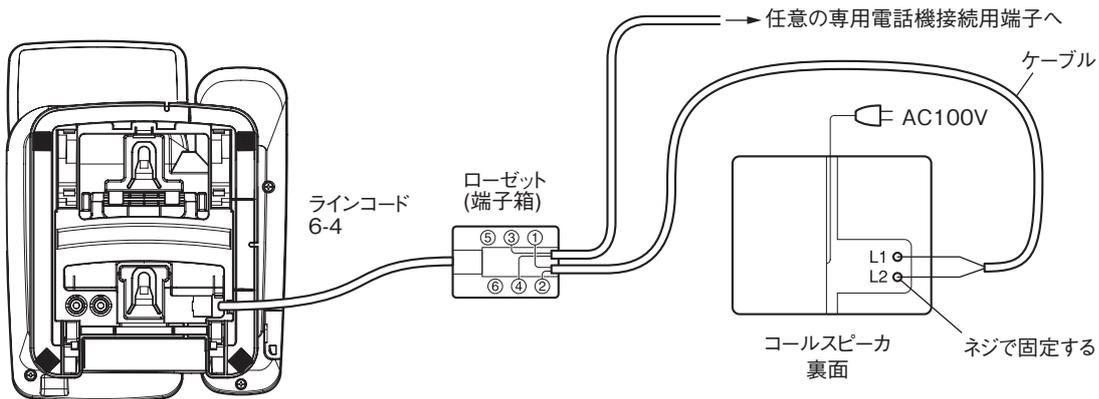
- 端子箱とコールスピーカの端子接続を示します。

端子箱	コールスピーカ
①	未使用
②	未使用
③	} 主装置 内線ポート
④	
⑤	L1
⑥	L2

- ・ 配線に注意してください。

### ■ LD600 電話機の場合

- ・ コールスピーカを下図のように接続します。



- 端子箱とコールスピーカの端子接続を示します。

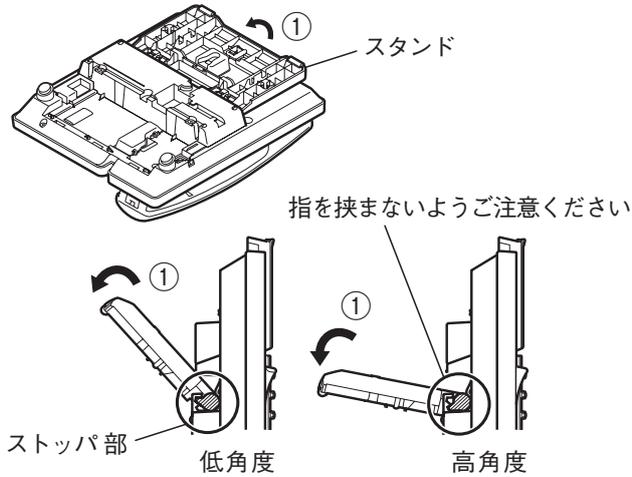
端子箱	コールスピーカ
①	L1
②	L2
③	} 主装置 内線ポート
④	
⑤	未使用
⑥	未使用

- ・ 配線に注意してください。

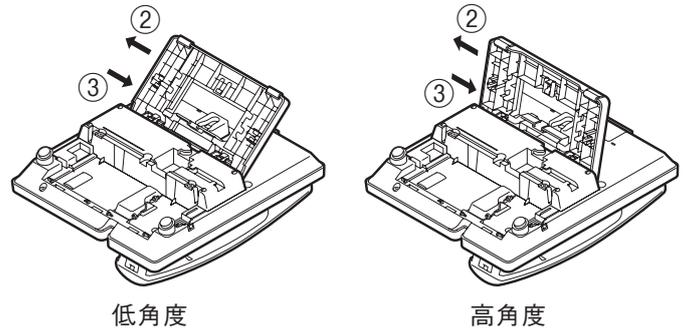
## ▶ (7) TD615、TD625、CL625 電話機の角度調整方法

高角度スタンドの軸をベースの溝に入れて、2段階に角度調節ができます。

(1) スタンドの角度を合わせます。



(2) スタンドを固定します。

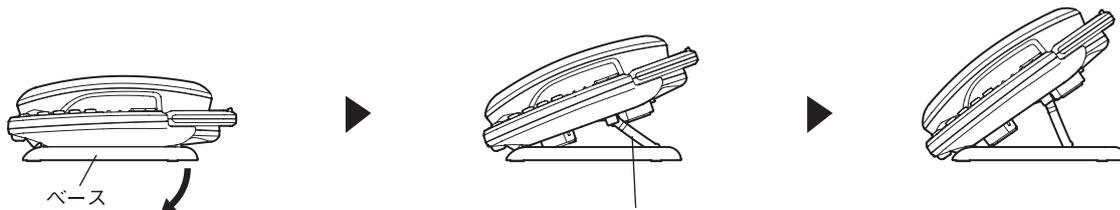


- スタンドを②の方向にスライドさせ、固定します。スタンドを戻すときは、スタンドを③の方向にスライドさせて引き上げます。

- ご使用状況に合わせ、スタンドを①の方向に引き上げ、ストッパ部を上図の位置に合わせます。(無理に引き上げると破損する恐れがあります。)

## ▶ (8) LD600 電話機の角度調節方法

高角度スタンドの爪をベースの溝に入れて、2段階に角度調節ができます。



ベースを引き下ろします。

高角度スタンドをベースに差し込みます。

2段階に調節できます。使いやすい角度を選び調節してください。

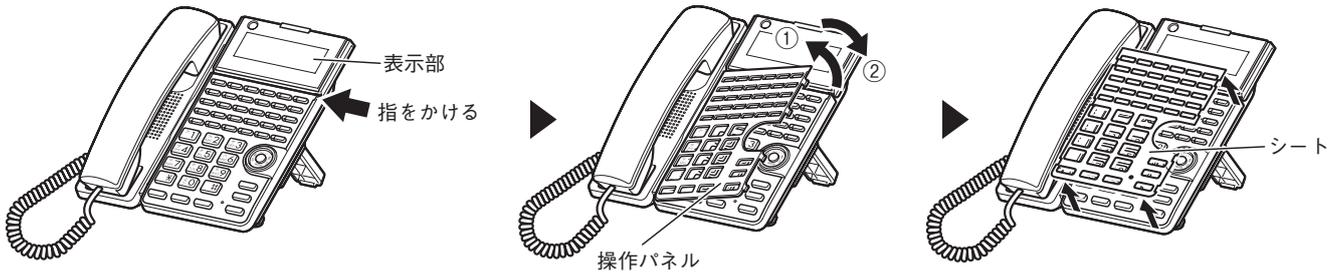
## ▶ (9) TD615、TD625、CL625 電話機のパネルとシートの交換方法

### ●操作パネル

(1) 表示部の角度は現状のままにして、操作パネルのツメに指をかけます。

(2) 操作パネルを①の方向に持ち上げて取り外します。

(3) シートを取り外します。



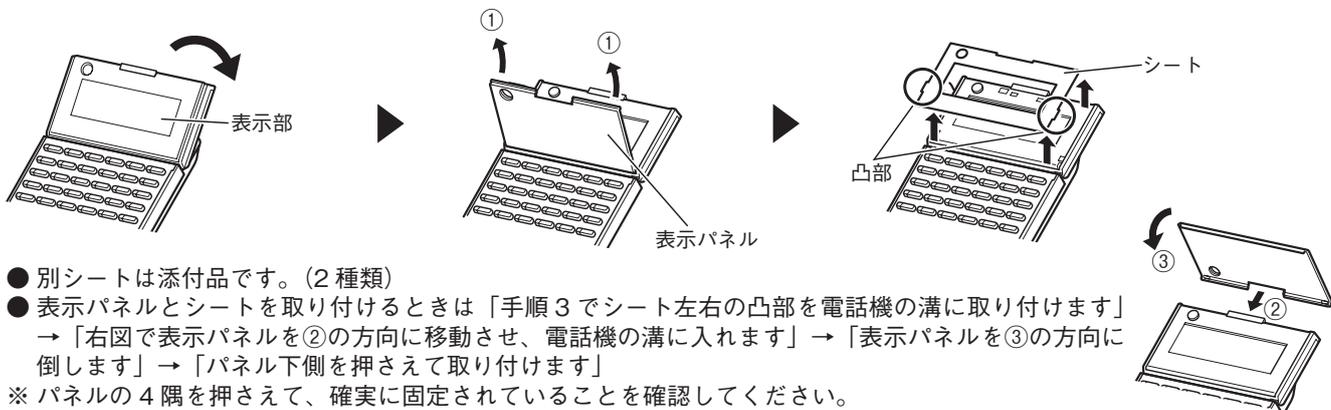
● 操作パネルとシートを取り付けるときは「手順3でシートをかぶせます」→「手順2で操作パネルを②の方向に倒します」→「カチッ音がするまで押さえます」

### ●表示パネル

(1) 表示部を倒します。

(2) 表示パネルを①方向(1ヵ所でも良い)に持ち上げて取り外します。

(3) シートを取り外します。



● 別シートは添付品です。(2種類)

● 表示パネルとシートを取り付けるときは「手順3でシート左右の凸部を電話機の溝に取り付けます」→「右図で表示パネルを②の方向に移動させ、電話機の溝に入れます」→「表示パネルを③の方向に倒します」→「パネル下側を押さえて取り付けます」

※ パネルの4隅を押さえて、確実に固定されていることを確認してください。

### ご注意

● パネルとシートを取り外す際は、必ずラインコードを抜いてから行ってください。

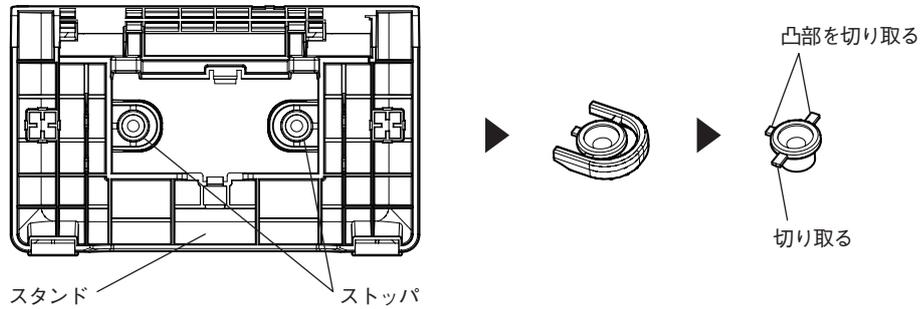
# 7

# 電話機の壁掛取り付け方法

## ▶ (1) TD615、TD625、CL625 電話機

① ニッパなどでストップとスタンドを切り離します。

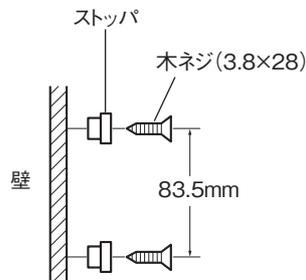
※ 切り残しがありますと怪我をする可能性がありますのでご注意ください。



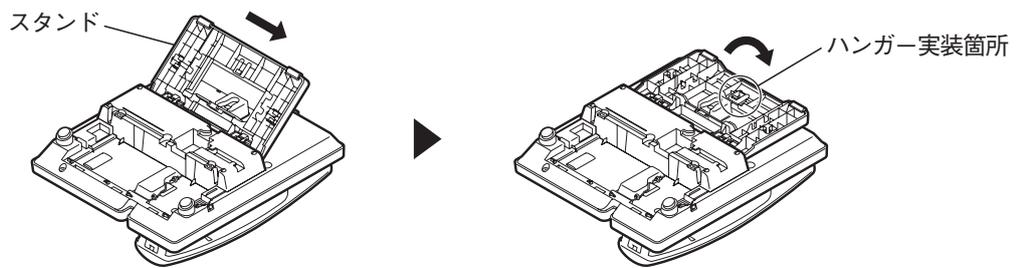
② ストップ2個を主装置に付属の木ネジ (3.8 × 28) 2本で壁に固定します。

※ 主装置の付属品「データシート」内にある「壁掛取付用紙」を使用して取り付けてください。

※ 土壁、ボードなどへの取り付けは、電話機が落下しやすいので注意してください。



③ スタンドを折りたたみ、ハンガーを取り外してください。



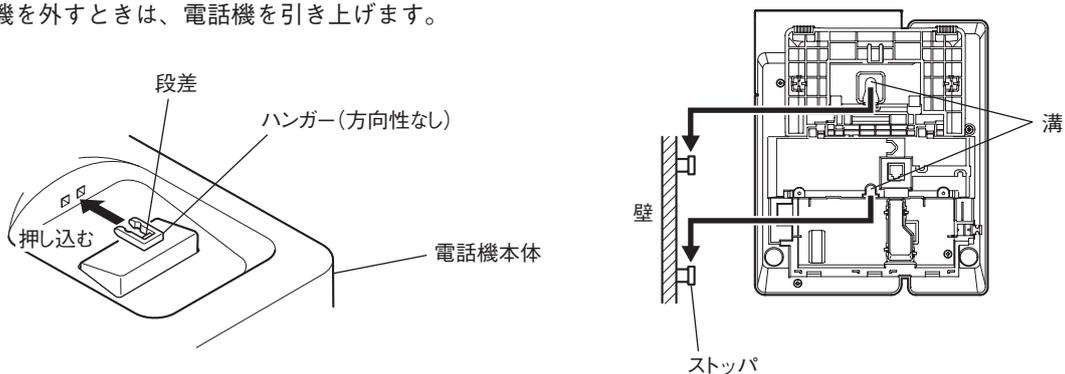
スタンドをスライドさせます。

④ ハンガーを矢印の方向へ押し込みます。

※ ハンガーを外すときは、ハンガーの段差に ⊖ ドライバを差し込み、外してください。

⑤ 電話機本体の溝をストップに沿って引き下げます。

※ 電話機を外すときは、電話機を引き上げます。



## 警告

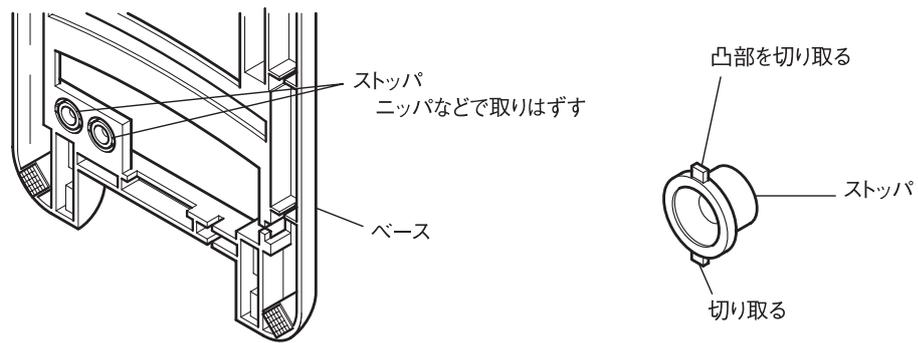
 プロパンガス・ガソリン等の引火性ガスが発生する場所には設置しないでください。

## 注意

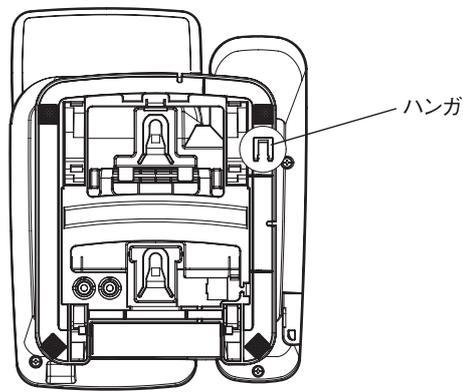
-  壁掛けとして設置する場合は、重さに耐えうる適正な取り付けをしてください。落下し、装置の破損ばかりでなく、けがの原因になります。
-  油煙や湯気の当たる場所あるいは湿気やホコリの多い場所には設置しないでください。
-  直射日光の当たる場所への設置はしないでください。
-  装置の通風孔をふさがないように、周囲スペースを充分確保してください。
-  振動の多い場所や不安定な台の上などには設置しないでください。

## ▶ (2) LD600 電話機

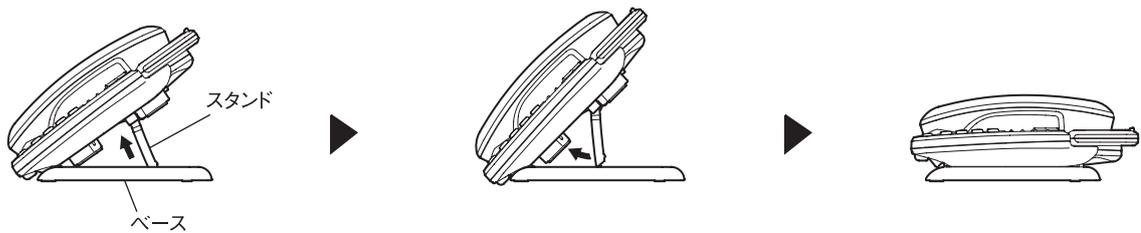
①ベースに付いているストッパ2個を取り外し、ストッパの凸部2ヶ所をニッパなどで切断します。



②電話機本体に実装されているハンガを外してください。

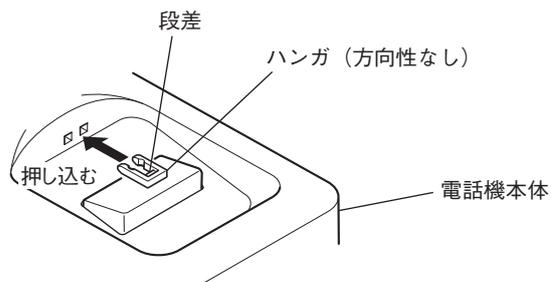


③スタンドとベースを折りたたんでください。

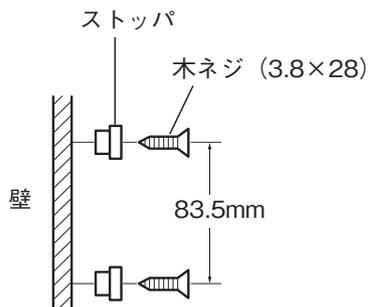


④ハンガを矢印方向に押し込みます。

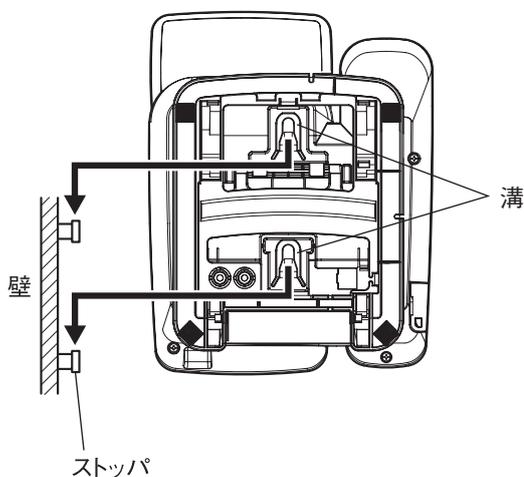
※ハンガを外すときは、ハンガの段差に ⊖ ドライバーを差し込み、外してください。



- ⑤ ストップパ 2 個を主装置に付属の木ネジ (3.8 X 28) 2 本で壁に固定します。  
 ※主装置の付属品「データシート」内の「壁掛取付用紙」を使用して取り付けてください。  
 ※土壁、ボードなどへの取り付けは、電話機が落下しやすいので注意してください。



- ⑥ 電話機本体の溝をストップパにはめ込み、引き下げます。  
 ※電話機を外すときは、電話機を引き上げます。



### ⚠ 警告

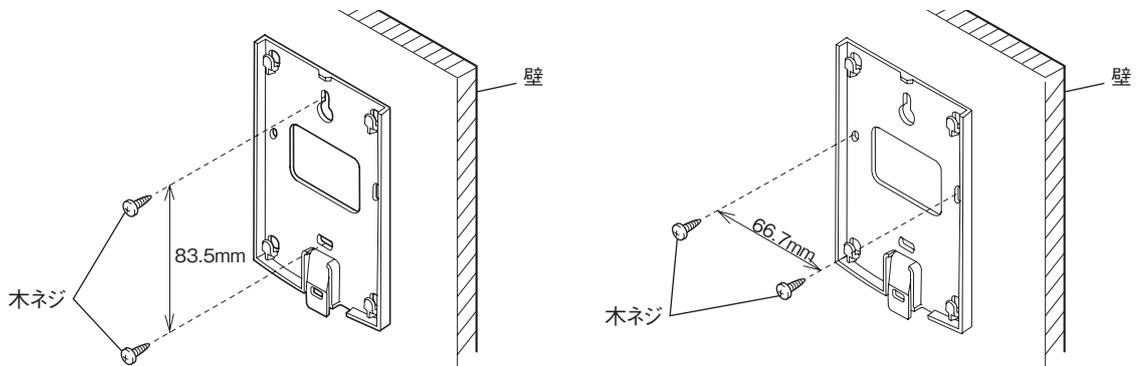
- ⊘ プロパンガス・ガソリン等の引火性ガスが発生する場所には設置しないでください。

### ⚠ 注意

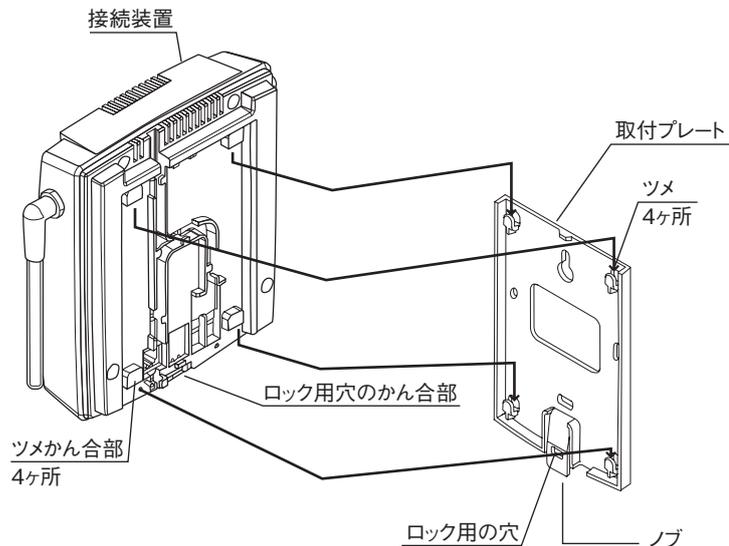
- ❗ 壁掛けとして設置する場合は、重さに耐える適正な取り付けをしてください。落下し、装置の破損ばかりでなく、けがの原因になります。
- ⊘ 油煙や湯気の当たる場所あるいは湿気やホコリの多い場所には設置しないでください。
- ⊘ 直射日光の当たる場所への設置はしないでください。
- ❗ 装置の通風孔をふさがないように、周囲スペースを充分確保してください。
- ⊘ 振動の多い場所や不安定な台の上などには設置しないでください。

### ▶ (3) DC600 電話機接続装置

- ①取付プレートを付属の木ネジ (4.1 × 25) 2本で下図のいずれかの寸法に従って壁に取り付けます。  
 ※主装置の付属品「データシート」内の「壁掛取付用紙」を使用して取り付けてください。  
 ※土壁、ボードなどへの取り付けは、接続装置が落下しやすいので注意してください。  
 ※電波を反射するような鉄、ステンレスなどの金属面に設置した場合、雑音が入ることがありますので、避けてください。



- ②下図の要領で接続装置を取付プレートに取り付けます。  
 ※接続装置のアンテナが天井などに当たらない位置に設置してください。



- ③取り外す場合は取付プレートのノブを押しながら接続装置を上へスライドさせます。

#### ⚠ 警告

- ⊘ プロパンガス・ガソリン等の引火性ガスが発生する場所には設置しないでください。

#### ⚠ 注意

- ❗ 壁掛けとして設置する場合は、重さに耐えうる適正な取り付けをしてください。落下し、装置の破損ばかりでなく、けがの原因になります。
- ⊘ 油煙や湯気の当たる場所あるいは湿気やホコリの多い場所には設置しないでください。
- ⊘ 直射日光の当たる場所への設置はしないでください。
- ❗ 装置の通風孔をふさがないように、周囲スペースを充分確保してください。
- ⊘ 振動の多い場所や不安定な台の上などには設置しないでください。

## ▶ (4) WS605 親機

### ① 付属のストッパ2個を木ネジ2本で壁に固定します。

※ 主装置の付属品「データシート」内にある「壁掛取付用紙」を使用して取り付けてください。

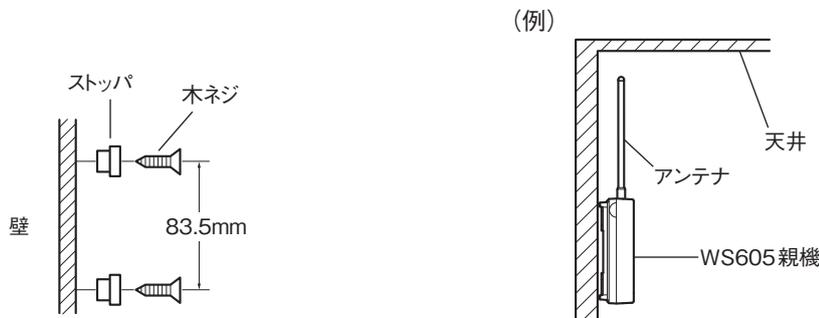
※ 土壁、ボードなどへの取り付けは、WS605 親機が落下しやすいので注意してください。

※ 電波を反射するような鉄、ステンレスなどの金属面には設置しないでください。

※ アンテナを立てた状態で天井などに当たらない位置に設置してください。

※ WS605 電話機には壁掛け用の木ネジは付属していません。

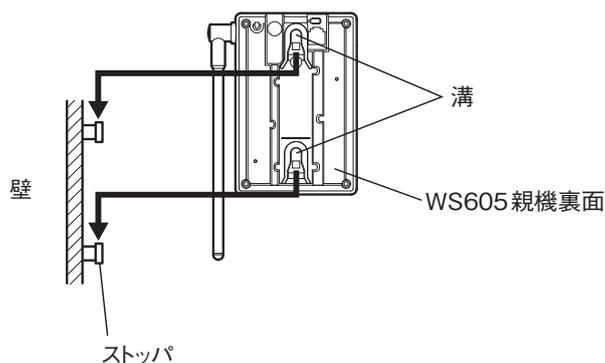
主装置付属の木ネジ (3.8 × 28) などを利用してください。



### ② WS605 親機裏面の溝をストッパにはめ込み、引き下げます。

※ アンテナの向きにより雑音が入る場合があります。その場合は、アンテナの向きを変えてください。

※ WS605 親機を外すときは、WS605 親機を引き上げます。



## ⚠ 警告

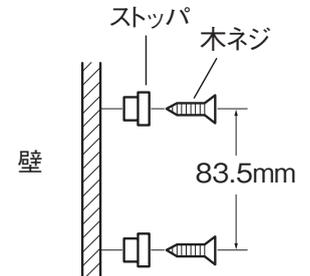
- ⊘ プロパンガス・ガソリン等の引火性ガスが発生する場所には設置しないでください。

## ⚠ 注意

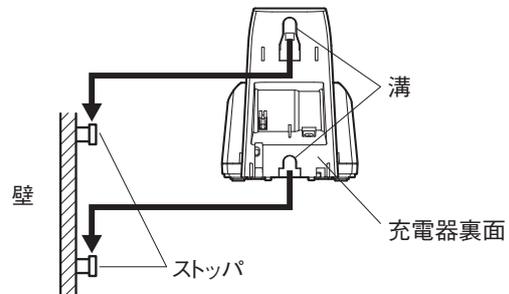
- ❗ 壁掛けとして設置する場合は、重さに耐えうる適正な取り付けをしてください。落下し、装置の破損ばかりでなく、けがの原因になります。
- ⊘ 油煙や湯気の当たる場所あるいは湿気やホコリの多い場所には設置しないでください。
- ⊘ 直射日光の当たる場所への設置はしないでください。
- ❗ 装置の通風孔をふさがないように、周囲スペースを充分確保してください。
- ⊘ 振動の多い場所や不安定な台の上などには設置しないでください。

## ▶ (5) 充電器 (WS605 子機用)

- ① 付属のストッパ2個を木ネジ2本で壁に固定します。  
※ 主装置の付属品「データシート」内にある「壁掛取付用紙」を使用して取り付けてください。  
※ 土壁、ボードなどへの取り付けは、充電器が落下しやすいので注意してください。  
※ WS605 電話機には壁掛け用の木ネジは付属していません。  
主装置付属の木ネジ (3.8 × 28) などを利用してください。



- ② 充電器裏面の溝をストッパにはめ込み、引き下げます。  
※ 充電器を外すときは、充電器を引き上げます。



### ⚠ 警告

- ⊘ プロパンガス・ガソリン等の引火性ガスが発生する場所には設置しないでください。

### ⚠ 注意

- ❗ 壁掛けとして設置する場合は、重さに耐えうる適正な取り付けをしてください。落下し、装置の破損ばかりでなく、けがの原因になります。
- ⊘ 油煙や湯気の当たる場所あるいは湿気やホコリの多い場所には設置しないでください。
- ⊘ 直射日光の当たる場所への設置はしないでください。
- ❗ 装置の通風孔をふさがないように、周囲スペースを充分確保してください。
- ⊘ 振動の多い場所や不安定な台の上などには設置しないでください。

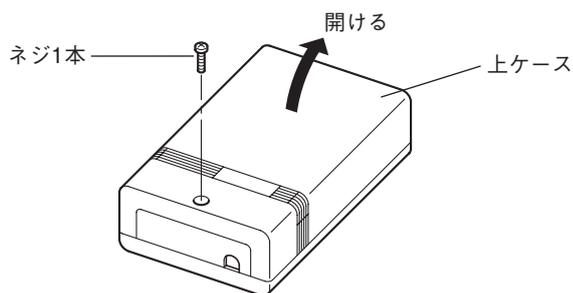
## 8 ドアホン・カラーテレビドアホンの工事

ドアホン（DR71）とカラーテレビドアホン（DR63C）を合わせて2台まで接続できます。  
ドアホンまたはカラーテレビドアホンが1台につきドアホンアダプタ（DA100）1台が必要です。

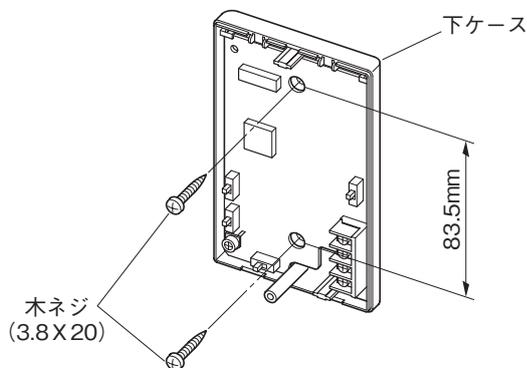
### 8-1 ドアホンアダプタの工事

#### ▶ ドアホンアダプタ（DA100）

①上ケースのネジ1本をはずし、上ケースを開けます。



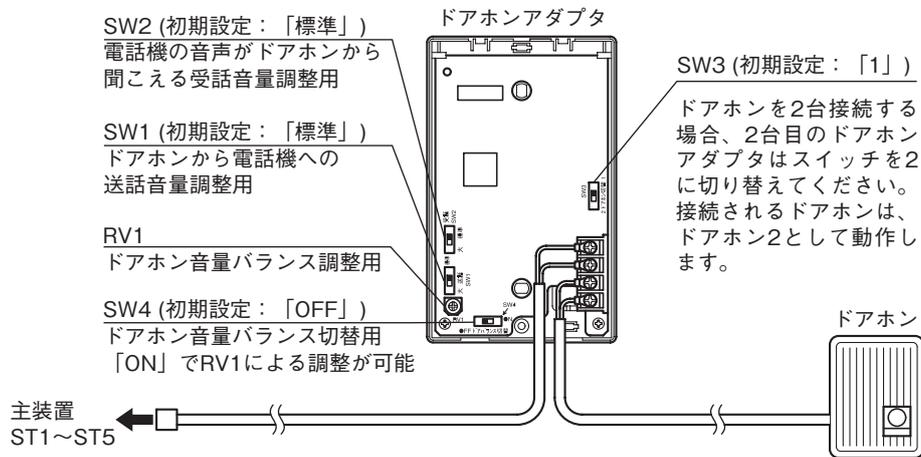
②下ケースを付属の木ネジ（3.8 X 20）2本で壁に固定します。



## 8 -2 ドアホンの工事

### ▶ (1) ドアホン (DR71) とドアホンアダプタ (DA100) との接続方法

ドアホンアダプタからドアホンまでの許容ループ抵抗は 20 Ω 以下です。

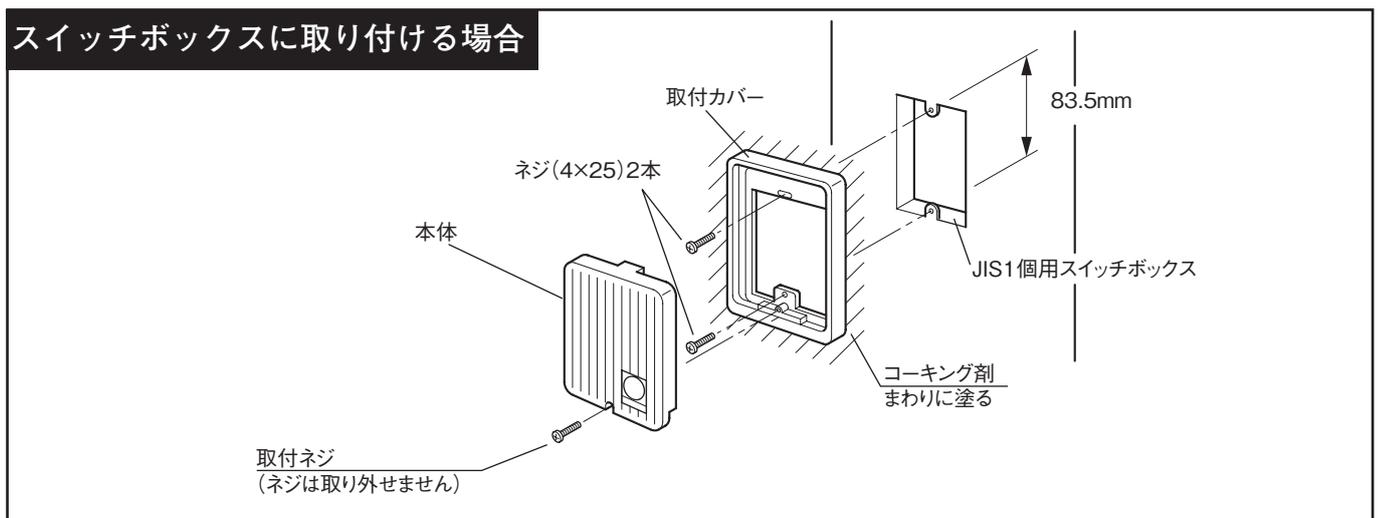


ドアホンアダプタの端子	各接続先
①	主装置の電話機接続用端子板 (ST1 ~ ST5)
②	
③	ドアホン
④	

### ▶ (2) ドアホン (DR71) の取り付け方法

※スイッチボックス以外でも壁、柱などに直接取り付けられます。

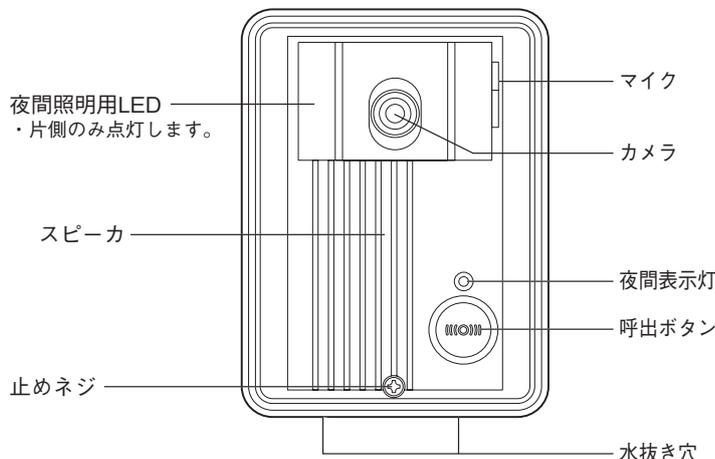
※直接、雨水がかかる場所にドアホンを取り付ける場合、下図のように取付カバーの縁のまわりにシリコンなどのコーキング剤（耐水用）を塗ってください。（故障の原因を防ぎます）



## 8-3 カラーテレビドアホンの工事

### ▶ (1) カラーテレビドアホン(DR63C)、カラーモニタユニット(TM-23) 各部の名称

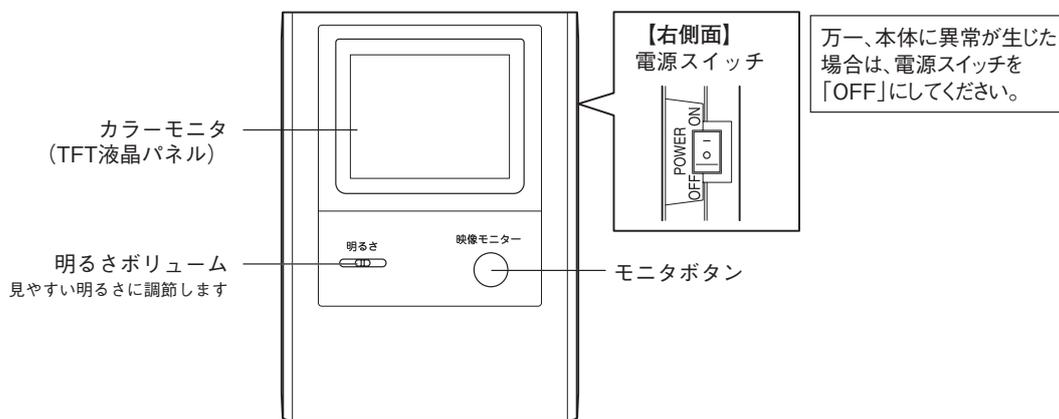
#### < カラーテレビドアホン (DR63C) >



#### 仕様

- ・電 源 : カラーモニタユニット (TM-23) から供給
- ・撮像素子 : 固体撮像素子 (CCD)
- ・夜間撮像 : 内蔵照明 (白色 LED)
- ・寸法 (mm) : 99 (幅) × 131 (高さ) × 40 (奥行)
- ・質 量 : 約 200g

#### < カラーモニタユニット (TM-23) >



#### 仕様

- ・電源電圧 : AC100V
- ・モ ニ タ : 4 型 TFT カラー液晶
- ・画 素 数 : 11 万画素
- ・形 状 : 壁取付形
- ・寸法 (mm) : 155 (幅) × 210 (高さ) × 50 (奥行)
- ・質 量 : 約 600g

#### ・映像表示時間

状 況	最大表示時間	映像の消し方
呼出後応答しない場合	約 45 秒間	・最大表示時間後自動
通話中の場合	通話開始後 2 分 30 秒間	・最大表示時間後自動 (モニタボタンを押すと再度表示) ・最大表示時間内は終話による
モニタ中の場合	モニタ開始後 2 分 30 秒間	・最大表示時間後自動 ・最大表示時間内はモニタボタンを押す

#### お願い

- カラーテレビドアホン (DR63C)、カラーモニタユニット (TM-23) の汚れは布、プラスチック用クリーナー、および中性洗剤で拭いてください。シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。表面を傷めたり、変質することがあります。

## ▶ (2) カラーテレビドアホン (DR63C) の設置

カラーモニタユニット (TM-23) と組み合わせて使用します。

**お願い**

- カラーテレビドアホンに内蔵されているカメラの性質上、外部の光や周囲環境によりテレビモニタの映り具合に影響を与えることがあります。下記のような場所へは設置しないでください。
  - 背景に空がよく映るマンションなどの階上にある玄関
  - 人物の背面が白いところ
  - 直接日光や強い光が当たるところ

- ・極端に寒い・暑い場所
- ・ゴミやほこりの多い場所
- ・浴室などの湿度の高い場所
- ・直接、湯気や油煙のあたる場所
- ・硫化水素の発生する場所 (温泉地)

- 夜間の映りをさらによくするため、照明の設置をおすすめします。

## ■ カラーテレビドアホンの設置高さ と 映像範囲

※設置の高さは、地面より 145cm の位置をおすすめします。

- カメラ前50cmで映る範囲  
約95cm (幅) × 約65cm (高さ)

映る範囲は目安であり、設置環境により変化する場合があります。

- 取り付け時カメラの角度を上下3段階に調節できます。カラーテレビドアホン裏面の角度調節スイッチで調節します。

- 上下方向—カメラ角度0°

角度調節スイッチは「中央」のまま (出荷時設定)

- 上下方向—カメラ角度16°

角度調節スイッチは「上側」

- 上下方向—カメラ角度-6° : 段差などで高くなる場合

角度調節スイッチは「下側」

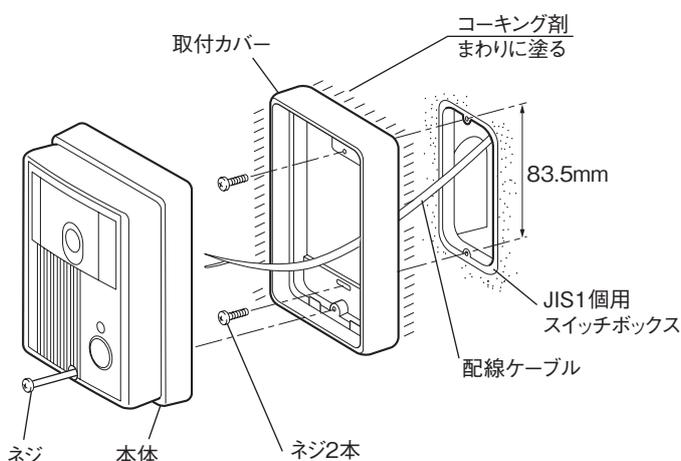
## ■取り付け方法

※スイッチボックス以外でも壁、柱などに直接取り付けられます。

※直接、雨水がかかる場所にカラーテレビドアホンを取り付ける場合、下図のように取付カバーの縁のまわりにシリコンなどのコーキング剤（耐水性）を塗ってください。（故障の原因を防ぎます）ただし、取付カバー下部の水抜き穴、入線口はふさがらないでください。

### スイッチボックスに取り付ける場合

- ① ⊕ドライバーで本体の止めネジをゆるめ、取付カバーを外します。
- ② 取付カバーを付属のネジ2本でスイッチボックスに取り付けます。
- ③ 配線ケーブルを本体のA1、A2端子に接続後、本体をネジで取付カバーに固定します。



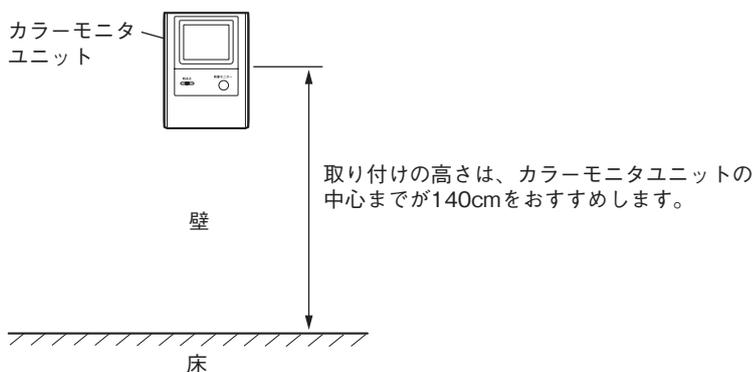
お願い

- 交流電源が50Hz地区では、蛍光灯の光がカメラに入ると映像にチラツキがでることがあります。蛍光灯の光をさえぎるか、インバータ蛍光灯を使用するなどしてチラツキを防止してください。

## ▶ (3) カラーモニタユニット (TM-23) の設置

カラーテレビドアホン (DR63C) と組み合わせて使用します。

### ■設置位置について



### ■設置上のご注意

- 次のような場所へは設置しないでください。故障の原因となります。

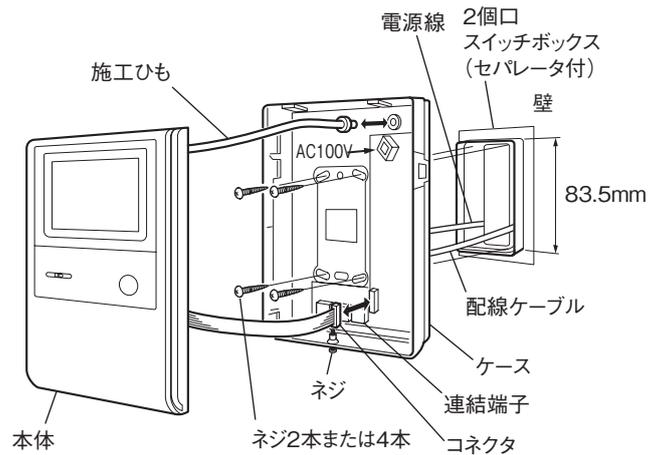
- ① 温度が上昇する場所……直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど。
- ② 霜が付着する場所……製氷倉庫など。
- ③ 高温、湯気、水、鉄粉、薬品などが発生またはかかる恐れのある場所など。
- ④ テレビ、ラジオなどから1m以内の場所。

## ■取り付け方法

### スイッチボックスを使用する場合の手順

※スイッチボックスは、JIS1 個用スイッチボックスか JIS2 個用スイッチボックス・四角アウトレットボックス（スイッチカバー付）を用い、必ず電源線と配線ケーブルの間にセパレータを設けてください。

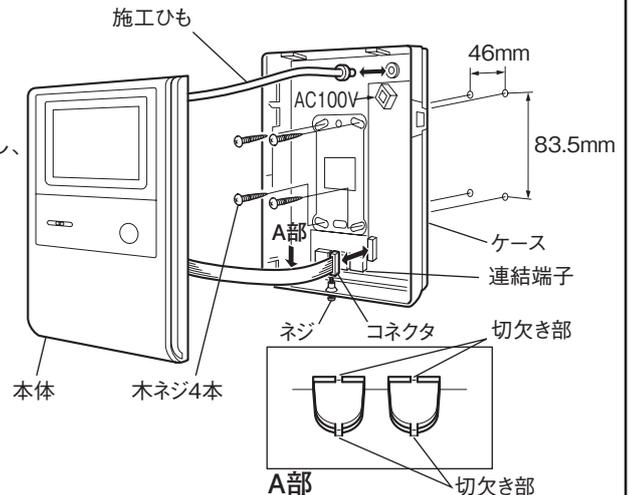
- ① ケース下面のネジ 1 本を外します。
- ② 本体下部を持ち上げて、本体をケースから外します。
- ③ 本体とケース間のコネクタを外します。
- ④ 施工ひもを外します。
- ⑤ ケースを付属のネジ 2 本または 4 本でスイッチボックスに取り付けます。
- ⑥ 各配線を連結端子などに接続し、コネクタを差し込みます。
- ⑦ 施工ひもをはめます。
- ⑧ 本体をケースに組み込み、ケース下面のネジ 1 本で固定します。



### 露出配線する場合の手順

※土壁、ボードなどへの取り付けは、落下する恐れがあるので注意してください。  
 ※ケース下部（A部）の切欠き部（2ヶ所）をニッパなどで切断し、配線ケーブルを通して配線してください。  
 ※電源線と配線ケーブルは、別々の切欠き部を通してください。

- ① ケース下面のネジ 1 本を外します。
- ② 本体下部を持ち上げて、本体をケースから外します。
- ③ 本体とケース間のコネクタを外します。
- ④ 施工ひもを外します。
- ⑤ ケース下部（A部）の切欠き部（2ヶ所）をニッパなどで切断します。
- ⑥ ケースを付属の木ネジ 4 本で壁に取り付けます。
- ⑦ 各配線を連結端子などに接続し、コネクタを差し込みます。
- ⑧ 施工ひもをはめます。
- ⑨ 本体をケースに組み込み、ケース下面のネジ 1 本で固定します。



## ⚠ 警告

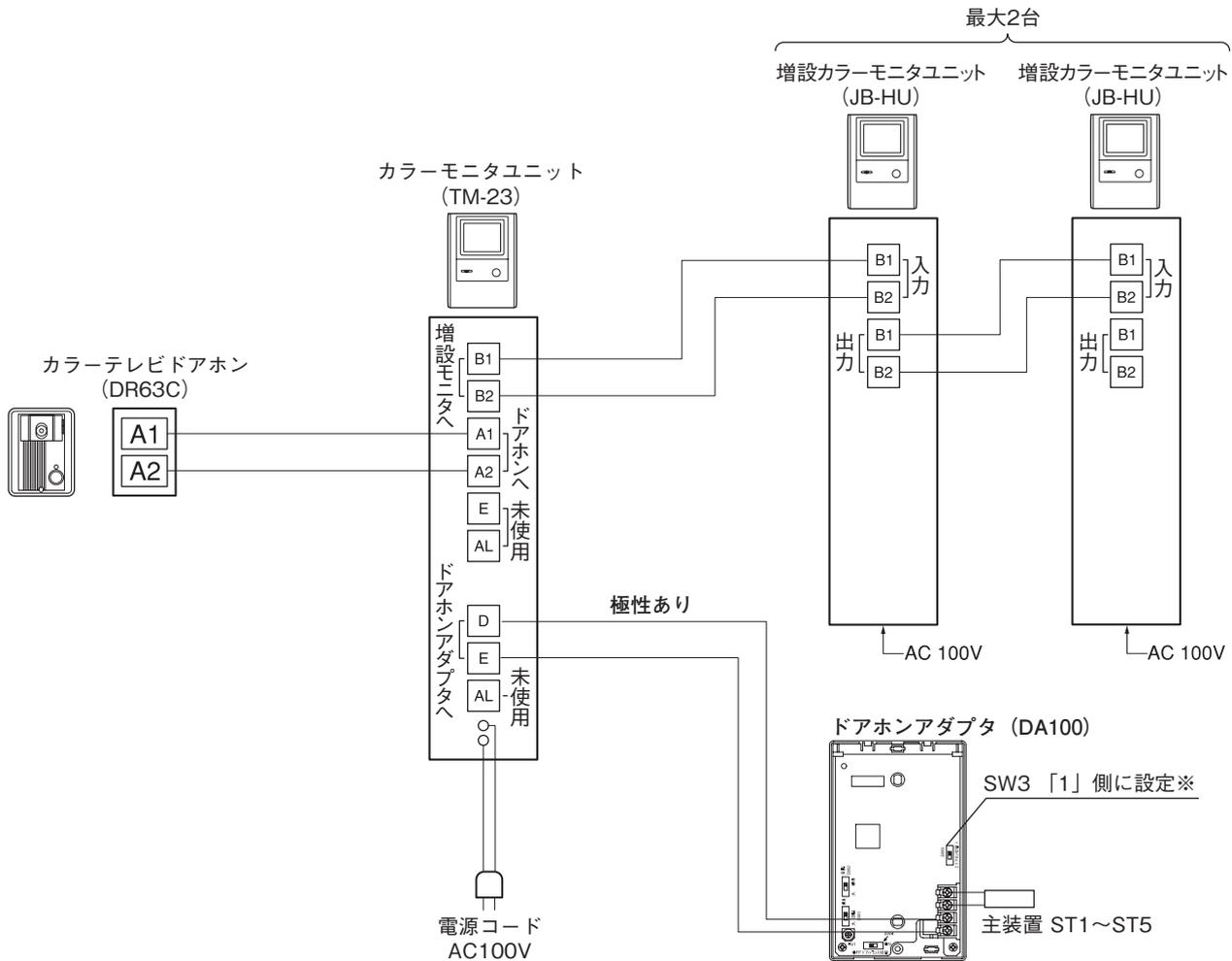
- ⊘ プロパンガス・ガソリン等の引火性ガスが発生する場所には設置しないでください。

## ⚠ 注意

- ❗ 壁掛けとして設置する場合は、重さに耐えうる適正な取り付けをしてください。落下し、装置の破損ばかりでなく、けがの原因になります。
- ⊘ 油煙や湯気の当たる場所あるいは湿気やホコリの多い場所には設置しないでください。
- ⊘ 直射日光の当たる場所への設置はしないでください。
- ❗ 装置の通風孔をふさがないように、周囲スペースを充分確保してください。
- ⊘ 振動の多い場所や不安定な台の上などには設置しないでください。

## ▶ (4) カラーテレビドアホン (DR63C)、カラーモニタユニット (TM-23)、ドアホンアダプタ (DA100) の接続方法

- カラーテレビドアホン (DR63C) 1台、カラーモニタユニット (TM-23) 1台、ドアホンアダプタ (DA100) 1台の組合せで接続できます。
- カラーモニタユニット (TM-23) を増設するときは、アイホン株式会社製の増設カラーモニタユニット (JB-HU) を使用してください。
- カラーテレビドアホン (DR63C) を2台接続する場合は、もう1台カラーモニタユニット (TM-23) が必要となります。



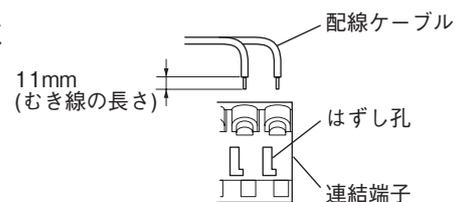
※ドアホン1の場合です。  
 ドアホン2の場合はSW3を「2」側に設定してください。

ドアホンアダプタの端子	各接続先	
①	主装置の電話機接続用端子板 (ST1 ~ ST5)	
②		
③ (+)	D	カラーモニタユニット
④ (-)	E	

配線距離	接続条件
	● 「ドアホンアダプタ (DA100)」と「カラーモニタユニット (TM-23)」間
	▶ 2芯ケーブル
	▶ φ 0.65mm ケーブルで 45m 以下、φ 0.9mm ケーブルで 90m 以下
	● 「カラーモニタユニット (TM-23)」と「カラーテレビドアホン (DR63C)」間
	▶ 2芯ケーブル
	▶ φ 0.65mm ケーブルで 50m 以下、φ 0.9mm ケーブルで 100m 以下
	● 「カラーモニタユニット (TM-23)」と「増設カラーモニタユニット (JB-HU)」間
	▶ 2芯ケーブル
	▶ φ 0.65mm ケーブルで最遠 50m 以下、φ 0.9mm ケーブルで最遠 100m 以下

## ■カラーモニタユニット (TM-23) 接続上のご注意

- 連結端子について  
連結端子は、差し込み式となっています。配線ケーブルを差し込み、または抜く場合には、「はずし孔」を押しながら行ってください。
- 配線ケーブルを強電線 (AC100V、AC200V) と並行して配線する場合は、30cm 以上離してください。  
近接して配線すると、ノイズや誤動作の発生原因となります。
- カラーテレビドアホン (DR63C)、増設カラーモニタユニット (JB-HU) との配線は、2 芯の平行ケーブルを使用してください。(4 芯ケーブル、多対ケーブルは使用しないでください。誤動作などの原因となります)
- ドアホンアダプタ (DA100) との許容ループ抵抗は 5  $\Omega$  以下です。



## ■カラーテレビドアホン (DR63C) 接続後の確認

- 連夜間照明用 LED の確認について  
DR63C の周辺を暗くして夜間照明用 LED がドアホンを終話するまで点灯していることを確認してください。

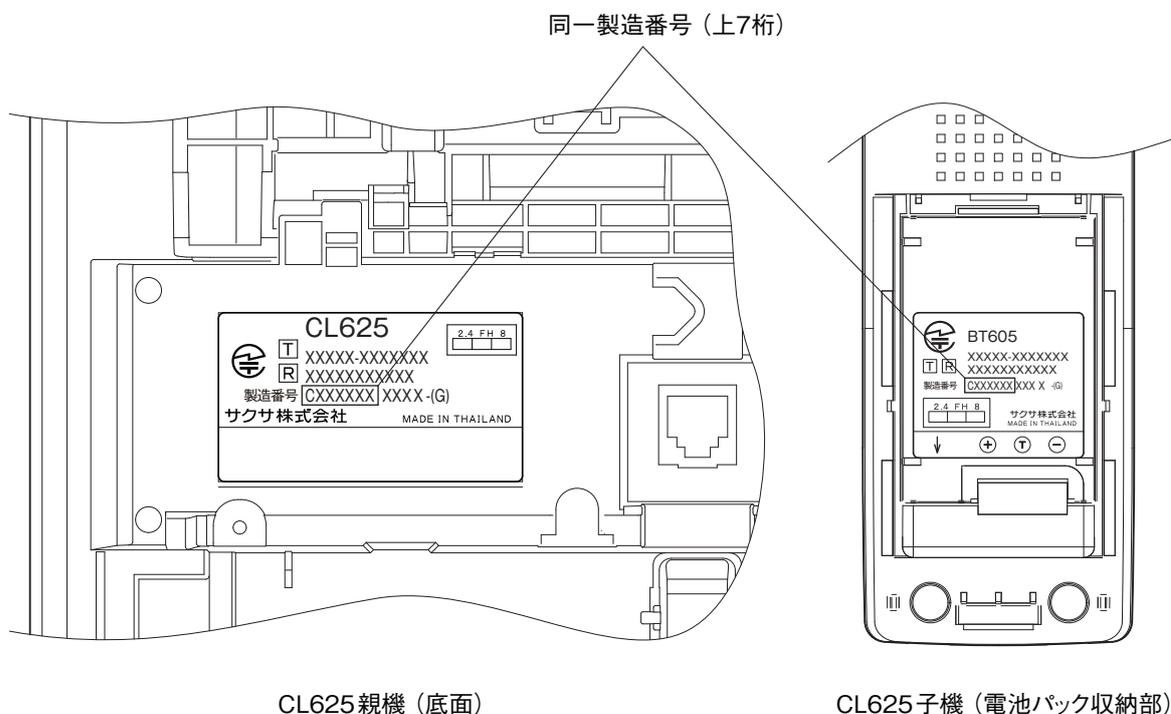
## 9 CL625 電話機の接続

- CL625 電話機は、親機と子機の構成です。
- CL625 電話機は、主装置上の電話機接続用端子板に接続された電話機コードを、CL625 親機に接続するだけで使用できます。
- CL625 電話機をご購入後、初めてお使いになるときは、電池パックを CL625 子機にはめ込み、CL625 親機または WS605 充電器で約 8 時間以上充電してください。  
※ 電池パック（型名：BP3711L-A）は付属品です。
- CL625 電話機は最大 4 台まで接続できます。（WS605 電話機と合わせて 5 台まで）
- CL625 子機を別の CL625 親機に置くと、注意音「ピッ」が 2 秒間隔でなりますが故障ではありません。CL625 子機を同一製造番号の CL625 親機に置いてください。

### 電話機コードを接続する前に

- ▶ CL625 親機と CL625 子機の組み合わせは、下図のように製造番号（上 7 桁）が同じものを必ず使用してください。

同梱の CL 親機と CL 子機は、製造番号（上 7 桁）が同じです

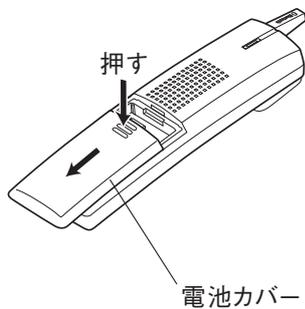


お願い

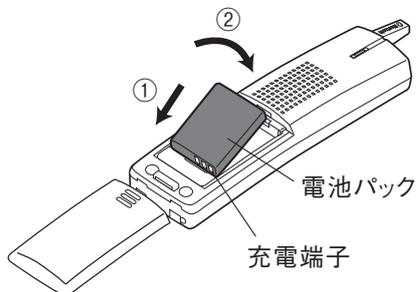
- CL625 子機の電池残量が少ない場合、要充電警報音「プー（10 秒毎）」が鳴り使用できません。この場合は、CL625 親機、または WS605 充電器に置いて充電するか、充電されている他の CL625 子機、または WS605 子機の電池と交換して発着信の確認を行ってください。

## 電池パックの取り付けかた

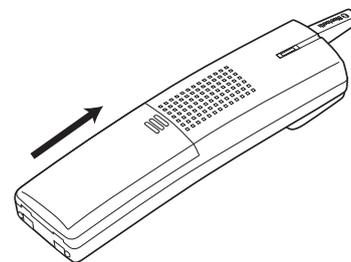
(1) CL625 子機の電池カバーを押しながらスライドさせて電池カバーを取り外します。



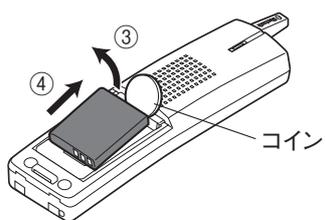
(2) 電池パックのラベル面を上にして、①方向に差し込みながら②方向にはめこみます。  
※ CL625 子機と電池パックの充電端子が接触します。



(3) 「カチッ」音がするまで電池カバーを押し込みます。



※電池パックを取り外すときは電池パックを③方向にコインで持ち上げながら、④方向に取り外します。(下図参照)



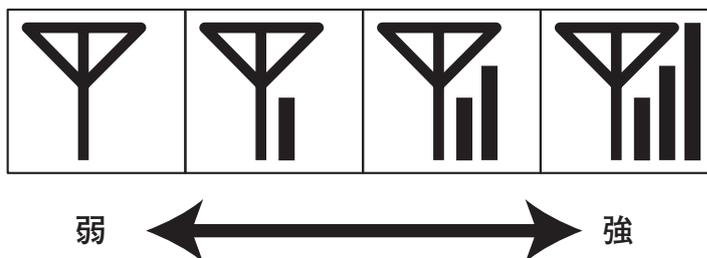
## 充電のしかた



- ・ CL625 子機を充電する場合には、ダイヤル面を裏にして CL625 親機に置いてください。
- ・ CL625 子機を CL625 親機に置いている時、CL625 子機充電中は着信ランプが赤点灯します。
- ・ 満充電になると CL625 子機の着信ランプは緑点灯に変わります。

## 電波強度

CL625 子機は、CL625 親機からの電波状態を 4 段階で表します。  
※電話をかける前に電波の強さを確認してください。



(強)…………… 受信状態が良好です。

(弱)…………… 電話がかかりにくくなったり、通話が切れることがあります。

(電波状態の良い場所へ移動してください)

(圏外)…………… 電話をかけることも受けることもできません。

※ 圏外に近づくと、警報音「ピーピーピー・・・」が鳴り、圏外ピクトが点滅します。

圏外にでると、圏外ピクトが点灯し、通話が切れます。

## 電話機の工事設定

次の場合は CL625 子機で RF 制御設定をしてください。

- ・ 電波干渉により CL625 電話機にノイズが入る場合
- ・ CL625 子機待機中に省電力モードで使用する場合

### (1) 電波干渉により CL625 電話機にノイズが入る場合 (AFH 使用 CH 設定)

無線 LAN や他の Bluetooth 利用機器を使用の場合、電波干渉により CL625 電話機にノイズが入るときには、以下のように使用チャンネルを分割することができます。

- ① CL625 子機で、**通話** と **確定** ボタンを同時に押しながら、電池パックをはめ込みます。

◇ RF 制御設定
1 : AFH 使用 CH
2 : SNIFF 設定

- ② **確定** ボタンを押します。(初期値 : 0-78CH)

◇ AFH 使用 CH 設定
[0-78CH]

- ③ **上** ボタンを操作し、AFH 使用 CH を選択します。

【分割上位チャンネル選択時】 : [0-39CH]  
【分割下位チャンネル選択時】 : [40-78CH]

表示例

◇ AFH 使用 CH 設定
[0-39CH]

- ④ **確定** ボタンを押し、AFH 使用 CH を決定します。

◇ RF 制御設定
1 : AFH 使用 CH
2 : SNIFF 設定

- ⑤ 本設定モードを抜ける場合には、電池パックを取り外し、再度、電池パックをはめ込むことで運用モードに切り換えます。

## (2) CL625 子機待機中に省電力モードで使用する場合 (SNIFF 設定)

- ① CL625 子機で、**通話** と **確定** ボタンを同時に押しながら、電池パックをはめ込みます。

◇ RF 制御設定
1 : AFH 使用 CH
2 : SNIFF 設定

- ② **Q** ボタンを押します。

◇ RF 制御設定
1 : AFH 使用 CH
2 : SNIFF 設定

- ③ **確定** ボタンを押します。(初期値：無効)

◇ SNIFF 設定
[無効]
[有効]

- ④ **Q** ボタンを操作し、SNIFF 設定の [有効] を選択します。

◇ SNIFF 設定
[無効]
[有効]

- ⑤ **確定** ボタンを押し、SNIFF 設定を決定します。

◇ RF 制御設定
1 : AFH 使用 CH
2 : SNIFF 設定

- ⑥ 本設定モードを抜ける場合には、電池パックを取り外し、再度、電池パックをはめ込むことで運用モードに切り替えます。

### ご注意

- SNIFF 設定により、連続待機時間が以下の通りに異なります。  
有効：約 48 時間  
無効：約 24 時間
- SNIFF 設定を [有効] にした場合には、子機側の通話開始が遅れることがあります。

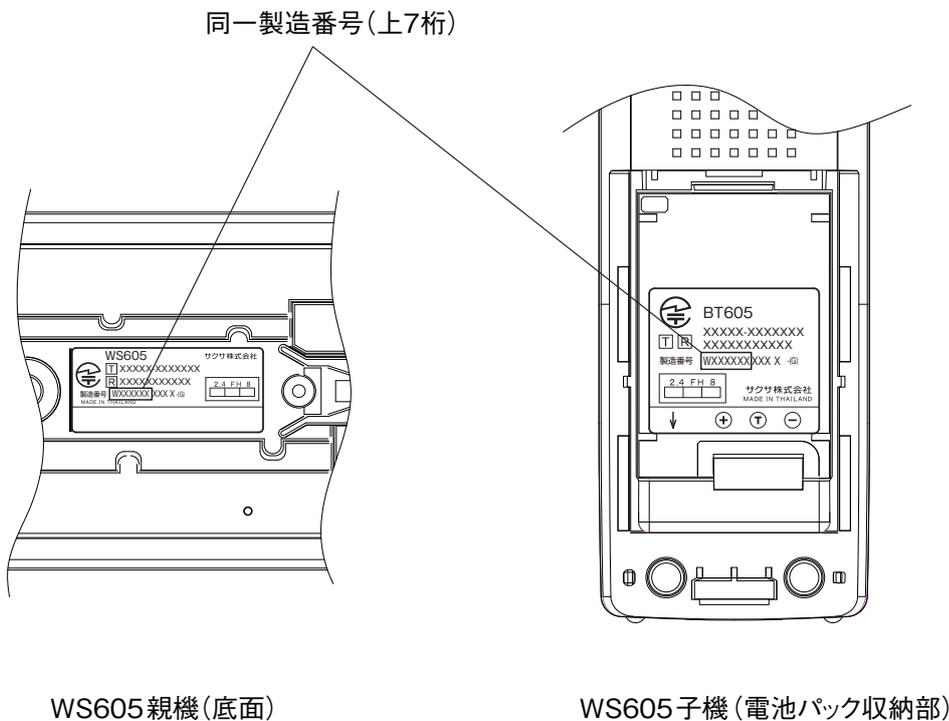
## 10 WS605 電話機の接続

- WS605 電話機は、親機と子機と充電器の構成です。
- WS605 電話機は、主装置上の電話機接続用端子板に接続された電話機コードを、WS605 親機に接続するだけで使用できます。
- WS605 電話機をご購入後、初めてお使いになるときは、電池パックを WS605 子機にはめ込み、WS605 充電器で約 8 時間以上充電してください。  
※電池パック (BP3711L-A)、AC アダプタ (SS-920L) は付属品です。
- WS605 電話機は、最大 4 台まで接続できます。(CL625 電話機と合わせて 5 台まで)

### 電話機コードを接続する前に

- ▶ WS605 親機と WS605 子機の組み合わせは、下図のように製造番号 (上 7 桁) が同じものを必ず使用してください。

同梱の WS605 親機と WS605 子機は、製造番号 (上 7 桁) が同じです

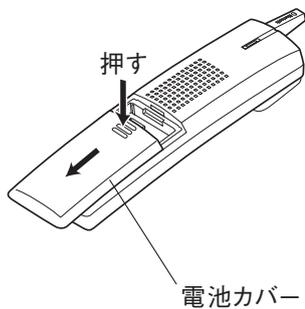


### 注意

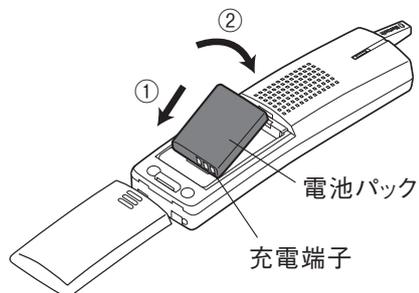
- WS605 子機の電池残量が少ない場合、要充電警報音「プープー (10 秒毎)」が鳴り使用できません。この場合は、WS605 充電器に置いて充電するか、または充電されている他の CL625 子機、または WS605 子機の電池と交換して発着信の確認を行ってください。

## 電池パックの取り付けかた

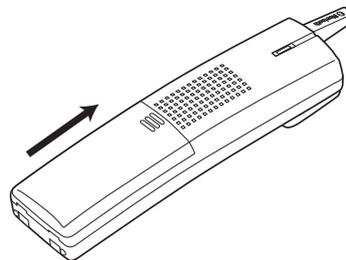
(1) WS605 子機の電池カバーを  
押しながらスライドさせて  
電池カバーを取り外します。



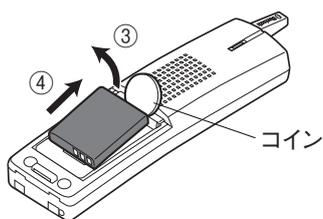
(2) 電池パックのラベル面を上にして、①方向  
に差し込みながら②方向にはめこみます。  
※ WS605 子機と電池パックの充電端子が接触  
します。



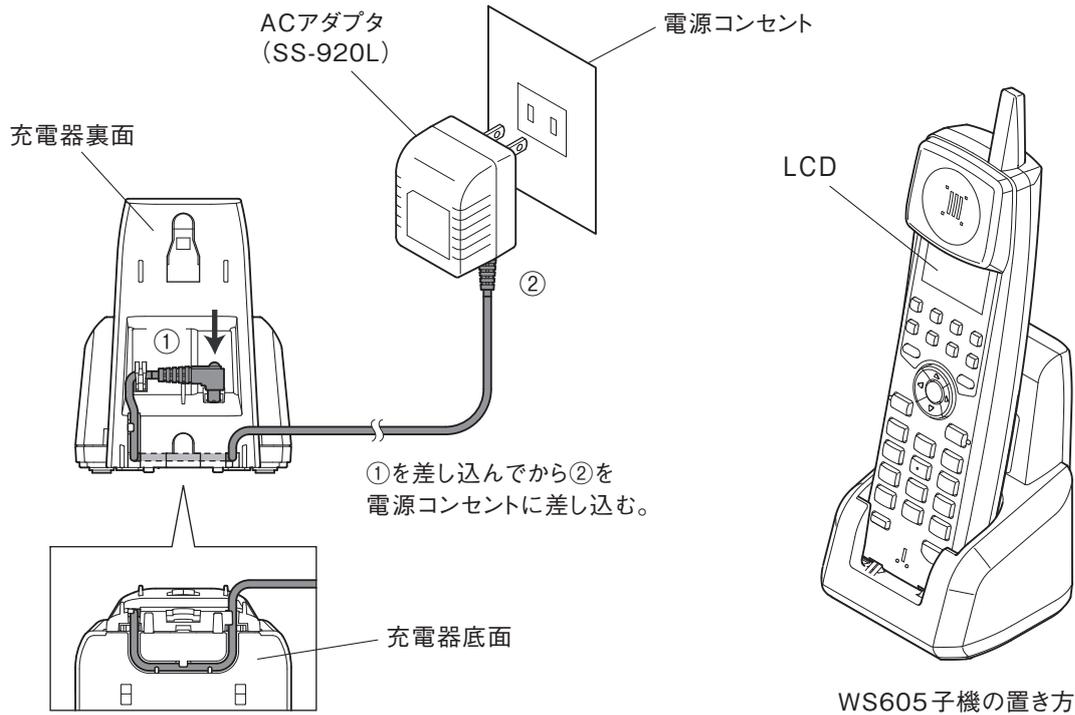
(3) 「カチッ」音がするまで  
電池カバーを押し込みます。



※電池パックを取り外すときは電池パックを③方向にコインで持ち上げながら、④方向に取り外します。(下図参照)



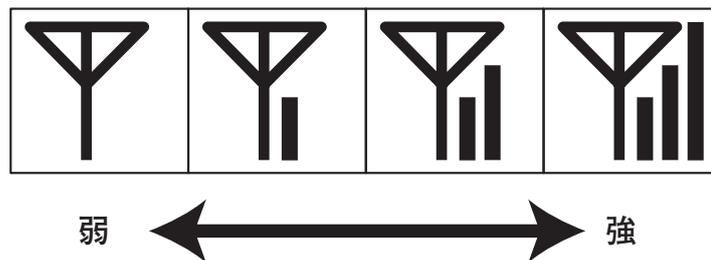
## 充電のしかた



- ・ WS605 子機を充電する場合には、ダイヤル面を表にして充電器に置いてください。
- ・ WS605 子機の充電中は、LCD に《充電中》を表示し、着信ランプが赤点灯します。
- ・ 満充電になると WS605 子機の LCD は《満充電》表示に切り替わり、着信ランプが緑点灯に変わります。

## 電波強度

WS605 子機は、WS605 親機からの電波状態を 4 段階で表します。  
※電話をかける前に電波の強さを確認してください。



(強)…………… 受信状態が良好です。

(弱)…………… 電話がかかりにくくなったり、通話が切れることがあります。  
(電波状態の良い場所へ移動してください)

(圏外)…………… 電話をかけることも受けることもできません。

※ 圏外に近づくと、警報音「ピーピーピー・・・」が鳴り、圏外ピクトが点滅します。  
圏外にでると、圏外ピクトが点灯し、通話が切れます。

## 電話機の工事設定

次の場合は WS605 子機で RF 制御設定をしてください。

- ・ 電波干渉により WS605 電話機にノイズが入る場合
- ・ WS605 子機待機中に省電力モードで使用する場合

### (1) 電波干渉により WS605 電話機にノイズが入る場合 (AFH 使用 CH 設定)

無線 LAN や他の Bluetooth 利用機器を使用の場合、電波干渉により WS605 電話機にノイズが入るときには、以下のよう  
に使用チャンネルを分割することができます。

- ① WS605 子機で、**通話** と **確定** ボタンを同時に押しながら、  
電池パックをはめ込みます。



- ② **確定** ボタンを押します。(初期値 : 0-78CH)



- ③ **ダイヤル** ボタンを操作し、AFH 使用 CH を選択します。

【分割上位チャンネル選択時】 : [0-39CH]  
【分割下位チャンネル選択時】 : [40-78CH]

表示例



- ④ **確定** ボタンを押し、AFH 使用 CH を決定します。



- ⑤ 本設定モードを抜ける場合には、電池パックを取り外し、  
再度、電池パックをはめ込むことで運用モードに切り替えます。

## (2) WS605 子機待機中に省電力モードで使用する場合 (SNIFF 設定)

- ① WS605 子機で、**通話** と **確定** ボタンを同時に押しながら、電池パックをはめ込みます。

◇ RF 制御設定
1 : AFH 使用 CH
2 : SNIFF 設定

- ② **Q** ボタンを押します。

◇ RF 制御設定
1 : AFH 使用 CH
2 : SNIFF 設定

- ③ **確定** ボタンを押します。(初期値：無効)

◇ SNIFF 設定
[無効]
[有効]

- ④ **Q** ボタンを操作し、SNIFF 設定の [有効] を選択します。

◇ SNIFF 設定
[無効]
[有効]

- ⑤ **確定** ボタンを押し、SNIFF 設定を決定します。

◇ RF 制御設定
1 : AFH 使用 CH
2 : SNIFF 設定

- ⑥ 本設定モードを抜ける場合には、電池パックを取り外し、再度、電池パックをはめ込むことで運用モードに切り換えます。

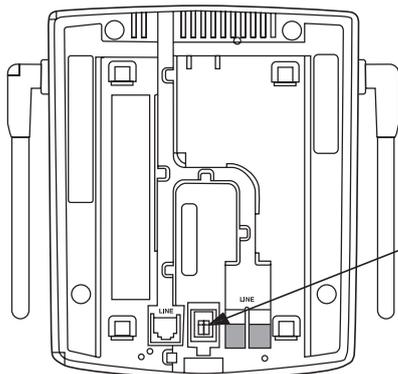
### 注意

1. SNIFF 設定により、連続待機時間が以下の通りに異なります。  
有効：約 48 時間  
無効：約 24 時間
2. SNIFF 設定を [有効] にした場合には、子機側の通話開始が遅れることがあります。

- DC600 電話機は、主装置上の電話機接続用端子板に接続された電話機コードを、接続装置に接続するだけで使用できます。
- DC600 電話機をご購入後、初めてお使いになるときは、電池パックを接続し、約3時間以上充電してください。  
※ 電池パック (BP3772L-A)、AC アダプタ (A50-007604) は付属品です。
- DC600 は最大4台接続できます。
- 接続装置と DC600 子機の組み合わせは、下図のように製造番号 (上6桁) が同じ物を必ず使用してください。

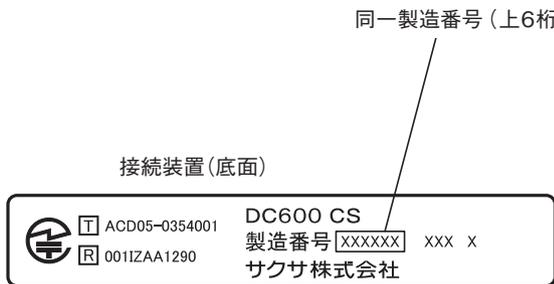
## ディップスイッチの設定

接続装置背面

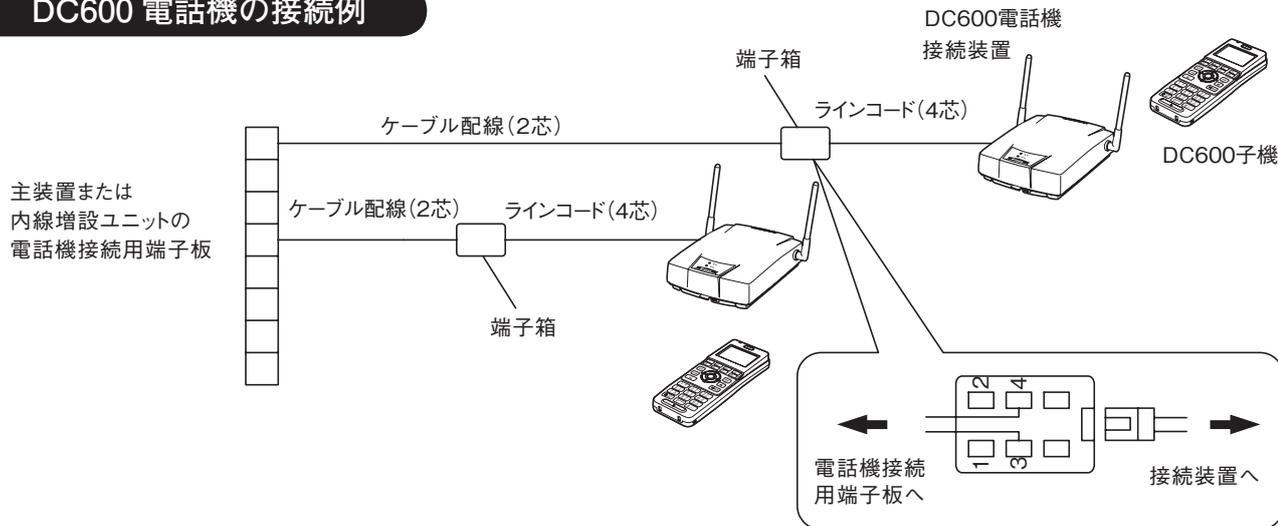


ディップスイッチ  
出荷時の設定のままご使用下さい。  
出荷時：1=ON ,2=OFF

## 製造番号 (親機) の確認



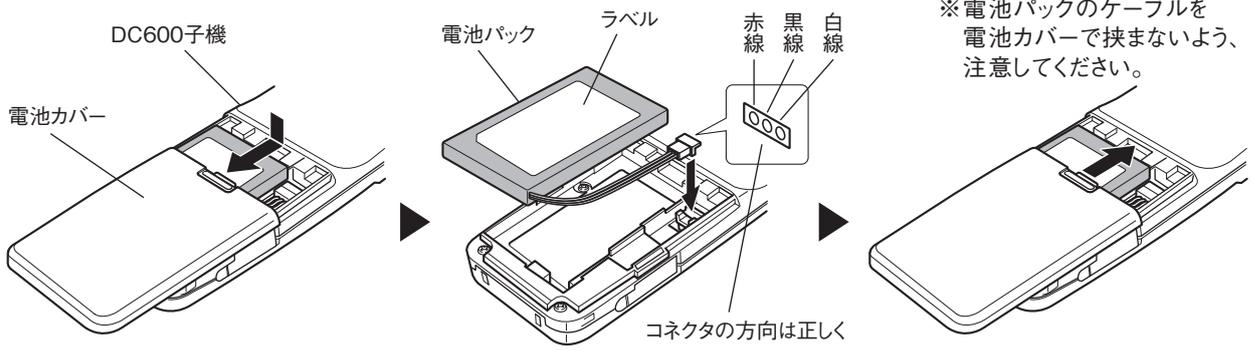
## DC600 電話機の接続例



## ご注意

- DC600 子機の電池残量が少ない場合、要充電警報音「ピーッ ピーッ (30秒毎)」が鳴り使用できません。この場合は、充電器に置いて充電するか、または充電されている他の DC600 子機の電池と交換して発着信の確認を行ってください。

## 電池パックの取り付けかた



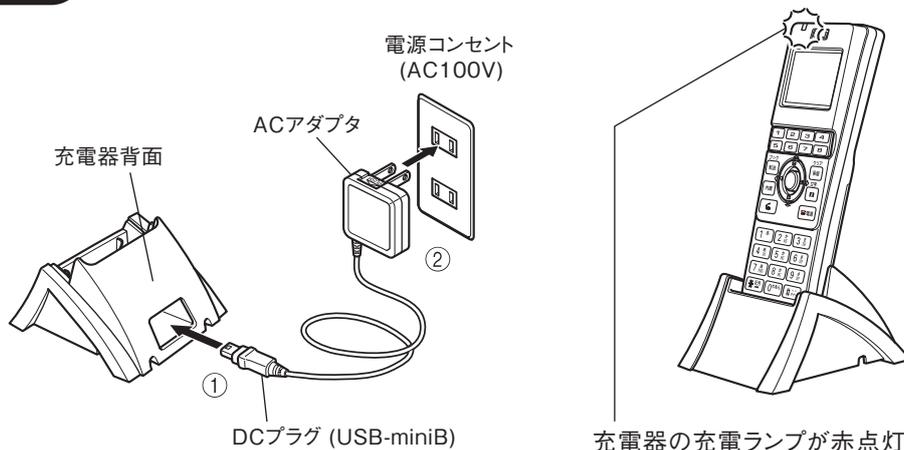
(1) 電池カバーを押しながら  
スライドさせて取り外す

(2) ラベルを上面にして電池パックを  
差し込む  
コネクタの方向は正しく

(3) 電池カバーを取り付ける

※電池パックのケーブルを  
電池カバーで挟まないよう、  
注意してください。

## 充電のしかた



- ①を差し込んでから
- ②を電源コンセント(AC100V)に差し込む。

充電器の充電ランプが赤点灯すると  
充電を開始します。

※充電時間は約3時間です。  
満充電になると自動的に充電を停止して  
充電ランプが緑に変わります。

## ⚠ 注意

- ❗ 充電器には添付の専用 AC アダプタを使用してください。
- 🚫 充電器は直射日光の当たる場所や熱器具の近くでのご使用は避けてください。
- ❗ 周囲温度 5℃～35℃の範囲内でご使用ください。
- AC アダプタの DC プラグ (USB-miniB) を直接電話機の通信コネクタに差し込むことで電池パックの充電が可能です。
- PC と USB ケーブルで接続することで電池パックの充電が可能です。

## 12 セーフティ機能

● CL625 電話機の人感センサは、ご利用になれません。

### (1) TD615、TD625 電話機設置について

本装置は盗難防止器・災害防止器ではありません。万一発生した盗難事故・人身事故・災害事故および機器のご使用方法の誤り、保守点検の不備、天災地変（誘導雷サージ含む）などによる事故損害については責任を負いかねますのでご了承ください。

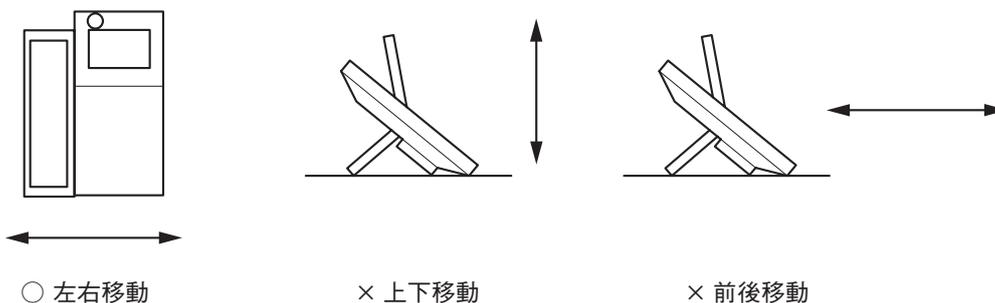
#### ■ 人感センサ検知の注意事項

《人体以外の熱源などを検知する場合》

- ・ 犬、猫や小動物が検知範囲に入った場合
- ・ 太陽光、自動車のヘッドライト、白熱灯などの赤外線が人感センサに直射する場合
- ・ 冷暖房機器の温風、冷風や加湿器の水蒸気などにより、検知範囲の温度が急激に変化した場合
- ・ 検知範囲にある FAX・コピー機が動作した場合
- ・ 強い振動がある場所
- ・ 強い電磁波がある場所

《熱源を検知しにくい場合》

- ・ 人感センサ正面に対して左右の横切りを検知するような仕組みのため、上下の横切りや正面からの前後移動については検知できないことがあります



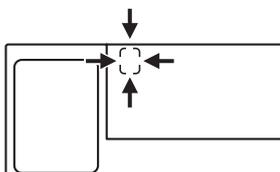
- ・ 周囲環境温度と人体表面温度の差が小さい場合（4℃未満）
- ・ ガラスやアクリルなど赤外線を透過しにくい物体が人感センサと目標の間にある場合
- ・ 検知範囲内の熱源がほとんど動かない場合
- ・ 検知範囲内の熱源が高速で移動する場合

《検知エリアが大きくなる場合》

- ・ 周囲環境温度と人体表面温度の差が大きい場合（約 20℃）、指定した検知範囲以外でも検知するエリアが存在することがあります

《防塵カバーを使用する場合》

- ・ 防塵カバーを使用する場合は、ご使用前に防塵カバーのセンサ部を切り取りご使用ください。（切り取らない場合、センサの仕組み上検知することができません。）



■ 人感センサについて

《センサ種類》

人感センサは、自然界のものから放射されている赤外線をとらえ、その温度変化を検出する焦電型赤外線センサです。

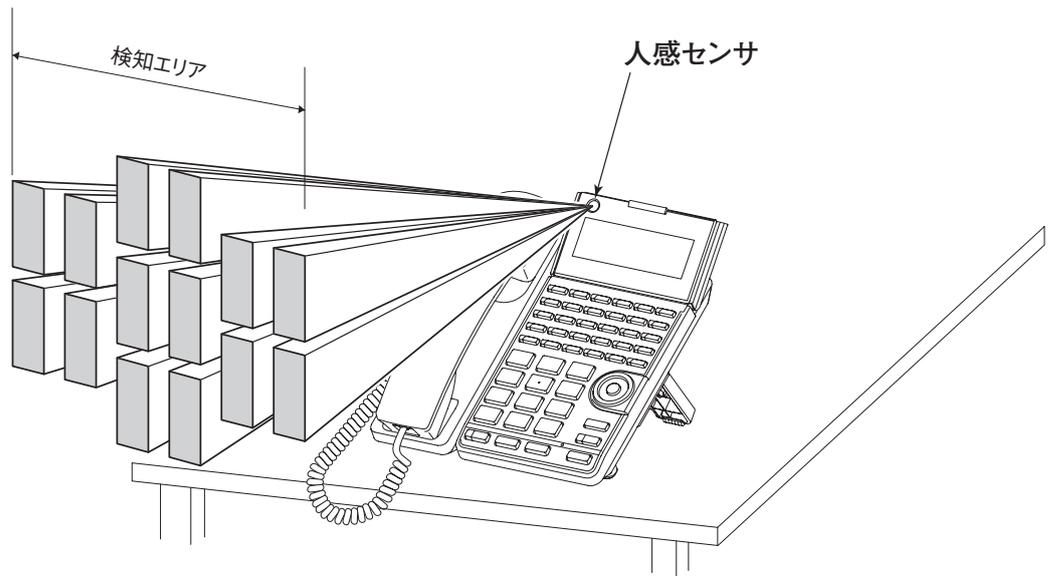
《センサ検知能力》

項目	能力値
有効検知距離	強：4m 以下 弱：2m 以下
検知範囲	縦：最大 60° 横：最大 53°
検知方式	焦電型
検知エリア数	14 本
検知動作速度	1m/s
検知温度差	4°C以上

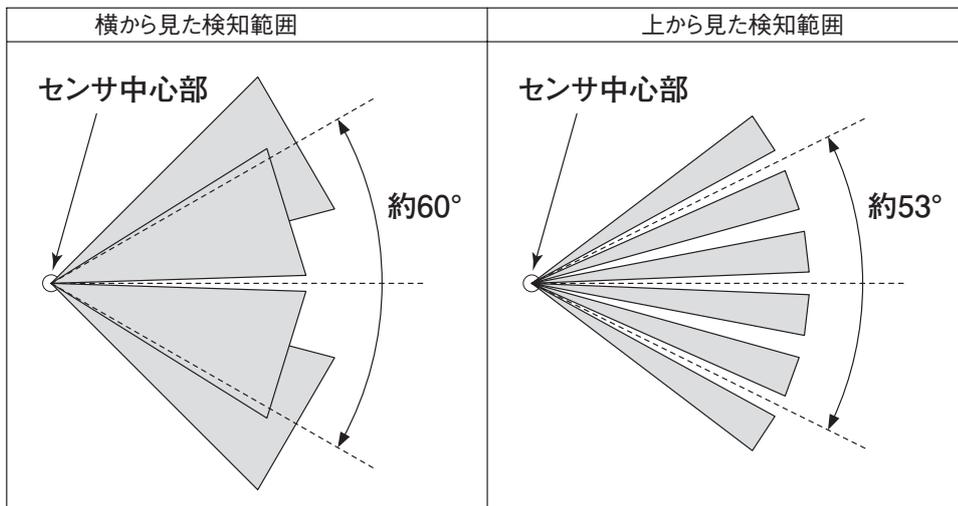
■ 人感センサの検知範囲

センサ検知範囲は、レンズ表面を起点として、パネル面に対して垂直に放射状に広がります。そのため、表示面が侵入者検知をしたいエリアの方向を向くように設置する必要があります。表示面が天井や床を向いていたりすると侵入者を検知することができません。卓上で使用する場合は高角度スタンドと表示面を立て、壁掛けの場合は表示面に水平方向を向かせることをお奨めします。また、検知範囲内でも検知できない場合がありますので注意してください。

イメージ図



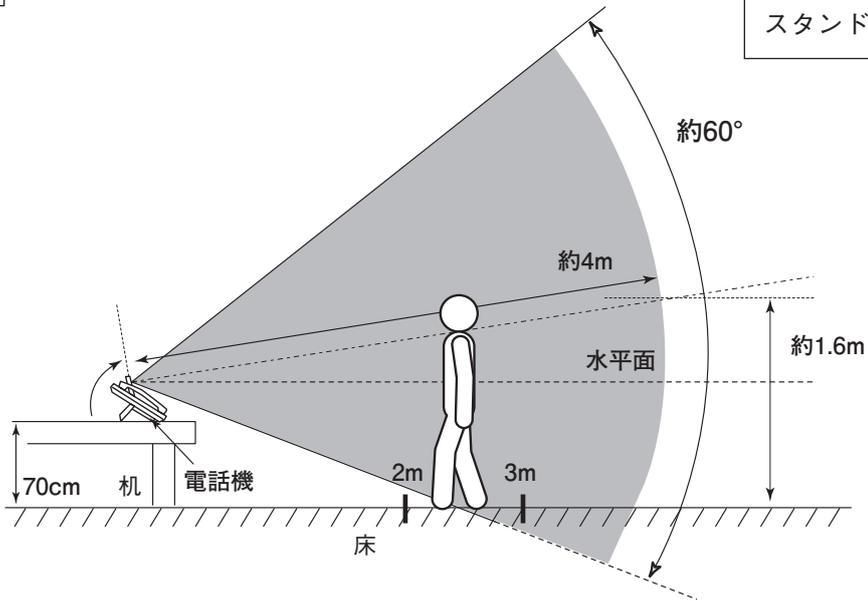
検知範囲 (断面図)



① 卓上で使用する場合

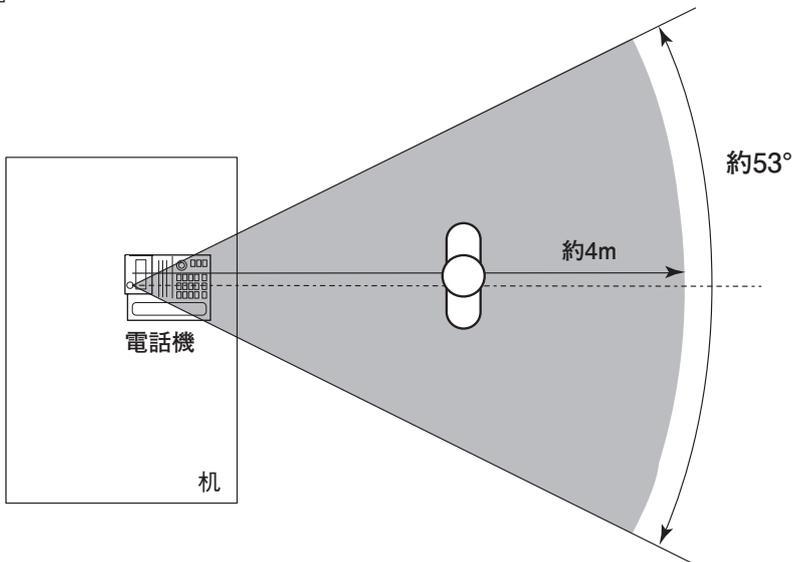
表示面が水平方向を向いた場合の検知エリアが最も広くなるため、スタンドは低角度に設置し、表示面はひっかかるところ以上起こすようにしてください。

横から見た図



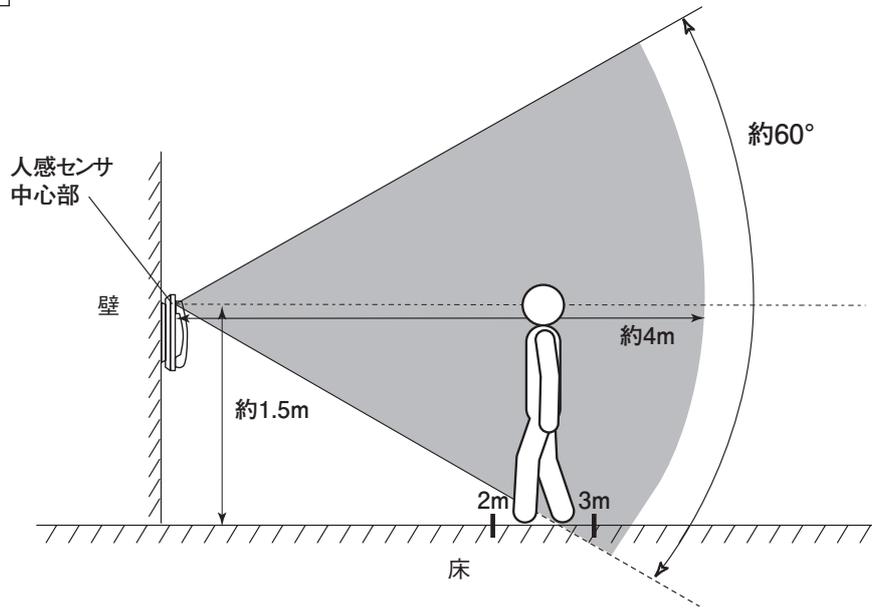
推奨角度  
スタンド低角度、表示面最大角

上から見た図

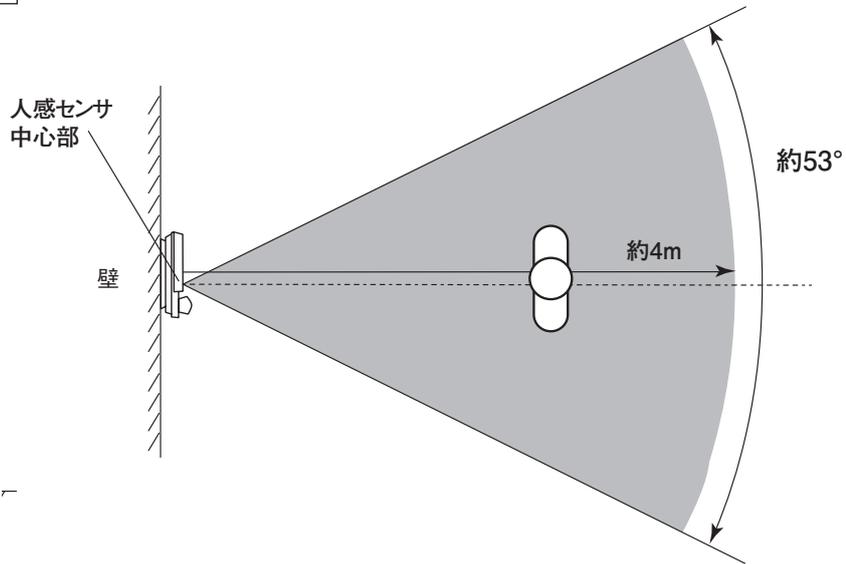


② 壁掛けで使用する場合

横から見た図



上から見た図



## ■ TD615、TD625 電話機でのセンサテスト方法

※センサ検出テストは、TD615、TD625 電話機がセーフティグループに登録されていないと確認できませんので、ご注意願います。

### 《人感センサ検出テスト》

本システムは、センサで異常を検知し電話機から音と光による威嚇と通報を行います。  
必ず電話機設置後に全ての TD615、TD625 電話機でセンサ検出テストを実施願います。

保守メニュー：《機能# \*\*》→《5: その他》→《5: セーフティ関係》→《1: センサ検出テスト》

### 《センサ検出テストのやり方》

TD615、TD625 電話機の前を横方向に歩いて、どの程度の範囲で検出するのか確認して下さい。(歩く速度の目安は、秒速 1 m)  
人感センサ ON を検出した場合は、着信ランプ赤点灯します。人感センサ OFF 時には、着信ランプは消灯します。

## ■ センサ感度等の調整方法

① 設置現場でセンサの誤検出が発生した場合の対応として、人感センサの感度を調整することができます。本調整は、TD615、TD625 電話機のいずれか 1 台で行って下さい。

※ 人感センサ感度は、プログラム設定にて以下のパラメータを調整することで変更することができます。

P081 (センサ ON 連続検出回数指定) . . . . . (初期値：1 回)  
(推奨値：1 回～3 回)

② 人感センサが異常を検出し威嚇状態になると、威嚇警報音を約 20 分間 (初期値：20 分間 最小 1 分～最大 60 分) 鳴動すると同時に通報動作に入ります。通報先が応答し # ボタンを押した後、通話を終了すると再威嚇状態になります。通報先が終話した時点で威嚇警報音を鳴動しないように設定する場合は以下の設定をします。

P072-2 (通報先終話時の威嚇継続指定) . . . . . (初期値：威嚇を継続する)

詳細は、「[17](#) 機能別プログラム設定 (7) セーフティ機能編 (169 ページ)」を参照下さい。

## ■ 人感センサのお手入れ

人感センサのレンズの傷や汚れは光学特性を劣化させ、感度が落ちることがありますので、いつもきれいに保つようにしてください。レンズ上に溜まったホコリや汚れは傷をつけないようにやわらかく乾いた布で軽くふき取ってください。(ベンジン、シンナーなどの有機溶剤やアルコールは使用しないでください)

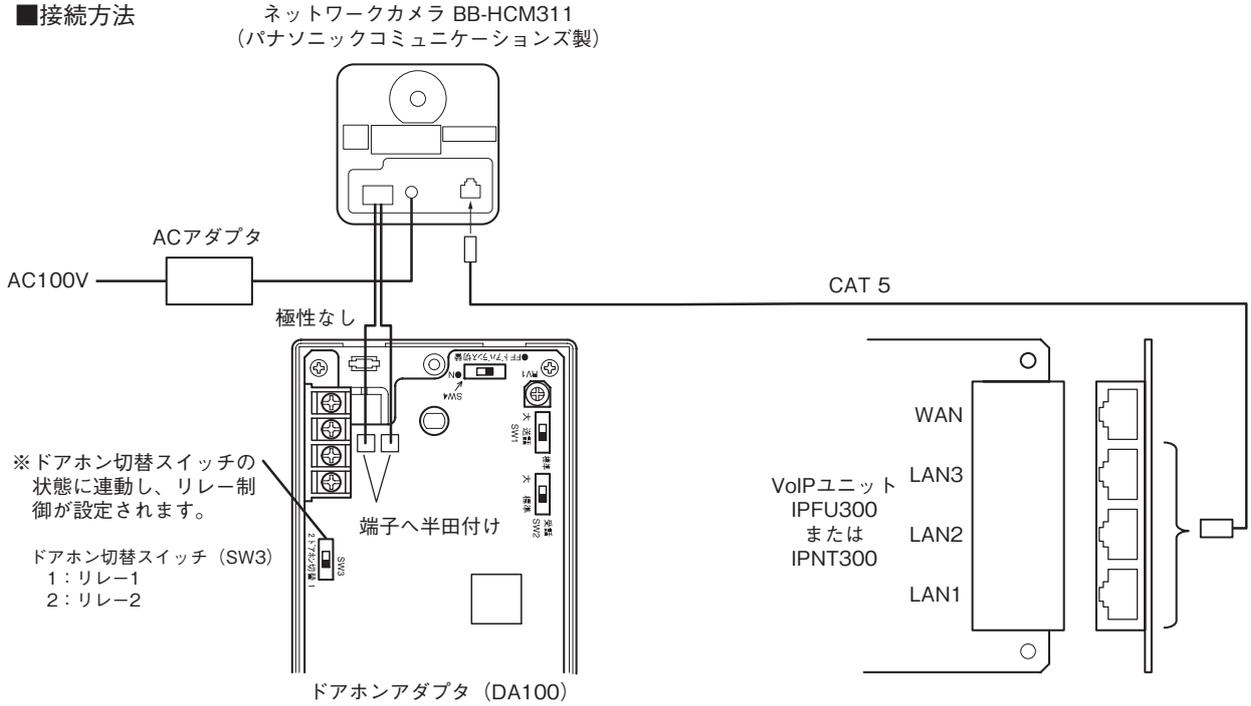
注意

● 着信ランプ以外は威嚇による点滅 (7 色) は行いませんが、威嚇中に内線着信または外線着信がありますと点滅します。(警戒ランプ以外の外線ランプは点滅しません) なお、セーフティモード中に威嚇中に内線着信または外線着信がありますと点滅します。(通常時と同じ動作となります)

## ▶ (2) ネットワークカメラの接続

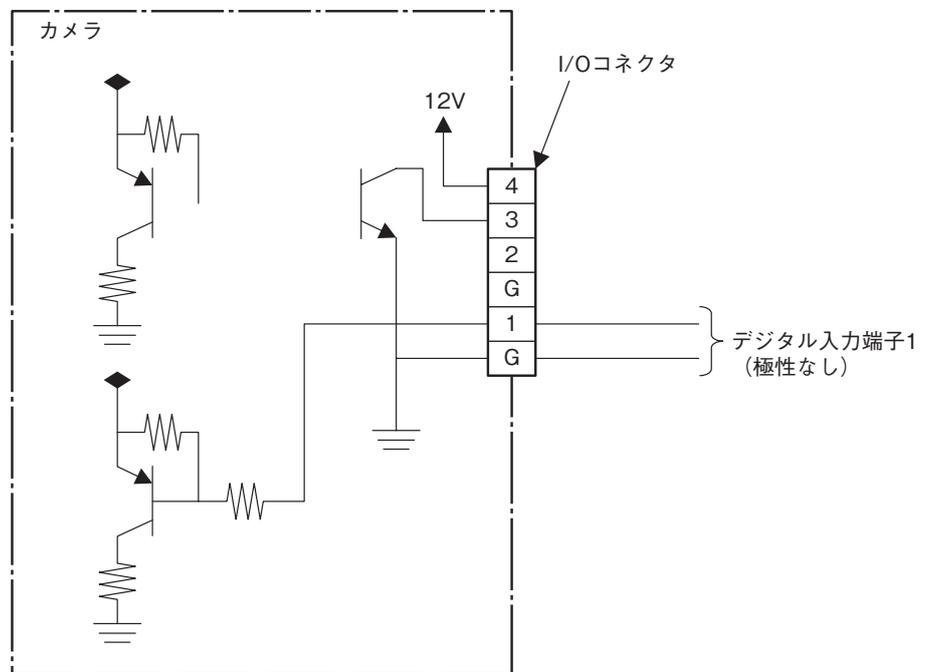
ネットワークカメラ (BB-HCM311 : パナソニックコミュニケーションズ製) をシステムと LAN 接続し、セーフティモード中に TD615、TD625 電話機の人感センサが異常を検知すると、室内のモニタまたは撮影を開始することができます。

### ■接続方法



### ■I/O コネクタについて

ドアホンアダプタのコントロール端子 (上図端子) を、ネットワークカメラのI/O コネクタのデジタル入力端子 1 に接続ください。



※詳しくはネットワークカメラの取扱説明書をお読みください。

### ■設定

ネットワークカメラを接続するときは、プログラム設定 P035 リレー制御指定を「Web カメラ (セーフティ A に連動)」に変更します。

### ▶ (3) セーフティログの採取について

TD615、TD625 電話機の人感センサが異常を検出した場合、主装置に専用 CF カードを装着していればセーフティログが採取できます。必ず設置時に CF インターフェースユニット (CF300) および CF カードを装着願います。  
どのセンサが検出したか等のログを残すことができます。

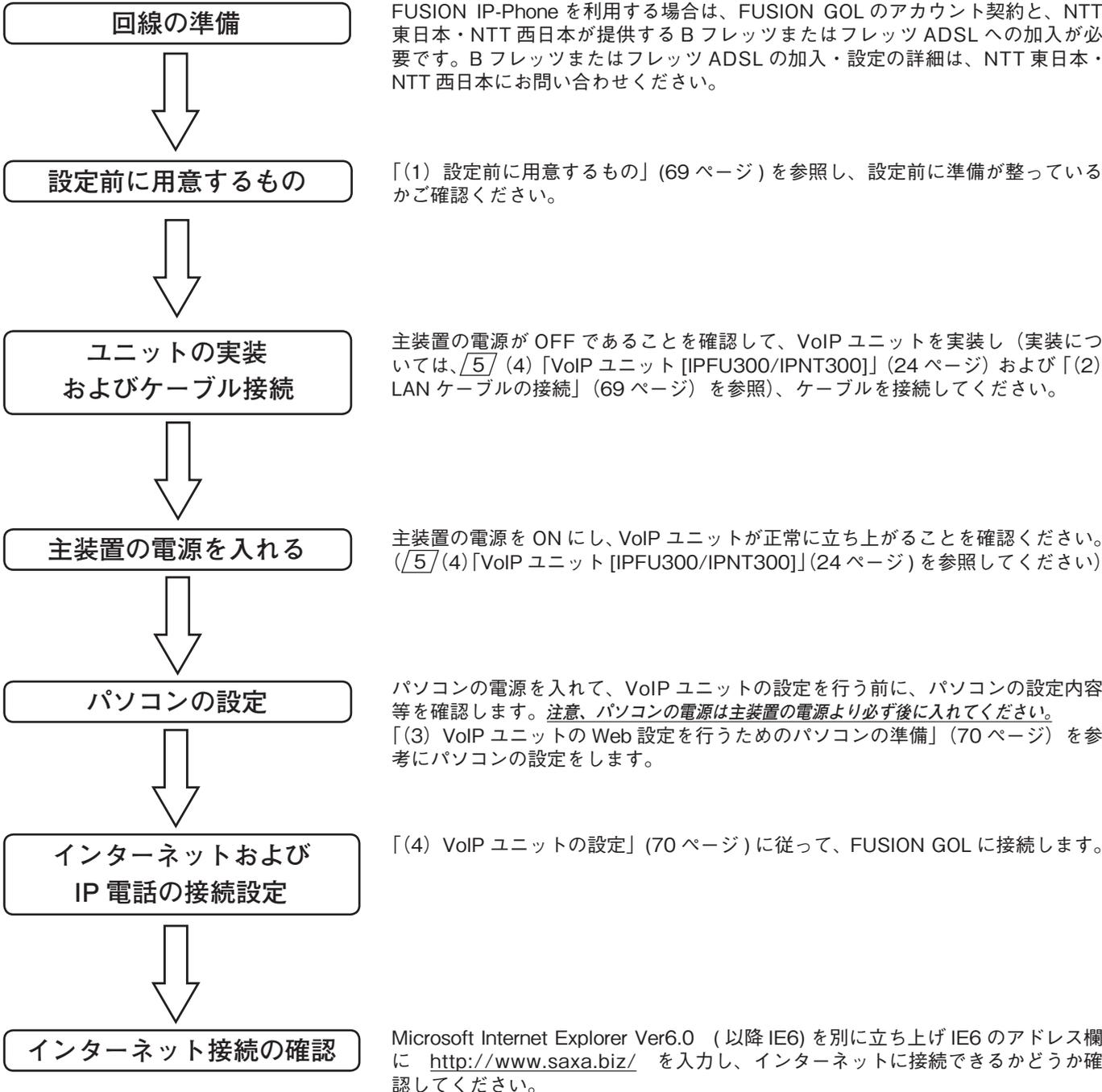
#### 【セーフティログ出力例】

2006/XX/XX 20:32:20	モードセット	A	内線 1
	【グループ内線】		1,2,3,4,5
	【閉塞内線】		
	【威嚇内線】		2,3
	【Web カメラ】		リレー 1: オフ, リレー 2: オフ
2006/XX/XX 20:33:07	センサ検知	A	内線 2
2006/XX/XX 20:33:11	センサ検知	A	内線 1
2006/XX/XX 20:33:31	センサ検知	A	内線 1
2006/XX/XX 20:33:37	威嚇開始	A	
2006/XX/XX 20:33:45	センサ検知	A	内線 2
2006/XX/XX 20:33:49	通報発信	A	14:0909687 ****
2006/XX/XX 20:33:52	通報応答	A	14:0909687 ****
2006/XX/XX 20:33:53	センサ検知	A	内線 2
2006/XX/XX 20:33:59	ハンズフリー開始	A	内線 3
2006/XX/XX 20:34:06	センサ検知	A	内線 2
2006/XX/XX 20:34:22	リモコン開始		14:0909687 ****
2006/XX/XX 20:34:22	リモコン操作		モード A 音声威嚇終了
2006/XX/XX 20:34:23	ハンズフリー終了	A	内線 3
2006/XX/XX 20:34:33	威嚇終了	A	
2006/XX/XX 20:34:33	リモコン操作		モード A 威嚇解除
2006/XX/XX 20:34:41	リモコン操作		モード A 解除
2006/XX/XX 20:34:45	リモコン終了		14:0909687 ****

# 13 VoIP ユニットの設定

● VoIP ユニットを使用する場合に必要な設定を、FUSION IP-Phone を利用する場合を例として本工事マニュアルで解説しておりますが、予告なく変更する場合があります。詳細および最新の情報は「IPFU300 利用手引」または、「IPNT300 利用手引」を参照ください。

## FUSION GOL を例とした VoIP ユニットの設定例



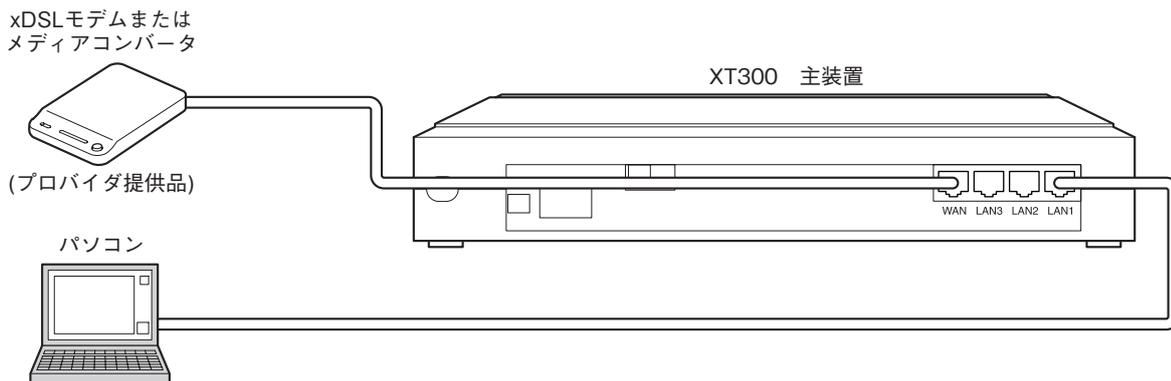
## ▶ (1) 設定前に用意するもの

FUSION IP-Phone を利用して VoIP ユニットで IP 電話をご利用になるには、以下のものをご用意頂く必要があります。

- ① パソコン：Windows® 98SE/Me/2000/XP の OS を搭載したもの、およびパソコンと VoIP ユニットを接続するためのカテゴリ 5 の LAN ケーブル
- ② Web ブラウザ：Microsoft Internet Explorer® Ver6.0 (以降 IE6.0) 以上
- ③ VoIP ユニット、および添付のカテゴリ 5 の LAN ケーブル
- ④ FUSION GOL から通知された「接続用 ID・パスワード」が記載された用紙
- ⑤ フュージョン・コミュニケーションズから通知された「SIP プロキシサーバ・SIP ドメイン」、「IP 電話番号・アカウント・パスワード」が記載された用紙

## ▶ (2) LAN ケーブルの接続

LAN ケーブルの結線を以下の接続図に従って行ってください。



VoIP ユニットを実装する場合の接続図

- ※ パソコンと VoIP ユニットとの接続にはカテゴリ 5 の LAN ケーブルを使用してください。
- ※ xDSL モデムまたはメディアコンバータと VoIP ユニットとの間に 10M ハブを接続した場合、IP 電話の音声劣化が発生する場合がありますので接続しないでください。

### ▶ (3) VoIP ユニットの Web 設定を行うためのパソコンの準備

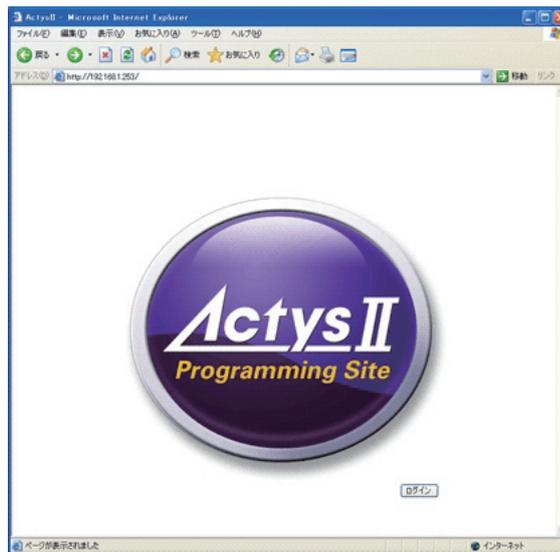
VoIP ユニットの設定を行う前に、パソコンの設定内容を確認します。

- ① LAN アダプタが正常に動作すること。
- ② TCP/IP プロトコルがインストールされていること。
- ③ IP アドレスを自動的に取得するように設定していること。
- ④ Web ブラウザがインストールされていること。
- ⑤ ブラウザの設定で、プロキシを設定していないこと。

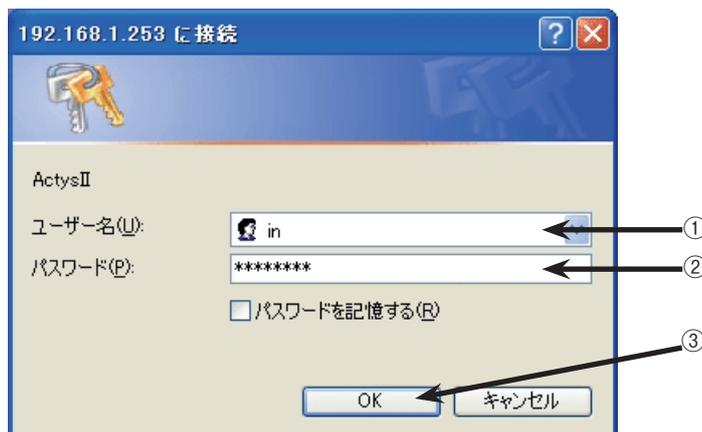
### ▶ (4) VoIP ユニットの設定

前項の準備が終了した後、Web ブラウザを起動します。以降の画面はブラウザが IE6.0 の場合です。

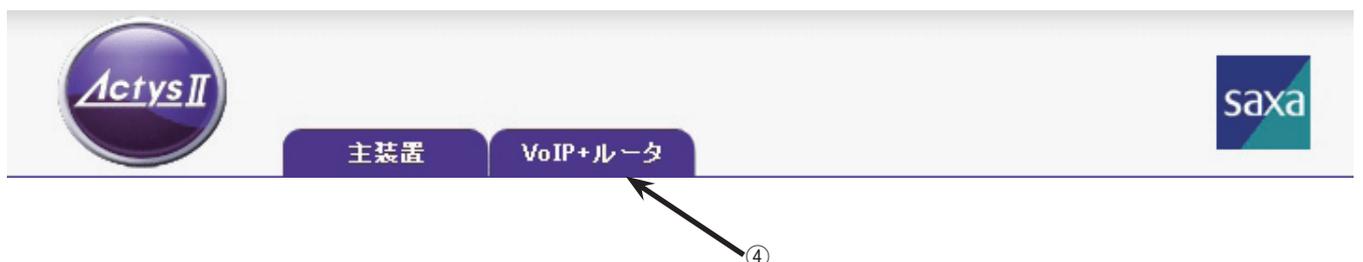
<1> ブラウザのアドレスを入力する欄に主装置のデフォルト IP アドレス「<http://192.168.1.253/>」を入力し、**[Enter]** キーを押してください。主装置の初期画面が表示されます。



<2> **[ログイン]** ボタンをクリックすると、主装置にログインするための認証ダイアログボックスが表示されます。

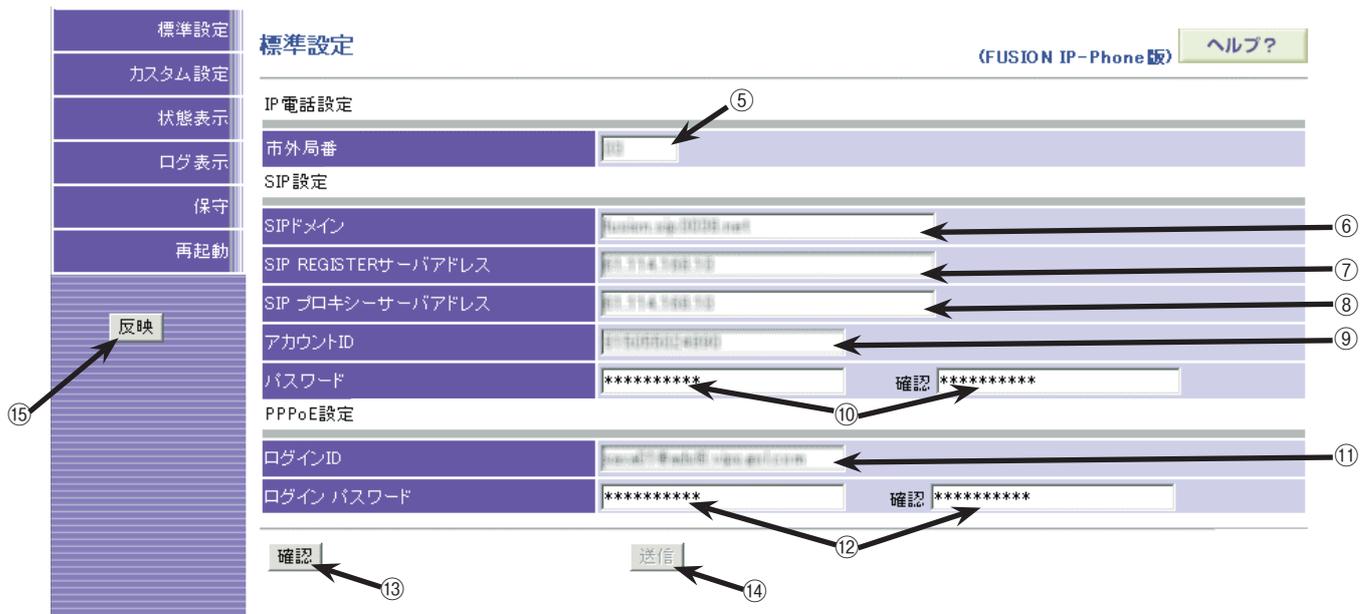


<3> ① ユーザ名「in」、② パスワード「tlipinst」（初期値）を入力して、③ **[OK]** ボタンをクリックしてください。



<4> 主装置の初期設定画面が表示されます。画面上に表示されている④ **[VoIP+ルータ]** をクリックしてください。

<5>VoIP ユニットの初期設定画面（標準設定）が表示されます。下記の項目を入力してください。



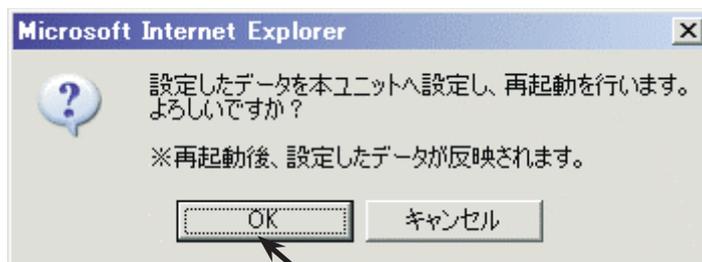
<b>■ IP 電話設定</b>	
⑤ 市外局番	設置するお客様電話番号の市外局番を入力します。(例) 東京：03、横浜：045 (IPNT300 の場合、⑤市外局番以外に IP 電話番号の入力が必要です。設置する IP 電話番号を入力してください)
<b>■ SIP 設定 (フュージョン・コミュニケーションズからの通知内容を設定します)</b>	
⑥ SIP ドメイン	通知された SIP ドメインを入力します。 (IPNT300 の場合、「メタドメイン」(サービスドメイン) を入力します)
⑦ SIP REGISTER サーバアドレス	SIP REGISTER サーバアドレスを入力します。 (通知された⑧ SIP プロキシサーバアドレスと同じ内容です) (IPNT300 の場合、「ホスト名」(VoIP サーバ) を入力します)
⑧ SIP プロキシ サーバアドレス	通知された SIP プロキシサーバアドレスを入力します。 (IPNT300 の場合、「ホスト名」(VoIP サーバ) を入力します)
⑨ アカウント ID	通知されたアカウント ID を入力します。 (IPNT300 の場合、「ユーザー ID」(VoIP ユーザー ID) を入力します)
⑩ パスワード	通知されたパスワードを入力します。パスワードは右の確認欄にも入力してください。 (IPNT300 の場合、「パスワード」(ユーザーパスワード) を入力します)
<b>■ ログイン ID (FUSION GOL からの通知内容を設定します)</b>	
⑪ ログイン ID	通知された接続用 ID を入力します。(例) XXXXX...@XXXXX.svips.gol.com (IPNT300 の場合、認証用 ID を入力します)
⑫ ログインパスワード	通知されたパスワードを入力します。パスワードは右の確認欄にも入力してください。 (IPNT300 の場合、認証パスワードを入力します)

<6> 全ての項目を入力したら、⑬ **確認** ボタンをクリックし、**送信** ボタンが選択できるようになるまで待ちます。

その後⑭ **送信** ボタンをクリックすると、設定内容を仮登録した状態になります。

<7> **送信** ボタンが選択できない状態に戻るまで待つ⑮ **反映** ボタンをクリックすると、下の確認画面を表示します。

<8> 確認画面で⑯ **OK** ボタン をクリックすると、ユニットが再起動され、仮登録した設定内容が実際の設定に反映されます。



<9> ユニットの再起動が終了すると、自動的に標準設定画面 (<5> の画面) に戻ります。

左のメニューから⑰状態表示を選択して、動作状態項目の PPPoE 状態が「正常」に、VoIP (1) 回線状態と VoIP (2) 回線状態が「通話可能」になっていることを確認します。



ログイン ID またはログインパスワードに誤りがある場合、PPPoE 状態が「異常」と表示されます。

また、IP 電話設定項目または SIP 設定項目に誤りがある場合、VoIP (1) 回線状態と VoIP (2) 回線状態が「通話不可」と表示されます。

※確認事項

以下の確認事項をチェックし、当てはまる項目があれば再度設定をやり直してください。

- ・ VoIP ユニットの LINK ランプは点灯していますか。  
点灯していない ⇒ ケーブルの接続を確認し直してください。
- ・ FUSION GOL から通知された接続用 ID・パスワードは正しく設定されていますか。  
正しく設定されていない ⇒ 再度入力し直してください。
- ・ フェュージョン・コミュニケーションズから通知された SIP 設定の内容は正しく設定されていますか。  
正しく設定されていない ⇒ 再度入力し直してください。

## ▶ (5) リモート動作など

- ・ オンサイトメンテナンス  
 LAN を介してパソコンを接続することで、主装置の設定データの変更などを行います。
- ・ CTI 機能  
 LAN を介してパソコンを接続することで、CTI 環境を構築することができます。

●必要な機器

- ・ パソコン  
 Windows® Me / 2000 / XP で動作しているパソコン
- ・ ソフトウェア  
 オンサイトメンテナンス… Web ブラウザ (Microsoft Internet Explorer® Ver 6.0)  
 CTI 機能… CTI 用アプリケーション各種

●接続

- ・ LAN コネクタとパソコンなどを接続する場合はカテゴリ 5 の LAN ケーブルを使用してください。

●操作方法

- ・ オンサイトメンテナンス操作方法については、サクサホームページ内 (<http://www.saxa.biz/>) から操作資料をダウンロードのうえ、確認してください。
- ・ CTI 操作方法については、CTI 用アプリケーションに添付の資料を確認してください。

# 14 停電時の動作

## 停電になると

- デジタル回線、アナログ回線使用中の全電話機の通話が切れます。

## 停電中は

- デジタル局線に接続されている ADI605 (ISDN 停電ユニット) 付き TD615 電話機 / TD625 電話機、IPF610 (デジタル局線用停電電話機) または、アナログ局線に接続されている ADA605 (アナログ停電ユニット) 付き TD615 電話機 / TD625 電話機、APF610 電話機 (アナログ局線用停電電話機) のみ使用できます。
- 電話をかけるとき (発信)  
受話器を上げて、発信音「ツー」を確認してからダイヤルします。
- 電話を受けるとき (着信)  
着信音が鳴ったら、受話器をあげて通話します。
- ADA605 (アナログ停電ユニット) 付き TD615 電話機 / TD625 電話機または APF610 電話機 (アナログ局線用停電電話機) はアナログ回線の付加サービス (ダイヤルイン、ナンバー・ディスプレイなど) を契約されている場合、応答は最初の着信音鳴動から 6 秒経過後に行ってください。それ以前に応答すると、電話を受けることができないことがあります。

## 停電復旧すると

- システムは自動的に復旧します。
- ※ ADI605 (ISDN 停電ユニット) 付き TD615 電話機 / TD625 電話機、IPF610 または、ADA605 (アナログ停電ユニット) 付き TD615 電話機 / TD625 電話機、APF610 電話機で通話中のとき、停電から復旧すると通話は切れてしまいます。

## 停電に備えるために

- 停電時の給電機能はありませんが、市販の UPS (無停電電源装置) を使用して給電が可能です。

# 15 プログラム設定

- プログラムの登録はメモリスイッチが「HOLD」側のときのみ設定できます。
- プログラムの登録、確認、および変更は、実装番号 1～5 に接続された TD・LD・CL（親機）から設定します。また、外線通話中でも設定できます。
- プログラムの登録、更新は、設定方法による操作で仮登録され、すべての電話機が使用されていないときに本登録されます。したがって、仮登録では旧データのままで動作します。
- プログラムの登録・確認・変更中でも、他の電話機の機能はすべて使用できます。

## 注意

- プログラム設定の前にメモリスイッチを「HOLD」側に切り替えてください。
- TD・LD・CL（親機）に「プログラム設定データ エラー」が表示された場合、プログラム設定に異常が発生しています。この場合、プログラム設定を確認してください。
  - ※ プログラム設定確認後も「プログラム設定データ エラー」表示が消えない場合はメモリクリアを行ってください。（プログラム設定や短縮ダイヤルなどの登録内容がすべて「初期設定」に戻ります）
- 外来ノイズを受けて電話機が正しく動作しない場合は、主装置の電源スイッチを「OFF」に切り替えた後、1分以上経過後「ON」に戻してください。
  - ※ プログラム設定や短縮ダイヤルなどの登録内容は、保持されます。

## ▶ 設定項目

- 本装置は、出荷時（初期設定）次のように設定されています。
  - ① 全電話機が、すべての外線に対し発着信ができます。
  - ② すべての外線からの着信に対し、全電話機が着信音鳴動します。
  - ③ すべての外線からの着信に対し、受話器をあげるだけで着信応答できます。（ダイヤルイン、i・ナンバー、VoIP 着信を除く）
  - ④ 発信者番号通知は、回線の申し込みによります。
  - ※ 初期設定のままでよい場合は、プログラムを変更する必要はありません。

- プログラムは、次のように分けられています。

プログラム区分	プログラム番号
システム対応	P001 ～ P098
収容外線対応	P101 ～ P111
電話機対応	P201 ～ P233
メニュープログラミング対応	P301 ～ P321
テナント対応	P401 ～ P452
携帯 ACR 対応	P501 ～ P503

- 本装置のユニット構成を変更した場合は、下記メッセージが表示されます。

ユニット構成が変更されました。  
【更新】**確定**【キャンセル】電源OFF  
更新する場合は、プログラム設定の見直しが必要です。

※ 実装番号 1～5 に接続された TD、LD、CL（親機）に表示されます。

## ●プログラム設定一覧

### システム対応

プログラム番号	内容	
P001	システム設定 その1	1 未使用
		2 一斉／グループ呼出指定
		3 共通短縮ダイヤル発信規制解除指定
		4 強制転送指定
		5 自動転送指定
		6 オンフック転送指定
		7 ワンタッチ発信機能指定
		8 通話中の CNG 信号検出継続指定
		9 外線自動選局順位指定
		0 自動 PB 信号切り替え指定
P002	システム設定 その2	1 ポーズ時間指定
		2 迷惑電話一覧表示指定
		3 外線発信規制指定 100 番 (準特甲、甲)
		4 外線発信規制指定 110 番、119 番 (PBX 内準甲)
		5 一般電話機 (保留／フッキング) 指定
		6 未使用
		7 未使用
		8 未使用
		9 未使用
		0 通話料金表示フォーマット指定
P003	システム設定 その3	1 個別着信 (DIT) の着信拒否指定
		2 個別着信 (DIT) 動作指定
		3 未使用
		4 未使用
		5 ナンバー・ディスプレイ着信履歴指定
		6 着信履歴表示指定 (着歴ボタン)
		7 システム着信履歴表示指定
		8 アナログ外線の発信電話番号切替指定
		9 オンフックリモート転送指定
		0 CNG 信号検出中の着信音鳴動指定

### システム対応

プログラム番号	内容	
P004	保留警報タイマ指定	
P005	オートリピートタイマ指定 (呼出 / 待ち / 回数)	
P006 [A]	フックフラッシュ時間指定	
P007	オートリピート発信指定	
P008	夜間 CNG 信号検出指定	
P009	コード 0 選局指定	
P010	発信選局指定	
P011 [A]	PBX 外線発信コード指定	
P012	外線通話表示指定	
P013	課金係数指定	
P014	1 × × 特番登録指定	
P015	1 × × 特番ポーズ指定	
P016	特定市外発信番号指定 (準特甲の電話機に対してのみ適用する)	
P017	外線発信規制番号指定 (特甲以外の電話機に対して適用する)	
P018	留守番在宅自動応答時間指定	
P019	外線転送自動応答時間指定	
P020	NTT 強制接続コード指定	
P021	外線転送システム設定	1 外線転送 1 通知音 (転送先) 指定
		2 外線転送 2 通知音 (転送先) 指定
		3 外線転送 3 通知音 (転送先) 指定
		4 外線転送 4 通知音 (転送先) 指定
		5 外線転送発信時の ACR 許可指定
		6 未使用
		7 未使用
		8 未使用
		9 未使用
		0 未使用
P022	外線自動転送の起動時間指定	
P023	外線転送転送先不応答切断タイマ指定	
P024	外線転送終話時コールバック時間指定	
P025	外線転送最大通話時間指定	
P026	外線自動転送中の着信音鳴動指定	
P027	R E C システム設定	1 用件自動消去指定
		2 通話メモ再生指定
		3 迷惑電話登録指定
		4 追っかけ転送発信時の ACR 許可指定
		5 未使用
		6 未使用
		7 未使用
		8 未使用
		9 未使用
		0 未使用

## システム対応

プログラム番号	内容		
P028	REC 用途指定		
P029	留守番機能指定		
P030	REC お待たせコールバック時間指定		
P033	ドアホン通話ゲイン指定 (送話/受話)		
P034	ドアホン着信音周期指定		
P035	リレー制御指定		
P037 [D]	ISDNシステム設定	1	無効サブアドレス指定
		2	発サブアドレス通知指定
		3	経過表示指定
		4	理由表示指定
		5	未使用
		6	未使用
		7	未使用
		8	未使用
		9	未使用
		0	未使用
P038 [D]	ISDN 契約者回線番号指定		
P039	ダイヤルイン番号指定		
P040	ダイヤルイン着信音周期指定		
P041	ダイヤルイン着信音種別指定		
P042 [D]	グローバル着信ダイレクト自動転送指定		
P043	ダイヤルイン着信ダイレクト自動転送指定		
P044 [D]	グローバル着信ダイレクトリモコン指定		
P045	ダイヤルイン着信ダイレクトリモコン指定		
P046 [D]	グローバル着信疑似コールウェイティング指定		
P047	ダイヤルイン着信疑似コールウェイティング指定		
P048 [D]	グローバル個別着信 (DIT) 指定 (昼)		
P049 [D]	グローバル個別着信 (DIT) 指定 (夜間A)		
P050 [D]	グローバル個別着信 (DIT) 指定 (夜間B)		
P051 [D]	グローバル個別着信 (DIT) の遅延応答時間指定		
P052	ダイヤルイン個別着信 (DIT) 指定 (昼)		
P053	ダイヤルイン個別着信 (DIT) 指定 (夜間A)		
P054	ダイヤルイン個別着信 (DIT) 指定 (夜間B)		
P055	ダイヤルイン個別着信 (DIT) の遅延応答時間指定		
P056	識別グループ着信時の動作指定		
P057	内線個別信号呼出音種別指定		
P059	VoIP 外線自動選局禁止番号指定		
P060	VoIP 外線アクセス表示指定		
P061	内線番号桁数指定		
P062	PB 信号送出パターン指定 (送出/ポーズ)		
P063	話中/不応答転送タイマ指定		
P064	IP 電話自動交換グループ指定		
P066 [D]	グローバル着信 CNG 信号検出指定		
P067	ダイヤルイン着信 CNG 信号検出指定		
P068	CNG 信号検出時間指定		
P069	オンフックリモート転送有効時間指定		
P070 [A]	CNG 信号検出終了後の開放時間指定		
P071	CNG 信号検出禁止番号指定		

## システム対応

プログラム番号	内容		
P072	セーフティシステム設定	1	威嚇警報音の音量指定
		2	通報先終話時の威嚇継続指定
		3	リレー出力タイミング指定
		4	未使用
		5	通報発信時の ACR 許可指定
		6	威嚇時発光指定
		7	未使用
		8	未使用
		9	未使用
		0	未使用
P073	モードセット遅延時間指定		
P074	威嚇遅延時間指定		
P075	威嚇警報音鳴動時間指定		
P078	通報発信外線強制切断指定		
P079	センサ入力信号 ON 確定時間指定		
P080	センサ入力信号 OFF 確定時間指定		
P081	センサ ON 連続検出回数指定		
P082	センサ OFF 確定時間指定		
P083	一般電話機着信音周期指定		
P084	オフフック内線自動発信遅延時間指定		
P085	外線自動転送発信時の動作指定		
P086	外線転送通話ゲイン指定		
P088	自動 FW 更新定期チェック間隔指定		
P089	自動 FW 更新時間指定		
P090	リモートコールバックシステム設定	1	リモートコールバック発信回線指定
		2	リモートコールバック PB 未検出時動作指定
		3	リモートコールバック発信時の ACR 許可指定
		4	未使用
		5	未使用
		6	未使用
		7	未使用
		8	未使用
		9	未使用
		0	未使用
P091 [D]	リモートコールバックグローバル着信検出指定		
P092	リモートコールバックダイヤルイン着信検出指定		
P093	リモートコールバック検出タイマ指定		
P094	リモートコールバック呼出時間指定		
P097	REC 録音時間指定		
P098	メール通知指定		

## 収容外線対応

プログラム番号	内容
P101	外線収容および外線種別指定
P102 [A]	アナログ外線ダイヤル種別指定
P103	NCC 回線指定
P105 [A]	アナログ外線 NTT 付加サービス指定
P106 [A]	アナログ外線ダイレクトリモコン指定
P107	外線通話ゲイン指定
P108 [A]	アナログ外線発信電話番号の通知状態指定
P109 [A]	アナログ外線着信 CNG 信号検出指定
P110 [A]	アナログ外線キャッチホン契約サービス指定
P111 [A]	リモートコールバックアナログ外線着信検出指定

## メニュープログラミング対応

プログラム番号	内容
P301	通常着信指定
P302	着信音鳴動指定 (昼)
P303	着信音鳴動指定 (夜間A)
P304	着信音鳴動指定 (夜間B)
P305	ダイヤルイン着信指定
P306	ダイヤルイン着信音鳴動指定 (昼)
P307	ダイヤルイン着信音鳴動指定 (夜間A)
P308	ダイヤルイン着信音鳴動指定 (夜間B)
P309	発信規制指定 (昼)
P310	発信規制指定 (夜間A)
P311	発信規制指定 (夜間B)
P312	コールバック着信音鳴動指定
P313	自動選局指定 (発信)
P314	自動選局指定 (応答)
P321	ドアホン着信メロディ指定

## 電話機対応

プログラム番号	内容
P201	内線番号指定
P202	内線代表番号指定
P203	電話機グループ呼出指定
P204	サービスクラス指定
P205	話中着信指定
P206	外線通話割込指定
P207	通話警告音鳴動指定
P208	ハンズフリー通話制御指定
P209	ヘッドセット接続指定
P210	留守番電話機指定 (REC)
P211	オフフック発信指定
P212	発信優先モード指定
P213	一般電話機の種別指定
P214	ドアホン着信自動応答指定
P215	ドアホン着信音鳴動指定 (昼)
P216	ドアホン着信音鳴動指定 (夜間A)
P217	ドアホン着信音鳴動指定 (夜間B)
P218 [D]	発信者番号選択指定
P219	発信者番号表示指定
P220	着信順次分配グループ内線番号指定
P221	着信順次分配グループ代表番号指定
P222	通話メモ使用 REC 指定
P223	ドアホン着信指定
P224	着信履歴指定
P225	オフフック内線自動発信指定
P226	セーフティグループ指定
P228	音声威嚇電話機指定
P229	センサ動作指定
P230	ワンショット留守番機能使用 REC 指定
P231	内線呼出優先順位指定
P233	チャイム音鳴動指定

## テナント対応

プログラム番号	内容
P402	外線ボタン割付指定
P403	外線発信時の収容外線指定
P407 [A]	アナログ着信 着信外線指定
P411 [D]	グローバル着信 着信外線指定
P415	ダイヤルイン着信 着信外線指定
P419	外線捕捉時/発信者番号指定
P420	発信者番号通知指定
P421	外線着信音周期指定
P422	着信音種別指定
P423	非通知着信音周期指定
P424	非通知着信音種別指定
P426	外線自動転送 (発信側) 指定
P427	外線自動転送 (着信側) 指定
P428	留守番自動応答指定
P429	発信許可/規制ダイヤル指定
P433	発信許可/規制指定
P437 [A]	個別着信 (DIT) 指定 (昼)
P438 [A]	個別着信 (DIT) 指定 (夜間A)
P439 [A]	個別着信 (DIT) 指定 (夜間B)
P440 [A]	個別着信 (DIT) の遅延応答時間指定
P450	通報発信外線指定
P452	FAX 転送先指定

## 携帯 ACR 対応

プログラム番号	内容
P501	キャリアアクセスコード指定
P502	キャリア選択識別番号指定
P503	キャリアアクセス表示指定

## 名称ごとの設定範囲一覧

名称	設定項目数
外線番号（外線ボタン）	01 ～ 30
収容外線	1 ～ 2
収容外線（内蔵 VoIP 回線を含む）	1 ～ 4
ISDN 回線	1
ダイヤルイン番号	01 ～ 32
REC	1 ～ 2
REC（REC Busy を含む）	1 ～ 3
ドアホン	1 ～ 2
電話機	1 ～ 5
電話機（初実装 SL1 を含む）	1 ～ 6
電話機（初実装 SL1、ユーザー登録を含む）	1 ～ 7
セーフティグループ	1

※プログラム設定データ一覧において設定番号の後ろに記述されている [A] および [D] はそれぞれアナログ専用の設定、デジタル専用の設定を意味する。

## システム対応

No.	設定項目	内 容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P001  シ ス テ ム 設 定 そ の 1	1：未使用		
	2：一斉／グループ呼出指定	一斉呼出またはグループ呼出を行うときに「音声」で呼び出すか「信号音」で呼び出すかを指定する。 ※指定に関係なく呼出先が DC 子機の場合は信号音での呼び出しになる。 ※ SLI は鳴動しない。	数字：音声呼 “—”：信号呼
	3：共通短縮ダイヤル発信規制解除指定	P204 サービスクラス指定で「準特甲」、「甲」に指定された電話機が共通短縮ダイヤル発信を行った場合、サービスクラスに従った規制をする（解除しない）か、否（解除する）かを指定する。	数字：解除しない（規制する） “—”：解除する（規制しない）
	4：強制転送指定	強制転送機能（外線保留中の通話を内線呼出操作後に直接転送する機能）の可否を指定する。 ※指定に関係なく S L I への転送は可。	数字：可 “—”：不可
	5：自動転送指定	外線保留自動転送機能（外線保留中の通話を内線通話後に自動的に転送する機能）の可否を指定する。 ※指定に関係なく S L I への転送は可。	数字：可 “—”：不可
	6：オンフック転送指定	強制転送機能、外線保留自動転送または内線自動転送機能を行う場合、オンフックによる転送の可否を指定する。 ※不可に指定した場合、フラッシュボタンを押すことで強制転送可	数字：可（受話器を置き転送する） “—”：不可（フラッシュを押し転送する）
	7：ワンタッチ発信機能指定	オートダイヤルに外線の電話番号が登録されているとき、オンフック状態でオートダイヤルボタンを押した場合、ダイヤル発信を行うか、否かを指定する。	数字：不可 “—”：可
	8：通話中の CNG 信号検出継続指定	CNG 信号検出中の着信音鳴動ありの場合、CNG 信号検出中に電話機が着信応答したときに CNG 信号の検出を継続するか、否かを指定する。	数字：継続する “—”：継続しない
	9：外線自動選局順位指定	外線自動選局を行う場合、空き外線の若番から選局するか、空き外線の老い番から選局するかを指定する。	数字：老番から “—”：若番から
	0：自動PB信号切り替え指定	DP 外線が発信した場合、相手応答（転極検出）により、その後のダイヤルを自動的にPB信号送出モードに切り替えるか、否かを指定する。 ※主装置と電話回線の間には FAX、電話／FAX 自動切換装置などの機器を接続するときは、「無」に変更すること。（外線発信や通話中の FAX 転送ができないことがあるため） ※「有」指定時に、ダイヤル回線で通話中に DP ダイヤルの送出が必要なときは、リダイヤルまたは「発歴」ボタンを押すと、その通話に限り DP ダイヤルが送出される。	数字：有 “—”：無

No.	設定項目	内 容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P002	1: ポーズ時間指定	短縮ダイヤル、オートダイヤル登録時のダイヤル桁間のポーズおよびPBX発信コード等のポーズコードや任意ポーズ挿入によるポーズの時間を指定する。	数字: 3.0 秒 “-”: 1.0 秒
	2: 迷惑電話一覧表示指定	迷惑電話一覧表示時、電話番号順に表示行うか登録順に表示を行うかを指定する。	数字: 電話番号順 “-”: 登録順
	3: 外線発信規制指定 100 番 (準特甲、甲)	P204 サービスクラス指定で「準特甲」と「甲」に指定された電話機からはダイヤルできない番号、100 番へ発信することを規制するか、否かを指定する。	数字: 規制あり “-”: 規制なし
	4: 外線発信規制指定 110 番、119 番 (PBX 内準甲)	P204 サービスクラス指定で「PBX 内準甲」に指定された電話機からはダイヤルできない番号 110 番、119 番へ発信することを規制するか、否かを指定する。	数字: 規制なし “-”: 規制あり
	5: 一般電話機 (保留/フックキング) 指定	一般電話機が外線通話中にフックキングした場合、外線を保留するか、外線にフックフラッシュ信号を送出するかを指定する。	数字: 保留 “-”: フックキング
	6: 未使用		
	7: 未使用		
	8: 未使用		
	9: 未使用		
	0: 通話料金表示フォーマット指定	通話料金表示および通話料金集計表示時に料金を小数点第 1 位まで表示するか、否かを指定する。	数字: 小数点以下は表示しない “-”: 小数点第 1 位まで表示する
P003	1: 個別着信 (DIT) の着信拒否指定	電話機に個別着信 (DIT) が入るように設定していて、電話機が待機状態でないときに個別着信もしくはグループ着信が入った場合、着信を拒否するか一斉着信にするかを指定する。 ※アナログ回線には適用しない。	数字: 着信拒否する “-”: 一斉着信にする
	2: 個別着信 (DIT) 動作指定	個別着信 (DIT) の動作を一斉着信から個別着信とするか、個別着信から一斉着信とするかを指定する。	数字: 一斉着信→個別着信 “-”: 個別着信→一斉着信
	3: 未使用		
	4: 未使用		
	5: ナンバー・ディスプレイ着信履歴指定	非通知理由情報を含む着信を着信履歴に記録するか、否かを指定する。	数字: 記録する “-”: 記録しない
	6: 着信履歴表示指定 (着歴ボタン)	「着歴」ボタンを押したとき、システム全体の着信履歴を表示するか、自子機の着信履歴を表示するかを指定する。	数字: すべて表示する “-”: 自子機の履歴のみ表示
	7: システム着信履歴表示指定	メニュー操作から「システム着信履歴」を選択したときに、システム全体の着信履歴を表示するか、着信応答した履歴を除いて着信履歴を表示するかを指定する。	数字: すべて表示する “-”: 着信応答した履歴を除く
	8: アナログ外線の発信電話番号切替指定	アナログ外線捕捉時の発信電話番号切り替え機能を利用するか、否かを指定する。	数字: 利用する “-”: 利用しない
	9: オンフックリモート転送指定	CNG 信号の検出を行う着信に電話機が応答し、その着信が FAX 着信の場合、指定された時間以内に受話器を置いたときに、通話を FAX に着信音転送するか、否かを指定する。	数字: 転送不可 “-”: 転送可
	0: CNG 信号検出中の着信音鳴動指定	CNG 信号の検出中に電話機の着信音を鳴動させるか、否かを指定する。	数字: 鳴動しない “-”: 鳴動する

No.	設定項目	内 容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P004	保留警報タイマ指定	外線を保留している場合に、保留状態を知らせるための警告音が出されるまでの時間を指定する。 ※「無制限」を設定した場合は、保留警報音は鳴らない。	0 : 1分      3 : 4分 1 : 2分      4 : 無制限 <u>2 : 3分</u>
P005	オートリピートタイマ指定 (呼出/待ち/回数)	オートリピート(自動再発信)での呼出時間、待ち時間、回数を指定する。	呼出時間/待ち時間/回数 <u>0 : 120秒/3秒/15回</u> 1 : 120秒/10秒/15回 2 : 120秒/30秒/15回 3 : 120秒/60秒/100回
P006 [A]	フックフラッシュ時間指定	電話機のフラッシュボタンを押したとき、または一般電話機でフッキングしたときに捕捉中のアナログ外線に送出するフックフラッシュ信号(外線直流ループを瞬断し、PBXで通話を保留する)の瞬断時間を指定する。	0 : (設定不可)    5 : 600ms 1 : (設定不可) <u>6 : 800ms</u> 2 : (設定不可)    7 : 1.0s 3 : 200ms        8 : 1.5s 4 : 400ms        9 : 2.0s
P007	オートリピート発信指定	ワンタッチリダイヤル発信、確かめダイヤル発信、プリセット発信、および、ワンタッチオートダイヤル発信時に、オートリピート動作を許可するか規制するかを指定する。	数字 : オートリピートする “-” : オートリピートしない 初期値 : ワンタッチリダイヤル : オートリピートする 確かめダイヤル : オートリピートする プリセットダイヤル : オートリピートしない ワンタッチオートダイヤル : オートリピートしない
P008	夜間CNG信号検出指定	夜間モードごと(夜間A~夜間B)に、夜間モード中の着信に対してCNG信号の検出を行うか、否かを指定する。 ※以下の設定において、「検出する」に設定されている着信に対して適用する P066 グローバル着信CNG信号検出 P067 ダイヤルイン着信CNG信号検出 P109 アナログ外線着信CNG信号検出	数字 : 検出しない “-” : <u>検出する</u>
P009	コード0選局指定	内線捕捉状態でダイヤル「0」を押したときに、接続されている外線(局線、PBX内線)のうちで、自動捕捉する外線の種別を指定する。 ※「未使用」指定時は、自動捕捉しない。	0 : 未使用 <u>1 : 局線&amp;ISDN</u> 2 : PBX内線
P010	発信選局指定	発信、メニュー操作からの短縮発信、リダイヤル、オートダイヤルボタンを押したときに自動捕捉する外線の種別を指定する。 ※「未使用」指定時は、自動捕捉しない。	0 : 未使用 <u>1 : 局線&amp;ISDN</u> 2 : PBX内線
P011 [A]	PBX外線発信コード指定	外線としてPBX内線が収容されている場合、局線発信をするために、PBXでの外線発信コードをポーズと共に指定する。ポーズが指定されている場合、発信時にPBX外線発信コードをダイヤルした後に自動的に設けられる。 ※ポーズ時間は、P002_1ポーズ時間指定で変更可。 ※構内交換機(PBX)の外線発信コードと設定値が異なる場合、「PBX内線」に指定した外線からの外線発信の際に、サービスクラスなどの機能が正常に働かなくなる。	アクセスコード3桁まで登録可。 ポーズ(P)は3桁まで登録可。 ポーズ(P)は連続指定不可。 ポーズ(P)はフラッシュボタンで入力。 初期 : OP ※ダイヤル1~9、0、(P)のみ登録可。

No.	設定項目	内 容	データの意味 (下線は初期値を表す)						
P012	外線通話表示指定	外線通話中の表示を、通話「時間」、「料金」、「時間と料金」のいずれか一つから指定する。 ※通話料金は発信通話終了後に表示される。 ※通話料金の表示は ISDN 回線のみ可。	0 : 時間 (通話時間を表示) 1 : 料金 (通話料金を表示) <u>2 : 時間、料金</u> (通話時間と通話料金を表示)						
P013	課金係数指定	単位通話料金に対する課金の割合を指定する。 <table border="1" data-bbox="683 450 960 564"> <tr> <td>指定</td> <td>通話料金表示</td> </tr> <tr> <td>10(1倍)</td> <td>10円</td> </tr> <tr> <td>15(1.5倍)</td> <td>15円</td> </tr> </table> ※1度数当たりの通話料金を10円とした場合	指定	通話料金表示	10(1倍)	10円	15(1.5倍)	15円	01 ~ 99 の範囲で指定。 01 は 0.1 倍、99 は 9.9 倍 初期 : 10 (1 倍)
指定	通話料金表示								
10(1倍)	10円								
15(1.5倍)	15円								
P014	1 × × 特番登録指定	発信時に発信規制判定、及び ACR 判定の対象外となる番号をシステムで 10 個まで (特番 01 ~ 特番 10) 登録可。特番以降の番号から判定の対象となる。	発信規制判定及び ACR 判定の対象外となる番号を最大 10 桁で指定。 初期 : 特番 01 : 184 特番 02 : 186 特番 03 : 122 特番 04 ~ 10 : 指定なし						
P015	1 × × 特番ポーズ指定	1XX 特番ダイヤル送出後の 2DT (第 2 ダイヤルトーン) までの待ち時間を 0.5 秒単位で指定する。	00 ~ 99 の範囲で指定。 01 は 0.5 秒 99 は 49.5 秒 初期 : 00 (0 秒)						
P016	特定市外発信番号指定 (準特甲の電話機に対してのみ適用する)	P204 サービスクラス指定で「準特甲」に指定された電話機から発信できる市外局番をシステムで 20 個まで (指定番号 01 ~ 指定番号 20) 登録可。	市外局番の上 1 桁目の「0」を除いた最大 4 桁で指定。 初期 : 指定番号 01 ~ 20 : 指定なし (例) 東京 03 → 3 を指定 横浜 045 → 45 を指定						
P017	外線発信規制番号指定 (特甲以外の電話機に対して適用する)	P204 サービスクラス指定で「特甲」以外に指定された電話機で発信してはいけない番号をシステムで 20 個まで (規制番号 01 ~ 規制番号 20) 登録可。	市外局番を含め最大 4 桁で指定。 初期 : 規制番号 01 ~ 20 : 指定なし						
P018	留守番在宅自動応答時間指定	REC 在宅モード時 (留守番セットされていないとき) に留守番電話機が自動応答するまでの秒数を指定する。 ※ P428 留守番自動応答で「自動応答」に指定された外線に適用。	000 ~ 180 秒の範囲で指定。 000 は自動応答しない。 初期 : 045 (4 5 秒)						
P019	外線転送自動応答時間指定	外線自動転送の自動着信リモコンを行う場合に、外線自動転送指定 (発信側) した外線に着信が入ったときに自動応答するまでの秒数を指定する。 ※外線自動転送 (発信側) 指定で指定された外線ボタンに適用される。	000 ~ 180 秒の範囲で指定。 000 は自動応答しない。 初期 : 042 (4 2 秒)						
P020	NTT 強制接続コード指定	ACR 稼動中に強制的に NTT を選択させる為のコードを指定する。	4 桁で指定 0000 ~ 9999 の範囲で指定。 初期 : 0000						

No.	設定項目	内 容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P021	外線 転送 シ ス テ ム 設 定	1：外線転送1通知音（転送先）指定	外線転送1の自動転送時、転送先が応答した時に転送音「ピピピピピピピピ」（高い音）を鳴動するか、否かを指定する。 数字：鳴動なし “－”：鳴動あり
		2：外線転送2通知音（転送先）指定	外線転送2の自動転送時、転送先が応答した時に転送音「ピー」（中位の音）を鳴動するか、否かを指定する。 数字：鳴動なし “－”：鳴動あり
		3：外線転送3通知音（転送先）指定	外線転送3の自動転送時、転送先が応答した時に転送音「ポー」（低い音）を鳴動するか、否かを指定する。 数字：鳴動なし “－”：鳴動あり
		4：外線転送4通知音（転送先）指定	外線転送4の自動転送時、転送先が応答した時に転送音「ピー」（高い音）を鳴動するか、否かを指定する。 数字：鳴動なし “－”：鳴動あり
		5：外線転送発信時のACR許可指定	外線転送発信時、ACRの利用を許可するか、否かを指定する。 数字：ACR禁止 “－”：ACR許可
		6：未使用	
		7：未使用	
		8：未使用	
		9：未使用	
		0：未使用	
P022	外線自動転送の起動時間指定	外線自動転送ごと（外線転送1～外線転送4）に、着信側外線に着信が入った場合、転送先に発信するまでの時間を指定する。	0：0秒 1：3秒 2：6秒 3：9秒 4：12秒 5：15秒 6：18秒 7：21秒 8：24秒 9：27秒
P023	外線転送転送先不応答切断タイム指定	外線転送の一次応答で、転送先が応答しない場合、外線切断するまでの時間を指定する。	0：20秒 1：40秒 <u>2：60秒</u> 3：80秒 4：100秒 5：120秒
P024	外線転送終話時コールバック時間指定	転送種別ごと（手動／自動）に、外線転送（手動／自動）の終話時に発信元が終話し、転送先が待機状態のとき、発信外線が着信状態になるまでの時間を指定する。	0：コールバックしない 1：1秒 2：2秒 3：3秒 4：4秒 5：5秒 6：6秒 初期値 外線手動転送：2秒 外線自動転送：コールバックしない
P025	外線転送最大通話時間指定	外線手動／自動転送をしたときの最大通話時間を指定する。 ※指定時間を過ぎると、「ピー」音を出し、30秒後に自動的に外線を終話する。	0：30分 1：1時間 <u>2：2時間</u> 3：3時間
P026	外線自動転送中の着信音鳴動指定	ダイレクト自動転送（一次応答なし）の発信中および転送通話中に着信側外線に着信が入った場合、着信音を鳴動させるか、否かを指定する。	0：すべての着信側外線の着信音を鳴動しない 1：自動転送起動対象外線の着信音のみ鳴動しない <u>2：鳴動する</u>

No.	設定項目	内 容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P027	1：用件自動消去指定	留守応答モードセット時に再生済みの用件を自動的に消去するか、否かを指定する。	数字：自動消去あり “-”：自動消去なし
	2：通話メモ再生指定	通話メモの再生をRECごとに共通とするか、電話機個別とするかを指定する。	数字：RECごとに共通 “-”：電話機個別
	3：迷惑電話登録指定	迷惑電話番号登録件数が満杯のとき、新たに迷惑電話番号を登録できないようにするか、もしくは、最も古い迷惑電話番号を削除して新規の迷惑電話番号を登録できるようにするかを指定する。	数字：満杯時登録禁止 “-”：満杯時登録可
	4：追っかけ転送発信時のACR許可指定	追っかけ転送発信時、ACRの利用を許可するか、否かを指定する。	数字：ACR禁止 “-”：ACR許可
	5：未使用		
	6：未使用		
	7：未使用		
	8：未使用		
	9：未使用		
	0：未使用		
P028	REC 用途指定	RECごと（RECBusyを含む）に、使用する機能（使途）を指定する。 ※RECBusyにて拒否を行う場合、電話をしてきた相手に対し、通話中Busy（話中）拒否を行う。	0：未使用 1：留守／お待たせ／一次応答 2：非通知拒否／迷惑電話拒否 3：非通知拒否 4：迷惑電話拒否 5：通話メモ 初期： REC1：1（留守／お待たせ／一次応答） REC2：0（未使用） RECBusy：0（未使用） ※Busy拒否（RECBusy）には「2：非通知拒否／迷惑電話拒否」「3：非通知拒否」「4：迷惑電話拒否」のみ設定可。 ※非通知拒否を指定できる電話機はシステムで1台のみ。 ※迷惑電話拒否を指定できる電話機はシステムで1台のみ。 ※非通知拒否／迷惑電話拒否が指定されている場合、他の電話機に非通知拒否もしくは迷惑電話拒否を指定することはできない。
P029	留守番機能指定	RECごとに、留守番機能のうち応答録音と応答専用の使用可否を指定する。	0：応答録音のみ可 1：応答専用のみ可 2：両方可
P030	RECお待たせコールバック時間指定	RECお待たせメッセージ応答し、メッセージ送完了後の外線に応答しない場合、その外線を着信状態にするまでの時間を指定する。	0：コールバックしない 1：1分 2：2分 3：3分 4：4分

No.	設定項目	内 容	データの意味 (下線は初期値を表す)	
P033	ドアホン通話ゲイン指定 (送話／受話)	送話の音量 (ゲイン) と、受話の音量 (ゲイン) ごとに、ドアホン通話における音量をドアホンごとに、指定する。	0 : -12 dB 1 : -9 dB 2 : -6 dB 3 : -3 dB 4 : 0 dB 5 : +3 dB 6 : +6 dB 7 : +9 dB 8 : +12 dB 初期: 送話 : 4 (0 dB) 受話 : 4 (0 dB)	
P034	ドアホン着信音周期指定	ドアホンごとに、ドアホン着信時に鳴動する着信音の周期を1回 (約4秒) とするか、繰り返し鳴動させるかを指定する。 ※「繰り返し」を指定した場合は、ドアホン着信が停止するまで繰り返し鳴動する。	数字 : <u>繰り返し</u> “-” : 1回 (約4秒)	
P035	リレー制御指定	リレーごと (リレー1～リレー2) に、Webカメラ (セーフティAに連動) を接続しているか、否かを指定する。 ※ P072_3 でリレー出力タイミングを指定可。	0 : 未使用 1 : Webカメラ (セーフティAに連動)	
P037 [D]	I S D N シ ス テ ム 設 定	1 : 無効サブアドレス指定	着サブアドレスが無効番号のとき、「着信拒否する」か「一斉着信にする」かを指定する。	数字 : <u>着信拒否する</u> “-” : 一斉着信にする
		2 : 発サブアドレス通知指定	ISDN回線で発信する場合、呼設定メッセージに発サブアドレス情報要素を含めるか、否かを指定する。	数字 : <u>通知しない</u> “-” : 通知する
		3 : 経過表示指定	ISDN回線からアナログ網へ発信またはアナログ網を経由した発信を行った場合、LCD表示を行うか、否かを指定する。	数字 : <u>表示しない</u> “-” : 表示する
		4 : 理由表示指定	網から理由表示情報要素を含むメッセージを受信した場合 (発信先ビジーや回線異常等により電話がかかけられない場合) にその内容をLCDに表示するか、否かを指定する。	数字 : <u>表示しない</u> “-” : 表示する
		5 : 未使用		
		6 : 未使用		
		7 : 未使用		
		8 : 未使用		
P038 [D]	ISDN契約者回線番号指定	ISDN回線ごとに、契約者回線番号を登録する。	最大13桁で指定。 初期 : 指定なし	
		ダイヤルイン番号指定	ダイヤルイン番号ごとに、ダイヤルインの追加番号を登録する。	最大13桁で指定。 初期 : 指定なし

No.	設定項目	内 容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P040	ダイヤルイン着信音周期指定	ダイヤルイン番号ごとに、着信音の鳴動周期を指定する。 ※ P041 ダイヤルイン着信音種別指定は01～04(着信音A～D)を設定した場合に限り適用する。 ※ DC子機の着信音は電話機側で指定する。 ※ DC子機には、着信メロディは出力されない。 ※ダイヤルイン以外のアナログ回線への着信またはグローバル着信は、P421 参照	0 1 : 着信音A    0 6 : 着信音F 0 2 : 着信音B    0 7 : 着信音G 0 3 : 着信音C    0 8 : 着信音H 0 4 : 着信音D    0 9 : 保留メロディ 0 5 : 着信音E    1 0 : 着信メロディ
P041	ダイヤルイン着信音種別指定	ダイヤルイン番号ごとに、鳴動する着信音の種類を指定する。 ※ P040 で01～04(着信音A～D)を指定した場合に限る。 ※ダイヤルイン以外のアナログ回線への着信またはグローバル着信は、P 422	0 : 低 1 : 中 2 : 高
P042	グローバル着信ダイレクト自動転送指定 [D]	ISDN回線ごとに、グローバル着信時のダイレクト自動転送の可否を指定する。	<u>数字</u> : 転送可 “-” : 転送不可
P043	ダイヤルイン着信ダイレクト自動転送指定	ダイヤルイン番号ごとに、ダイヤルイン着信時のダイレクト自動転送の可否を指定する。	<u>数字</u> : 転送可 “-” : 転送不可
P044	グローバル着信ダイレクトリモコン指定 [D]	ISDN回線ごとに、グローバル着信時、発信者番号が転送先番号または通報先番号と一致した場合に外線転送のリモコンまたはセーフティのリモコンを行うか、否かを指定する。	<u>数字</u> : 指定しない “-” : 指定する
P045	ダイヤルイン着信ダイレクトリモコン指定	ダイヤルイン番号ごとに、ダイヤルイン着信時、発信者番号が転送先番号または通報先番号と一致した場合に外線転送のリモコンまたはセーフティのリモコンを行うか、否かを指定する。	<u>数字</u> : 指定しない “-” : 指定する
P046	グローバル着信擬似コールウェイトティング指定 [D]	ISDN回線ごとに、グローバル着信時に擬似コールウェイトティング機能を使用するか、否かを指定する。	<u>数字</u> : 指定しない “-” : 指定する
P047	ダイヤルイン着信擬似コールウェイトティング指定	ダイヤルイン番号ごとに、ダイヤルイン着信時に擬似コールウェイトティング機能を使用するか、否かを指定する。	<u>数字</u> : 指定しない “-” : 指定する
P048	グローバル個別着信 (DIT) 指定 [D] (昼)	ISDN回線ごとに、昼間モードのとき、直接呼び出せる内線番号もしくは内線グループを指定する。	最大4桁(内線番号または内線特番)で指定。 1～8の範囲で指定。 10～89の範囲で指定。(内線2桁モード時)もしくは内線特番(4桁)で指定。 初期: 指定なし
P049	グローバル個別着信 (DIT) 指定 [D] (夜間A)	ISDN回線ごとに、夜間Aモードのとき、直接呼び出せる内線番号もしくは内線グループを指定する。	最大4桁(内線番号または内線特番)で指定。 1～8の範囲で指定。 10～89の範囲で指定。(内線2桁モード時)もしくは内線特番(4桁)で指定。 初期: 指定なし
P050	グローバル個別着信 (DIT) 指定 [D] (夜間B)	ISDN回線ごとに、夜間Bモードのとき、直接呼び出せる内線番号もしくは内線グループを指定する。	最大4桁(内線番号または内線特番)で指定。 1～8の範囲で指定。 10～89の範囲で指定。(内線2桁モード時)もしくは内線特番(4桁)で指定。 初期: 指定なし
P051	グローバル個別着信 (DIT) の [D] 遅延応答時間指定	ISDN回線ごとに、グローバル個別着信 (DIT) 指定のある外線ボタンに着信したとき、個別着信を切り替える時間を指定する。	<u>0</u> : 0秒            4 : 30秒 1 : 5秒            5 : 40秒 2 : 10秒           6 : 50秒 3 : 20秒           7 : 60秒



No.	設定項目	内 容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P061	内線番号桁数指定	内線番号の桁数を1桁もしくは2桁から指定する。 ※桁数変更時、内線番号および、内線番号で指定されている設定(DIT関連、内線代表番号、着信順次分配関連、オフフック内線自動発信)および電話帳、オートボタン、発信履歴、着信履歴は全て初期化される。	1 : 1桁 (1~8) 2 : 2桁 (10~89)
P062	PB信号送出パターン指定 (送出/ポーズ)	外線の種類をPBと指定した場合、またはDP外線でPB信号切り替え時、PB信号の送出時間と次の信号を送出するまでの時間を指定する。	0 : 80ms / 60ms 1 : 100ms / 80ms 2 : 400ms / 100ms 3 : 600ms / 100ms 4 : 900ms / 200ms
P063	話中/不応答転送タイマ指定	話中/不応答転送を設定している場合、個別着信時(内線着信、外線個別(DIT)着信、サブアドレス着信)、不応答のときに転送先へ転送する時間を指定する。	0 : 10秒      5 : 35秒 1 : 15秒      6 : 40秒 2 : 20秒      7 : 45秒 3 : 25秒      8 : 50秒 4 : 30秒      9 : 55秒
P064	IP電話自動交換グループ指定	IP電話自動交換機能のシステム電話番号を登録する電話帳グループを指定する。	0 : 指定なし      5 : グループ5 1 : グループ1      6 : グループ6 2 : グループ2      7 : グループ7 3 : グループ3      8 : グループ8 4 : グループ4      9 : グループ9
P066	グローバル着信 [D] CNG信号検出指定	ISDN回線ごとに、グローバル着信時にCNG信号の検出を行うか、否かを指定する。	数字 : 検出しない "-" : 検出する
P067	ダイヤルイン着信 CNG信号検出指定	ダイヤルイン番号ごとに、ダイヤルイン着信時にCNG信号の検出を行うか、否かを指定する。	数字 : 検出しない "-" : 検出する
P068	CNG信号検出時間指定	CNG信号の検出を行う着信にシステムが一次応答後、CNG信号の検出を行う時間を指定する。	0.4~3.0秒の範囲で指定。 初期 : 0.9 (9秒)
P069	オンフックリモート転送有効時間指定	オンフックリモート転送可に設定している場合、CNG信号の検出を行う着信に電話機が応答してからオンフックリモート転送を有効とする時間を指定する。	1~9秒の範囲で指定。 初期 : 5 (5秒)
P070	CNG信号検出終了後の開放時間 [A] 指定	アナログ外線のCNG信号検出終了により電話の着信と判断した場合、電話機が応答しないときに一次応答中の外線を強制的に開放する時間を指定する。	1.0~9.9秒の範囲で指定。 初期 : 3.0 (3.0秒)
P071	CNG信号検出禁止番号指定	CNG信号検出を禁止する番号を、システムで20個まで(禁止番号01~禁止番号20)登録可。	最大8桁で指定。 初期 : 禁止番号 01 : 050    禁止番号 07 : 0805 禁止番号 02 : 090    禁止番号 08 : 0806 禁止番号 03 : 0801    禁止番号 09 : 0807 禁止番号 04 : 0802    禁止番号 10 : 0808 禁止番号 05 : 0803    禁止番号 11 : 0809 禁止番号 06 : 0804 禁止番号 12~20 : 指定なし ※ダイヤル1~9、0のみ登録可。

No.	設定項目	内 容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P072	セ ー フ テ ィ シ ス テ ム 設 定	1：威嚇警報音の音量指定	威嚇警報音を鳴動するときの音量を指定する。 数字：大 “－”：小
		2：通報先終話時の威嚇継続指定	通報先から音声威嚇後の終話時に威嚇状態を復帰(継続)するか、否かを指定する。 数字：威嚇を継続する “－”：威嚇を終了する
		3：リレー出力タイミング指定	Webカメラに設定されたリレー端子のリレー出力信号の送出タイミングを指定する。 数字：センサ検知時 “－”：威嚇開始時
		4：未使用	
		5：通報発信時のACR許可指定	通報発信時、ACRの利用を許可するか、否かを指定する。 数字：ACR禁止 “－”：ACR許可
		6：威嚇時発光指定	威嚇動作に、電話機のバックライトおよび各種ランプの発光を利用するか、否かを指定する。 数字：利用する “－”：利用しない
		7：未使用	
		8：未使用	
		9：未使用	
		0：未使用	
P073	モードセット遅延時間指定	セーフティモードセット操作をしてからセーフティモードになるまでの時間を指定する。 001～600秒の範囲で指定。 初期：060(60秒)	
P074	威嚇遅延時間指定	セーフティモード中にセンサ検知したときに威嚇を開始するまでの時間を指定する。 001～600秒の範囲で指定。 初期：060(60秒)	
P075	威嚇警報音鳴動時間指定	威嚇警報音の鳴動時間を指定する。 01～60分の範囲で指定。 初期：20(20分)	
P078	通報発信外線強制切断指定	通報時に発信外線が通報以外の目的で使用中のときに、その通話を強制的に切断するか、否かを指定する。 数字：強制切断しない “－”：強制切断する	
P079	センサ入力信号ON確定時間指定	センサからの入力信号について、システムが検出したと判断するのに最低限必要なON時間の長さを設定する。設定時間よりも短い検出信号は無視される。 01：12.5ms    09：112.5ms 02：25.0ms    10：125.0ms 03：37.5ms    11：137.5ms <u>04：50.0ms</u> 12：150.0ms 05：62.5ms    13：162.5ms 06：75.0ms    14：175.0ms 07：87.5ms    15：187.5ms 08：100.0ms    16：200.0ms	
P080	センサ入力信号OFF確定時間指定	センサからの入力信号がONからOFFに変化してから、OFFと認めるまでの時間を設定する。 01：12.5ms    09：112.5ms <u>02：25.0ms</u> 10：125.0ms 03：37.5ms    11：137.5ms 04：50.0ms    12：150.0ms 05：62.5ms    13：162.5ms 06：75.0ms    14：175.0ms 07：87.5ms    15：187.5ms 08：100.0ms    16：200.0ms	

No.	設定項目	内 容	データの意味 (下線は初期値を表す)																																																						
P081	センサON連続検出回数指定	システムがセンサ検出ありと判断するまでのセンサからの入力信号のON確定のカウンタ数を指定する。	1～8回の範囲で指定。 初期：1回																																																						
P082	センサOFF確定時間指定	センサからの入力信号がONからOFFに変化してからセンサ入力がなくなったと認めるまでの時間を設定する。	<table border="0"> <tr><td>01： 50.0ms</td><td>17：2600.0ms</td></tr> <tr><td>02： 75.0ms</td><td>18：2800.0ms</td></tr> <tr><td>03： 100.0ms</td><td>19：3000.0ms</td></tr> <tr><td>04： 150.0ms</td><td>20：3200.0ms</td></tr> <tr><td>05： 200.0ms</td><td>21：3400.0ms</td></tr> <tr><td>06： 400.0ms</td><td>22：3600.0ms</td></tr> <tr><td>07： 600.0ms</td><td>23：3800.0ms</td></tr> <tr><td>08： 800.0ms</td><td>24：4000.0ms</td></tr> <tr><td>09：1000.0ms</td><td>25：4200.0ms</td></tr> <tr><td>10：1200.0ms</td><td>26：4400.0ms</td></tr> <tr><td>11：1400.0ms</td><td>27：4600.0ms</td></tr> <tr><td>12：1600.0ms</td><td>28：4800.0ms</td></tr> <tr><td>13：1800.0ms</td><td>29：5000.0ms</td></tr> <tr><td><u>14：2000.0ms</u></td><td>30：5500.0ms</td></tr> <tr><td>15：2200.0ms</td><td>31：6000.0ms</td></tr> <tr><td>16：2400.0ms</td><td>32：6500.0ms</td></tr> </table>	01： 50.0ms	17：2600.0ms	02： 75.0ms	18：2800.0ms	03： 100.0ms	19：3000.0ms	04： 150.0ms	20：3200.0ms	05： 200.0ms	21：3400.0ms	06： 400.0ms	22：3600.0ms	07： 600.0ms	23：3800.0ms	08： 800.0ms	24：4000.0ms	09：1000.0ms	25：4200.0ms	10：1200.0ms	26：4400.0ms	11：1400.0ms	27：4600.0ms	12：1600.0ms	28：4800.0ms	13：1800.0ms	29：5000.0ms	<u>14：2000.0ms</u>	30：5500.0ms	15：2200.0ms	31：6000.0ms	16：2400.0ms	32：6500.0ms																						
01： 50.0ms	17：2600.0ms																																																								
02： 75.0ms	18：2800.0ms																																																								
03： 100.0ms	19：3000.0ms																																																								
04： 150.0ms	20：3200.0ms																																																								
05： 200.0ms	21：3400.0ms																																																								
06： 400.0ms	22：3600.0ms																																																								
07： 600.0ms	23：3800.0ms																																																								
08： 800.0ms	24：4000.0ms																																																								
09：1000.0ms	25：4200.0ms																																																								
10：1200.0ms	26：4400.0ms																																																								
11：1400.0ms	27：4600.0ms																																																								
12：1600.0ms	28：4800.0ms																																																								
13：1800.0ms	29：5000.0ms																																																								
<u>14：2000.0ms</u>	30：5500.0ms																																																								
15：2200.0ms	31：6000.0ms																																																								
16：2400.0ms	32：6500.0ms																																																								
P083	一般電話機着信音周期指定	外線着信、外線個別着信、内線着信、ドアホン着信、着信音転送、保留警報、それぞれの動作時に一般電話機で着信鳴動させる鳴動パターンを指定する。	1：パターン1 2：パターン2 3：パターン3 4：パターン4 初期： 外線着信音：1（パターン1） 外線個別着信音：1（パターン1） 内線着信音：2（パターン2） ドアホン着信音：3（パターン3） 着信音転送音：1（パターン1） 保留警報音：4（パターン4）																																																						
●一般電話機鳴動パターン																																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="7">周期[秒]</th> </tr> <tr> <th></th> <th>名 称</th> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>パターン1</td> <td colspan="7"> </td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>パターン2</td> <td colspan="7"> </td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>パターン3</td> <td colspan="7"> </td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>パターン4</td> <td colspan="7"> </td> </tr> </tbody> </table>						周期[秒]								名 称	0	1	2	3	4	5	6	1	パターン1								2	パターン2								3	パターン3								4	パターン4							
		周期[秒]																																																							
	名 称	0	1	2	3	4	5	6																																																	
1	パターン1																																																								
2	パターン2																																																								
3	パターン3																																																								
4	パターン4																																																								

No.	設定項目	内 容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P084	オフフック内線自動発信遅延時間指定	オフフック内線自動発信動作を遅延させる時間を指定する。	000~180秒の範囲で指定。 初期：000 (0秒)
P085	外線自動転送発信時の動作指定	外線転送ごと(外線転送1~外線転送4)に、発信時の動作を指定する。 ※発信側外線を2外線指定したときのみ有効。 ※「発信側外線1からの発信を優先し、発信側外線1が着信中の場合、または発信側外線1の回線が捕捉できない場合に発信側外線2から同じ転送先番号に発信する方法」、もしくは「発信側外線1、2から同時に別々の転送先番号に発信する方法」のどちらかを指定する。	数字：発信側外線1優先 “-”：発信側外線1、2同時
P086	外線転送通話ゲイン指定	外線転送時の外線種別の組み合わせごと(A-A~V-V)に、通話における音量(ゲイン)を指定する。 ※着信側外線(A)、発信側外線(V)での外線転送が行われた場合、着信回線(A)から発信回線(V)方向への通話ゲインはA-Vの指定を利用し、発信回線(V)から着信回線(A)方向への通話ゲインはV-Aの指定を利用します。	0：-12dB 1：-9dB 2：-6dB 3：-3dB 4：0dB 5：+3dB 6：+6dB 7：+9dB 8：+12dB 初期： A-A：4(0dB) A-V：4(0dB) D-D：4(0dB) D-V：4(0dB) V-A：4(0dB) V-D：4(0dB) V-V：4(0dB) ※A、D、V、はそれぞれアナログ、デジタル、VoIPを意味する。
P088	自動FW更新定期チェック間隔指定	自動FW(ファームウェア)更新を定期的にチェックする間隔を指定する。	00~60日の間で指定。 00は定期チェックしない 初期値：03(3日)
P089	自動FW更新時間指定	自動FW(ファームウェア)更新を行う時間を指定する。	00~23時の間で指定。 初期値：02(2時)

No.	設定項目	内 容	データの意味 (下線は初期値を表す)	
P090	セ ー フ テ ィ シ ス テ ム 設 定	1：リモートコールバック発信回線指定	リモートコールバック発信を、行う回線の選択方法を指定する。 ※ 自動選局にした場合、発信規制の動作は、ユーザー登録の実装番号に対する指定内容で動作する。	数字：同一回線 “－”：自動選局
		2：リモートコールバックPB未検出時動作指定	リモートコールバック中、相手からのPBが検出できなかった場合、回線を切断するか一斉着信にするかを指定する。	数字：切断 “－”：一斉着信
		3：リモートコールバック発信時のACR許可指定	リモートコールバック発信時、ACRの利用を許可するか、否かを指定する。	数字：ACR禁止 “－”：ACR許可
		4：未使用		
		5：未使用		
		6：未使用		
		7：未使用		
		8：未使用		
		9：未使用		
P091	リモートコールバックグローバル着信検出指定	ISDN回線ごとに、リモートコールバック着信の検出を行うか、否かを指定する。	数字：検出しない “－”：検出する	
P092	リモートコールバックダイヤルイン着信検出指定	ダイヤルイン番号ごとに、リモートコールバック着信の検出を行うか、否かを指定する。	数字：検出しない “－”：検出する	
P093	リモートコールバック検出タイム指定	リモートコールバックの検出時間を指定する。 ※外線への着信時間が設定値を超えた場合、リモートコールバック機能は行わない。	004～180秒の間で指定。 初期値：007（7秒）	
P094	リモートコールバック呼出時間指定	リモートコールバック時、発信先を呼び出す時間を指定する。 ※リトライは3回まで。	0：60秒（リトライなし） 1：20秒（リトライあり） 2：40秒（リトライあり） 3：60秒（リトライあり）	
P097	REC録音時間指定	RECごとに、割り当てる録音時間を指定する。	000～120分の間で指定。 初期値：060（60分） ※1つのRECのみに最大時間を割り当てる場合には、他のRECの割り当て時間を000にする必要がある。 ※1の位は自動的に0が選択される。 ※録音時間は全RECを合計して120分まで指定可。	
P098	メール通知指定	WAN側グローバルIPアドレスが変更になった時と、セーフティ機能によるセンサ検知もしくは威嚇動作時に、予め登録してあるE-Mailアドレスへ通知するか、否かを指定する。	ON：通知する OFF：通知しない ※1を押すと“ON”を指定。 ※0を押すと“OFF”を指定。 初期： グローバルIPアドレス変更時：OFF セーフティ動作時：OFF	

## 収容外線対応

No.	設定項目	内 容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P101	外線収容および外線種別指定	収容外線ごとに、「未収容」、または接続されている回線の種別として「局線&ISDN」、「PBX内線」、「VoIP (外付け)」、「ひかり電話 (外付け)」のいずれかを指定する。 ※自動選局発信機能などの外線自動捕捉時に、未収容外線も捕捉してしまうため、未収容外線は必ず「未収容」に指定すること。 ※「ひかり電話 (外付け)」は、ひかり電話対応アダプタを使用する場合に指定する。	0 : 未収容 <u>1 : 局線&amp;ISDN</u> 2 : PBX内線 3 : VoIP (外付け) 4 : ひかり電話 (外付け)
P102 [A]	アナログ外線ダイヤル種別指定	収容外線ごとに、ダイヤル種別として、「DP (10PPS)」、「DP (20PPS)」、「PB」のいずれかを指定する。	0 : DP (10PPS) <u>1 : DP (20PPS)</u> 2 : PB
P103	NCC回線指定	収容外線ごと (内蔵VoIP回線を含む) に、NTT回線/NCC回線の種別を指定する。	数字 : NCC回線 “-” : NTT回線 初期 : 収容外線1~2 (NCC回線) 収容外線3~4 (NTT回線)
P105 [A]	アナログ外線NTT付加サービス指定	収容外線ごとに、ナンバー・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイ、モデムダイヤルインを利用するか、否かを指定する。	数字 : 利用しない “-” : 利用する
P106 [A]	アナログ外線ダイレクトリモコン指定	収容外線ごとに、発信者番号が転送先番号または通報先番号と一致した場合に、外線転送のリモコンまたはセーフティのリモコンを行なうか、否かを指定する。	数字 : 指定しない “-” : 指定する
P107	外線通話ゲイン指定	送話の音量 (ゲイン) と、受話の音量 (ゲイン) ごとに、外線通話における音量を収容外線ごと (内蔵VoIP回線を含む) に、指定する。	0 : -12dB 1 : -9dB 2 : -6dB 3 : -3dB 4 : 0dB 5 : +3dB 6 : +6dB 7 : +9dB 8 : +12dB 初期 : 送話 (0dB) 受話 (0dB)
P108 [A]	アナログ外線発信電話番号の通知状態指定	収容外線ごとに、発信電話番号の通知状態 (通常通知/通常非通知) を指定する。	数字 : 通常通知 “-” : 通常非通知
P109 [A]	アナログ外線着信CNG信号検出指定	収容外線ごとに、着信時にCNG信号の検出を行うか、否かを指定する。	数字 : 検出しない “-” : 検出する
P110 [A]	アナログ外線キャッチホン契約サービス指定	収容外線ごとに、アナログ外線キャッチホンを契約しているか、否かを指定する。	数字 : 契約なし “-” : 契約あり
P111 [A]	リモートコールバックアナログ外線着信検出指定	収容外線ごとに、リモートコールバック着信の検出を行うか、否かを指定する。	数字 : 検出しない “-” : 検出する

## 電話機対応

No.	設定項目	内 容	データの意味 (下線は初期値を表す)												
P201	内線番号指定	電話機ごと（初実装 SLI を含む）に、各電話機を内線呼出するための内線番号を指定する。	1～8の範囲で指定。 10～89の範囲で指定。(内線2桁モード時) 初期： 実装番号1～6が内線番号1～6に対応（内線2桁モードの場合実装番号1～6が内線番号10～15に対応） ※重複した内線番号を指定すると内線番号の入れ替えが行われる。												
P202	内線代表番号指定	電話機ごと（初実装 SLI を含む）に、内線呼出されたときに話中の場合、次に呼び出す電話機を内線番号で指定する。	1～8の範囲で指定。 10～89の範囲で指定。(内線2桁モード時) 初期：指定なし												
P203	電話機グループ呼出指定	電話機ごと（初実装 SLI を含む）に、電話機グループ呼出を行うときのグループを指定する。 ※ SLI は鳴動しない。	0：無所属 1：グループA 2：グループB 3：グループC 4：グループD												
P204	サービスクラス指定	電話機ごと（初実装 SLI を含む）に、クラスを指定する。	0：特甲 1：準特甲 2：甲 3：準甲 4：PBX内準甲												
		<p>●サービスクラスと外線発信規制</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>サービスクラス</th> <th>外線発信規制の内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特甲</td> <td>全ての対地へ発信可</td> </tr> <tr> <td>準特甲</td> <td>市内、特定市外★1のみ発信可</td> </tr> <tr> <td>甲</td> <td>市内のみ発信可</td> </tr> <tr> <td>準甲</td> <td>全ての外線が発信不可（内線のみ可）</td> </tr> <tr> <td>PBX内準甲</td> <td>全ての外線が発信不可（PBX内線および内線のみ可）</td> </tr> </tbody> </table> <p>※★1：P016 特定市外発信番号指定で指定された市外局番のみ市外発信可。</p>	サービスクラス	外線発信規制の内容	特甲	全ての対地へ発信可	準特甲	市内、特定市外★1のみ発信可	甲	市内のみ発信可	準甲	全ての外線が発信不可（内線のみ可）	PBX内準甲	全ての外線が発信不可（PBX内線および内線のみ可）	
サービスクラス	外線発信規制の内容														
特甲	全ての対地へ発信可														
準特甲	市内、特定市外★1のみ発信可														
甲	市内のみ発信可														
準甲	全ての外線が発信不可（内線のみ可）														
PBX内準甲	全ての外線が発信不可（PBX内線および内線のみ可）														
P205	話中着信指定	電話機ごとに、電話機使用中（話中）に、外線が着信した場合、着信音を鳴らすか鳴らさないかを指定する。 ※着信の鳴動指定が「鳴動あり」に指定されている場合に適用。 ※P215～P217で「鳴動あり」に指定された電話機で内線・外線通話中にドアホンからの呼び出しがあった場合も適用。	数字：鳴動あり “－”：鳴動なし												
P206	外線通話割込指定	電話機ごとに、外線と通話中の電話機に割り込むことの可否を指定する。 ※割り込みできるのは、外線1本に対して電話機1台のみ。	数字：割り込み不可 “－”：割り込み可												
P207	通話警告音鳴動指定	電話機ごとに、外線発信通話中に通話警告音（3分ごと）を鳴動するか、否かを指定する。	数字：鳴動なし “－”：鳴動あり												
P208	ハンズフリー通話制御指定	電話機ごとに、内蔵ハンズフリーを動作させるか、否かを設定する。 ※ハンズフリー通話制御を指定すると、通話中もハンズフリー通話可。	数字：指定なし “－”：指定あり												
P209	ヘッドセット接続指定	電話機ごとに、ヘッドセットを電話機に接続しているか、否かを指定する。	数字：接続なし “－”：接続あり												

No.	設定項目	内 容	データの意味 (下線は初期値を表す)												
P210	留守番電話機指定 (REC)	RECごと (RECBusyを含む) に、留守番電話として動作させる電話機を指定する。 ※ RECBusy には、通話中Busy (話中) 拒否のセット操作を行うための電話機を指定。	0～5の範囲で指定。 0は指定なし。 初期： REC1：1 (実装番号1) REC2：0 (指定なし) REC Busy：0 (指定なし) ※他のRECに指定済みの実装番号を指定することはできない。												
P211	オフフック発信指定	電話機ごとに、プリセットダイヤルのダイヤル入力後、およびダイヤル確認表示中にオフフックした場合、ダイヤル発信を行うか、否かを指定する。	数字：指定なし “-”：指定あり												
P212	発信優先モード指定	電話機ごと (初実装SLIを含む) に、電話機でオフフックしたときに「内線」を優先するか「外線」を優先するかを指定する。	数字：内線優先モード “-”：外線優先モード 初期： 電話機標準ポート (内線優先モード) SLI (外線優先モード)												
P213	一般電話機の種別指定	電話機ごと (初実装SLIを含む) に、使用する一般電話機の種別がDPかPBかを指定する。	数字：PB “-”：DP ※電話機標準ポートへの指定は無効。												
P214	ドアホン着信自動応答指定	ドアホンごとに、ドアホンから着信があったとき、受話器を上げるだけで応答できる電話機を指定する。	数字：有 “-”：無												
P215	ドアホン着信音鳴動指定 (昼)	ドアホンごとに、昼間モードのときドアホンから着信があった場合、ドアホン着信音の鳴る電話機 (初実装SLIを含む) を指定する。	数字：鳴動あり “-”：鳴動なし 初期： 電話機標準ポート (鳴動あり) SLI (鳴動あり)												
		●ドアホン着信音パターン													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>ドアホン1</th> <th>ドアホン2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電話機</td> <td>ピ<sup>ン</sup>ホ<sup>ン</sup>・ピ<sup>ン</sup>ホ<sup>ン</sup>・ピ<sup>ン</sup>ホ<sup>ン</sup></td> <td>ピ<sup>ン</sup>ホ<sup>ン</sup>・<sup>ン</sup>ホ<sup>ン</sup></td> </tr> <tr> <td>DC子機</td> <td>ピ<sup>ン</sup>ホ<sup>ン</sup></td> <td>ピ<sup>ン</sup>ホ<sup>ン</sup>・ピ<sup>ン</sup>ホ<sup>ン</sup></td> </tr> <tr> <td>SLI</td> <td colspan="2">P083 一般電話機着信音周期指定</td> </tr> </tbody> </table>		ドアホン1	ドアホン2	電話機	ピ <sup>ン</sup> ホ <sup>ン</sup> ・ピ <sup>ン</sup> ホ <sup>ン</sup> ・ピ <sup>ン</sup> ホ <sup>ン</sup>	ピ <sup>ン</sup> ホ <sup>ン</sup> ・ <sup>ン</sup> ホ <sup>ン</sup>	DC子機	ピ <sup>ン</sup> ホ <sup>ン</sup>	ピ <sup>ン</sup> ホ <sup>ン</sup> ・ピ <sup>ン</sup> ホ <sup>ン</sup>	SLI	P083 一般電話機着信音周期指定		
	ドアホン1	ドアホン2													
電話機	ピ <sup>ン</sup> ホ <sup>ン</sup> ・ピ <sup>ン</sup> ホ <sup>ン</sup> ・ピ <sup>ン</sup> ホ <sup>ン</sup>	ピ <sup>ン</sup> ホ <sup>ン</sup> ・ <sup>ン</sup> ホ <sup>ン</sup>													
DC子機	ピ <sup>ン</sup> ホ <sup>ン</sup>	ピ <sup>ン</sup> ホ <sup>ン</sup> ・ピ <sup>ン</sup> ホ <sup>ン</sup>													
SLI	P083 一般電話機着信音周期指定														
P216	ドアホン着信音鳴動指定 (昼間A)	ドアホンごとに、夜間モードAのときドアホンから着信があった場合、ドアホン着信音の鳴る電話機 (初実装SLIを含む) を指定する。	数字：鳴動あり “-”：鳴動なし 初期： 実装番号1、2のみ (鳴動あり) SLI (鳴動なし)												
P217	ドアホン着信音鳴動指定 (夜間B)	ドアホンごとに、夜間モードBのときドアホンから着信があった場合、ドアホン着信音の鳴る電話機 (初実装SLIを含む) を指定する。	数字：鳴動あり “-”：鳴動なし 初期： 実装番号1、2のみ (鳴動あり) SLI (鳴動なし)												
P218 [D]	発信者番号選択指定	電話機ごと (初実装SLI、ユーザー登録を含む) に、ISDN回線で発信する場合、呼設定メッセージに発アドレス情報要素を含める番号を捕捉した外線の電話番号とするか特定の番号とするかを指定する。 ※発信する収容回線と関係ない番号を指定した場合は、契約回線または、代表回線の電話番号が通知される。 ※リモートコールバック機能は、ユーザー登録の実装番号に対する指定内容で動作する。	00：捕捉した外線の電話番号 01：ISDN1 02～33：ダイヤルイン01～32												

No.	設定項目	内 容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P219	発信者番号表示指定	電話機ごとに、外線着信時、発信者番号、ナンバー・ディスプレイ・ネームディスプレイを表示するか、否かを指定する。	数字：表示する (名前と番号) “-”：表示しない
P220	着信順次分配グループ内線番号指定	登録テーブル番号ごと (登録テーブル番号01～登録テーブル番号16) に、分配グループ (グループ1～グループ4) と内線番号を指定する。 ※着信を振り分ける場合は登録テーブル番号の若番から順番に振り分ける。	分配グループ： 1～4の範囲で指定。 内線番号： 1～8の範囲で指定。 10～89の範囲で指定。(内線2桁モード時) 初期：登録テーブル番号01～16：指定なし ※他のグループで既に指定されている内線番号を指定した場合、先に指定されていたグループ番号を内線番号は消去される。
P221	着信順次分配グループ代表番号指定	着信順次分配グループごと (着信順次分配グループ1～着信順次分配グループ4) に、代表の内線番号を指定する。 ※代表番号は内線番号1～8で割り当てられていない番号を指定する。 ※内線番号と重複した番号を指定した場合は内線番号を優先とし、着信順次分配グループへの着信とはならない。 ※本データは外線個別着信 (DIT) に対して適用され、内線個別着信およびISDNサブアドレス着信には適用しない。	1～8の範囲で指定。 10～89の範囲で指定。(内線2桁モード時) 初期：着信順次分配グループ1～4：指定なし ※他のグループに既に指定されている内線番号を指定した場合、先に指定されていた内線番号は消去される。
P222	通話メモ使用REC指定	電話機ごとに、通話メモ機能を使用するREC番号を指定する。	0：指定なし 1：REC1 2：REC2
P223	ドアホン着信指定	ドアホンごとに、ドアホン着信に対し、着信および表示を行う電話機 (初実装SLIを含む) を指定する。	数字：指定する “-”：指定しない
P224	着信履歴指定	電話機ごと (初実装SLIを含む) に、着信応答した履歴を残すか残さないかを指定する。	数字：残す “-”：残さない
P225	オフフック内線自動発信指定	電話機ごと (初実装SLIを含む) に、受話器を上げたときに呼び出す内線番号もしくは内線グループを、最大4桁 (内線番号または内線特番) で指定する。 ※オフフック内線自動発信機能と、スピーカを押して内線発信をすること以外の操作を受け付けなくなる。	1～8の範囲で指定。 10～89の範囲で指定。(内線2桁モード時) もしくは内線特番 (4桁) で指定。 初期：指定なし
P226	セーフティグループ指定	電話機ごとに、セーフティグループを設定する。	0：指定なし 1：グループA
P228	音声威嚇電話機指定	通知先から音声の威嚇を行うとき、ハンズフリー通知状態にする音声威嚇電話機 (音声威嚇電話1～音声威嚇電話3) を指定する。 ※セーフティ機能を利用する場合は必ず音声威嚇電話機を指定する。 ※音声威嚇電話機に指定できる電話機は標準電話機のみ。	実装番号1～5の範囲で指定。 0は指定なし。 初期： 音声威嚇電話1～3：0 (指定なし) ※P226 セーフティグループ指定で同じグループに属する電話機のみ指定可。 ※実装番号重複登録不可。
P229	センサ動作指定	電話機ごとに、センサ検出を許可するか、否かを指定する。 ※SS電話機に対してのみ有効。	数字：許可する “-”：許可しない

No.	設定項目	内 容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P230	ワンショット留守番機能使用 REC 指定	電話機ごとに、ワンショット留守番機能に利用する REC を指定する。	<u>0</u> ：指定なし 1：REC 1 2：REC 2 ※ P210 で留守番電話機に指定されている電話機は他の REC を指定することはできない。(RECBusy を除く)
P231	内線呼出優先順位指定	電話機ごとに、内線で呼び出されるとき、「音声」で呼び出されるか「信号音」で呼び出されるかを指定する。 ※指定に関係なく呼出先が DC 子機の場合は信号音での呼び出しになる。	<u>数字</u> ：音声呼 “—”：信号呼
P233	チャイム音鳴動指定	電話機ごとに、チャイムを鳴動させるか、否かを指定する。	<u>数字</u> ：鳴動あり “—”：鳴動なし

## メニュープログラミング対応

No.	設定項目	内 容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P301	通常着信指定	電話機ごと（初実装 SLI を含む）に、外線に通常着信（グローバル着信含む）があった時、着信および表示を行う外線番号を指定する。	数字：指定する “－”：指定しない
P302	着信音鳴動指定（昼）	電話機ごと（初実装 SLI を含む）に、昼間モードのときに外線に着信があった場合、着信音の鳴る外線番号を指定する。	数字：鳴動あり “－”：鳴動なし
P303	着信音鳴動指定（夜間 A）	電話機ごと（初実装 SLI を含む）に、夜間 A モードのときに外線に着信があった場合、着信音の鳴る外線を指定する。	数字：鳴動あり “－”：鳴動なし 初期： 実装番号 1、2 のみ（鳴動あり）
P304	着信音鳴動指定（夜間 B）	電話機ごと（初実装 SLI を含む）に、夜間 B モードのときに外線に着信があった場合、着信音の鳴る外線を電話機ごとに指定する。	数字：鳴動あり “－”：鳴動なし 初期： 実装番号 1、2 のみ（鳴動あり）
P305	ダイヤルイン着信指定	電話機ごと（初実装 SLI を含む）に、ダイヤルイン番号に着信があった場合、着信および表示を行うダイヤルイン番号を指定する。	数字：指定する “－”：指定しない
P306	ダイヤルイン着信音鳴動指定（昼）	電話機ごと（初実装 SLI を含む）に、昼間モードのときにダイヤルイン番号に着信があった場合、着信音の鳴るダイヤルイン番号を指定する。	数字：鳴動あり “－”：鳴動なし
P307	ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間 A）	電話機ごと（初実装 SLI を含む）に、夜間 A モードのときにダイヤルイン番号に着信があった場合、着信音の鳴るダイヤルイン番号を指定する。	数字：鳴動あり “－”：鳴動なし 初期： 実装番号 1、2 のみ（鳴動あり）
P308	ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間 B）	電話機ごと（初実装 SLI を含む）に、夜間 B モードのときにダイヤルイン番号に着信があった場合、着信音の鳴るダイヤルイン番号を指定する。	数字：鳴動あり “－”：鳴動なし 初期： 実装番号 1、2 のみ（鳴動あり）
P309	発信規制指定（昼）	電話機ごと（初実装 SLI、ユーザー登録を含む）に、昼間モードのときに外線発信を規制する外線を指定する。 ※リモートコールバック機能は、ユーザー登録の実装番号に対する指定内容で動作する。	数字：発信可 “－”：発信不可
P310	発信規制指定（夜間 A）	電話機ごと（初実装 SLI、ユーザー登録を含む）に、夜間 A モードのときに外線発信を規制する外線を指定する。 ※リモートコールバック機能は、ユーザー登録の実装番号に対する指定内容で動作する。	数字：発信可 “－”：発信不可
P311	発信規制指定（夜間 B）	電話機ごと（初実装 SLI、ユーザー登録を含む）に、夜間 B モードのときに外線発信を規制する外線を指定する。 ※リモートコールバック機能は、ユーザー登録の実装番号に対する指定内容で動作する。	数字：発信可 “－”：発信不可
P312	コールバック着信鳴動指定	電話機ごと（初実装 SLI を含む）に、外線転送コールバックおよび REC 手動応答コールバック時に鳴動する外線番号を指定する。	数字：鳴動あり “－”：鳴動なし 初期： 電話機標準ポート（鳴動あり） 初実装 SLI（鳴動なし）

No.	設定項目	内 容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P313	自動選局指定 (発信)	<p>電話機ごと (初実装 SLI を含む) に、外線発信時、発信、リダイヤル、オートダイヤル、ダイヤルアクセス「0」ボタンを押すことにより、自動的に捕捉する外線番号を指定する。</p> <p>※内線捕捉状態でダイヤルアクセス「0」を押したときに自動捕捉する外線は、P009 および P001_9 で指定した外線である。また、それ以外の自動選局時は P010 および P001_9 で指定した外線ボタンである。</p> <p>※ P309 ~ P311 発信規制指定で「発信不可」に指定した外線ボタンは、本指定に関係なく、外線自動捕捉時に、捕捉しない。</p>	<p>数字：自動選局する  “—”：自動選局しない</p>
P314	自動選局指定 (応答)	<p>電話機ごとに、外線着信時、オフフックによる着信応答 (応答プリセット) を可とする外線番号を指定する。</p> <p>※ SLI は、本指定に関係なく着信音が鳴動している電話機で受話器を上げると着信応答できる。</p>	<p>数字：応答可  “—”：応答不可</p>
P321	ドアホン着信メロディ指定	<p>ドアホンごとに、ドアホン着信時、電話機から鳴動させるメロディを指定する。</p>	<p>0：標準ドアホン着信音  1：保留メロディ  2：着信メロディ</p>

## テナント対応

No.	設定項目	内 容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P402	外線ボタン割付指定	外線ボタンごとに、割り付けるボタンを指定する。	0 : オートダイヤル 1 : 外線 (局線 / ISDN) 2 : VoIP (内蔵 / 外付けアダプタ) 3 : PBX 内線 初期 : 外線ボタン 01 ~ 02 : 1 (外線) 外線ボタン 03 ~ 30 : 0 (オートダイヤル)
P403	外線発信時の収容外線指定	外線ボタンごとに、その外線ボタンから発信するときに、発信を許可する収容外線を指定する。	数字 : 許可しない “-” : 許可する 初期 : 外線ボタン 01 : 収容外線 1 のみ許可する 外線ボタン 02 : 収容外線 2 のみ許可する 外線ボタン 03 ~ 30 : 全収容外線 : 許可しない ※ 1 つの外線ボタンに複数の収容外線を指定可。 ※ P402 外線ボタン割付指定で外線もしくは PBX 内線に指定されている外線ボタンには収容外線 1 ~ 2 のみ指定可。 ※ P402 外線ボタン割付指定で VoIP に指定されている外線ボタンには収容外線 1 ~ 2 (VoIP 外付けアダプタ)、収容外線 3 ~ 4 (内蔵 VoIP) が指定可。
P407 [A]	アナログ着信 着信外線指定	収容外線ごとに、その収容外線に着信したときの着信外線ボタンを指定する。	数字 : 指定しない “-” : 指定する 初期 : 収容外線 1 : 外線ボタン 01 のみ指定する 収容外線 2 : 外線ボタン 02 のみ指定する
P411 [D]	グローバル着信 着信外線指定	ISDN 回線ごとに、ISDN 回線に対応したグローバル着信の着信外線ボタンを指定する。	数字 : 指定しない “-” : 指定する 初期 : 外線ボタン 01, 02 のみ指定する
P415	ダイヤルイン着信 着信外線指定	ダイヤルイン番号ごとに、ダイヤルイン着信の着信外線ボタンを指定する。	数字 : 指定しない “-” : 指定する
P419	外線捕捉時 / 発信者番号指定	外線ボタンごとに、外線発信時、表示器に表示する外線ボタンの電話番号を指定する。また、ISDN 回線で発信したときの発信者番号としても使用する。	最大 13 桁で指定。 ハイフン (-) はフラッシュボタンで入力。 初期 : 指定なし ※ ダイヤル 1 ~ 9、0、(-) のみ登録可
P420	発信者番号通知指定	外線ボタンごとに、外線発信時に発信者番号を通知するか、否かの初期値を指定する。外線捕捉後のボタン操作により切り替え可。	数字 : 通知する “-” : 通知しない



No.	設定項目	内 容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P426	外線自動転送（発信側）指定	<p>外線転送ごと（外線転送1～外線転送4）に、外線自動転送を使用する場合の発信側外線ボタンを指定する。</p> <p>※指定外線は、外線着信に対しP019外線転送自動応答時間指定で指定された着信時間で自動応答し、外線転送のリモコン操作ができる状態になる。</p>	<p>外線ボタン01～30を指定する。</p> <p>初期：</p> <p>外線転送1－発信側外線1:00(指定なし)  外線転送1－発信側外線2:00(指定なし)  外線転送2－発信側外線1:00(指定なし)  外線転送2－発信側外線2:00(指定なし)  外線転送3－発信側外線1:00(指定なし)  外線転送3－発信側外線2:00(指定なし)  外線転送4－発信側外線1:00(指定なし)  外線転送4－発信側外線2:00(指定なし)</p> <p>※PBX内線を指定することはできない。  ※同一外線転送では発信側外線に外線ボタンを重複して指定することはできない。  ※発信側外線に指定した外線ボタンは、P427着信側指定において「指定しない」に変更される。</p>
P427	外線自動転送（着信側）指定	<p>外線ボタンごとに、外線自動転送を使用する場合の着信側外線を指定する。</p> <p>※外線転送一次応答メッセージを利用するにはP028REC使途指定で留守／お待たせ／一次応答に指定する必要がある。</p>	<p>0：指定しない</p> <p>1：外線転送1：一次応答なし  2：外線転送1：一次応答あり  3：外線転送2：一次応答なし  4：外線転送2：一次応答あり  5：外線転送3：一次応答なし  6：外線転送3：一次応答あり  7：外線転送4：一次応答なし  8：外線転送4：一次応答あり</p> <p>※PBX内線を指定することはできない。  ※発信側外線に指定している外線ボタンは、着信側外線に指定することはできない。</p>
P428	留守番自動応答指定	<p>外線ボタンごとに、外線着信時の留守番自動応答機能を指定する。</p>	<p>0：自動応答しない</p> <p>1：REC1が自動応答  2：REC2が自動応答</p>
P429	発信許可／規制ダイヤル指定	<p>外線ボタンごとに、発信を許可または規制したい番号をシステムで40個まで（ダイヤルテーブル01～ダイヤルテーブル40）登録可。</p> <p>※発信を許可するか規制するかはP433発信許可／規制指定による。</p>	<p>最大12桁で指定。</p> <p>初期：ダイヤルテーブル01～40：指定なし</p>
P433	発信許可／規制指定	<p>外線ボタンごとに、ダイヤルテーブルごとに登録したダイヤルの発信を許可するか規制するか、または未使用とするかを指定する。</p>	<p>0：未使用</p> <p>1：許可する  2：規制する</p>

No.	設定項目	内 容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P437 [A]	個別着信 (DIT) 指定 (昼)	外線ボタンごとに、昼間モードのとき、外線からのアナログ着信に対し直接呼び出せる内線番号もしくは内線グループを指定する。	最大4桁 (内線番号または内線特番) で指定。 1～8の範囲で指定。 10～89の範囲で指定。(内線2桁モード時) もしくは内線特番 (4桁) で指定。 初期: 指定なし
P438 [A]	個別着信 (DIT) 指定 (夜間A)	外線ボタンごとに、夜間Aモードのとき、外線からのアナログ着信に対し直接呼び出せる内線番号もしくは内線グループを指定する。	最大4桁 (内線番号または内線特番) で指定。 1～8の範囲で指定。 10～89の範囲で指定。(内線2桁モード時) もしくは内線特番 (4桁) で指定。 初期: 指定なし
P439 [A]	個別着信 (DIT) 指定 (夜間B)	外線ボタンごとに、夜間Bモードのとき、外線からのアナログ着信に対し直接呼び出せる内線番号もしくは内線グループを指定する。	最大4桁 (内線番号または内線特番) で指定。 内線番号1～8の範囲で指定。 10～89の範囲で指定。(内線2桁モード時) もしくは内線特番 (4桁) で指定。 初期: 指定なし
P440 [A]	個別着信 (DIT) の遅延応答時間指定	外線ボタンごとに、個別着信 (DIT) 指定のある外線ボタンにアナログ着信したとき、個別着信を切り替える時間を指定する。	0 : 0秒 1 : 5秒 <u>2 : 10秒</u> 3 : 20秒 4 : 30秒 5 : 40秒 6 : 50秒 7 : 60秒
P450	通報発信外線指定	セーフティグループごとに、通報時に発信外線として使用する外線ボタンを指定する。 ※外線自動転送の発信側外線と同一外線も設定可。	外線ボタン01～30を指定する。 初期: グループA:00 (指定なし) ※ VoIP 外線は指定不可。 ※ P402 の設定が「1: 外線 (局線 / ISDN)」に指定されている外線ボタンのみ指定可。
P452	FAX 転送先指定	FAX を SLI ポートに接続するか、否かを指定する。	0 : 接続なし <u>1 : SLI</u>

## 携帯 ACR 対応

No.	設定項目	内 容	データの意味 (下線は初期値を表す)
P501	キャリアアクセスコード指定	外線発信時の電話番号がキャリア選択識別番号と一致したときに電話番号の前に自動的に付加する各事業者のサービスにアクセスするために必要な番号を指定する。	最大12桁で指定。 初期：指定なし
P502	キャリア選択識別番号指定	外線発信時にキャリアを選択するための識別番号をシステムで120個まで(識別番号001～識別番号120)登録可。	最大8桁で指定。 初期： 識別番号001：090 識別番号002：0801 識別番号003：0802 識別番号004：0803 識別番号005：0804 識別番号006：0805 識別番号007：0806 識別番号008：0807 識別番号009：0808 識別番号010：0809 識別番号011～120：指定なし
P503	キャリアアクセス表示指定	キャリアを選択したときの電話機に表示する内容を指定する。	最大16文字で指定。(全角文字のみ) 初期：携帯ACR アクセス

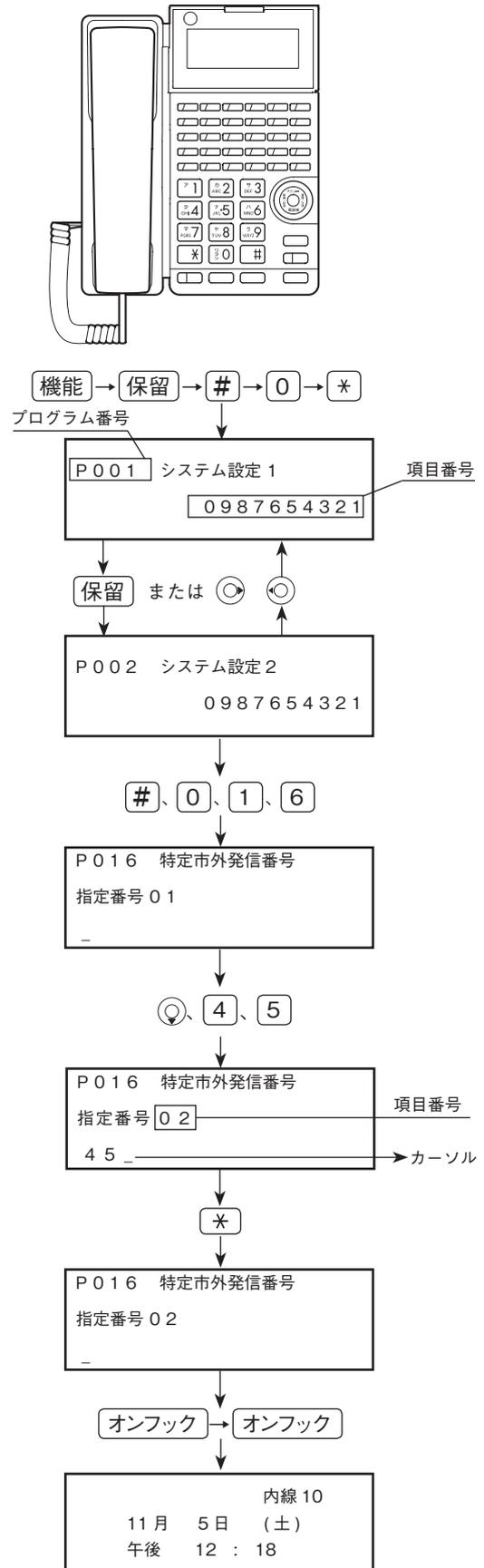
# 16 プログラム設定方法

- プログラム設定は、TD・LD・CL（親機）から設定する。
- [D]印のプログラムはデジタル回線接続時に有効。
- [A]印のプログラムはアナログ回線接続時に有効。

- ① 受話器をおいたままで、**機能**→**保留**→**#**→**0**→**\***のボタンを押す。  
→「P001 システム設定 1」表示  
※外線通話をしながら、プログラム設定を行う場合は、通話状態のままで **機能**→**保留**→**#**→**0**→**\***のボタンを押す。
- ② 項目番号を変更するときは、ダイヤルボタンを押す。  
※数字表示が－表示に、－表示が数字表示に変わる。
- ③ 次のプログラム番号に進むときは **⏪**、元に戻すときは **⏩**を押す。  
※**保留**を押すごとに、次のプログラム番号に進む。
- ④ プログラム番号 P001～P503 の設定を行う。  
※特定のプログラムを設定したいときは **#**、プログラム番号を押す。

[例] P016 の場合は **#**、**0**、**1**、**6** を押す

- ⑤ **⏪** を押すと 2 行目の値が増加する。  
**⏩** を押すと 2 行目の値が減少する。  
発信 を押すと 3 行目の値が増加する。  
短縮 を押すと 3 行目の値が減少する。  
※指定内容を消去するときは、**\*** を押す。
- ⑥ オフフック、オンフック を行うと仮登録になり、カレンダー・時計の表示に戻ります。すべての電話機が使用していないときに、自動的に本登録になる。  
※仮登録中は、「プログラム設定データ 登録中」が表示される。  
※REC 機能が留守番在宅モード以外で動作中に、下記設定項目のいずれかを変更した場合、「プログラム設定データ 登録中」が表示され、留守モードを在宅に切り替えるまで本登録は行われない。  
P028 REC 用途指定  
P029 留守番機能指定  
P097 REC 録音時間指定  
P210 留守番電話機指定 (REC)  
P428 留守番自動応答指定  
※セーフティモード動作中に下記設定項目のいずれかを変更した場合、「プログラム設定データ 登録中」が表示され、セーフティモードを解除するまで本登録は行われない。  
P035 リレー制御指定  
P072-1 威嚇警報音の音量指定  
P072-2 通報先終話時の威嚇継続指定  
P072-3 リレー出カタイミグ指定  
P072-5 通報発信時の ACR 許可指定  
P072-6 威嚇時発光指定  
P073 モードセット遅延時間指定  
P074 威嚇遅延時間指定  
P075 威嚇警報音鳴動時間指定



- P078 通報発信外線強制切断指定
- P079 センサ入力信号 ON 確定時間指定
- P080 センサ入力信号 OFF 確定時間指定
- P081 センサ ON 連続検出回数指定
- P082 センサ OFF 確定時間指定
- P101 外線収容および外線種別指定
- P226 セーフティグループ指定
- P228 音声威嚇電話機指定
- P229 センサ動作指定
- P402 外線ボタン割付指定
- P403 外線発信時の収容外線指定
- P450 通報発信外線指定

- ⑦ プログラム設定中に **●** を押すと、HELP 画面へ移行する。  
 (各設定の簡単な説明が表示される。)  
 ※ HELP 画面表示中、4 行目に▽が表示されている場合、  
**○** を押すと HELP 画面の続きを表示する。  
 ※ HELP 画面表示中に **●** を押すと、設定画面に戻る。  
 ※ HELP 画面表示中に **○** を押すと、次のプログラム番号に進む。
- ⑧ “数字” と “-” を変更する設定において、**フラッシュ** を押すと、“数字” と “-” を一括で反転することが可能。

## プログラム設定コピーモード

コピーモードは以下の設定データに対して適用する。  
 ※ 1 対 1 および 1 対 N コピー可とする。  
 ※ 同一項目内 (実装番号、外線番号) でのコピーを可とする。

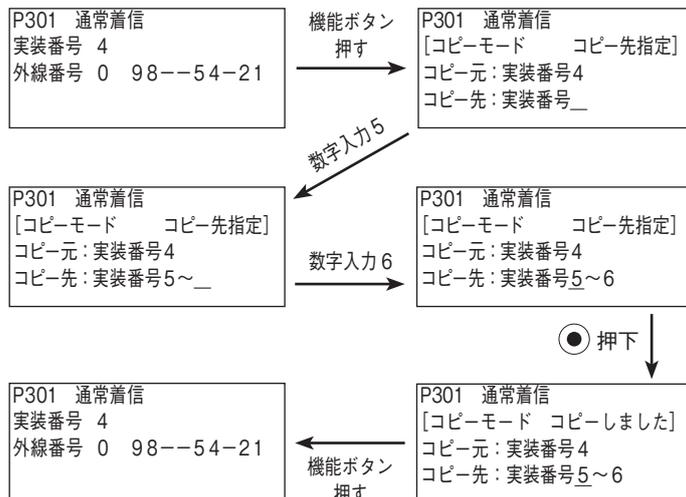
[メニュープログラミング対応]
P301 通常着信指定
P302 着信音鳴動指定 (昼)
P303 着信音鳴動指定 (夜間 A)
P304 着信音鳴動指定 (夜間 B)
P305 ダイヤルイン着信指定
P306 ダイヤルイン着信音鳴動指定 (昼)
P307 ダイヤルイン着信音鳴動指定 (夜間 A)
P308 ダイヤルイン着信音鳴動指定 (夜間 B)
P309 発信規制指定 (昼)
P310 発信規制指定 (夜間 A)
P311 発信規制指定 (夜間 B)
P312 コールバック着信音鳴動指定
P313 自動選局指定 (発信)
P314 自動選局指定 (応答)
[テナント対応]
P429 発信許可/規制ダイヤル指定
P433 発信許可/規制指定

## 《機能概要》

2 行目に表示されている項目番号 (実装番号または外線番号) ごとに設定された 3 行目の設定内容 (「数字」もしくは「-」) を、同設定内の、他の 2 行目に表示されている項目番号にコピーすることが可能である。

例) P301 の場合  
 実装番号 4 に設定された外線番号の「数字」もしくは「-」と同じ状態を、P301 の実装番号 5 ~ 6 にコピーする。

## 操作手順



## 入力を消去する場合

P301 通常着信  
 [コピーモード コピー先指定]  
 コピー元:実装番号4  
 コピー先:実装番号\_

**✕** を押すとコピー先に入力済みの数字を消去する。

コピー先の数字が確定する前に、**●** を押下した場合。

P429 発信許可/規制ダイヤル  
 [コピーモード 入力途中で]  
 コピー元:外線番号04  
 コピー先:外線番号1\_

数字入力中に **●** を押した場合、  
 [コピーモード 入力途中で] の警告が表示されます。  
 数字の入力を完了した後、**●** を押してください。

コピー先に 1 つの番号のみ入力し、その後 **●** を押下した場合。

P301 通常着信  
 [コピーモード コピー先指定]  
 コピー元:実装番号4  
 コピー先:実装番号2\_

図 1

数値要素が 1 つの場合その値 (図 1 の場合、実装番号 2) に対してのみコピーが行われます。

機能 → 保留 → # → 0 → \* を押す

# システム対応

## ■ P001 システム設定 1

P001 システム設定 1

0987654321 <初期設定>

：初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	未使用	—	—
2	一斉／グループ呼出指定	音声呼	信号呼
3	共通短縮ダイヤル 発信規制解除指定	解除しない (規制する)	解除する (規制しない)
4	強制転送指定	可	不可
5	自動転送指定	可	不可
6	オンフック転送指定	可	不可
7	ワンタッチ発信機能指定	不可	可
8	通話中の CNG 信号検出 継続指定	継続する	継続しない
9	外線自動選局順位指定	老番から	若番から
0	自動PB信号切り替え指定	有	無

## ■ P001 プログラム番号 P001

[例] 内線呼出方法を「音声呼」から「信号呼」へ変更する

1 機能 → 保留  
→ # → 0 →  
\* を押す

P001 システム設定 1  
0987654321

音声呼 ←

2 2 を押す

P001 システム設定 1  
09876543-1

信号呼 ←

保留 を押す

## ■ P002 システム設定 2

P002 システム設定 2

0987654321

<初期設定>

：初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	ポーズ時間指定	3.0 秒	1.0 秒
2	迷惑電話一覧表示指定	電話番号順	登録順
3	外線発信規制指定 100 番 (準特甲、甲)	規制あり	規制なし
4	外線発信規制指定 110 番、 119 番 (PBX 内準甲)	規制なし	規制あり
5	一般電話機 (保留 / フッキング) 指定	保留	フッキング
6	未使用	—	—
7	未使用	—	—
8	未使用	—	—
9	未使用	—	—
0	通話料金表示 フォーマット指定	小数点以下は 表示しない	小数点第 1 位 まで表示する

保留 を押す

## ■ P003 システム設定 3

P003 システム設定 3

0987654321

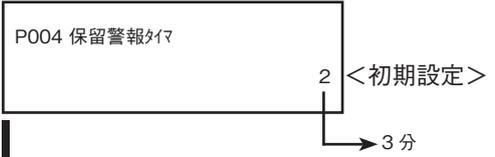
<初期設定>

：初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	個別着信 (DIT) の着信拒否指定	着信拒否する	一斉着信にする
2	個別着信 (DIT) 動作指定	一斉着信 → 個別着信	個別着信 → 一斉着信
3	未使用	—	—
4	未使用	—	—
5	ナンバー・ディスプレイ 着信履歴指定	記録する	記録しない
6	着信履歴表示指定 (着歴ボタン)	すべて表示する	自子機の 履歴のみ表示
7	システム着信履歴表示指定	すべて表示する	着信応答した 履歴を除いて表示
8	アナログ外線の発信電話番号 切替指定	利用する	利用しない
9	オンフックリモート 転送指定	転送不可	転送可
0	CNG 信号検出中の着信音 鳴動指定	鳴動しない	鳴動する

保留 を押す

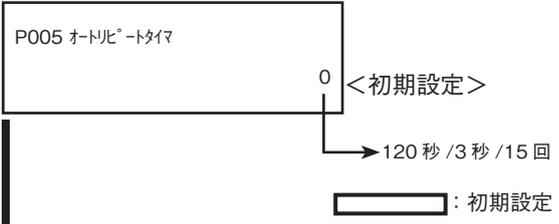
## ■ P004 保留警報タイマ指定



初期値	設定変更
2	0:1分
	1:2分
	2:3分
	3:4分
	4:無制限

**保留** を押す

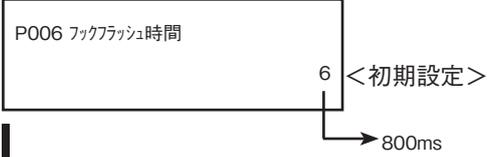
## ■ P005 オートリピートタイマ指定



項目	内 容		
	呼出時間	待ち時間	回 数
0	120秒	3秒	15回
1	120秒	10秒	15回
2	120秒	30秒	15回
3	120秒	60秒	100回

**保留** を押す

## ■ P006 フックフラッシュ時間指定



初期値	設定変更	
6	0: (設定不可)	5: 600ms
	1: (設定不可)	6: 800ms
	2: (設定不可)	7: 1.0s
	3: 200ms	8: 1.5s
	4: 400ms	9: 2.0s

**保留** を押す

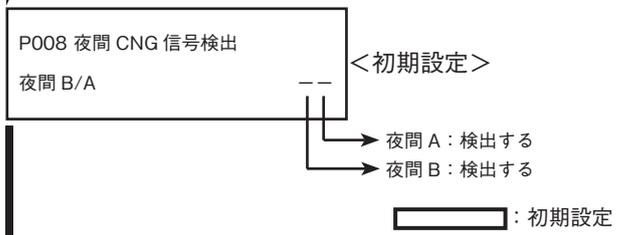
## ■ P007 オートリピート発信指定



項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	ワンタッチリダイヤル	オートリピートする	オートリピートしない
2	確かめダイヤル	オートリピートする	オートリピートしない
3	プリセットダイヤル	オートリピートする	オートリピートしない
4	ワンタッチオートダイヤル	オートリピートする	オートリピートしない

**保留** を押す

## ■ P008 夜間 CNG 信号検出指定



項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	夜間 A	検出しない	検出する
2	夜間 B		検出する

※ 以下の設定において、「検出する」に設定されている着信に対して適用する。

- P066 グローバル着信 CNG 信号検出
- P067 ダイヤルイン着信 CNG 信号検出
- P109 アナログ外線着信 CNG 信号検出

**保留** を押す

## ■ P009 コード 0 選局指定

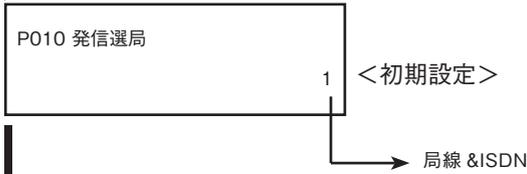


初期値	設定値
1	0: 未使用
	1: 局線 & ISDN
	2: PBX 内線

※ 「未使用」に設定するとダイヤル 0 による外線自動捕捉ができなくなります。

**保留** を押す

## ■ P010 発信選局指定



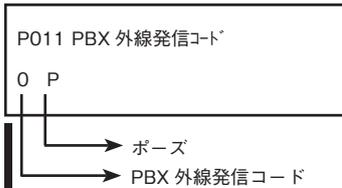
初期値	設定値
1	0: 未使用 1: 局線 & ISDN 2: PBX 内線

※ 「未使用」に設定すると「発信」、「リダイヤル」、「オートダイヤル」による外線自動捕捉ができなくなります。

※ 「リダイヤル」はオートダイヤルにリダイヤルボタンを作成する必要があります。

**保留** を押す

## ■ P011 PBX 外線発信コード指定

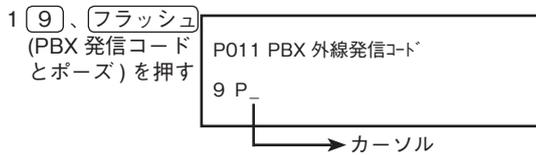


初期値	設定値
0P	PBX 外線発信コードとポーズを指定

※数字とポーズを3桁ずつ、計6桁まで指定できます。  
 ※数字は3桁まで連続指定できますが、「P」（ポーズ）は連続指定できません。  
 ※1桁目に「P」は、指定できません。

### ■ P011 プログラム番号 P011

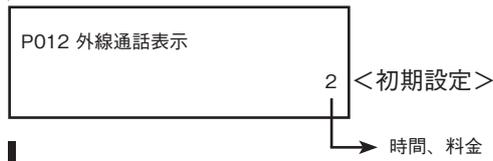
[例] PBX 内線が収容されている場合の外線発信コード (PBX アクセスコード) が「9」の場合



※「フラッシュ」を押すと「P」（ポーズ）が表示されます。  
 ※「✖」を押すと表示されている内容が消去されます。

**保留** を押す

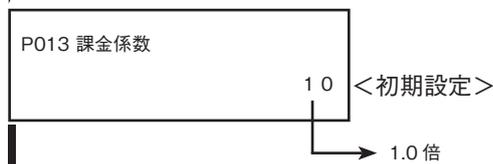
## ■ P012 外線通話表示指定



初期値	設定値	備考
2	0: 時間 1: 料金 2: 時間、料金	「料金」は、デジタル回線の料金情報通知サービスによる。

**保留** を押す

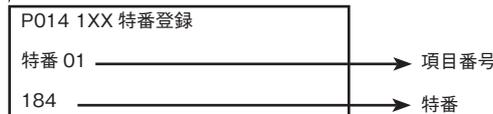
## ■ P013 課金係数指定



初期値	設定値	備考
10	01 ~ 99	01: 0.1倍 (1度数あたり1円) 10: 1.0倍 (1度数あたり10円) 99: 9.9倍 (1度数あたり99円) ※料金は、1度数10円の場合。

**保留** を押す

## ■ P014 1XX特番登録指定



項目	内容	初期値	設定値
01	1XX 特番登録指定 01	184	任意の番号を指定 (最大10桁)
02	1XX 特番登録指定 02	186	
03	1XX 特番登録指定 03	122	
04	1XX 特番登録指定 04	指定なし	
{	{	{	
10	1XX 特番登録指定 10	指定なし	

※各項目は最大10桁まで指定できます。  
 ※☺を押すごとに次の項目番号に進みます。  
 ※✖を押すと表示されている内容が消去されます。

**保留** を押す

## ■ P015 1××特番ポーズ指定

P015 1XX 特番ポーズ  
00 <初期設定>  
→ 0秒

初期値	設定値
00	00 ~ 99

※ 01 = 0.5秒 [例] 04 = 2秒  
※ 00 ~ 99 の範囲で指定できます。

**保留** を押す

## ■ P016 特定市外発信番号指定 (準特甲)

P016 特定市外発信番号  
指定番号 01  
— <初期設定>  
→ 項目番号

項目	初期値	設定値
01 ~ 20	指定なし	市外局番の上1桁目の「0」を除いて指定 (最大4桁)

※ 特定市外発信番号の局番は 20ヶ所まで指定可能。  
※ 設定は、市外局番の上1桁目の「0」を省略し、2桁目から5桁目までを設定可能。

※  を押すごとに次の項目番号に進みます。  
※  を押すと表示されている内容が消去されます。

### ■ P016 プログラム番号 P016

[例] サービスクラス「準特甲」に設定された電話機からの市外局番 045、0471 地区への市外局番を許可する場合

1   を押す

P016 特定市外発信番号  
指定番号 01  
45

2  を押す

P016 特定市外発信番号  
指定番号 02

3    を押す

P016 特定市外発信番号  
指定番号 02  
471

※  を押すと表示されている内容が消去されます。  
※  を押すごとに、次の項目番号に進みます。

**保留** を押す

## ■ P017 外線発信規制番号指定

P017 外線発信規制番号  
規制番号 01  
— <初期設定>  
→ 項目番号

項目	初期値	設定値
01 ~ 20	指定なし	市外局番を指定 (最大4桁)

※ 外線発信規制番号は 20ヶ所まで指定できます。  
※ 電話番号は、市外局番を設定します。  
※ 「特甲」以外の電話機に対してのみ適用します。  
※  を押すごとに次の項目番号に進みます。  
※  を押すと表示されている内容が消去されます。

**保留** を押す

## ■ P018 留守番在宅自動応答時間指定

P018 留守番在宅自動応答時間  
045 <初期設定>  
→ 45秒

初期値	設定値
045	000 ~ 180

※ 000 のときは自動応答しません。  
※ 001 で 1秒です。

**保留** を押す

## ■ P019 外線転送自動応答時間指定

P019 外線転送自動応答時間  
042 <初期設定>  
→ 42秒

初期値	設定値
042	000 ~ 180

※ 000 のときは自動応答しません。  
※ 001 は 1秒です。

**保留** を押す

## ■ P020 NTT 強制接続コード指定

P020 NTT 強制接続コード

0000

<初期設定>

初期値	設定値
0000	0000 ~ 9999

**保留** を押す

## ■ P021 外線転送システム設定

P021 外線転送システム設定

0987654321

<初期設定>

0 : 初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	—表示
1	外線転送 1 通知音 (転送先) 指定	鳴動しない	鳴動する
2	外線転送 2 通知音 (転送先) 指定	鳴動しない	鳴動する
3	外線転送 3 通知音 (転送先) 指定	鳴動しない	鳴動する
4	外線転送 4 通知音 (転送先) 指定	鳴動しない	鳴動する
5	外線転送発信時の ACR 許可指定	ACR 禁止	ACR 許可
6	未使用	—	—
7	未使用	—	—
8	未使用	—	—
9	未使用	—	—
0	未使用	—	—

**保留** を押す

## ■ P022 外線自動転送の起動時間指定

P022 外線自動転送の起動時間

転送 4/3/2/1

0000

<初期設定>

初期値	設定値
0	0: 0 秒
	1: 3 秒
	2: 6 秒
	3: 9 秒
	4: 12 秒
	5: 15 秒
	6: 18 秒
	7: 21 秒
	8: 24 秒
9: 27 秒	

**保留** を押す

## ■ P023 外線転送転送先不応答切断タイマ指定

P023 外線転送先不応答切断タイマ

2

<初期設定>

→ 60 秒

初期値	設定値
2	0: 20 秒
	1: 40 秒
	2: 60 秒
	3: 80 秒
	4: 100 秒
5: 120 秒	

**保留** を押す

## ■ P024 外線転送 終話時コールバック時間設定

P024 外線転送終話時コールバック時間  
自動 / 手動 0 2 <初期設定>

→ 外線手動転送：2秒  
→ 外線自動転送：コールバックしない

項目	内容	初期値	設定値
1	外線手動転送	2	0: コールバックしない 1: 1秒 2: 2秒 3: 3秒
2	外線自動転送	0	4: 4秒 5: 5秒 6: 6秒

**保留** を押す

## ■ P025 外線転送 最大通話時間指定

P025 外線転送最大通話時間 2 <初期設定>

→ 2時間

初期値	設定値
2	0: 30分 1: 1時間 2: 3時間 3: 3時間

**保留** を押す

## ■ P026 外線自動転送中の着信音鳴動指定

P026 外線自動転送中の着信音鳴動 2 <初期設定>

→ 鳴動する

初期値	設定値
2	0: すべての着信側外線の着信音を鳴動しない 1: 自動転送起動対象外線の着信音のみ鳴動しない 2: 鳴動する

**保留** を押す

## ■ P027 REC システム設定

P027 REC システム設定 0987654321 <初期設定>

**保留**: 初期設定

項目	内容	設定値	
		数字表示	一表示
2	通話メモ再生指定	REC ごとに共通	電話機個別
3	迷惑電話登録指定	満杯時登録禁止	満杯時登録可
4	追っかけ転送発信時の ACR 許可指定	ACR 禁止	ACR 許可
5	未使用	—	—
6	未使用	—	—
7	未使用	—	—
8	未使用	—	—
9	未使用	—	—
0	未使用	—	—

**保留** を押す

## ■ P028 REC 使用指定

P028 REC 使用  
RECBusy2/1

0 0 1 <初期設定>

REC1：留守 / お待たせ / 一次応答

項目	内容	設定値
1	REC1	1 0：未使用 1：留守 / お待たせ / 一次応答 2：非通知拒否 / 迷惑電話拒否
2	REC2	0 3：非通知拒否 4：迷惑電話拒否
3	RECBusy	0 2：非通知拒否 / 迷惑電話拒否 3：非通知拒否 4：迷惑電話拒否

※ REC Busy には「2：非通知拒否 / 迷惑電話拒否」「3：非通知拒否」「4：迷惑電話拒否」のみ設定可能であり、設定をした場合、電話をしてきた相手に対し、通話中 Busy 拒否を行います。(P210 の設定が必要です)

**保留** を押す

## ■ P029 留守番機能指定

P029 留守番機能  
REC2/1

0 0 <初期設定>

項目	内容	設定値
1	REC1	0 0：応答録音のみ可 1：応答専用のみ可
2	REC2	0 2：両方可

**保留** を押す

## ■ P030 REC お待たせコールバック時間指定

P030 REC お待たせコールバック時間

3 <初期設定>

3分

初期値	設定値
3	0：コールバックしない 1：1分 2：2分 3：3分 4：4分

**保留** を押す

## ■ P033 ドアホン通話ゲイン指定 (送話 / 受話)

P033 ドアホン通話ゲイン (送話 / 受話)

送話音量

ドアホン 2/1

4 4

<初期設定>

項目	内容	初期値	設定値
1	送話音量	ドアホン 1	0：-12 dB 1：-9 dB 2：-6 dB 3：-3 dB
		ドアホン 2	4：0 dB 5：+3 dB 6：+6 dB 7：+9 dB 8：+12 dB
2	受話音量	ドアホン 1	4
		ドアホン 2	

※  を押すと「送話音量」、「受話音量」が交互に変わります。

**保留** を押す

## ■ P034 ドアホン着信音周期指定

P034 ドアホン着信音周期  
 ドアホン 2/1                      2 1 <初期設定>

□: 初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	ドアホン 1	繰り返し	1 回 (約 4 秒)
2	ドアホン 2		

**保留** を押す

## ■ P035 リレー制御指定

P035 リレー制御  
 リレー 2/1                      0 0 <初期設定>

リレー 2 : 未使用 ←                      → リレー 1 : 未使用

項目	内 容	初期値	設定値
1	リレー 1	0	0: 未使用 1: Web カメラ(セーフティ A に連動)
2	リレー 2		

**保留** を押す

## ■ [D]P037 ISDN システム設定

P037 ISDN システム設定  
 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 <初期設定>

□: 初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	無効サブアドレス指定	着信拒否する	一斉着信にする
2	発サブアドレス通知指定	通知しない	通知する
3	経過表示指定	表示しない	表示する
4	理由表示指定	表示しない	表示する
5	未使用	—	—
6	未使用	—	—
7	未使用	—	—
8	未使用	—	—
9	未使用	—	—
0	未使用	—	—

**保留** を押す

## ■ [D]P038 ISDN 契約者回線番号指定

P038 ISDN 契約者回線番号  
 — <初期設定>

初期値	設定値
指定なし	任意の番号を指定 (最大 13 桁)

※ **(\*)** を押すと表示されている内容が消去されます。

**保留** を押す

## ■ P039 ダイヤルイン番号指定

P039 ダイヤルイン番号  
 DI 番号 01                      <初期設定>  
 —                      → ダイヤルイン番号

項目	内 容	初期値	設定値
01	ダイヤルイン 01	指定なし	任意の番号を指定 (最大 13 桁)
}	}		
32	ダイヤルイン 32		

- ※ **(⊙)** を押すとダイヤルインの番号が変わります。
- ※ **(\*)** を押すと表示されている内容が消去されます。
- ※ 市内局番から登録します。
- ※ 050-XXXX-XXXX を登録する場合は、050 を除いた XXXX-XXXX(8 桁) を登録します。

**保留** を押す

## ■ P040 ダイヤルイン着信音周期指定

P040 ダイヤルイン着信音周期  
DI 番号 01 = 鳴動周期 01 <初期設定>  
ダイヤルイン番号 01 : 着信音 A

項目	内 容	初期値	設定値
01	ダイヤルイン 01	01	01 : 着信音 A
}	}		02 : 着信音 B
			03 : 着信音 C
			04 : 着信音 D
			05 : 着信音 E
			06 : 着信音 F
			07 : 着信音 G
			08 : 着信音 H
			09 : 保留メロディ
			10 : 着信メロディ
32	ダイヤルイン 32		

※ **発信** を押すと次のダイヤルイン番号に移動します。  
 ※ **短縮** を押すと前のダイヤルイン番号に戻ります。

**保留** を押す

## ■ P041 ダイヤルイン着信音種別指定

P041 ダイヤルイン着信音種別  
DI 番号 0 0000000000 <初期設定>  
ダイヤルイン番号 01 : 低

項目	内 容	初期値	設定値
01	ダイヤルイン 01	0	0 : 低
}	}		1 : 中
			2 : 高
32	ダイヤルイン 32		

※ P040 で 01 ~ 04 (着信音 A ~ D) に設定した場合に限り適用します。

※ **発信** を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、  
01 番台 → 10 番台 → 20 番台 → 30 番台 に変わります。

**保留** を押す

## ■ [D]P042 グローバル着信ダイレクト自動転送指定

P042 グローバル着信ダイレクト自動転送  
ISDN 回線 1 <初期設定>  
ISDN 回線 1 : 転送可

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	ISDN1	転送可	転送不可

**保留** を押す

## ■ P043 ダイヤルイン着信ダイレクト自動転送指定

P043 ダイヤルイン着信ダイレクト自動転送  
DI 番号 0 987654321 <初期設定>  
ダイヤルイン番号 01 : 転送可

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
01	ダイヤルイン 01	転送可	転送不可
}	}		
32	ダイヤルイン 32		

※ **発信** を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、  
01 番台 → 10 番台 → 20 番台 → 30 番台 に変わります。

**保留** を押す

## ■ [D]P044 グローバル着信ダイレクトリモコン指定

P044 グローバル着信ダイレクトリモコン  
ISDN 回線

1 <初期設定>

→ ISDN 回線 1：指定しない

：初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	ISDN1	指定しない	指定する

**保留** を押す

## ■ P045 ダイヤルイン着信ダイレクトリモコン指定

P045 ダイヤルイン着信ダイレクトリモコン  
DI 番号 0 987654321 <初期設定>

→ ダイヤルイン番号 01：指定しない

：初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
01	ダイヤルイン 01	指定しない	指定する
∟	∟		
32	ダイヤルイン 32		

※ **発信** を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、  
01 番台 → 10 番台 → 20 番台 → 30 番台 に変わります。

**保留** を押す

## ■ [D]P046 グローバル着信擬似コールウェイティング指定

P046 グローバル着信擬似コールウェイティング  
ISDN 回線

1 <初期設定>

→ ISDN 回線 1：指定しない

：初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	ISDN1	指定しない	指定する

**保留** を押す

## ■ P047 ダイヤルイン着信擬似コールウェイティング指定

P047 ダイヤルイン着信擬似コールウェイティング  
DI 番号 0 987654321 <初期設定>

<初期設定>

→ ダイヤルイン番号 01：指定しない

：初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
01	ダイヤルイン 01	指定しない	指定する
∟	∟		
32	ダイヤルイン 32		

※ **発信** を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、  
01 番台 → 10 番台 → 20 番台 → 30 番台 に変わります。

**保留** を押す

## ■ [D]P048 グローバル個別着信 (DIT) 指定 (昼)

P048 GL 個別着信 (DIT) ( 昼 )

- <初期設定>

初期値	設定値
指定なし	内線番号 1 ~ 8 内線特番 9711 ~ 9714 ※内線 2 桁モードの場合 (10 ~ 89)

※ (✖) を押すと表示されている内容が消去されます。

**保留** を押す

## ■ [D]P049 グローバル個別着信 (DIT) 指定 (夜間 A)

P049 GL 個別着信 (DIT) ( 夜間 A )

- <初期設定>

初期値	設定値
指定なし	内線番号 1 ~ 8 内線特番 9711 ~ 9714 ※内線 2 桁モードの場合 (10 ~ 89)

※ (✖) を押すと表示されている内容が消去されます。

**保留** を押す

## ■ [D]P050 グローバル個別着信 (DIT) 指定 (夜間 B)

P050 GL 個別着信 (DIT) ( 夜間 B )

- <初期設定>

初期値	設定値
指定なし	内線番号 1 ~ 8 内線特番 9711 ~ 9714 ※内線 2 桁モードの場合 (10 ~ 89)

※ (✖) を押すと表示されている内容が消去されます。

**保留** を押す

## ■ [D]P051 グローバル個別着信 (DIT) の遅延応答時間指定

P051 GL 個別着信 (DIT) 遅延応答時間

ISDN 回線 0 <初期設定>

→ ISDN 回線 1:0 秒

項目	内 容	初期値	設定値
1	ISDN1	0	0 : 0 秒 1 : 5 秒 2 : 10 秒 3 : 15 秒 4 : 20 秒 5 : 30 秒 6 : 40 秒 7 : 60 秒

**保留** を押す

## ■ P052 ダイヤルイン個別着信 (DIT) 指定 ( 昼 )

P052 DI 個別着信 (DIT)( 昼 )

DI 番号 01

—

<初期設定>

項目	内 容	初期値	設定値
01	ダイヤルイン 01	指定なし	内線番号 1 ~ 8 内線特番 9711 ~ 9714 ※内線 2 桁モードの場合 (10 ~ 89)
∟	∟		
32	ダイヤルイン 32		

- ※  を押すとダイヤルイン番号が変わります。
- ※  を押すと表示されている内容が消去されます。

**保留** を押す

## ■ P053 ダイヤルイン個別着信 (DIT) 指定 ( 夜間 A )

P053 DI 個別着信 (DIT)( 夜間 A )

DI 番号 01

—

<初期設定>

項目	内 容	初期値	設定値
01	ダイヤルイン 01	指定なし	内線番号 1 ~ 8 内線特番 9711 ~ 9714 ※内線 2 桁モードの場合 (10 ~ 89)
∟	∟		
32	ダイヤルイン 32		

- ※  を押すとダイヤルイン番号が変わります。
- ※  を押すと表示されている内容が消去されます。

**保留** を押す

## ■ P054 ダイヤルイン個別着信 (DIT) 指定 ( 夜間 B )

P054 DI 個別着信 (DIT)( 夜間 B )

DI 番号 01

—

<初期設定>

項目	内 容	初期値	設定値
01	ダイヤルイン 01	指定なし	内線番号 1 ~ 8 内線特番 9711 ~ 9714 ※内線 2 桁モードの場合 (10 ~ 89)
∟	∟		
32	ダイヤルイン 32		

- ※  を押すとダイヤルイン番号が変わります。
- ※  を押すと表示されている内容が消去されます。

**保留** を押す

## ■ P055 ダイヤルイン個別着信 (DIT) の 遅延応答時間指定

P055 DI 個別着信 (DIT) 遅延応答時間

DI 番号 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

—

<初期設定>

→ ダイヤルイン番号 01 : 0 秒

項目	内 容	初期値	設定値
1	ダイヤルイン 01	0	0 : 0 秒 1 : 5 秒 2 : 10 秒 3 : 20 秒 4 : 30 秒 5 : 40 秒 6 : 50 秒 7 : 60 秒
∟	∟		
32	ダイヤルイン 32		

- ※  を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、01 番台 → 10 番台 → 20 番台 → 30 番台 に変わります。

**保留** を押す

## ■ P056 識別グループ着信時の動作指定

P056 識別グループ着信時の動作  
グループ0  
自動転送 / 留守番応答 21 <初期設定>

☐ : 初期設定

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
1	グループ0	留守番応答	指定する	指定しない
		自動転送		
}	}	}		
10	グループ9	留守番応答		
		自動転送		

※  を押すと「グループ」の番号が変わります。

**保留** を押す

## ■ P057 内線個別信号呼出音種別指定

P057 内線個別信号呼出音種別  
0 <初期設定>  
→ 着信音 1

初期値	設定値
0	0: 着信音 1
	1: 着信音 2
	2: 着信音 3
	3: 単音

**保留** を押す

## ■ P059 VoIP 外線自動選局禁止番号指定

P059 VoIP 外線自動選局禁止番号  
禁止番号 01  
001 <初期設定>

項目	内 容	初期値	設定値
01	VoIP 外線自動選局禁止番号 01	001	任意の番号を指定 (最大 12桁)
02	VoIP 外線自動選局禁止番号 02	002	
03	VoIP 外線自動選局禁止番号 03	003	
04	VoIP 外線自動選局禁止番号 04	004	
05	VoIP 外線自動選局禁止番号 05	005	
06	VoIP 外線自動選局禁止番号 06	006	
07	VoIP 外線自動選局禁止番号 07	007	
08	VoIP 外線自動選局禁止番号 08	008	
09	VoIP 外線自動選局禁止番号 09	010800	
10	VoIP 外線自動選局禁止番号 10	0120	
11	VoIP 外線自動選局禁止番号 11	0170	
12	VoIP 外線自動選局禁止番号 12	0180	
13	VoIP 外線自動選局禁止番号 13	0190	
14	VoIP 外線自動選局禁止番号 14	020	
15	VoIP 外線自動選局禁止番号 15	0570	
16	VoIP 外線自動選局禁止番号 16	060	
17	VoIP 外線自動選局禁止番号 17	0800	
18	VoIP 外線自動選局禁止番号 18	0990	
19	VoIP 外線自動選局禁止番号 19	10	
20	VoIP 外線自動選局禁止番号 20	11	
21	VoIP 外線自動選局禁止番号 21	12	
22	VoIP 外線自動選局禁止番号 22	13	
23	VoIP 外線自動選局禁止番号 23	14	
24	VoIP 外線自動選局禁止番号 24	15	
25	VoIP 外線自動選局禁止番号 25	16	
26	VoIP 外線自動選局禁止番号 26	17	
27	VoIP 外線自動選局禁止番号 27	18	
28	VoIP 外線自動選局禁止番号 28	19	
29	VoIP 外線自動選局禁止番号 29	指定なし	
}	}	}	
80	VoIP 外線自動選局禁止番号 80	指定なし	

※  を押すと禁止番号が変わります。

※  を押すと表示されている内容が消去されます。

**保留** を押す

## ■ P060 VoIP 外線アクセス表示指定

P060 VoIP 外線アクセス表示  
IP 電話サービス アクセス  
入力開始=発信 入力終了=確定

<初期設定>

初期値	設定値
IP 電話サービス アクセス	最大全角 16 桁

※ (発信) を押すと入力を開始します。設定方法は、電話帳登録と同じです。● を押すと入力終了です。

**保留** を押す

## ■ P061 内線番号桁数指定

P061 内線番号桁数

1 <初期設定>

→ 内線番号：1 桁

初期値	設定値
1	1：1 桁 (1～8) 2：2 桁 (10～89)

※ 桁数を変更する場合、確認のメッセージが表示され、(1) を押すと変更されます。

※ 桁数変更時、内線で指定されている設定および、電話帳、オートボタン、発信履歴、着信履歴は全て初期化されます。

**保留** を押す

## ■ P062 PB 信号送出パターン指定 (送出 / ポーズ)

P062 PB 信号送出パターン(送出 / ポーズ)

1 <初期設定>

→ 100ms / 80ms

初期値	設定値
1	0：80ms / 60ms 1：100ms / 80ms 2：400ms / 100ms 3：600ms / 100ms 4：900ms / 200ms

**保留** を押す

## ■ P063 話中 / 不応答転送タイム指定

P063 話中 / 不応答転送タイム

0 <初期設定>

→ 10 秒

初期値	設定値
0	0: 10 秒 1: 15 秒 2: 20 秒 3: 25 秒 4: 30 秒 5: 35 秒 6: 40 秒 7: 45 秒 8: 50 秒 9: 55 秒

**保留** を押す

## ■ P064 IP 電話自動交換グループ指定

P064 IP 電話自動交換グループ

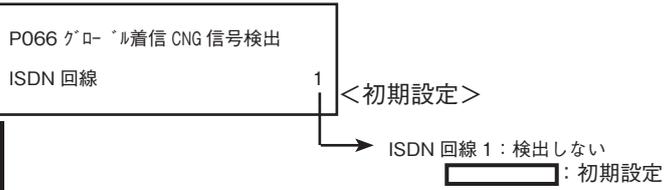
0 <初期設定>

→ 指定なし

初期値	設定値
0	0: 指定なし 1: グループ 1 2: グループ 2 3: グループ 3 4: グループ 4 5: グループ 5 6: グループ 6 7: グループ 7 8: グループ 8 9: グループ 9

**保留** を押す

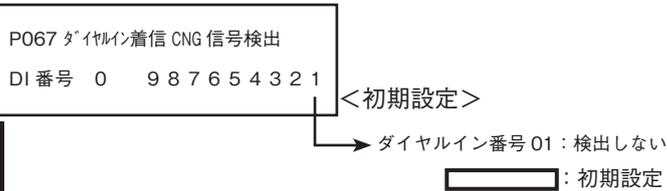
## ■ [D]P066 グローバル着信 CNG 信号検出指定



項目	内 容	設定値	
		数字表示	—表示
1	ISDN1	検出しない	検出する

**保留** を押す

## ■ P067 ダイヤルイン着信 CNG 信号検出指定

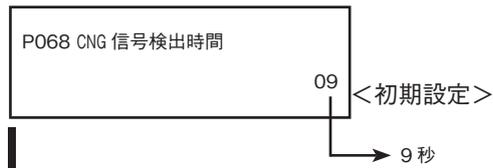


項目	内 容	設定値	
		数字表示	—表示
01	ダイヤルイン番号 01	検出しない	検出する
}	}		
32	ダイヤルイン番号 32		

※ **発信** を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、01 番台 → 10 番台 → 20 番台 → 30 番台 に変わります。

**保留** を押す

## ■ P068 CNG 信号検出時間指定

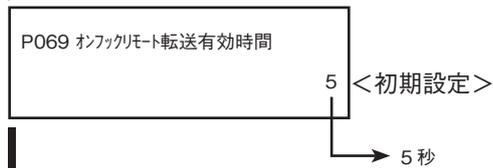


初期値	設定値
09	04 ~ 30

※ 04 で 4 秒です。

**保留** を押す

## ■ P069 オンフックリモート転送有効時間指定

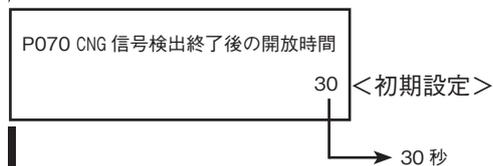


初期値	設定値
5	1 ~ 9

※ 1 で 1 秒です。

**保留** を押す

## ■ [A] P070 CNG 信号検出終了後の開放時間指定



初期値	設定値
30	10 ~ 99

※ 10 で 10 秒です。

**保留** を押す

## ■ P071 CNG 信号検出禁止番号指定

P071 CNG信号検出禁止番号  
 禁止番号 01  
 050 <初期設定>  
 → 禁止番号：050

項目	内 容	初期値	設定値
01	CNG 信号検出禁止番号 01	050	任意の番号を指定 (最大 8 桁)
02	CNG 信号検出禁止番号 02	090	
03	CNG 信号検出禁止番号 03	0801	
04	CNG 信号検出禁止番号 04	0802	
05	CNG 信号検出禁止番号 05	0803	
06	CNG 信号検出禁止番号 06	0804	
07	CNG 信号検出禁止番号 07	0805	
08	CNG 信号検出禁止番号 08	0806	
09	CNG 信号検出禁止番号 09	0807	
10	CNG 信号検出禁止番号 10	0808	
11	CNG 信号検出禁止番号 11	0809	
12	CNG 信号検出禁止番号 12	指定なし	
}	}	}	
20	CNG 信号検出禁止番号 20	指定なし	

- ※ を押すと禁止番号が変わります。
- ※ 最大 8 桁まで登録可能。
- ※ ダイヤル 1 ~ 9、0 のみ登録可能とする。

**保留** を押す

## ■ P072 セーフティシステム設定

P072 セーフティシステム設定  
 0987654321 <初期設定>

□ : 初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	威嚇警報音の音量指定	大	小
2	通報先終話時の威嚇継続指定	威嚇を継続する	威嚇を終了する
3	リレー出力タイミング指定	センサ検知時	威嚇開始時
4	未使用	—	—
5	通報発信時の ACR 許可指定	ACR 禁止	ACR 許可
6	威嚇時発光指定	利用する	利用しない
7	未使用	—	—
8	未使用	—	—
9	未使用	—	—
0	未使用	—	—

**保留** を押す

## ■ P073 モードセット遅延時間指定

P073 モードセット遅延時間  
 060 <初期設定>  
 → 60 秒

初期値	設定値
060	001 ~ 600

- ※ 001=1 秒 [例] 100=100 秒
- ※ 1 秒 ~ 600 秒の範囲で指定できます。

**保留** を押す

## ■ P074 威嚇遅延時間指定

P074 威嚇遅延時間  
 060 <初期設定>  
 → 60 秒

初期値	設定値
060	001 ~ 600

- ※ 001=1 秒 [例] 100=100 秒
- ※ 1 秒 ~ 600 秒の範囲で指定できます。

**保留** を押す

## ■ P075 威嚇警報音鳴動時間指定

P075 威嚇警報音鳴動時間  
 20 <初期設定>  
 → 20 分

初期値	設定値
20	01 ~ 60

- ※ 01=1 分 [例] 10=10 分
- ※ 1 分 ~ 60 分の範囲で指定できます。

**保留** を押す

## ■ P078 通報発信外線強制切断指定

P078 通報発信外線強制切断  
グループ A

1 <初期設定>  
→ グループ A: 強制切断しない

項目	内 容	設定値	
		数字表示	-表示
1	グループ A	強制切断しない	強制切断する

**保留** を押す

## ■ P079 センサ入力信号 ON 確定時間指定

P079 センサ入力信号 ON 確定時間

0 4 <初期設定>  
→ 50.0ms

初期値	設定値
04	01: 12.5ms
	02: 25.0ms
	03: 37.5ms
	04: 50.0ms
	05: 62.5ms
	06: 75.0ms
	07: 87.5ms
	08: 100.0ms
	09: 112.5ms
	10: 125.0ms
	11: 137.5ms
	12: 150.0ms
	13: 162.5ms
	14: 175.0ms
	15: 187.5ms
	16: 200.0ms

**保留** を押す

## ■ P080 センサ入力信号 OFF 確定時間指定

P080 センサ入力信号 OFF 確定時間

0 2 <初期設定>  
→ 25.0ms

初期値	設定値
02	01: 12.5ms
	02: 25.0ms
	03: 37.5ms
	04: 50.0ms
	05: 62.5ms
	06: 75.0ms
	07: 87.5ms
	08: 100.0ms
	09: 112.5ms
	10: 125.0ms
	11: 137.5ms
	12: 150.0ms
	13: 162.5ms
	14: 175.0ms
	15: 187.5ms
	16: 200.0ms

**保留** を押す

## ■ P081 センサ ON 連続検出回数指定

P081 センサ ON 連続検出回数

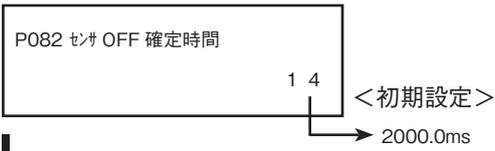
1 <初期設定>  
→ 1回

初期値	設定値
1	1 ~ 8

※ 1回～8回の範囲で指定できます。

**保留** を押す

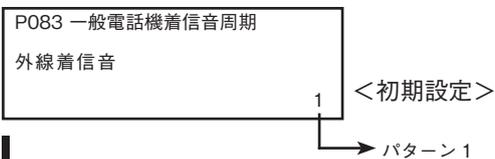
## ■ P082 センサ OFF 確定時間指定



初期値	設定値	
14	01: 50.0ms	18: 2800.0ms
	02: 75.5ms	17: 2600.0ms
	03: 100.0ms	19: 3000.0ms
	04: 150.0ms	20: 3200.0ms
	05: 200.0ms	21: 3400.0ms
	06: 400.0ms	22: 3600.0ms
	07: 600.0ms	23: 3800.0ms
	08: 800.0ms	24: 4000.0ms
	09: 1000.0ms	25: 4200.0ms
	10: 1200.0ms	26: 4400.0ms
	11: 1400.0ms	27: 4600.0ms
	12: 1600.0ms	28: 4800.0ms
	13: 1800.0ms	29: 5000.0ms
	14: 2000.0ms	30: 5500.0ms
	15: 2200.0ms	31: 6000.0ms
	16: 2400.0ms	32: 6500.0ms

保留 を押す

## ■ P083 一般電話機着信音周期指定



項目	内 容	初期値	設定値
1	外線着信音	1	1: パターン 1 2: パターン 2 3: パターン 3 4: パターン 4
2	外線個別着信音	1	
3	内線着信音	2	
4	ドアホン着信音	3	
5	着信音転送音	1	
6	保留警報音	4	

※ (📞) を押すごとに 2 行目の表示が、  
外線着信音→外線個別着→内線着信音  
→ドアホン音→着信音転送→保留警報音に  
変わります。

保留 を押す

## ■ P084 オフフック内線自動発信遅延時間指定

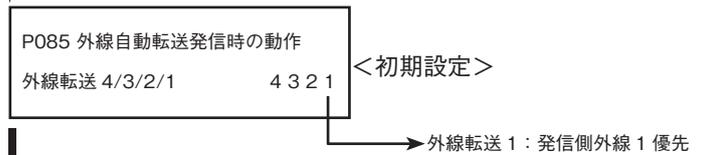


初期値	設定値
000	000 ~ 180

※ 001 = 1 秒 [例] 100 = 100 秒  
※ 1 秒 ~ 180 秒の範囲で指定できます。

保留 を押す

## ■ P085 外線自動転送発信時の動作指定



☐ : 初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	外線転送 1	発信側外線 1 優先	発信側外線 1、2 同時
2	外線転送 2		
3	外線転送 3		
4	外線転送 4		

保留 を押す

## ■ P086 外線転送通話ゲイン指定

P086 外線転送通話ゲイン  
A-A 4 <初期設定>  
0dB

項目	内 容	初期値	設定値
1	A (アナログ) - A	0	0: -12 dB
2	A (アナログ) - V		1: -9 dB
3	D (デジタル) - D		2: -6 dB
4	D (デジタル) - V		3: -3 dB
5	V (VoIp) - A		4: 0 dB
6	V (VoIp) - D		5: +3 dB
7	V (VoIp) - V		6: +6 dB
			7: +9 dB
			8: +12 dB

- ※  を押すごとに 2 行目の表示が、  
A-A→A-V→D-D→D-V→V-A→V-D→V-Vに  
変わります。
- ※ 着信側外線 (A)、発信側外線 (V) での外線転送が行  
われた場合、着信回線 (A) から発信回線 (V) 方向  
への通話ゲインは A-V の指定を利用し、発信回線 (V)  
から着信回線 (A) 方向への通話ゲインは V-A の指定  
を利用します。

**保留** を押す

## ■ P088 自動 FW 更新定期 チェック間隔指定

P088 自動 FW 更新定期チェック間隔  
03 <初期設定>  
3日

初期値	設定値
03	00 ~ 60

- ※ 01=1 日 [例] 10=10 日  
※ 00 は定期チェックを行いません。  
※ 1 日 ~ 60 日の範囲で指定できます。

**保留** を押す

## ■ P089 自動 FW 更新時間指定

P089 自動 FW 更新時間  
02 <初期設定>  
2時

初期値	設定値
02	00 ~ 23

- ※ 01=1 時 [例] 10=10 時  
※ 00 時 ~ 23 時の範囲で指定できます。

**保留** を押す

## ■ P090 リモートコールバック システム設定

P090 リモートコールバックシステム設定  
0987654321 <初期設定>

 : 初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	リモートコールバック発信回線指定	同一回線	自動選局
2	リモートコールバック PB 未検出時動作指定	切断	一斉着信
3	リモートコールバック 発信時の ACR 許可指定	ACR 禁止	ACR 許可
4	未使用	-	-
5	未使用	-	-
6	未使用	-	-
7	未使用	-	-
8	未使用	-	-
9	未使用	-	-
10	未使用	-	-

**保留** を押す

## ■ P091 リモートコールバック グローバル着信検出指定

P091 リモートコールバックグローバル着信検出  
ISDN 回線 1 <初期設定>

→ ISDN 回線 1 : 検出しない

□ : 初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	ISDN1	検出しない	検出する

保留 を押す

## ■ P092 リモートコールバック ダイヤルイン着信検出指定

P092 リモートコールバックダイヤルイン着信検出  
DI 番号 0 987654321 <初期設定>

→ ダイヤルイン 01 : 検出しない

□ : 初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
01	ダイヤルイン番号 01	検出しない	検出する
?	?		
32	ダイヤルイン番号 32		

※ (発信) を押すごとにダイヤルイン番号が 01 番台→10 番台  
→20 番台→30 番台に変わります。

保留 を押す

## ■ P093 リモートコールバック 検出タイマ指定

P093 リモートコールバック検出タイマ  
007 <初期設定>

→ 7 秒

初期値	設定値
007	004 ~ 180

※ 004=4 秒 [例] 010=10 秒  
※ 4 秒～180 秒の範囲で指定できます。

保留 を押す

## ■ P094 リモートコールバック 呼出時間指定

P094 リモートコールバック呼出時間  
1 <初期設定>

→ 20 秒

初期値	設定値
0	0: 60 秒 (リトライなし)
	1: 20 秒 (リトライあり)
	2: 40 秒 (リトライあり)
	3: 60 秒 (リトライあり)

保留 を押す

## ■ P097 REC 録音時間指定

P097 REC 録音時間  
REC1  
060 <初期設定>  
60分

項目	内 容	初期値	設定値
1	REC1	060	000 ~ 120
2	REC2		

- ※  を押すと REC 番号が変わります。
- ※ 録音時間は全 REC を合計して 120 分まで指定可能です。
- ※ 10 分間隔でのみ指定可能です。

**保留** を押す

## ■ P098 メール通知指定

P098 メール通知  
グローバル IP アドレス変更時 = OFF <初期設定>

 : 初期設定

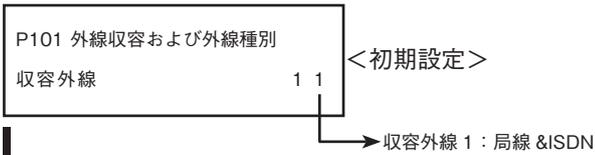
項目	内 容	初期値	設定値
1	グローバル IP アドレス変更時	ON : 通知する	OFF : 通知しない
2	セーフティ動作時		

- ※ **発信** を押すごとに設定する項目が、  
グローバル IP アドレス変更時 → セーフティ動作時に  
変化します。
- ※ 1 を押すと “ON” を指定します。
- ※ 0 を押すと “OFF” を指定します。

**保留** を押す

# 収容外線対応

## ■ P101 外線収容および外線種別指定



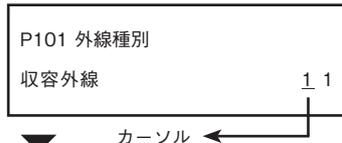
項目	内 容	初期値	設定値
1	収容外線 1	1	0 : 未収容 1 : 局線 & ISDN 2 : PBX 内線 3 : VoIP (外付け) 4 : ひかり電話 (外付け)
2	収容外線 2		

※「ひかり電話 (外付け)」は、ひかり電話対応アダプタを使用する場合にご使用ください。

### ■ P101 外線種別指定

[例] 収容外線 2 を「PBX 内線」にする場合

1 (2) を押すと収容外線 2 が選択される

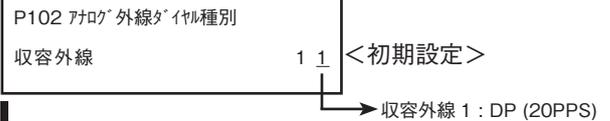


2 (2) (PBX 内線) を押す



保留 を押す

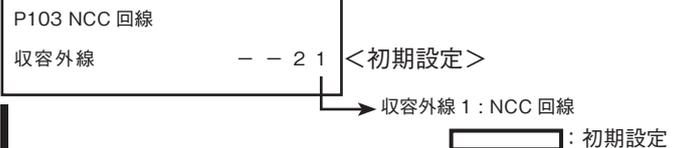
## ■ [A]P102 アナログ外線ダイヤル種別指定



項目	内 容	初期値	設定値
1	収容外線 1	1	0 : DP (10PPS) 1 : DP (20PPS) 2 : PB
2	収容外線 2		

保留 を押す

## ■ P103 NCC 回線指定



項目	内 容	設定値	
		数字表示	-表示
1	収容外線 1	NCC 回線	NTT 回線
8	収容外線 2		
9	収容外線 3 (内蔵 VoIP1)	NCC 回線	NTT 回線
10	収容外線 4 (内蔵 VoIP2)		

保留 を押す

## ■ [A]P105 アナログ外線 NTT 付加サービス指定

P105 アナログ外線 NTT 付加サービス

収容外線 2 1 <初期設定>

→ 収容外線 1 : 利用しない

☐ : 初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	収容外線 1	☐	利用する
2	収容外線 2		

**保留** を押す

## ■ [A]P106 アナログ外線ダイレクトリモコン指定

P106 アナログ外線ダイレクトリモコン

収容外線 2 1 <初期設定>

→ 収容外線 1 : 指定しない

☐ : 初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	収容外線 1	☐	利用する
2	収容外線 2		

**保留** を押す

## ■ P107 外線通話ゲイン指定

P107 外線通話ゲイン

送話音量

<初期設定>

収容外線 4 4 4 4

→ 収容外線 1 : 0 dB

項目	内 容		初期値	設定値
1	送話音量	収容外線 1	0	0 : -12dB 1 : -9dB 2 : -6dB 3 : -3dB 4 : 0dB 5 : +3dB 6 : +6dB 7 : +9dB 8 : +12dB
		収容外線 2		
		収容外線 3(内蔵 VoIP1)		
		収容外線 4(内蔵 VoIP2)		
2	受話音量	収容外線 1		
		収容外線 2		
		収容外線 3(内蔵 VoIP1)		
		収容外線 4(内蔵 VoIP2)		

※  を押すと「送話音量」、「受話音量」が交互に変わります。

**保留** を押す

## ■ [A] P108 アナログ外線発信電話番号の通知状態指定

P108 CO 発信電話番号の通知状態  
収容外線

2 1 <初期設定>

→ 収容外線 1：通常通知

：初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	収容外線 1	通常通知	通常非通知
2	収容外線 2		

**保留** を押す

## ■ [A] P109 アナログ外線着信 CNG 信号検出指定

P109 アナログ外線着信 CNG 信号検出  
収容外線

2 1 <初期設定>

→ 収容外線 1：検出しない

：初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	収容外線 1	検出しない	検出する
2	収容外線 2		

**保留** を押す

## ■ [A]P110 アナログ外線キャッチホン契約サービス指定

P110 アナログ外線キャッチホン契約サービス  
収容外線

2 1 <初期設定>

→ 収容外線 1：契約なし

：初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	収容外線 1	契約なし	契約あり
2	収容外線 2		

**保留** を押す

## ■ [A]P111 リモートコールバックアナログ着信検出指定

P111 リモートコールバックアナログ着信検出

収容外線

2 1 <初期設定>

→ 収容外線 1：検出しない

：初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	収容外線 1	検出しない	検出する
2	収容外線 2		

**保留** を押す

# 電話機対応

## ■ P201 内線番号指定

P201 内線番号

実装番号 1 = 内線番号 1

<初期設定>

項目	内 容	初期値	設定値
1	実装番号 1	1	内線番号 1～8 ※内線 2 桁モードの場合 (10～89)
{	}	}	
5	実装番号 5	5	
6	実装番号 6 (SLI)	6	

※ (発信) を押すと実装番号が 1 つ進みます。

※ (短縮) を押すと実装番号が 1 つ戻ります。

## ■ P201 プログラム番号 P201

[例] 実装番号 5 の電話機を内線番号 5 (初期設定) から内線番号 8 に変更する場合

1 (発信) を 4 回押し、  
実装番号を 5 に  
する

P201 内線番号

実装番号 5 = 内線番号 5

2 (8) (変更後の  
内線番号) を押す

P201 内線番号

実装番号 5 = 内線番号 8

※既に内線番号 8 に設定されている電話機が存在した場合、内線番号の入れ換えが行われ、その電話機の内線番号は 5 となります。

保留 を押す

## ■ P202 内線代表番号指定

P202 内線代表番号

実装番号 1 = 内線番号

<初期設定>

項目	内 容	初期値	設定値
1	実装番号 1	指定なし	内線番号 1～8 ※内線 2 桁モードの場合 (10～89)
{	}		
5	実装番号 5		
6	実装番号 6 (SLI)		

※ 実装番号 1 の内線番号が 1 で、本設定にて、実装番号 1 = 2 と設定すると、内線 1 番を呼び出したときに、内線 1 番が話中だと自動的に内線 2 番に着信がスライドします。

※ (発信) を押すと次の実装番号が表示されます。

※ (短縮) を押すと実装番号が 1 つ戻ります。

※ (✕) を押すと表示されている内容が消去されます。

保留 を押す

## ■ P203 電話機グループ呼出指定

P203 電話機グループ呼出

実装番号 1 1 1 1 1 1

<初期設定>

→ 実装番号 1 : グループ A

項目	内 容	初期値	設定値
1	実装番号 1	1	0 : 無所属
{	}		1 : グループ A
5	実装番号 5		2 : グループ B
6	実装番号 6 (SLI)		3 : グループ C
			4 : グループ D

## ■ P203 プログラム番号 P203

[例] 実装番号 1 をグループ B に変更する場合

- 1 **1** を押すと、  
実装番号 1 が選択  
される

P203 電話機グループ呼出  
実装番号 1 1 1 1 1 1  
カーソル ←

- 2 **2** (グループ B)  
を押す

P203 電話機グループ呼出  
実装番号 1 1 1 1 1 2  
カーソル ←

**保留** を押す

## ■ P204 サービスクラス指定

P204 サービスクラス  
実装番号 0 0 0 0 0 0 <初期設定>  
→ 実装番号 1 : 特甲

項目	内 容	初期値	設定値
1	実装番号 1	0	0 : 特甲
}	}		1 : 準特甲
5	実装番号 5		2 : 甲
6	実装番号 6 (SLI)		3 : 準甲
			4 : PBX 内準甲

サービスクラス	外線発信規制の内容
特甲	すべての対地へ発信可能
準特甲	市内、特定市外*1のみ発信可能
甲	市内のみ発信可能
準甲	すべての外線が発信不可能 (内線のみ可)
PBX 内準甲	すべての外線が発信不可能 (PBX 内線および内線のみ可)

\*1 P016 特定市外発信番号指定 (準特甲) で指定された市外局番のみ市外発信を可能とする。

**保留** を押す

## ■ P205 話中着信指定

P205 話中着信  
実装番号 5 4 3 2 1 <初期設定>  
→ 実装番号 1 : 鳴動あり  
□ : 初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	実装番号 1	鳴動あり	鳴動なし
}	}		
5	実装番号 5		

**保留** を押す

## ■ P206 外線通話割込指定

P206 外線通話割込  
実装番号 5 4 3 2 1 <初期設定>  
→ 実装番号 1 : 割り込み不可  
□ : 初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	実装番号 1	割り込み不可	割り込み可
}	}		
5	実装番号 5		

**保留** を押す

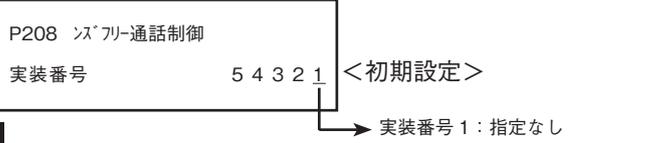
## ■ P207 通話警告音鳴動指定

P207 通話警告音鳴動  
実装番号 5 4 3 2 1 <初期設定>  
→ 実装番号 1 : 鳴動なし  
□ : 初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	実装番号 1	鳴動なし	鳴動あり
}	}		
5	実装番号 5		

**保留** を押す

## ■ P208 ハンズフリー通話制御指定

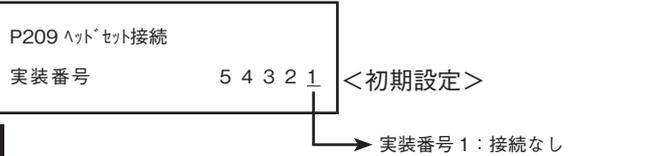


☐ : 初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	実装番号 1	☐	☐
{	}		
5	実装番号 5		

**保留** を押す

## ■ P209 ヘッドセット接続指定



☐ : 初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	実装番号 1	☐	☐
{	}		
5	実装番号 5		

**保留** を押す

## ■ P210 留守番電話機指定 (REC)



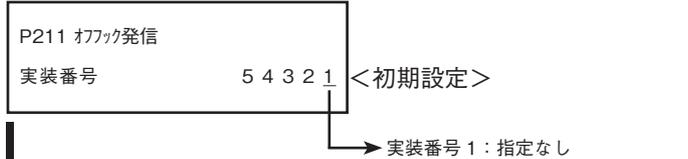
項目	内 容	初期値	設定値
1	REC1	1	0 : 指定なし 1 ~ 5 : 実装番号 1 ~ 5
2	REC2	0	
3	RECBusy	0	

- ※ **発信** を押すと、REC 番号が 1 つ進みます。
- ※ **短縮** を押すと、REC 番号が 1 つ戻ります。

REC Busy には、通話中 Busy (話中) 拒否のセット操作を行うための電話機を指定します。

**保留** を押す

## ■ P211 オフフック発信指定



☐ : 初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	実装番号 1	☐	☐
{	}		
5	実装番号 5		

**保留** を押す

## ■ P212 発信優先モード指定

P212 発信優先モード  
実装番号 5 4 3 2 1 <初期設定>

実装番号 1 : 内線優先モード

□ : 初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	—表示
1	実装番号 1	内線優先モード	外線優先モード
5	実装番号 5		
6	実装番号 6(SLI)	内線優先モード	外線優先モード

保留 を押す

## ■ P213 一般電話機の種別指定

P213 一般電話機の種別  
実装番号 6 5 4 3 2 1 <初期設定>

実装番号 1 : PB

□ : 初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	—表示
1	実装番号 1	指定無効	
5	実装番号 5		
6	実装番号 6(SLI)		

保留 を押す

## ■ P214 ドアホン着信自動応答指定

P214 ドアホン着信自動応答  
ドアホン 1  
実装番号 5 4 3 2 1 <初期設定>

実装番号 1 : あり

□ : 初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	—表示
1	ドアホン 1	有	無
2	ドアホン 2		

※  を押すとドアホン番号が変わります。

保留 を押す

## ■ P215 ドアホン着信音指定 (昼)

P215 ドアホン着信音鳴動 (昼)  
ドアホン 1  
実装番号 6 5 4 3 2 1 <初期設定>

実装番号 1 : 鳴動あり

□ : 初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	—表示
1	ドアホン 1	実装番号 1 ~ 5	鳴動あり
		実装番号 6(SLI)	
2	ドアホン 2	実装番号 1 ~ 5	鳴動あり
		実装番号 6(SLI)	

※  を押すとドアホン番号が変わります。

保留 を押す

## ■ P216 ドアホン着信音指定 (夜間 A)

P216 ドアホン着信音鳴動 (夜間 A)  
ドアホン 1  
実装番号 ----- 2 1 <初期設定>

実装番号 1 : 鳴動あり

□ : 初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	—表示
1	ドアホン 1	実装番号 1、2	鳴動あり
		実装番号 3 ~ 5	鳴動あり
		実装番号 6(SLI)	鳴動なし
2	ドアホン 2	実装番号 1、2	鳴動あり
		実装番号 3 ~ 5	鳴動あり
		実装番号 6(SLI)	鳴動なし

※  を押すとドアホン番号が変わります。

保留 を押す

## ■ P217 ドアホン着信音指定 (夜間 B)

P217 ドアホン着信音鳴動 (夜間 B)

ドアホン 1

実装番号 1 1 <初期設定>

実装番号 1 : 鳴動あり

□ : 初期設定

項目	内 容	設定値		
		数字表示	一表示	
1	ドアホン 1	実装番号 1、2	鳴動あり	鳴動なし
		実装番号 3～5	鳴動あり	鳴動なし
		実装番号 6(SLI)		
2	ドアホン 2	実装番号 1、2	鳴動あり	鳴動なし
		実装番号 3～5	鳴動あり	鳴動なし
		実装番号 6(SLI)		

※  を押すとドアホン番号が変わります。

**保留** を押す

## ■ [D]P218 発信者番号選択指定

P218 発信者番号選択

実装番号 1 = 発信者番号 00 <初期設定>

実装番号 1 : 捕捉した外線の電話番号

項目	内 容	初期値	設定値
1	実装番号 1	00	00 : 捕捉した外線の電話番号 01 : ISDN1 02～33 : ダイヤルイン 1～32
}	}		
5	実装番号 5		
6	実装番号 6(SLI)		
7	実装番号 7(ユーザー登録)		

※ **発信** を押すごとに表示が次の実装番号に変わります。

**保留** を押す

## ■ P219 発信者番号表示指定

P219 発信者番号表示

実装番号 5 4 3 2 1 <初期設定>

実装番号 1 : 表示する (名前と番号)

□ : 初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	実装番号 1	表示する (名前と番号)	表示しない
}	}		
5	実装番号 5		

**保留** を押す

## ■ P220 着信順次分配グループ内線番号指定

P220 着信順次分配グループ内線番号

テーブル 01

グループ\_\_ : <初期設定>

内線番号 : 指定なし

グループ番号 : 指定なし

項目	内 容	初期値	設定値
01	登録テーブル 01	グループ番号 : 指定なし 内線番号 : 指定なし	グループ番号 : 1～4 内線番号 : 1～8 ※内線 2 桁モードの場合 (10～89)
}	}		
16	登録テーブル 16		

※ 分配グループはシステムで最大 4 グループまでとします。  
(1 グループで 16 台でも 4 グループで合計 16 台でも可)  
※ 着信を振り分ける場合は登録テーブル番号の若番から順番に振り分けます。

※  を押すとテーブル番号が変わります。

**保留** を押す

## ■ P221 着信順次分配グループ代表番号指定

P221 着信順次分配グループ代表番号  
グループ 1 : 内線番号          <初期設定>  
→ 指定なし

項目	内 容	初期値	設定値
1	着信順次分配グループ 1	指定なし	内線番号 1 ~ 8 ※内線 2 桁モードの場合 (10 ~ 89)
2	着信順次分配グループ 2		
3	着信順次分配グループ 3		
4	着信順次分配グループ 4		

- ※ 代表番号は割り当てられていない内線番号を指定する。実装されている内線番号と重複した番号を指定した場合は内線番号を優先とし、着信順次分配グループへの着信とはならない。
- ※ 本データは外線個別 (DIT) 着信に対して適用する。(内線個別着信および ISDN サブアドレス着信には適用しない)
- ※ **発信** を押すごとに表示のグループ番号が変わります。

**保留** を押す

## ■ P222 通話メモ使用 REC 指定

P222 通話メモ使用 REC  
実装番号 0 0 0 0 0 <初期設定>  
→ 実装番号 1 : 指定なし

項目	内 容	初期値	設定値
1	実装番号 1	0	0 : 指定なし
3	3		1 : REC1
5	実装番号 5		2 : REC2

**保留** を押す

## ■ P223 ドアホン着信指定

P223 ドアホン着信  
ドアホン 1  
実装番号 6 5 4 3 2 1 <初期設定>  
→ 実装番号 1 : 指定する

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	ドアホン 1	指定する	指定しない
	実装番号 1 ~ 5 実装番号 6(SLI)		
2	ドアホン 2	指定する	指定しない
	実装番号 1 ~ 5 実装番号 6(SLI)		

※ **ダイヤル** を押すとドアホン番号が変わります。

**保留** を押す

## ■ P224 着信履歴指定

P224 着信履歴  
実装番号 6 5 4 3 2 1 <初期設定>  
→ 実装番号 1 : 残す

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	実装番号 1	残す	残さない
3	3		
5	実装番号 5		
6	実装番号 6(SLI)		

**保留** を押す

## ■ P225 オフフック内線自動発信指定

P225 オフフック内線自動発信

実装番号 1

<初期設定>

指定なし

項目	内 容	初期値	設定値
1	実装番号 1	指定なし	内線番号 1～8 内線特番 9711～9714 ※内線 2 桁モードの場合 (10～89)
}	}		
5	実装番号 5		
6	実装番号 6(SLI1)		

※  キーを押すと、実装番号が変わります。

**保留** を押す

## ■ P226 セーフティグループ指定

P226 セーフティグループ

実装番号

0 0 0 0 0

<初期設定>

実装番号 01 : 指定なし

項目	内 容	初期値	設定値
1	実装番号 1	0	0: 指定なし 1: グループ A
}	}		
5	実装番号 5		

**保留** を押す

## ■ P228 音声威嚇電話機指定

P228 音声威嚇電話機

音声威嚇電話 1 = 実装番号

0

<初期設定>

音声威嚇電話機 1 : 指定なし

項目	内 容	初期値	設定値
1	音声威嚇電話機 1	0	0: 指定なし 1～5: 実装番号 1～5
}	}		
3	音声威嚇電話機 3		

※ **発信** を押すごとに表示の音声威嚇電話機番号が変わります。

※ セーフティ機能を利用する場合は必ず音声威嚇電話機を設定してください。

※ 音声威嚇に指定できる電話機は TD・LD・CL 電話機です。

※ P226 で同じグループに属する電話機のみ指定可。

**保留** を押す

## ■ P229 センサ動作指定

P229 センサ動作

実装番号

5 4 3 2 1

<初期設定>

実装番号 1 : 許可する

**保留** : 初期設定

項目	内 容	初期値	設定値
1	実装番号 1	許可する	許可しない
}	}		
5	実装番号 5		

**保留** を押す

## ■ P230 ワンショット留守番機能使用 REC 指定

P230 ワンショット留守番機能使用 REC  
実装番号 0 0 0 0 0 <初期設定>

実装番号 1 : 指定なし

項目	内 容	初期値	設定値
1	実装番号 1	0	0 : 指定なし
}	}		1 : REC1
5	実装番号 5		2 : REC2

※ P210 で REC 子機に指定されている電話機は他の REC を指定することはできません。(RECBusy を除く)

**保留** を押す

## ■ P231 内線呼出優先順位指定

P231 内線呼出優先順位  
実装番号 5 4 3 2 1 <初期設定>

実装番号 1 : 音声呼

初期設定

項目	内 容	初期値	設定値
1	実装番号 1	音声呼	信号呼
}	}		
5	実装番号 5		

**保留** を押す

## ■ P233 チャイム音鳴動指定

P233 チャイム音鳴動  
実装番号 5 4 3 2 1 <初期設定>

実装番号 1 : 鳴動あり

初期設定

項目	内 容	初期値	設定値
1	実装番号 1	鳴動あり	鳴動なし
}	}		
5	実装番号 5		

**保留** を押す

# メニュープログラミング対応

## ■ P301 通常着信指定

P301 通常着信

実装番号 1  
外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 <初期設定>

→ 外線番号 01 : 指定する

☐ : 初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	実装番号 1	指定する	指定しない
{	}		
5	実装番号 5		
6	実装番号 6 (SLI)		
外線番号 01 ~ 30			

- ※ を押すと実装番号が変わります。
- ※ を押すごとに表示の外線番号が、  
01 番台 → 10 番台 → 20 番台 → 30 番台 に変わります。

**保留** を押す

## ■ P302 着信音鳴動指定 ( 昼 )

P302 着信音鳴動 ( 昼 )

実装番号 1  
外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 <初期設定>

→ 外線番号 01 : 鳴動あり ( 全外線鳴動 )

☐ : 初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	実装番号 1	鳴動あり	鳴動なし
{	}		
5	実装番号 5		
6	実装番号 6 (SLI)		
外線番号 01 ~ 30			

- ※ を押すと実装番号が変わります。
- ※ を押すごとに表示の外線番号が、  
01 番台 → 10 番台 → 20 番台 → 30 番台 に変わります。

**保留** を押す

## ■ P303 着信音鳴動指定 ( 夜間 A )

P303 着信音鳴動 ( 夜間 A )

実装番号 1  
外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 <初期設定>

→ 外線番号 01 : 鳴動あり  
( 実装番号 1,2 のみ鳴動あり )

☐ : 初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1,2	実装番号 1,2	鳴動あり	鳴動なし
3	実装番号 3		
{	}		
5	実装番号 5		
6	実装番号 6 (SLI)		
外線番号 01 ~ 30			

- ※ を押すと実装番号が変わります。
- ※ を押すごとに表示の外線番号が、  
01 番台 → 10 番台 → 20 番台 → 30 番台 に変わります。

**保留** を押す

## ■ P304 着信音鳴動指定 ( 夜間 B )

P304 着信音鳴動 ( 夜間 B )

実装番号 1  
外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 <初期設定>

→ 外線番号 01 : 鳴動あり  
( 実装番号 1,2 のみ鳴動あり )

☐ : 初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1,2	実装番号 1,2	鳴動あり	鳴動なし
3	実装番号 3		
{	}		
5	実装番号 5		
6	実装番号 6 (SLI)		
外線番号 01 ~ 30			

- ※ を押すと実装番号が変わります。
- ※ を押すごとに表示の外線番号が、  
01 番台 → 10 番台 → 20 番台 → 30 番台 に変わります。

**保留** を押す

## ■ P305 ダイヤルイン着信指定

P305 ダイヤルイン着信  
 実装番号 1  
 DI 番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 <初期設定>

実装番号 1 のダイヤルイン 01 の着信：指定する

：初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	実装番号 1	ダイヤルイン 01 ~ 32	指定する
{	}		
5	実装番号 5		
6	実装番号 6 (SLI)		

- ※ を押すと実装番号が変わります。
- ※ を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、01 番台 → 10 番台 → 20 番台 → 30 番台 に変わります。

**保留** を押す

## ■ P306 ダイヤルイン着信音鳴動指定 (昼)

P306 ダイヤルイン着信音鳴動 (昼)  
 実装番号 1  
 DI 番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 <初期設定>

実装番号 1 のダイヤルイン 01：鳴動あり

：初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	実装番号 1	ダイヤルイン 01 ~ 32	鳴動あり
{	}		
5	実装番号 5		
6	実装番号 6 (SLI)		

- ※ を押すと実装番号が変わります。
- ※ を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、01 番台 → 10 番台 → 20 番台 → 30 番台 に変わります。

**保留** を押す

## ■ P307 ダイヤルイン着信音鳴動指定 (夜間 A)

P307 ダイヤルイン着信音鳴動 (夜間 A)  
 実装番号 1  
 DI 番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 <初期設定>

実装番号 1 のダイヤルイン 01：鳴動あり (実装番号 1,2 は全鳴動)

：初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1,2	実装番号 1,2	ダイヤルイン 01 ~ 32	鳴動あり
3	実装番号 3		
{	}		
5	実装番号 5		
6	実装番号 6 (SLI)	鳴動あり	鳴動なし

- ※ を押すと実装番号が変わります。
- ※ を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、01 番台 → 10 番台 → 20 番台 → 30 番台 に変わります。

**保留** を押す

## ■ P308 ダイヤルイン着信音鳴動指定 (夜間 B)

P308 ダイヤルイン着信音鳴動 (夜間 B)  
 実装番号 1  
 DI 番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 <初期設定>

実装番号 1 のダイヤルイン 01：鳴動あり (実装番号 1,2 は全鳴動)

：初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1,2	実装番号 1,2	ダイヤルイン 01 ~ 32	鳴動あり
3	実装番号 3		
{	}		
5	実装番号 5		
6	実装番号 6 (SLI)	鳴動あり	鳴動なし

- ※ を押すと実装番号が変わります。
- ※ を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、01 番台 → 10 番台 → 20 番台 → 30 番台 に変わります。

**保留** を押す

## ■ P309 発信規制指定 (昼)

P309 発信規制 (昼)  
 実装番号 1  
 外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

<初期設定>

実装番号 1 の外線 01 : 発信可

：初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	実装番号 1	発信可	発信不可
{	}		
5	実装番号 5		
6	実装番号 6(SLI)		
7	実装番号 7(ユーザー登録)		

- ※ を押すと実装番号が変わります。
- ※ を押すごとに表示の外線番号が、01 番台 → 10 番台 → 20 番台 → 30 番台に変わります。
- ※ リモートコールバック機能は、ユーザー登録の実装番号に対する指定内容で動作する。

**保留** を押す

## ■ P310 発信規制指定 (夜間 A)

P310 発信規制 (夜間 A)  
 実装番号 1  
 外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

<初期設定>

実装番号 1 の外線 01 : 発信可

：初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	実装番号 1	発信可	発信不可
{	}		
5	実装番号 5		
6	実装番号 6(SLI)		
7	実装番号 7(ユーザー登録)		

- ※ を押すと実装番号が変わります。
- ※ を押すごとに表示の外線番号が、01 番台 → 10 番台 → 20 番台 → 30 番台に変わります。
- ※ リモートコールバック機能は、ユーザー登録の実装番号に対する指定内容で動作する。

**保留** を押す

## ■ P311 発信規制指定 (夜間 B)

P311 発信規制 (夜間 B)  
 実装番号 1  
 外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

<初期設定>

実装番号 1 の外線 01 : 発信可

：初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	実装番号 1	発信可	発信不可
{	}		
5	実装番号 5		
6	実装番号 6(SLI)		
7	実装番号 7(ユーザー登録)		

- ※ を押すと実装番号が変わります。
- ※ を押すごとに表示の外線番号が、01 番台 → 10 番台 → 20 番台 → 30 番台に変わります。
- ※ リモートコールバック機能は、ユーザー登録の実装番号に対する指定内容で動作する。

**保留** を押す

## ■ P312 コールバック着信鳴動指定

P312 コールバック着信鳴動  
 実装番号 1  
 外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

<初期設定>

実装番号 1 の外線 01 : 鳴動あり  
(実装番号 5 まで全て鳴動)

：初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	実装番号 1	鳴動あり	鳴動なし
{	}		
5	実装番号 5		
6	実装番号 6(SLI)	鳴動あり	鳴動なし

- ※ を押すと実装番号が変わります。
- ※ を押すごとに表示の外線番号が、01 番台 → 10 番台 → 20 番台 → 30 番台に変わります。

**保留** を押す

## ■ P313 自動選局指定（発信）

P313 自動選局（発信）  
 実装番号 1  
 外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 <初期設定>

<初期設定>

実装番号 1 の外線 01：自動選局する

：初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	実装番号 1	自動選局 する	自動選局 しない
{	}		
5	実装番号 5		
6	実装番号 6 (SLI)		

※  を押すと実装番号が変わります。

※  を押すごとに表示の外線番号が、  
 01 番台 → 10 番台 → 20 番台 → 30 番台に変わります。

**保留** を押す

## ■ P314 自動選局指定（応答）

P314 自動選局（応答）  
 実装番号 1  
 外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 <初期設定>

<初期設定>

実装番号 1 の外線 01：自動応答する

：初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	実装番号 1	応答可	応答不可
{	}		
5	実装番号 5		

※  を押すと実装番号が変わります。

※  を押すごとに表示の外線番号が、  
 01 番台 → 10 番台 → 20 番台 → 30 番台に変わります。

**保留** を押す

## ■ P321 ドアホン着信メロディ指定

P321 ドアホン着信メロディ  
 ドアホン 2/1

00 <初期設定>

ドアホン 1：指定なし

項目	内 容	初期値	設定値
1	ドアホン 1	0	0：標準ドアホン着信音
2	ドアホン 2		1：保留メロディ
			2：着信メロディ

**保留** を押す

# テナント対応

## ■ P402 外線ボタン割付指定

P402 外線ボタン割付

外線番号 0 0 0 0 0 0 0 1 1 <初期設定>

外線番号 01 : 外線

項目	内 容	初期値	設定値
01	外線番号 01	1	0 : オートダイヤル
02	外線番号 02		
03	外線番号 03	0	1 : 外線 (局線 / ISDN) 2 : VoIP (内蔵 / 外付けアダプタ) 3 : PBX 内線
}	}		
30	外線番号 30		

※ (発信) を押すごとに表示の外線番号が、  
01 番台 → 10 番台 → 20 番台 → 30 番台と変わります。

**保留** を押す

## ■ P403 外線発信時の収容外線指定

P403 外線発信時の収容外線

外線番号 0 1

収容外線 2 - <初期設定>

収容外線 1 : 許可する  
初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
01	収容外線 1	許可しない	許可する
	収容外線 2	許可しない	許可する
	収容外線 3,4 (内蔵 VoIP1,2)		
02	収容外線 1	許可しない	許可する
	収容外線 2	許可しない	許可する
	収容外線 3,4 (内蔵 VoIP1,2)	許可しない	許可する
03	外線番号 03	許可しない	許可する
}	収容外線 1,2		
30	外線番号 30		

※ ( ) を押すと外線番号が変わります。  
 ※ P402 で外線もしくは PBX 内線に設定されているボタンには収容外線 1 ~ 2 のみ設定可。  
 ※ P402 で VoIP に設定されてるボタンには収容外線 1 ~ 2 (外付けアダプタ)、収容外線 3 ~ 4 (内蔵) を設定することが可能です。

**保留** を押す

## ■ [A]P407 アナログ着信 着信外線指定

P407 アナログ着信着信外線

収容外線 1

外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 - <初期設定>

<初期設定>

収容外線 1 の外線番号 01 : 指定する

初期設定

項目	内 容	設定値		
		数字表示	一表示	
1	収容外線 1	外線番号 01	指定しない	指定する
		外線番号 02 ~ 30	指定しない	指定する
2	収容外線 2	外線番号 02	指定しない	指定する
		外線番号 01, 03 ~ 30	指定しない	指定する

※ ( ) を押すと収容外線が変わります。  
 ※ (発信) を押すごとに表示の外線番号が、  
 01 番台 → 10 番台 → 20 番台 → 30 番台と変わります。

**保留** を押す

## ■ [D]P411 グローバル着信 着信外線指定

P411 グローバル着信着信外線

外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 - -

<初期設定>

外線番号 01 : 指定する

初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
01	外線番号 01	指定しない	指定する
02	外線番号 02		
03	外線番号 03	指定しない	指定する
}	}		
30	外線番号 30		

※ (発信) を押すごとに表示の外線番号が、  
 01 番台 → 10 番台 → 20 番台 → 30 番台と変わります。

**保留** を押す

## ■ P415 ダイヤルイン着信 着信外線指定

P415 ダイヤルイン着信 着信外線  
DI番号 01  
外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

<初期設定>

→ダイヤルイン番号 01 の  
外線番号 01：指定しない

□：初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	－表示
01	ダイヤルイン番号 01	指定しない	指定する
}	}		
32	ダイヤルイン番号 32		

- ※  を押すとダイヤルイン番号が変わります。
- ※  を押すごとに表示の外線番号が、  
01 番台 → 10 番台 → 20 番台 → 30 番台と変わります。

**保留** を押す

## ■ P419 外線捕捉時 / 発信者番号指定

P419 外線捕捉時 / 発信者番号  
外線番号 0 1 :

<初期設定>

項目	内 容	初期値	設定値
01	外線番号 01	指定なし	任意の番号を指定 (最大 13桁)
}	}		
30	外線番号 30		

- ※  を押すごとに表示の外線番号が変わります。

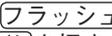
## ■ P419 プログラム番号 P419

[例] 外線 1 の電話番号が 03-1234-5678 の場合

1          
    を押す

P419 外線捕捉時 / 発信者番号  
外線番号 0 1 : 03-1234-5678\_

カーソル ←

- ※  を押すと、「-」が表示されます。
- ※  を押すと表示されている内容が消去されます。

**保留** を押す

## ■ [D]P420 発信者番号通知指定

P420 発信者番号通知  
外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

<初期設定>

→外線番号 01：通知する

□：初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	－表示
01	外線番号 01	通知する	通知しない
}	}		
32	外線番号 30		

- ※  を押すごとに表示の外線番号が、  
01 番台 → 10 番台 → 20 番台 → 30 番台と変わります。

**保留** を押す

## ■ P421 外線着信音周期指定

P421 外線着信音周期

外線番号 01 = 鳴動周期 01 <初期設定>

外線番号 01 : 着信音 A

項目	内 容	初期値	設定値
01	外線番号 01	01	01 : 着信音 A
}	}		02 : 着信音 B
30	外線番号 30		03 : 着信音 C
			04 : 着信音 D
			05 : 着信音 E
			06 : 着信音 F
			07 : 着信音 G
			08 : 着信音 H
			09 : 保留メロディ
			10 : 着信メロディ

※**発信**を押すごとに表示の外線番号が変わります。

**保留**を押す

## ■ P422 着信音種別指定

P422 着信音種別指定

外線番号 0 000000000 <初期設定>

外線番号 01 : 低

項目	内 容	初期値	設定値
01	外線番号 01	0	0 : 低
}	}		1 : 中
30	外線番号 30		2 : 高

※ P421 で 01 ~ 04 (着信音 A ~ D) に設定した場合に限り適用する。

※**発信**を押すごとに表示の外線番号が、  
01 番台 → 10 番台 → 20 番台 → 30 番台と変わります。

**保留**を押す

## ■ P423 非通知着信音周期指定

P423 非通知着信音周期

外線番号 01 = 鳴動周期 00 <初期設定>

外線番号 01 : 指定なし (P421 に従う)

項目	内 容	初期値	設定値
01	外線番号 01	01	00 : 指定なし (P421 に従う)
}	}		01 : 着信音 A
30	外線番号 30		02 : 着信音 B
			03 : 着信音 C
			04 : 着信音 D
			05 : 着信音 E
			06 : 着信音 F
			07 : 着信音 G
			08 : 着信音 H
			09 : 保留メロディ
			10 : 着信メロディ

※**発信**を押すごとに表示の外線番号が変わります。

**保留**を押す

## ■ P424 非通知着信音種別指定

P424 非通知着信音種別

外線番号 0 000000000 <初期設定>

外線番号 01 : 低

項目	内 容	初期値	設定値
01	外線番号 01	0	0 : 低
}	}		1 : 中
30	外線番号 30		2 : 高

※ P423 で 01 ~ 04 (着信音 A ~ D) に設定した場合に限り適用する。

※**発信**を押すごとに表示の外線番号が、  
01 番台 → 10 番台 → 20 番台 → 30 番台と変わります。

**保留**を押す

## ■ P426 外線自動転送（発信側）指定

P426 外線自動転送（発信側）

外線転送 1

発信側外線 1 = 外線番号 00

<初期設定>

外線転送 1：発信側外線 1：指定なし

項目	内 容		初期値	設定値
1	外線転送 1	発信側外線 1	00	00（指定なし） 01～30 （外線番号 01～ 外線番号 30）
		発信側外線 2		
2	外線転送 2	発信側外線 1		
		発信側外線 2		
3	外線転送 3	発信側外線 1		
		発信側外線 2		
4	外線転送 4	発信側外線 1		
		発信側外線 2		

- ※  を押すと外線転送番号が変わります。
- ※  を押すごとに発信側外線が 1 → 2 に変わります。
- ※ 発信側外線に指定した外線は、着信側指定において「指定しない」に変更されます。
- ※ 発信側外線に PBX 内線を指定することはできません。
- ※ 同一外線転送では同一外線番号を重複して指定することはできません。

**保留** を押す

## ■ P427 外線自動転送（着信側）指定

P427 外線自動転送（着信側）

外線番号 0 0000000000

<初期設定>

指定しない

項目	内 容		初期値	設定値
01	外線番号 01		0	0：指定しない
				1：転送 1：一次応答なし
}	}			2：転送 1：一次応答あり
				3：転送 2：一次応答なし
30	外線番号 30			4：転送 2：一次応答あり
				5：転送 3：一次応答なし
				6：転送 3：一次応答あり
				7：転送 4：一次応答なし
			8：転送 4：一次応答あり	

- ※  を押すごとに表示の外線番号が、01 番台 → 10 番台 → 20 番台 → 30 番台 と変わります。
- ※ PBX 内線を指定することはできません。
- ※ 発信側外線に指定している外線は、着信側外線に指定することはできません。

※ 外線転送一次応答メッセージを利用するには「P028 REC 用途指定」で留守 / お待たせ / 一次応答に設定する必要があります。

**保留** を押す

## ■ P428 留守番自動応答指定

P428 留守番自動応答

外線番号 0 0000000000

<初期設定>

外線番号 01：自動応答しない

項目	内 容		初期値	設定値
01	外線番号 01		0	0：自動応答しない
}	}			1：REC1 が自動応答
30	外線番号 30			2：REC2 が自動応答

- ※  を押すごとに表示の外線番号が、01 番台 → 10 番台 → 20 番台 → 30 番台 と変わります。

**保留** を押す

## ■ P429 発信許可 / 規制ダイヤル指定

P429 発信許可 / 規制ダイヤル

外線番号 01

テーブル 0 1 :

<初期設定>

指定なし

項目	内 容		初期値	設定値
01	外線番号 01	テーブル 01～40	指定なし	任意の番号を指定 （最大 12 桁）
30	外線番号 30			

- ※  を押すと外線番号が変わります。
- ※  を押すごとに表示のテーブル番号が変わります。

**保留** を押す

## ■ P433 発信許可／規制指定

P433 発信許可／規制

外線番号 01

<初期設定>

テーブル 0 000000000

未使用

項目	内 容		初期値	設定値
01	外線番号 01	テーブル 01 ~ 40	0	0: 未使用 1: 許可する 2: 規制する
}	}			
30	外線番号 30			

※ (⊙) を押すと外線番号が変わります。

※ (発信) を押すごとに表示のテーブル番号が  
01 番台 → 10 番台 → 20 番台 → 30 番台 → 40 番台と変わ  
ります。

**保留** を押す

## ■ [A]P437 個別着信 (DIT) 指定 ( 昼 )

P437 個別着信 (DIT) ( 昼 )

外線番号 01 : \_

指定なし

項目	内 容		初期値	設定値
01	外線番号 01	指定なし	指定なし	内線番号 1 ~ 8 内線特番 9711 ~ 9714 ※内線 2 桁モードの場合 (10 ~ 89)
}	}			
30	外線番号 30			

※ (発信) を押すごとに表示の外線番号が変わります。  
※ (✕) を押すと表示されている内容が消去されます

**保留** を押す

## ■ [A]P438 個別着信 (DIT) 指定 (夜間 A)

P438 個別着信 (DIT) ( 夜間 A )

外線番号 01 : \_

指定なし

項目	内 容		初期値	設定値
01	外線番号 01	指定なし	指定なし	内線番号 1 ~ 8 内線特番 9711 ~ 9714 ※内線 2 桁モードの場合 (10 ~ 89)
}	}			
30	外線番号 30			

※ (発信) を押すごとに表示の外線番号が変わります。  
※ (✕) を押すと表示されている内容が消去されます

**保留** を押す

## ■ [A]P439 個別着信 (DIT) 指定 (夜間 B)

P439 個別着信 (DIT) ( 夜間 B )

外線番号 01 : \_

指定なし

項目	内 容		初期値	設定値
01	外線番号 01	指定なし	指定なし	内線番号 1 ~ 8 内線特番 9711 ~ 9714 ※内線 2 桁モードの場合 (10 ~ 89)
}	}			
30	外線番号 30			

※ (発信) を押すごとに表示の外線番号が変わります。  
※ (✕) を押すと表示されている内容が消去されます

**保留** を押す

## ■ [A]P440 個別着信 (DIT) の遅延応答時間指定

P440 個別着信 (DIT) 遅延応答時間  
 外線番号 0 2 2 2 2 2 2 2 2 <初期設定>

→ 10 秒

項目	内 容	初期値	設定値
01	外線番号 01	2	0 : 0 秒
}	}		1 : 5 秒
			2 : 10 秒
			3 : 20 秒
			4 : 30 秒
			5 : 40 秒
6 : 50 秒			
30	外線番号 30	7 : 60 秒	

※ **発信**を押すごとに表示の外線番号が  
 01 番台 → 10 番台 → 20 番台 → 30 番台 と変わります。

**保留** を押す

## ■ P450 通報発信外線指定

P450 通報発信外線  
 グループ A = 外線番号 0 0  
 → グループ A : 指定なし

項目	内 容	初期値	設定値
1	グループ A	00	00 : 指定なし 01 ~ 30 : 外線番号 01 ~ 30

※ P402 で 1 (外線) を設定した場合に限り指定可。

**保留** を押す

## ■ P452 FAX 転送先指定

P452 FAX 転送先  
 1 <初期設定>  
 → SLI

初期値	設定値
1	0 : 接続なし 1 : SLI

**保留** を押す

# 携帯 ACR 対応

## ■ P501 キャリアアクセスコード指定

P501 キャリアアクセスコード

<初期設定>

指定なし

初期設定	設定変更
指定なし	任意の番号を指定 (最大 12 桁)

※(✖)を押すと表示されている内容が消去されます。

**保留** を押す

## ■ P502 キャリア選択識別番号指定

P502 キャリア選択識別番号

識別番号 001

<初期設定>

090

識別番号：090

項目	内 容	初期値	設定値
001	キャリア選択識別番号 001	090	任意の番号を指定 (最大 8 桁)
002	キャリア選択識別番号 002	0801	
003	キャリア選択識別番号 003	0802	
004	キャリア選択識別番号 004	0803	
005	キャリア選択識別番号 005	0804	
006	キャリア選択識別番号 006	0805	
007	キャリア選択識別番号 007	0806	
008	キャリア選択識別番号 008	0807	
009	キャリア選択識別番号 009	0808	
010	キャリア選択識別番号 010	0809	
011	キャリア選択識別番号 011	指定なし	
}	}	}	
120	キャリア選択識別番号 120	指定なし	

※(⊙)を押すと識別番号が変わります。

※ 最大 8 桁まで登録可能。

※ ダイヤル 1～9、0 のみ登録可能とする。

**保留** を押す

## ■ P503 キャリアアクセス表示指定

P503 キャリアアクセス表示

携帯 ACR アクセス

<初期設定>

入力開始=発信 入力終了=確定

初期設定	設定値
指定なし	最大全角 16 桁

※(発信)を押すと入力を開始します。  
設定方法は、電話帳登録と同じです。

●を押すと入力終了です。

**保留** を押す

P001 システム設定 1 に戻る

# 17 機能別プログラム設定

※ プログラム内容の詳細、プログラム設定については、プログラム設定方法の該当項目をご覧ください。

## ▶ (1) 機能編

各機能をご利用になる場合は、下記のプログラム設定を行ってください。

※★印のプログラムは、必ず設定変更してください。

その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。

## 基本編

□ : 初期設定

主な機能名および概要		プログラム設定内容																												
1	<p><b>■外線発信優先モード</b> 受話器を上げるだけで空き外線を自動的に捕捉する。</p>	<p><b>【P001-9】</b> 外線自動選局順位指定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>老番から</td> </tr> <tr> <td>一表示</td> <td>若番から</td> </tr> </tbody> </table> <p>・自動捕捉時の外線の順位を設定</p>	表示	内容	数字表示	老番から	一表示	若番から	<p>★ <b>【P010】</b> 発信選局指定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>未使用</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>局線 &amp; ISDN</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>PBX 内線</td> </tr> </tbody> </table> <p>・自動捕捉時の外線の種別を設定</p>	表示	内容	0	未使用	1	局線 & ISDN	2	PBX 内線	<p>★ <b>【P101】</b> 外線収容および外線種別指定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>未収容</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>局線 &amp; ISDN</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>PBX 内線</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>VoIP(外付け)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ひかり電話(外付け)</td> </tr> </tbody> </table> <p>・外線の種別を外線ごとに設定</p>	表示	内容	0	未収容	1	局線 & ISDN	2	PBX 内線	3	VoIP(外付け)	4	ひかり電話(外付け)
表示	内容																													
数字表示	老番から																													
一表示	若番から																													
表示	内容																													
0	未使用																													
1	局線 & ISDN																													
2	PBX 内線																													
表示	内容																													
0	未収容																													
1	局線 & ISDN																													
2	PBX 内線																													
3	VoIP(外付け)																													
4	ひかり電話(外付け)																													
		<p>★ <b>【P313】</b> 実装番号 1 ~ 6 自動選局指定 (発信)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>自動選局する</td> </tr> <tr> <td>一表示</td> <td>自動選局しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「自動選局する」に設定</p>	表示	内容	数字表示	自動選局する	一表示	自動選局しない	<p>★ <b>【P212】</b> 発信優先モード指定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>内線優先モード</td> </tr> <tr> <td>一表示</td> <td>外線優先モード</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「外線優先モード」に設定 ※初期値は実装番号 1 ~ 5 が内線優先モード、実装番号 6 が外線優先モード。</p>	表示	内容	数字表示	内線優先モード	一表示	外線優先モード															
表示	内容																													
数字表示	自動選局する																													
一表示	自動選局しない																													
表示	内容																													
数字表示	内線優先モード																													
一表示	外線優先モード																													
2	<p><b>■自動選局発信</b> 発信を押すだけで空き外線を自動的に捕捉する。</p>	<p><b>【P001-9】</b> 外線自動選局順位指定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>老番から</td> </tr> <tr> <td>一表示</td> <td>若番から</td> </tr> </tbody> </table> <p>・自動捕捉時の外線の順位を設定</p>	表示	内容	数字表示	老番から	一表示	若番から	<p>★ <b>【P010】</b> 発信選局指定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>未使用</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>局線 &amp; ISDN</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>PBX 内線</td> </tr> </tbody> </table> <p>・自動捕捉時の外線の種別を設定</p>	表示	内容	0	未使用	1	局線 & ISDN	2	PBX 内線	<p>★ <b>【P101】</b> 外線収容および外線種別指定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>未収容</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>局線 &amp; ISDN</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>PBX 内線</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>VoIP(外付け)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ひかり電話(外付け)</td> </tr> </tbody> </table> <p>・外線の種別を外線ごとに設定</p>	表示	内容	0	未収容	1	局線 & ISDN	2	PBX 内線	3	VoIP(外付け)	4	ひかり電話(外付け)
表示	内容																													
数字表示	老番から																													
一表示	若番から																													
表示	内容																													
0	未使用																													
1	局線 & ISDN																													
2	PBX 内線																													
表示	内容																													
0	未収容																													
1	局線 & ISDN																													
2	PBX 内線																													
3	VoIP(外付け)																													
4	ひかり電話(外付け)																													
		<p>★ <b>【P313】</b> 実装番号 1 ~ 6 自動選局指定 (発信)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>自動選局する</td> </tr> <tr> <td>一表示</td> <td>自動選局しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「自動選局する」に設定</p>	表示	内容	数字表示	自動選局する	一表示	自動選局しない																						
表示	内容																													
数字表示	自動選局する																													
一表示	自動選局しない																													

主な機能名および概要	プログラム設定内容																																																							
<p>3</p> <p>■ <b>ダイヤル0 選局発信</b> 内線捕捉状態からダイヤル(0)を押すだけで空き外線を自動的に捕捉する。</p>	<p><b>【P001-9】</b> 外線自動選局順位指定</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>数字表示</td><td>老番から</td></tr> <tr><td>-表示</td><td>若番から</td></tr> </tbody> </table> <p>・自動捕捉時の外線の順位を設定</p> <p>★ <b>【P009】</b> コード0 選局指定</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>0</td><td>未使用</td></tr> <tr><td>1</td><td>局線 &amp; ISDN</td></tr> <tr><td>2</td><td>PBX 内線</td></tr> </tbody> </table> <p>・自動捕捉時の外線の種別を設定</p> <p>★ <b>【P101】</b> 外線収容および外線種別指定</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>0</td><td>未収容</td></tr> <tr><td>1</td><td>局線 &amp; ISDN</td></tr> <tr><td>2</td><td>PBX 内線</td></tr> <tr><td>3</td><td>VoIP(外付け)</td></tr> <tr><td>4</td><td>ひかり電話(外付け)</td></tr> </tbody> </table> <p>・外線の種別を外線ごとに設定</p> <p>★ <b>【P313】</b> 実装番号 1 ~ 6 自動選局指定 (発信)</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>数字表示</td><td>自動選局する</td></tr> <tr><td>-表示</td><td>自動選局しない</td></tr> </tbody> </table> <p>・「自動選局する」に設定</p>	表示	内容	数字表示	老番から	-表示	若番から	表示	内容	0	未使用	1	局線 & ISDN	2	PBX 内線	表示	内容	0	未収容	1	局線 & ISDN	2	PBX 内線	3	VoIP(外付け)	4	ひかり電話(外付け)	表示	内容	数字表示	自動選局する	-表示	自動選局しない																							
表示	内容																																																							
数字表示	老番から																																																							
-表示	若番から																																																							
表示	内容																																																							
0	未使用																																																							
1	局線 & ISDN																																																							
2	PBX 内線																																																							
表示	内容																																																							
0	未収容																																																							
1	局線 & ISDN																																																							
2	PBX 内線																																																							
3	VoIP(外付け)																																																							
4	ひかり電話(外付け)																																																							
表示	内容																																																							
数字表示	自動選局する																																																							
-表示	自動選局しない																																																							
<p>4</p> <p>■ <b>オートリピート</b> 相手が通話中などのときに受話器を置き、(リダイヤル)を押すと一定時間内ごとに自動発信を繰り返す。 ※ (リダイヤル) はオートダイヤルにリダイヤルボタンを作成する必要があります。</p>	<p><b>【P001-9】</b> 外線自動選局順位指定</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>数字表示</td><td>老番から</td></tr> <tr><td>-表示</td><td>若番から</td></tr> </tbody> </table> <p>・自動捕捉時の外線の順位を設定</p> <p>★ <b>【P010】</b> 発信選局指定</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>0</td><td>未使用</td></tr> <tr><td>1</td><td>局線 &amp; ISDN</td></tr> <tr><td>2</td><td>PBX 内線</td></tr> </tbody> </table> <p>・自動捕捉時の外線の種別を設定</p> <p>★ <b>【P101】</b> 外線収容および外線種別指定</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>0</td><td>未収容</td></tr> <tr><td>1</td><td>局線 &amp; ISDN</td></tr> <tr><td>2</td><td>PBX 内線</td></tr> <tr><td>3</td><td>VoIP(外付け)</td></tr> <tr><td>4</td><td>ひかり電話(外付け)</td></tr> </tbody> </table> <p>・外線の種別を外線ごとに設定</p> <p><b>【P005】</b> オートリピートタイマ指定</p> <table border="1"> <thead> <tr><th rowspan="2">表示</th><th colspan="3">内容</th></tr> <tr><th>呼出時間</th><th>待ち時間</th><th>呼出回数</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>0</td><td>120 秒</td><td>3 秒</td><td>15 回</td></tr> <tr><td>1</td><td>120 秒</td><td>10 秒</td><td>15 回</td></tr> <tr><td>2</td><td>120 秒</td><td>30 秒</td><td>15 回</td></tr> <tr><td>3</td><td>120 秒</td><td>60 秒</td><td>100 回</td></tr> </tbody> </table> <p>※オートリピートの呼出時間、待ち時間、呼出回数を変更できる。</p> <p>★ <b>【P313】</b> 実装番号 1 ~ 6 自動選局指定 (発信)</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>数字表示</td><td>自動選局する</td></tr> <tr><td>-表示</td><td>自動選局しない</td></tr> </tbody> </table> <p>・「自動選局する」に設定</p>	表示	内容	数字表示	老番から	-表示	若番から	表示	内容	0	未使用	1	局線 & ISDN	2	PBX 内線	表示	内容	0	未収容	1	局線 & ISDN	2	PBX 内線	3	VoIP(外付け)	4	ひかり電話(外付け)	表示	内容			呼出時間	待ち時間	呼出回数	0	120 秒	3 秒	15 回	1	120 秒	10 秒	15 回	2	120 秒	30 秒	15 回	3	120 秒	60 秒	100 回	表示	内容	数字表示	自動選局する	-表示	自動選局しない
表示	内容																																																							
数字表示	老番から																																																							
-表示	若番から																																																							
表示	内容																																																							
0	未使用																																																							
1	局線 & ISDN																																																							
2	PBX 内線																																																							
表示	内容																																																							
0	未収容																																																							
1	局線 & ISDN																																																							
2	PBX 内線																																																							
3	VoIP(外付け)																																																							
4	ひかり電話(外付け)																																																							
表示	内容																																																							
	呼出時間	待ち時間	呼出回数																																																					
0	120 秒	3 秒	15 回																																																					
1	120 秒	10 秒	15 回																																																					
2	120 秒	30 秒	15 回																																																					
3	120 秒	60 秒	100 回																																																					
表示	内容																																																							
数字表示	自動選局する																																																							
-表示	自動選局しない																																																							
<p>5</p> <p>■ <b>ワンタッチ外線オートダイヤル</b> あらかじめ電話番号や短縮番号を(オートダイヤル)に登録しておく(オートダイヤル)を押すだけで電話がかけられる。</p>	<p>★ <b>【P001-7】</b> ワンタッチ発信機能指定</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>数字表示</td><td>不可</td></tr> <tr><td>-表示</td><td>可</td></tr> </tbody> </table> <p>・「可」に設定</p> <p><b>【P001-9】</b> 外線自動選局順位指定</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>数字表示</td><td>老番から</td></tr> <tr><td>-表示</td><td>若番から</td></tr> </tbody> </table> <p>・自動捕捉時の外線の順位を設定</p> <p>★ <b>【P101】</b> 外線収容および外線種別指定</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>0</td><td>未収容</td></tr> <tr><td>1</td><td>局線 &amp; ISDN</td></tr> <tr><td>2</td><td>PBX 内線</td></tr> <tr><td>3</td><td>VoIP(外付け)</td></tr> <tr><td>4</td><td>ひかり電話(外付け)</td></tr> </tbody> </table> <p>・外線の種別を外線ごとに設定</p> <p>★ <b>【P313】</b> 実装番号 1 ~ 6 自動選局指定 (発信)</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>数字表示</td><td>自動選局する</td></tr> <tr><td>-表示</td><td>自動選局しない</td></tr> </tbody> </table> <p>・「自動選局する」に設定</p>	表示	内容	数字表示	不可	-表示	可	表示	内容	数字表示	老番から	-表示	若番から	表示	内容	0	未収容	1	局線 & ISDN	2	PBX 内線	3	VoIP(外付け)	4	ひかり電話(外付け)	表示	内容	数字表示	自動選局する	-表示	自動選局しない																									
表示	内容																																																							
数字表示	不可																																																							
-表示	可																																																							
表示	内容																																																							
数字表示	老番から																																																							
-表示	若番から																																																							
表示	内容																																																							
0	未収容																																																							
1	局線 & ISDN																																																							
2	PBX 内線																																																							
3	VoIP(外付け)																																																							
4	ひかり電話(外付け)																																																							
表示	内容																																																							
数字表示	自動選局する																																																							
-表示	自動選局しない																																																							

主な機能名および概要	プログラム設定内容												
<p>6 ■着信自動応答 外線に着信があったとき、受話器を上げるだけで応答できる。</p>	<p>★【P314】 実装番号1～5 自動選局指定(応答)</p> <table border="1" data-bbox="722 333 951 416"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>応答可</td> </tr> <tr> <td>－表示</td> <td>応答不可</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「応答可」に設定</p>	表示	内容	数字表示	応答可	－表示	応答不可						
表示	内容												
数字表示	応答可												
－表示	応答不可												
<p>7 ■保留 保留操作により外線通話中の相手に待ってもらったときに、保留音を流す。</p>	<p>【P004】 保留警報タイマ指定</p> <table border="1" data-bbox="722 548 951 710"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>1分</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>2分</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>3分</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4分</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>無制限</td> </tr> </tbody> </table> <p>※保留操作後に、保留警報音が鳴るまでの時間を変更できる。</p>	表示	内容	0	1分	1	2分	2	3分	3	4分	4	無制限
表示	内容												
0	1分												
1	2分												
2	3分												
3	4分												
4	無制限												
<p>8 ■自動転送 外線を保留し、内線通話後に外線通話を転送する。</p>	<p>★【P001-5】 自動転送指定</p> <table border="1" data-bbox="722 808 951 891"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>－表示</td> <td>不可</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「可」に設定</p> <p>【P001-6】 オンフック転送指定</p> <table border="1" data-bbox="987 808 1216 891"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>－表示</td> <td>不可</td> </tr> </tbody> </table> <p>※自動転送および強制転送の転送方法を変更できる。</p>	表示	内容	数字表示	可	－表示	不可	表示	内容	数字表示	可	－表示	不可
表示	内容												
数字表示	可												
－表示	不可												
表示	内容												
数字表示	可												
－表示	不可												
<p>9 ■強制転送 外線を保留し、他の内線に外線通話を直接転送する。</p>	<p>★【P001-4】 強制転送指定</p> <table border="1" data-bbox="722 1037 951 1120"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>－表示</td> <td>不可</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「可」に設定</p> <p>【P001-6】 オンフック転送指定</p> <table border="1" data-bbox="987 1037 1216 1120"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>－表示</td> <td>不可</td> </tr> </tbody> </table> <p>※強制転送および自動転送の転送方法を変更できる。</p>	表示	内容	数字表示	可	－表示	不可	表示	内容	数字表示	可	－表示	不可
表示	内容												
数字表示	可												
－表示	不可												
表示	内容												
数字表示	可												
－表示	不可												
<p>10 ■電話機グループ呼出 電話機をグループ(A、B、C、D)に分け、グループごとに呼び出しができる。</p>	<p>★【P203】 電話機グループ呼出指定</p> <table border="1" data-bbox="722 1263 951 1424"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>無所属</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>グループA</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>グループB</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>グループC</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>グループD</td> </tr> </tbody> </table> <p>※実装番号ごとに、所属するグループを設定できる。</p>	表示	内容	0	無所属	1	グループA	2	グループB	3	グループC	4	グループD
表示	内容												
0	無所属												
1	グループA												
2	グループB												
3	グループC												
4	グループD												

主な機能名および概要	プログラム設定内容																				
<p>1 ■内線代表番号での呼び出し 設定されている電話機を呼び出す。</p>	<p>【P061】 内線番号桁数指定指定</p> <table border="1" data-bbox="646 347 912 427"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1桁(1~8)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2桁(10~89)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【P201】 内線番号指定</p> <table border="1" data-bbox="646 499 1147 631"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実装番号1~6を 内線番号1~6で表示</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>設定変更</td> <td>実装番号1~6を内線番号1~8 (内線2桁モードは10~89)の範囲で指定</td> </tr> </tbody> </table> <p>・実装番号ごとに、内線番号を変更できる。</p> <p>★【P202】 内線代表番号指定</p> <table border="1" data-bbox="646 698 1133 804"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実装番号1~6</td> <td>指定なし</td> </tr> <tr> <td>設定変更</td> <td>実装番号1~6を内線番号1~8 (内線2桁モードは10~89)の範囲で指定</td> </tr> </tbody> </table> <p>・実装番号毎に話中の場合、次に呼び出す内線番号を設定する。</p>	表示	内容	1	1桁(1~8)	2	2桁(10~89)	表示	内容	実装番号1~6を 内線番号1~6で表示	_____	設定変更	実装番号1~6を内線番号1~8 (内線2桁モードは10~89)の範囲で指定	表示	内容	実装番号1~6	指定なし	設定変更	実装番号1~6を内線番号1~8 (内線2桁モードは10~89)の範囲で指定		
表示	内容																				
1	1桁(1~8)																				
2	2桁(10~89)																				
表示	内容																				
実装番号1~6を 内線番号1~6で表示	_____																				
設定変更	実装番号1~6を内線番号1~8 (内線2桁モードは10~89)の範囲で指定																				
表示	内容																				
実装番号1~6	指定なし																				
設定変更	実装番号1~6を内線番号1~8 (内線2桁モードは10~89)の範囲で指定																				
<p>2 ■通話時間表示 外線通話中にその通話時間を表示する。</p> <p>■通話料金表示 デジタル回線の料金情報通知サービスにより、発信通話終了後に表示する。</p>	<p>【P012】 外線通話表示指定</p> <table border="1" data-bbox="646 889 874 994"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>時間</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>料金</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>時間、料金</td> </tr> </tbody> </table> <p>時 間：通話時間のみ表示 料 金：通話料金を表示 時間、料金：通話時間と通話料金を表示</p> <p>・通話料金は、デジタル回線の料金情報通知サービスにより、発信通話終了後に表示します。</p> <p>【P002-0】 通話料金表示フォーマット指定</p> <table border="1" data-bbox="646 1158 949 1238"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>小数点以下は表示しない</td> </tr> <tr> <td>-表示</td> <td>小数点第1位まで表示する</td> </tr> </tbody> </table> <p>・通話料金表示および通話料金集計表示時に料金を小数点第1位まで表示するか否かを指定する。</p> <p>【P013】 課金係数指定</p> <table border="1" data-bbox="646 1346 874 1426"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>1倍</td> </tr> <tr> <td>設定変更</td> <td>01~99</td> </tr> </tbody> </table> <p>※通話料金を表示すると、この1度数当たりの通話料金を変更できる。 ※01は0.1倍で99は9.9倍になる。</p>	表示	内容	0	時間	1	料金	2	時間、料金	表示	内容	数字表示	小数点以下は表示しない	-表示	小数点第1位まで表示する	表示	内容	10	1倍	設定変更	01~99
表示	内容																				
0	時間																				
1	料金																				
2	時間、料金																				
表示	内容																				
数字表示	小数点以下は表示しない																				
-表示	小数点第1位まで表示する																				
表示	内容																				
10	1倍																				
設定変更	01~99																				
<p>3 ■自動PB切替 ダイヤル回線からの外線発信後、相手の応答により、その後のダイヤルが自動的にPBダイヤルに切り替わる。</p>	<p>★【P001-0】 自動PB信号切替指定</p> <table border="1" data-bbox="646 1536 874 1617"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>-表示</td> <td>無</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「有」に設定。</p>	表示	内容	数字表示	有	-表示	無														
表示	内容																				
数字表示	有																				
-表示	無																				
<p>4 ■外線通話割込 外線通話中の他の電話機に割り込むことができる。</p>	<p>★【P206】 外線通話割込指定</p> <table border="1" data-bbox="646 1718 874 1798"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>割込不可</td> </tr> <tr> <td>-表示</td> <td>割込可</td> </tr> </tbody> </table> <p>・外線通話中の他の電話機に割り込む電話機を実装番号ごとに「割込可」に設定変更。</p>	表示	内容	数字表示	割込不可	-表示	割込可														
表示	内容																				
数字表示	割込不可																				
-表示	割込可																				

## ▶ (2) オプション編

オプションおよび接続機器を接続する場合は、下記のプログラム設定を行ってください。

※★印のプログラムは、必ず設定変更してください。

その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。

☐：初期設定

主な機能名および概要	プログラム設定内容																																		
<p>1 ■ 単独電話機</p>	<p>★【P083】 一般電話機着信音周期指定</p> <table border="1" data-bbox="705 495 1046 627"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>パターン1</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>パターン2</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>パターン3</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>パターン4</td> </tr> </tbody> </table> <p>・外線着信(1)、外線個別着信(1)、内線着信(2)、ドアホン着信(3)、着信音転送(1)、保留音警報時(4)、一般電話機での着信鳴動パターンを指定する。 ※括弧内は初期値です。</p> <p>◎内線優先モードのとき</p> <p>【P213】 一般電話機の種別指定</p> <table border="1" data-bbox="705 875 935 956"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>PB</td> </tr> <tr> <td>一表示</td> <td>DP</td> </tr> </tbody> </table> <p>・一般電話機の種別(DP または PB)に合わせる。</p> <p>★【P212】 発信優先モード指定</p> <table border="1" data-bbox="971 875 1201 956"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>内線優先モード</td> </tr> <tr> <td>一表示</td> <td>外線優先モード</td> </tr> </tbody> </table> <p>※初期値の実装番号1～5は内線優先モード。実装番号6(SLI)は外線優先モード。 ・「内線優先モード」に設定変更。</p> <p>※内線捕捉状態からの☐ダイヤルによる捕捉外線は「ダイヤル0選局発信」の設定(151ページ)による。</p> <p>◎外線優先モードのとき ※外線優先モードのときは、一般電話機からの内線呼出はフッキング操作により、内線モードに切り替わります。</p> <p>【P213】 一般電話機の種別指定</p> <table border="1" data-bbox="705 1429 935 1509"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>PB</td> </tr> <tr> <td>一表示</td> <td>DP</td> </tr> </tbody> </table> <p>・一般電話機の種別(DP または PB)に合わせる。</p> <p>【P212】 発信優先モード指定</p> <table border="1" data-bbox="971 1429 1201 1509"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>内線優先モード</td> </tr> <tr> <td>一表示</td> <td>外線優先モード</td> </tr> </tbody> </table> <p>※初期値の実装番号1～5は内線優先モード。実装番号6(SLI)は外線優先モード。 ・「外線優先モード」に設定。</p> <p>※外線発信時の捕捉外線は「自動選局発信」の設定(150ページ)による。</p>	表示	内容	1	パターン1	2	パターン2	3	パターン3	4	パターン4	表示	内容	数字表示	PB	一表示	DP	表示	内容	数字表示	内線優先モード	一表示	外線優先モード	表示	内容	数字表示	PB	一表示	DP	表示	内容	数字表示	内線優先モード	一表示	外線優先モード
表示	内容																																		
1	パターン1																																		
2	パターン2																																		
3	パターン3																																		
4	パターン4																																		
表示	内容																																		
数字表示	PB																																		
一表示	DP																																		
表示	内容																																		
数字表示	内線優先モード																																		
一表示	外線優先モード																																		
表示	内容																																		
数字表示	PB																																		
一表示	DP																																		
表示	内容																																		
数字表示	内線優先モード																																		
一表示	外線優先モード																																		

次ページへ ➡

主な機能名および概要	プログラム設定内容																																																																								
<p>2 ■ FAX</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p><b>【P213】</b> 一般電話機の種別指定</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>数字表示</td><td>PB</td></tr> <tr><td>一表示</td><td>DP</td></tr> </tbody> </table> <p>・FAXの種別(DP・PB)に合わせる。</p> <p>★ <b>【P215～P217】</b> ドアホン1～2 着信音指定(昼、夜間A、夜間B)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>数字表示</td><td>鳴動あり</td></tr> <tr><td>一表示</td><td>鳴動なし</td></tr> </tbody> </table> <p><b>【P301】</b> 実装番号1～6 通常着信指定</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>数字表示</td><td>指定する</td></tr> <tr><td>一表示</td><td>指定しない</td></tr> </tbody> </table> <p><b>【P008】</b> 夜間CNG信号検出指定</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>数字表示</td><td>検出しない</td></tr> <tr><td>一表示</td><td>検出する</td></tr> </tbody> </table> <p><b>【P001_8】</b> 通話中のCNG信号検出継続指定</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>数字表示</td><td>継続する</td></tr> <tr><td>一表示</td><td>継続しない</td></tr> </tbody> </table> <p><b>【P003_9】</b> オンフックリモート転送指定</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>数字表示</td><td>転送不可</td></tr> <tr><td>一表示</td><td>転送可</td></tr> </tbody> </table> <p><b>【P067】</b> ダイヤルイン着信CNG信号検出指定</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>数字表示</td><td>検出しない</td></tr> <tr><td>一表示</td><td>検出する</td></tr> </tbody> </table> </div> <div style="width: 48%;"> <p><b>【P212】</b> 発信優先モード指定</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>数字表示</td><td>内線優先モード</td></tr> <tr><td>一表示</td><td>外線優先モード</td></tr> </tbody> </table> <p>・「外線優先モード」に設定。</p> <p>※初期値の実装番号1～5は内線優先モード。実装番号6(SLI)は外線優先モード。</p> <p>・FAX収容の実装番号6(SLI)のみ「鳴動なし」に設定変更。 ※P216(夜間A)、P217(夜間B)の初期設定は、実装番号1、2のみ鳴動です。</p> <p><b>【P302～P304】</b> 実装番号1～6 外線1～20 着信音鳴動指定(昼、夜間A、夜間B)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>数字表示</td><td>鳴動あり</td></tr> <tr><td>一表示</td><td>鳴動なし</td></tr> </tbody> </table> <p>※P303、P304の初期設定は、実装番号1、2のみ鳴動します。</p> <p><b>【P003_0】</b> CNG信号検出中の着信音鳴動指定</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>数字表示</td><td>鳴動しない</td></tr> <tr><td>一表示</td><td>鳴動する</td></tr> </tbody> </table> <p><b>【P066】</b> グローバル着信CNG信号検出指定</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>数字表示</td><td>検出しない</td></tr> <tr><td>一表示</td><td>検出する</td></tr> </tbody> </table> <p><b>【P068】</b> CNG信号検出時間指定</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>09</td><td>9秒</td></tr> <tr><td>設定変更</td><td>04～30</td></tr> </tbody> </table> </div> </div>	表示	内容	数字表示	PB	一表示	DP	表示	内容	数字表示	鳴動あり	一表示	鳴動なし	表示	内容	数字表示	指定する	一表示	指定しない	表示	内容	数字表示	検出しない	一表示	検出する	表示	内容	数字表示	継続する	一表示	継続しない	表示	内容	数字表示	転送不可	一表示	転送可	表示	内容	数字表示	検出しない	一表示	検出する	表示	内容	数字表示	内線優先モード	一表示	外線優先モード	表示	内容	数字表示	鳴動あり	一表示	鳴動なし	表示	内容	数字表示	鳴動しない	一表示	鳴動する	表示	内容	数字表示	検出しない	一表示	検出する	表示	内容	09	9秒	設定変更	04～30
表示	内容																																																																								
数字表示	PB																																																																								
一表示	DP																																																																								
表示	内容																																																																								
数字表示	鳴動あり																																																																								
一表示	鳴動なし																																																																								
表示	内容																																																																								
数字表示	指定する																																																																								
一表示	指定しない																																																																								
表示	内容																																																																								
数字表示	検出しない																																																																								
一表示	検出する																																																																								
表示	内容																																																																								
数字表示	継続する																																																																								
一表示	継続しない																																																																								
表示	内容																																																																								
数字表示	転送不可																																																																								
一表示	転送可																																																																								
表示	内容																																																																								
数字表示	検出しない																																																																								
一表示	検出する																																																																								
表示	内容																																																																								
数字表示	内線優先モード																																																																								
一表示	外線優先モード																																																																								
表示	内容																																																																								
数字表示	鳴動あり																																																																								
一表示	鳴動なし																																																																								
表示	内容																																																																								
数字表示	鳴動しない																																																																								
一表示	鳴動する																																																																								
表示	内容																																																																								
数字表示	検出しない																																																																								
一表示	検出する																																																																								
表示	内容																																																																								
09	9秒																																																																								
設定変更	04～30																																																																								

次ページへ

主な機能名および概要	プログラム設定内容																																										
<p>2 ■ FAX</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p><b>【P069】</b> オンフックリモート転送有効時間指定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td>5 秒</td> </tr> <tr> <td>設定変更</td> <td>1 ~ 9</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="width: 48%;"> <p><b>【P070】</b> CNG 信号検出終了後の開放時間指定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">30</td> <td>30 秒</td> </tr> <tr> <td>設定変更</td> <td>10 ~ 99</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p><b>【P071】</b> 禁止番号 01 ~ 20 CNG 信号検出禁止番号指定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">なし</td> <td>指定なし</td> </tr> <tr> <td>表示</td> <td>CNG 信号検出番号を指定</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="width: 48%;"> <p><b>【P109】</b> 収容外線 1 ~ 2 アナログ外線着信 CNG 信号検出指定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">数字表示</td> <td>検出しない</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">一表示</td> <td>検出する</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p><b>【P305】</b> 実装番号 1 ~ 6 ダイヤルイン 1 ~ 32 ダイヤルイン着信指定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">数字表示</td> <td>指定する</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">一表示</td> <td>指定しない</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="width: 48%;"> <p><b>【P306 ~ P308】</b> 実装番号 1 ~ 6 ダイヤルイン 1 ~ 32 着信音鳴動指定 ( 昼、夜間 A、夜間 B)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">数字表示</td> <td>鳴動あり</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">一表示</td> <td>鳴動なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ P307、P308 の初期設定は、実装番号 1、2 のみ鳴動します。</p> <p>・ FAX 受信外線は「鳴動する」または「指定する」とし、それ以外の外線は「鳴動しない」または「指定しない」に設定。</p> </div> </div> <p>★ <b>【P313】</b> 外線 1 ~ 20 自動選局指定 ( 発信 )</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">数字表示</td> <td>自動選局する</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">一表示</td> <td>自動選局しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ FAX で使用する外線は、「自動選局する」、それ以外の外線は「自動選局しない」に設定。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>注意</b> FAX 収容の実装番号 6 (SLI) において、CNG 信号検出を行う外線が「鳴動あり」に設定されている場合、FAX の自動受信機能により受信してしまうことがあります。</p> </div>	表示	内容	5	5 秒	設定変更	1 ~ 9	表示	内容	30	30 秒	設定変更	10 ~ 99	表示	内容	なし	指定なし	表示	CNG 信号検出番号を指定	表示	内容	数字表示	検出しない	一表示	検出する	表示	内容	数字表示	指定する	一表示	指定しない	表示	内容	数字表示	鳴動あり	一表示	鳴動なし	表示	内容	数字表示	自動選局する	一表示	自動選局しない
表示	内容																																										
5	5 秒																																										
設定変更	1 ~ 9																																										
表示	内容																																										
30	30 秒																																										
設定変更	10 ~ 99																																										
表示	内容																																										
なし	指定なし																																										
表示	CNG 信号検出番号を指定																																										
表示	内容																																										
数字表示	検出しない																																										
一表示	検出する																																										
表示	内容																																										
数字表示	指定する																																										
一表示	指定しない																																										
表示	内容																																										
数字表示	鳴動あり																																										
一表示	鳴動なし																																										
表示	内容																																										
数字表示	自動選局する																																										
一表示	自動選局しない																																										

## ▶ (3) ダイヤルイン編

### 1.ISDN 回線

※★印のプログラムは、必ず設定変更してください。

その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。

☐: 初期設定

#### プログラム設定内容

##### 1. ★【P039】

###### ダイヤルイン番号指定

表示	内容
なし	指定なし
表示	ダイヤルイン番号を市内局番から指定

- ・ダイヤルイン番号を 32 個まで市内局番から指定する。ダイヤルイン契約をした場合に登録しないと着信が受けられません。その場合、発信側には「おかけになった電話番号には、あなたと通信のできる機器が接続されてません」のトーカーが流れます。

##### 2. ★【P415】

###### ダイヤルイン着信着信外線指定

表示	内容
数字表示	指定しない
一表示	指定する

- ・ダイヤルイン番号を、どの外線ボタンに着信させるかを指定する。同じ外線ボタンに対し、重複してダイヤルイン番号を指定することも可能。

##### 3. 【P305】

###### 実装番号 1～6

###### ダイヤルイン着信指定

表示	内容
数字表示	指定する
一表示	指定しない

- ・実装番号ごとに着信するダイヤルイン番号を指定する。「指定しない」に設定された電話機は、そのダイヤルイン番号で着信が入ると外線ボタンは赤点灯のまま着信音は鳴動しません。

##### 4. 【P306～P308】

###### 実装番号 1～6

###### ダイヤルイン着信音鳴動指定 (昼、夜間 A、夜間 B)

表示	内容
数字表示	鳴動あり
一表示	鳴動なし

- ・昼モード、夜間 A、B モードで実装番号ごとに着信音の鳴るダイヤルインを指定する。ただし、3 項の P305 で指定された電話機に対してのみ有効です。

※ P307、P308 の初期は実装番号 1、2 のみ鳴動です。

##### 5. 【P411】

###### グローバル着信着信外線指定

表示	内容
数字表示	指定しない
一表示	指定する

- ・デジタル回線の収容外線に対するグローバル着信の着信する外線を指定する。2 回線以上の代表ダイヤルインでグローバル着信利用の場合は、必ず収容している回線数分、同じ設定にしてください。

##### 6. 【P301】

###### 実装番号 1～6

###### 通常着信指定

表示	内容
数字表示	指定する
一表示	指定しない

- ・実装番号ごとに通常着信 (グローバル着信も含む) 時に着信する外線を指定する。「指定しない」に設定された電話機は、その通常着信 (グローバル着信も含む) が入ると外線ボタンは赤点灯のまま着信音は鳴動しません。

##### 7. 【P302～P304】

###### 実装番号 1～6

###### 着信音鳴動指定 (昼、夜間 A、夜間 B)

表示	内容
数字表示	鳴動あり
一表示	鳴動なし

- ・昼モード、夜間 A、B モードで通常着信 (グローバル着信も含む) 時に実装番号ごとに着信音の鳴る外線を指定する。ただし、6 項の P301 で指定された電話機に対してのみ有効です。

※ P303、P304 の初期は実装番号 1、2 のみ鳴動です。

##### 8. 【P040】

###### ダイヤルイン

###### 着信音周期指定

表示	内容
01	着信音 A
02	着信音 B
03	着信音 C
04	着信音 D
05	着信音 E
06	着信音 F
07	着信音 G
08	着信音 H
09	保留メロディ
10	着信メロディ

- ・ダイヤルイン番号ごとに着信音の鳴動周期を指定する。

次ページへ →

## プログラム設定内容

### 9. 【P041】

ダイヤルイン  
着信音種別指定

表示	内容
0	低
1	中
2	高

- ・ダイヤルイン番号ごとに着信音の種別を指定する。
- ※ P040 で 01 ~ 04 (着信音 A ~ D) を設定した場合にのみ有効です。

### 10. 【P421】

外線着信音周期指定

表示	内容
01	着信音 A
02	着信音 B
03	着信音 C
04	着信音 D
05	着信音 E
06	着信音 F
07	着信音 G
08	着信音 H
09	保留メロディ
10	着信メロディ

- ・各外線番号の着信音の鳴動周期を指定する。

### 11. 【P422】

着信音種別指定

表示	内容
0	低
1	中
2	高

- ・各外線番号の着信音の種別を指定する。
- ※ P421 で 01 ~ 04 (着信音 A ~ D) を設定した場合にのみ有効です。

### 12. 【P101】

外線収容および  
外線種別指定

表示	内容
0	未収容
1	局線 & ISDN
2	PBX 内線
3	VoIP (外付け)
4	ひかり電話 (外付け)

- ・外線の種別を外線ごとに設定。

## 2. アナログ回線

- ※★印のプログラムは、必ず設定変更してください。  
その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。  
※アナログのダイヤルインは、モデムダイヤルインのみ対応です。

□ : 初期設定

### プログラム設定内容

#### 1. ★【P039】

##### ダイヤルイン番号指定

表示	内容
なし	指定なし
設定変更	ダイヤルイン番号を市内局番から指定

・ダイヤルイン番号を 32 個まで市内局番から指定する。

#### 2. 【P102】

##### アナログ外線ダイヤル種別指定

表示	内容
0	DP(10PPS)
1	DP(20PPS)
2	PB

・収容外線 (アナログ回線) ごとにダイヤル種別を指定します。

#### 3. ★【P105】

##### アナログ外線 NTT 付加サービス指定

表示	内容
数字表示	利用しない
一表示	利用する

・収容外線 (アナログ回線) ごとにナンバー・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイ、モデムダイヤルインを利用するか否かを指定する。

#### 4. 【P403】

##### 外線発信時の収容外線指定

表示	内容
数字表示	許可しない
一表示※	許可する

・外線ボタンごとに、発信時に発信を許可する収容外線を指定する。

※初期は外線ボタン 01 : 収容外線 1 のみ許可する、外線ボタン 02 : 収容外線 2 のみ許可する、外線ボタン 03 ~ 20 : 全収容外線許可しない。

#### 5. ★【P415】

##### ダイヤルイン着信着信外線指定

表示	内容
数字表示	指定しない
一表示	指定する

・ダイヤルイン番号を、どの外線ボタンに着信させるかを指定する。  
同じ外線ボタンに対し、重複してダイヤルイン番号を指定することも可能。

#### 6. 【P305】

##### ダイヤルイン着信指定

表示	内容
数字表示	指定する
一表示	指定しない

・実装番号ごとに着信するダイヤルイン番号を指定する。  
[指定しない] に設定された電話機は、そのダイヤルイン番号で着信が入ると外線ボタンは赤点灯のまま着信音は鳴動しません。

#### 7. 【P306 ~ P308】

##### 実装番号 1 ~ 6

##### ダイヤルイン着信音鳴動指定 (昼、夜間 A、夜間 B)

表示	内容
数字表示	鳴動あり
一表示	鳴動なし

・昼モード、夜間 A、B モードでダイヤルインの着信に対し、着信音の鳴る電話機を指定する。  
P307、P308 の初期は実装番号 1、2 のみ鳴動です。

#### 8. 【P407】

##### アナログ着信着信外線指定

表示	内容
数字表示	指定しない
一表示	指定する

・収容外線 (アナログ回線) ごとに、その外線に着信したときの着信外線番号を指定する。  
※初期はアナログ回線 1 : 外線番号 01 のみ指定する、アナログ回線 2 : 外線番号 02 のみ指定する、外線番号 03 ~ 20 : 全外線指定しない。

#### 9. 【P302 ~ P304】

##### 実装番号 1 ~ 6

##### 着信音鳴動指定 (昼、夜間 A、夜間 B)

表示	内容
数字表示	鳴動あり
一表示	鳴動なし

・昼モード、夜間 A、B モードでの着信に対し、着信音の鳴る電話機を指定する。  
P303、P304 の初期は実装番号 1、2 のみ鳴動です。

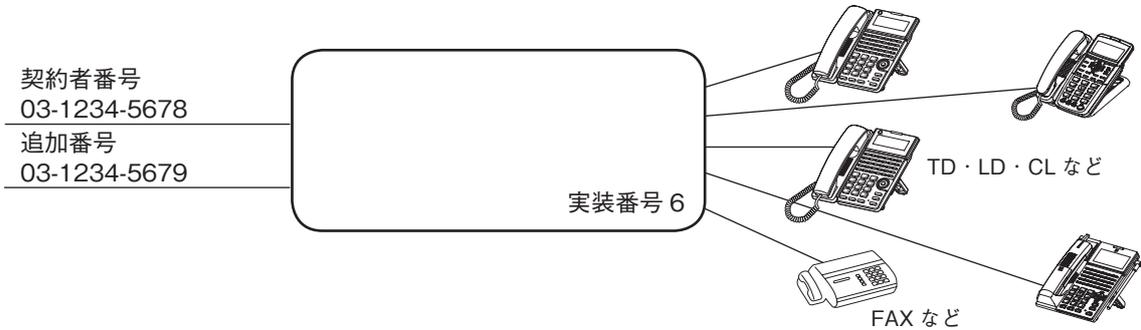
次ページへ →

## 設 定 例

### 設定例

#### 条件

- ・デジタル1回線で、契約者番号 03-1234-5678
- ・ダイヤルイン契約(追加番号あり)、グローバル着信利用、FAX 番号を 03-1234-5679 とする。
- ・FAX 発着信共、外線2固定、電話は発着信共、外線1のみとする。
- ・FAX は単独(実装番号6)に接続、単独電話関連のプログラムは設定してあるものとする。



- |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>【P039】 DI 番号 01 : 1 2 3 4 5 6 7 9</p> <p>【P415】 DI 番号 01 : 0 9 8 7 6 5 4 3 - 1</p> <p>【P411】 ISDN 1 : 0 9 8 7 6 5 4 3 2 -</p> <p>【P309】 実装番号 6</p> <p style="padding-left: 20px;">外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 -</p> <p>【P309】 実装番号 1 ~ 5</p> <p style="padding-left: 20px;">外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 - 1</p> <p>【P305】 実装番号 1 ~ 5</p> <p style="padding-left: 20px;">DI 番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 -</p> <p>【P305】 実装番号 6</p> <p style="padding-left: 20px;">DI 番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1</p> <p>【P301】 実装番号 6</p> <p style="padding-left: 20px;">外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 -</p> | <p>(ダイヤルイン1の番号を登録)</p> <p>(ダイヤルイン1の着信は外線2のみ着信するように設定)</p> <p>(収容外線1に入ったグローバル着信は外線1に着信するように設定)</p> <p>(実装番号6のFAXは外線1の発信規制を設定)</p> <p>(外線2は実装番号6のFAX以外、すべて発信規制を設定)</p> <p>(ダイヤルイン1の着信は、実装番号6のFAX以外すべて着信しないように設定)</p> <p>(ダイヤルイン1の着信は、実装番号6のFAXにのみ着信するように設定)</p> <p>(グローバル着信は、実装番号6のFAXに着信しないように設定)</p> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## ▶ (4) i・ナンバー編

※★印のプログラムは、必ず設定変更してください。  
その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。

☐：初期設定

### プログラム設定内容

**ご注意** ISDN 回線だけに有効です。

「i・ナンバー」を名称とするプログラムはありません。下記の通り対応します。

- ① ISDN 回線に対する i・ナンバーのポート番号 1 は、グローバル着信 1 に対応する。
  - ② ISDN 回線に対する i・ナンバーのポート番号 2 は、ダイヤルイン 1 に対応する。
  - ③ ISDN 回線に対する i・ナンバーのポート番号 3 は、ダイヤルイン 7 に対応する。
- ※ポート番号 1 は契約者番号、ポート番号 2、3 は追加番号の意味。

#### 1. ★ [P415]

ダイヤルイン着信着信外線指定

表示	内容
数字表示	指定しない
一表示	指定する

- ・ダイヤルイン 1 は、ISDN 回線の i・ナンバーの ポート番号 2 に着信時、どの外線ボタンに着信させるかを指定する。
  - ・ダイヤルイン 7 は、ISDN 回線の i・ナンバーの ポート番号 3 に着信時、どの外線ボタンに着信させるかを指定する
- 同じ外線ボタンに対し、重複して i・ナンバーのポート番号を指定することも可能。

#### 2. [P305]

実装番号 1～6

ダイヤルイン着信指定

表示	内容
数字表示	指定する
一表示	指定しない

- ・ISDN 回線の i・ナンバーの ポート番号 2 に着信時に着信する電話機を実装番号ごとにダイヤルイン 1 で指定する。(どの電話機に着信させるかを指定)
  - ・ISDN 回線の i・ナンバーの ポート番号 3 に着信時に着信する電話機を実装番号ごとにダイヤルイン 7 で指定する。(どの電話機に着信させるかを指定)
- 「指定しない」に設定された電話機は、その i・ナンバーのポート番号で着信が入ると外線ボタンは赤点灯のまま着信音は鳴動しません。

#### 3. [P306～P308]

実装番号 1～6

ダイヤルイン着信音鳴動指定 (昼、夜間 A、夜間 B)

表示	内容
数字表示	鳴動あり
一表示	鳴動なし

- ・ISDN 回線の昼モード、夜間 A、B モードで i・ナンバーの ポート番号 2 に着信時に着信音の鳴る電話機を実装番号ごとにダイヤルイン 1 で指定する。
  - ・ISDN 回線の昼モード、夜間 A、B モードで i・ナンバーの ポート番号 3 に着信時に着信音の鳴る電話機を実装番号ごとにダイヤルイン 7 で指定する。
- ただし、2 項の P305 で指定された電話機に対してのみ有効です。  
※ P307、P308 の初期は実装番号 1、2 のみ鳴動です。

#### 4. [P411]

グローバル着信着信外線指定

表示	内容
数字表示	指定しない
一表示	指定する

- ・i・ナンバーのポート番号 1 に着信時、どの外線ボタンに着信させるかを指定する。

#### 5. [P301]

実装番号 1～6

通常着信指定

表示	内容
数字表示	指定する
一表示	指定しない

- ・実装番号ごとに i・ナンバーのポート番号 1 に着信時に着信する外線を指定する。
- 「指定しない」に設定された電話機は、その i・ナンバーのポート番号 1 に着信が入ると外線ボタンは赤点灯のまま着信音は鳴動しません。

#### 6. [P302～P304]

実装番号 1～6

着信音鳴動指定 (昼、夜間 A、夜間 B)

表示	内容
数字表示	鳴動あり
一表示	鳴動なし

- ・昼モード、夜間 A、B モードで i・ナンバーのポート番号 1 に着信時に実装番号ごとに着信音の鳴る外線を指定する。
- ただし、5 項の P301 で指定された電話機に対してのみ有効です。  
※ P303、P304 の初期は実装番号 1、2 のみ鳴動です。

次ページへ ➡

## プログラム設定内容

### 7. 【P040】

ダイヤルイン  
着信音周期指定

表示	内容
01	着信音 A
02	着信音 B
03	着信音 C
04	着信音 D
05	着信音 E
06	着信音 F
07	着信音 G
08	着信音 H
09	保留メロディ
10	着信メロディ

・ i・ナンバーのポート番号 2 または 3 ごとに着信音の鳴動周期を指定する。

### 8. 【P041】

ダイヤルイン  
着信音種別指定

表示	内容
0	低
1	中
2	高

・ i・ナンバーのポート番号 2 または 3 ごとに着信音の種別を指定する。  
※ P040 で 01 ~ 04 (着信音 A ~ D) を設定した場合にのみ有効です。

### 9. 【P421】

外線着信音周期指定

表示	内容
01	着信音 A
02	着信音 B
03	着信音 C
04	着信音 D
05	着信音 E
06	着信音 F
07	着信音 G
08	着信音 H
09	保留メロディ
10	着信メロディ

・ i・ナンバーのポート番号 1 の着信音の鳴動周期を指定する。

### 10. 【P422】

着信音種別指定

表示	内容
0	低
1	中
2	高

・ i・ナンバーのポート番号 1 の着信音の種別を指定する。  
※ P421 で 01 ~ 04 (着信音 A ~ D) を設定した場合にのみ有効です。

### 11. 【P101】

外線収容および  
外線種別指定

表示	内容
0	未収容
1	局線 & ISDN
2	PBX 内線
3	VoIP(外付け)
4	ひかり電話 (外付け)

・ 収容外線ごとに種別を指定する。

## ▶ (5) 外線転送編

※★印のプログラムは、必ず設定変更してください。  
その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。

□ : 初期設定

### プログラム設定内容

#### 1. 【P085】

##### 外線自動転送発信時の動作指定

表示	内容
数字表示	発信側外線 1 優先
一表示	発信側外線 1、2 同時

- ・外線転送ごとに発信時の動作を指定する。
- ※発信側外線を 2 外線指定したときのみ有効
- ※「発信側外線 1 からの発信を優先し、発信側外線 1 が着信中の場合、または発信側外線 1 の回線が捕捉できない場合に発信側外線 2 から同じ転送先番号に発信する方法」、もしくは「発信側外線 1、2 から同時に別々の転送先番号に発信する方法」のどちらかを指定する。

#### 2. ★【P426】

##### 外線自動転送(発信側)指定

##### 外線転送 1 ~ 4

##### 発信側外線 1 ~ 2

表示	内容
00	指定なし
01	外線番号 1
}	}
30	外線番号 30

- ・外線自動転送の発信側外線を指定する。
- ※発信側外線に指定すると、着信側外線 (P427) は自動的に「指定しない」になります。
- ※PBX 内線を指定することはできません。

#### 3. ★【P427】

##### 外線自動転送(着信側)指定

表示	内容
0	指定しない
1	一次応答なし(外線転送 1)
2	一次応答あり(外線転送 1)
3	一次応答なし(外線転送 2)
4	一次応答あり(外線転送 2)
5	一次応答なし(外線転送 3)
6	一次応答あり(外線転送 3)
7	一次応答なし(外線転送 4)
8	一次応答あり(外線転送 4)

- ・外線自動転送の着信側外線と転送方法を指定する。
- ※発信側外線 (P426) で指定された外線を着信側に指定することはできません。
- ※PBX 内線を指定することはできません。
- 一次応答・・・REC を使用して一次応答メッセージを発信者に送出すること。
- ※外線転送一次応答メッセージを利用するには「P028 REC 用途指定」で留守 / お待たせ / 一次応答に設定する必要があります。

#### 4. 【P021-1 ~ 4】

##### 外線転送システム設定

表示	内容
数字表示	鳴動しない
一表示	鳴動する

- ・外線自動転送時、転送先に通知音を送出するか、しないかを指定する。
- 転送 1「ピピピピピピピ」(高い音)、転送 2「ピー」(中位の音)、転送 3「ポー」(低い音) 転送 4「ピー」(高い音) が 1.5 秒間鳴動する。

#### 5. 【P019】

##### 外線転送自動応答時間指定

表示	内容
042	42 秒で自動応答する
設定変更	000 ~ 180 の範囲で指定する (000 は自動応答しない)

- ・外線自動転送の発信側外線に着信が入った場合に外線転送のリモコンが自動応答するまでの時間を指定する。
- ※ 1 外線転送セット / 解除には関わらない。
- ※ 2 暗証番号が未登録のときは応答しない。

#### 6. 【P025】

##### 外線転送最大

##### 通話時間指定

表示	内容
0	30 分
1	1 時間
2	2 時間
3	3 時間

- ・外線手動 / 自動転送したときの最大通話時間を指定する。
- この時間になると、両方の相手に「ピー」音が入り 30 秒後に通話を自動的に終話します。

#### 7. 【P024】

##### 外線転送終話時

##### コールバック時間指定

表示	内容
0	コールバックしない
1	1 秒
2	2 秒
3	3 秒
4	4 秒
5	5 秒
6	6 秒

- ・外線転送(手動 / 自動)の終話時に発信元が終話し、転送先が受話器を持ったまま待っているとき、コールバックするまでの時間を指定する。
- ※初期値は、手動転送：2、自動転送：0

次ページへ ➡

## プログラム設定内容

### 8. 【P023】

#### 外線転送転送先不応答切断タイマ指定

表示	内容
0	20 秒
1	40 秒
2	60 秒
3	80 秒
4	100 秒
5	120 秒

- ・一次応答メッセージ送出後のダイレクト自動転送で、転送先が応答しない場合、外線を切断するまでの時間を指定する。

### 9. 【P045】

#### ダイヤルイン着信

#### ダイレクトリモコン指定

表示	内容
数字表示	指定しない
一表示	指定する

- ・ダイヤルイン番号に着信したときに、ダイレクトリモコンを利用するか、しないかを指定する。

### 10. 【P044】

#### グローバル着信

#### ダイレクトリモコン指定

表示	内容
数字表示	指定しない
一表示	指定する

- ・グローバル番号に着信したときに、ダイレクトリモコンを利用するか、しないかを指定する。

### 11. 【P106】

#### アナログ外線

#### ダイレクトリモコン指定

表示	内容
数字表示	指定しない
一表示	指定する

- ・アナログ外線に着信したときに、ダイレクトリモコンを利用するか、しないかを指定する。

### 12. 【P312】

#### コールバック着信鳴動指定

表示	内容
数字表示	鳴動あり
一表示	鳴動なし

- ・外線転送コールバックを行ったときに、実装番号 1～6 ごとに鳴動する外線を指定する。REC を使用時には、お待たせ応答後のコールバックで、通常着信に切り替わったとき、着信鳴動する電話機もこのプログラムで指定する。  
※初期値は、実装番号 1～5：鳴動あり、実装番号 6：鳴動なし

### 13. 【P022】

#### 外線自動転送の起動時間指定

表示	内容
0	0 秒
1	3 秒
2	6 秒
3	9 秒
4	12 秒
5	15 秒
6	18 秒
7	21 秒
8	24 秒
9	27 秒

- ・何秒後に転送先に発信するかを指定する。

### 14. 【P026】

#### 外線自動転送中の着信音鳴動指定

表示	内容
0	すべての着信側外線の着信音を鳴動しない
1	自動転送起動対象外線の着信音のみ鳴動しない
2	鳴動する

- ・ダイレクト自動転送（一次応答なし）の発信中および転送通話中に着信側外線に着信が入った場合の着信を鳴動させるか否かを指定する。

### 15. 【P042】

#### グローバル着信時のダイレクト自動転送可否指定

表示	内容
数字表示	転送可
一表示	転送不可

- ・グローバル着信時のダイレクト自動転送を可能にするか否かをグローバル着信ごとに指定する。

### 16. 【P043】

#### ダイヤルイン着信時のダイレクト自動転送可否指定

表示	内容
数字表示	転送可
一表示	転送不可

- ・ダイヤルイン着信時のダイレクト自動転送を可能にするか否かをダイヤルイン着信ごとに指定する。

次ページへ ➔

## プログラム設定内容

### 17. 【P086】

#### 外線転送通話ゲイン指定

・外線転送時、外線種別の組み合わせごとに通話における音量（ゲイン）を指定する。

表示	内容
0	- 12dB
1	- 9dB
2	- 6dB
3	- 3dB
4	0dB
5	+ 3dB
6	+ 6dB
7	+ 9dB
8	+ 12dB

### 18. 【P021-5】

#### 外線転送発信時の ACR 許可指定

外線転送発信時、ACR の利用を許可するか否かを指定する。

表示	内容
数字表示	ACR 禁止
一表示	ACR 許可

### 19. 【P056】

#### 識別グループ着信時の動作指定

・識別グループ着信時に識別グループ (0 ~ 9) ごとに自動転送する、しないを指定する。

表示	内容
数字表示	指定する
一表示	指定しない

次ページへ ➡

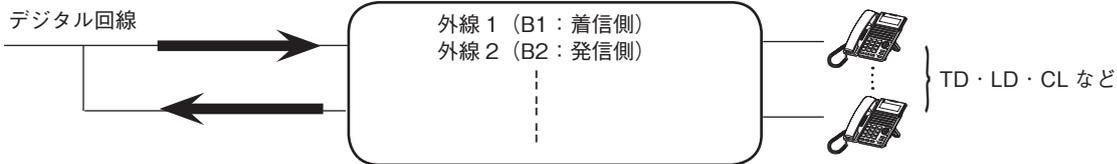
## 設 定 例

### 設定例 その1

#### 条件

- ・デジタル1回線で、ダイレクト外線自動転送を行う。
- ・発信者への一次応答メッセージはなし。

デジタル回線



#### [P426] 外線転送1

発信側外線1 = 外線番号 02 (外線自動転送1の発信側を外線1に設定)

#### [P427]

0 000000001 (外線自動転送1の着信側を外線1とし、ダイレクト外線自動転送の一次応答メッセージなしに設定)

### 設定例 その2

#### 条件

- ・デジタル1回線で、ダイレクト外線自動転送を行う。(設定例 その1と同じ)
- ・発信者への一次応答メッセージは送出する。
- ・外線転送コールバック時の鳴動子機は、実装番号1,2,5の電話機3台とする。(終話時コールバック時間を2秒にする)

#### [P426] 外線転送1

発信側外線1 = 外線番号 02 (外線自動転送1の発信側外線2に設定)

#### [P427]

0 000000002 (外線自動転送1の着信側を外線1とし、ダイレクト外線自動転送の一次応答メッセージありに設定)  
 ※外線転送一次応答メッセージを利用するには「P028 REC 用途指定」で留守/お待たせ/一次応答に設定する必要があります。

#### [P312]

(外線2のコールバック鳴動電話機を実装番号1,2,5に設定)

実装番号1,2,5以外の実装番号

外線番号 0 9876543-1 (実装番号1,2,5以外の電話機を、外線2のコールバック鳴動しないに設定)

#### [P024] 自動/手動

22 (外線自動転送終話時コールバック時間を2秒に設定)

### 設定例 その3

#### 条件

- ・デジタル1回線とVoIP回線で、ダイレクト外線自動転送(発信側外線1優先)を行う。
- ・発信者への一次応答メッセージはなし。  
 ※発信側外線1が着信中の場合、または発信側外線1の回線が捕捉できない場合に発信側外線2から同じ転送先番号に発信する方法。  
 ※プログラム設定終了後、メニューで外線転送先を1つ選びます。

#### [P426] 外線転送1

発信側外線1 = 外線番号 02 (外線自動転送1の発信側外線1を外線2に設定)

発信側外線2 = 外線番号 03 (外線自動転送1の発信側外線2を外線3に設定) ※外線番号3をVoIP外線とする。

#### [P427]

0 000000001 (外線自動転送1の着信側を外線1とし、ダイレクト外線自動転送の一次応答メッセージなしに設定)

#### [P085]

4321 (発信側外線1優先に設定)

### 設定例 その4

#### 条件

- ・デジタル1回線とVoIP回線で、ダイレクト外線自動転送(発信側外線1,2同時)を行う。
- ・発信者への一次応答メッセージはなし。  
 ※発信側外線1,2から同時に別々の転送先番号に発信する方法。  
 ※プログラム設定終了後、メニューで外線転送先を2つ選びます。

#### [P426] 外線転送1

発信側外線1 = 外線番号 02 (外線自動転送1の発信側外線1を外線2に設定)

発信側外線2 = 外線番号 03 (外線自動転送1の発信側外線2を外線3に設定) ※外線番号3をVoIP外線とする。

#### [P427]

0 000000001 (外線自動転送1の着信側を外線1とし、ダイレクト外線自動転送の一次応答メッセージなしに設定)

#### [P085]

432- (発信側外線1,2同時に設定)

## ▶ (6) REC(留守番機能) 編

※★印のプログラムは、必ず設定変更してください。  
 その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。

: 初期設定

### プログラム設定内容

#### 1. [P027]

##### REC システム指定

項目	名称	表示	内容
1	用件自動消去指定	数字表示	自動消去あり
		—表示	自動消去なし
2	通話メモ再生指定	数字表示	REC ごとに共通
		—表示	電話機個別

・用件自動消去をするか、しないか、通話メモの再生を REC ごとに共通とするか、電話機個別とするかを指定する。

#### 2. ★ [P028]

##### REC 使途指定

表示	内容
0	未使用
1 ※ 1	留守／お待たせ／一次応答
2	非通知拒否／迷惑電話拒否
3	非通知拒否
4	迷惑電話拒否
5	通話メモ

・REC ごとに使用する機能を指定する。  
 ※ 1 REC2, RECBusy の初期は未使用です。

#### 3. [P029]

##### 留守番機能指定

表示	内容
0	応答録音のみ可
1	応答専用のみ可
2	両方可

・REC ごとに留守番機能の応答録音と応答専用の使用可否を指定する。

#### 4. [P210]

##### 留守番電話機指定

表示	内容
1 ※ 2	実装番号 1 を指定
設定変更	実装番号 (1 ~ 5) で指定

・REC1, 2 と RECBusy の留守番指定電話機を実装番号で指定する。  
 ※ 2 REC2, RECBusy の初期は「指定なし」です。  
 ※同一電話機に複数の REC を指定することはできない。  
 ※ RECBusy には、通話中 Busy 拒否のセット操作を行うための電話機を指定します。

#### 5. ★ [P428]

##### 留守番自動応答指定

表示	内容
0	自動応答しない
1	REC1 が自動応答
2	REC2 が自動応答

・外線 (01 ~ 30) ごとに REC 1 が応答するのか、REC2 が応答するのかを指定する。

#### 6. [P018]

##### 留守番在宅自動応答時間指定

表示	内容
045	45 秒で自動応答する
設定変更	000 ~ 180 の範囲で指定する (000 は自動応答しない)

・留守番未セット時に留守番のリモコンが自動応答するまでの時間を指定する。

#### 7. [P056]

##### 識別グループ着信時の動作指定

表示	内容
数字表示	指定する
—表示	指定しない

・識別グループ着信時に識別グループ (0 ~ 9) ごとに留守番応答する、しないを指定する。

#### 8. [P222]

##### 通話メモ使用 REC 指定

表示	内容
0	指定なし
1	REC1
2	REC2

・電話機ごとに通話メモ機能を使用する REC を指定する。

#### 9. [P312]

##### コールバック着信鳴動指定

表示	内容
数字表示	鳴動あり
—表示	鳴動なし

・REC お待たせ応答後のコールバックで通常着信に切り替わったとき、実装番号 1 ~ 6 ごとに着信鳴動する外線を指定する。  
 ※外線転送コールバック時に着信鳴動する電話機もこのプログラムで指定する。  
 ※初期値は、実装番号 1 ~ 5 : 鳴動あり、実装番号 6 : 鳴動なし

次ページへ ➡

## プログラム設定内容

### 10. 【P030】

#### REC お待たせコールバック時間指定

表示	内容
0	コールバックしない
1	1分
2	2分
3	3分
4	4分

- ・REC お待たせメッセージ送出完了後の外線に応答しない場合、その外線を再び着信状態にするまでの時間を指定する。

### 11. 【P230】

#### ワンショット留守番機能使用 REC 指定

表示	内容
0	未使用
1	REC1
2	REC2

- ・電話機ごとにワンショット留守番機能に利用する REC を指定する。
- ※ P210 で REC 子機に指定されている電話機は他の REC を指定することはできません。(REC Busy を除く)

### 12. 【P097】

#### REC 録音時間指定

060	60分
設定変更	システムでの最大録音時間は120分 (REC Busy を除く) ※ 10分間隔でのみ指定可能です。

### 13. 【P027-4】

#### 追っかけ転送発信時の ACR 許可指定

表示	内容
数字表示	ACR 禁止
一表示	ACR 許可

- ・追っかけ転送発信時、ACR の利用を許可するか、否かを指定する。

◎留守番指定電話機に指定された電話機には、次の留守番機能ボタンが自動的に割り付けられます。

電話機の種別	ボタン名称				
	レビュー	再生	スキップ	消去	留守
TD615 の電話機	オート14	オート15	オート16	オート17	オート18
TD625 の電話機	オート26	オート27	オート28	オート29	オート30
LD 電話機	オート6	オート9	オート7	オート8	オート10

※ CL 電話機（親機）は TD625 電話機と同じです。

◎留守番自動応答時間の指定方法

TD・LD・CL（親機）（留守番指定電話機）で操作

 →  → **5** **2** → **0** **0** **1** ~ **1** **8** **0** のいずれか

- ・留守番セット時に自動応答するまでの時間 (1 ~ 180 秒) を指定する。
- ※初期設定は 009 (9 秒) です。



## プログラム設定内容

### 9. 【P079】

#### センサ入力信号 ON 確定時間指定

表示	内容	表示	内容
01	12.5ms	09	112.5ms
02	25.0ms	10	125.0ms
03	37.5ms	11	137.5ms
04	50.0ms	12	150.0ms
05	62.5ms	13	162.5ms
06	75.0ms	14	175.0ms
07	87.5ms	15	187.5ms
08	100.0ms	16	200.0ms

・センサからの入力信号について、システムが検出したと判断するのに最低限必要な ON 時間の長さを設定します。設定時間よりも短い検出信号は無視される。

※設定値を大きくすることによって、ノイズ（温度ドリフトによる光学的なノイズや、強電界による電気的な外来ノイズ）による誤検出を防止する効果があります。ただし、大きくしすぎると検知できなくなります。

※推奨値：12.5ms～100.0ms

### 10. 【P080】

#### センサ入力信号 OFF 確定時間指定

表示	内容	表示	内容
01	12.5ms	09	112.5ms
02	25.0ms	10	125.0ms
03	37.5ms	11	137.5ms
04	50.0ms	12	150.0ms
05	62.5ms	13	162.5ms
06	75.0ms	14	175.0ms
07	87.5ms	15	187.5ms
08	100.0ms	16	200.0ms

・センサからの入力信号が ON から OFF に変化してから、OFF と認めるまでの時間を設定します。

※設定値を大きくすることによって、センサ間近の誤検出を防止する効果があります。ただし、大きくしすぎると検知できなくなります。

※推奨値：12.5ms～50.0ms

### 11. 【P081】

#### センサ ON 連続検出回数指定

表示	内容
1	1 回
設定変更	1～8 の範囲で指定する

・システムが検出ありと判断するまでのセンサからの入力信号のカウント数を指定する。

※設定値を大きくすることによって、単発ノイズによる誤検出を防止する効果があります。ただし、大きくしすぎると検知できなくなります。また、単純に検知範囲（距離）が短くなるととらえることもできます。

※推奨値：1 回～3 回

### 12. 【P082】

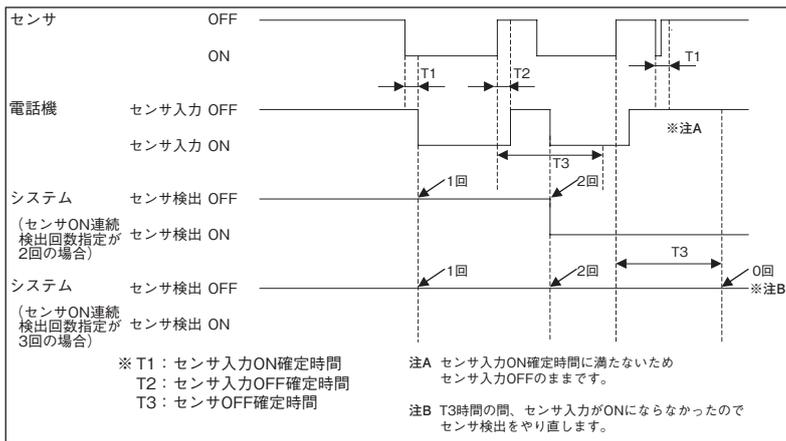
#### センサ OFF 確定時間指定

表示	内容	表示	内容
01	50.0ms	17	2600.0ms
02	75.0ms	18	2800.0ms
03	100.0ms	19	3000.0ms
04	150.0ms	20	3200.0ms
05	200.0ms	21	3400.0ms
06	400.0ms	22	3600.0ms
07	600.0ms	23	3800.0ms
08	800.0ms	24	4000.0ms
09	1000.0ms	25	4200.0ms
10	1200.0ms	26	4400.0ms
11	1400.0ms	27	4600.0ms
12	1600.0ms	28	4800.0ms
13	1800.0ms	29	5000.0ms
14	2000.0ms	30	5500.0ms
15	2200.0ms	31	6000.0ms
16	2400.0ms	32	6500.0ms

・センサからの入力信号が ON から OFF に変化してから、センサ入力がなくなったと認めるまでの時間を設定します。

※設定値を大きくすることによって、対象の横切り往復運動などを検知しやすくなります。ただし、大きくしすぎると単発ノイズによる誤検出が起こりやすくなります。

※推奨値：1000.0ms～4000.0ms



## プログラム設定内容

### 13. ★ 【P226】

実装番号 1～5  
セーフティグループ指定

表示	内容
0	指定なし
1	グループ A

・電話機ごとにセーフティグループを設定します。

### 14. ★ 【P228】

音声威嚇電話機指定

表示	内容
0	指定なし
設定変更	0～5の範囲で指定する (0は指定なし)

・通知先から音声の威嚇を行うとき、ハンズフリー通知状態にする電話機を指定します。  
セーフティグループごとに最大3台指定します。(0は指定なし)

※音声威嚇電話機に指定できるのは、TD・LD・CL 電話機です。  
※ P226 で同じグループに属する電話機のみ指定可。

### 15. 【P229】

実装番号 1～5  
センサ動作指定

表示	内容
数字表示	許可する
－表示	許可しない

・電話機 (TD615/TD625 電話機) ごとに、センサ検出を許可するか否かを指定する。

### 16. ★ 【P450】

通報発信外線指定

表示	内容
00	指定なし
設定変更	00～30の範囲で指定する (00は指定なし)

・通報時に発信外線として使用する外線をセーフティグループごとに指定します。  
00は指定なし。

※ P402 で 1 (外線) を設定した場合に限り指定可。  
※ 外線自動転送の発信側外線と同一外線も設定可。

### 17. 【P035】

リレー制御指定 (リレー 1、2、3)

表示	内容
0	未使用
1	Web カメラ (セーフティ A に連動)

・リレーごとに、Web カメラ (セーフティ A に連動) を接続しているか、否かを指定する。

### 18. 【P044】

グローバル着信ダイレクトリモコン指定

表示	内容
数字表示	指定しない
－表示	指定する

・グローバル着信時、発信者番号が転送先番号または通報先番号と一致した場合に、外線転送のリモコンまたはセーフティのリモコンを行うか否かを ISDN 回線ごとに指定する。

### 19. 【P045】

ダイヤルイン着信ダイレクトリモコン指定

表示	内容
数字表示	指定しない
－表示	指定する

・ダイヤルイン着信時、発信者番号が転送先番号または通報先番号と一致した場合に、外線転送のリモコンまたはセーフティのリモコンを行うか否かをダイヤルイン番号ごとに指定する。

### 20. 【P106】

アナログ外線ダイレクトリモコン指定

表示	内容
数字表示	指定しない
－表示	指定する

・収容外線 (アナログ回線) ごとに発信者番号が転送先番号または通報先番号と一致した場合に、外線転送のリモコンまたはセーフティのリモコンを行うか否かを指定する。

## ▶ (8) リモートコールバック機能編

※ ★印のプログラムは、必ず設定変更してください。  
その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。

□ : 初期設定

### プログラム設定内容

#### 【P090-1】

リモートコールバック発信回線指定

表示	内容
数字表示	同一回線
-表示	自動選局

・リモートコールバック発信を行う回線の選択方法を指定する。

#### 【P090-2】

リモートコールバック PB 未検出時動作指定

表示	内容
数字表示	切断
-表示	一斉着信

・リモートコールバック中、相手からの PB が検出できなかった場合、回線を切断するか一斉着信にするかを指定する。

#### 【P090-3】

リモートコールバック発信時の ACR 許可指定

表示	内容
数字表示	ACR 禁止
-表示	ACR 許可

・リモートコールバック発信時、ACR の利用を許可するか、否かを指定する。

#### ★【P091】

リモートコールバックグローバル着信検出指定

表示	内容
数字表示	検出しない
-表示	検出する

・グローバル回線ごとに、リモートコールバック着信の検出を行うか否かを指定する。

#### ★【P092】

リモートコールバックダイヤルイン着信検出指定

表示	内容
数字表示	検出しない
-表示	検出する

・ダイヤルイン番号ごとに、リモートコールバック着信の検出を行うか否かを指定する。

#### 【P093】

リモートコールバック検出タイマ指定

表示	内容
007	7 秒
設定変更	004 ~ 180 の範囲で指定する

・リモートコールバックの検出時間を指定する。  
※外線への着信時間が設定値を超えた場合、リモートコールバック機能は行わない。

#### 【P094】

リモートコールバック呼出時間指定

表示	内容
0	60 秒 (リトライなし)
1	20 秒 (リトライあり)
2	40 秒 (リトライあり)
3	60 秒 (リトライあり)

・リモートコールバック時、発信先を呼び出す時間を指定する。

#### 【P111】

リモートコールバックアナログ着信検出指定

表示	内容
数字表示	検出しない
-表示	検出する

・収容外線ごとに、リモートコールバック着信の検出を行うか否かを指定する。

次ページへ➡

## プログラム設定内容

### [P309 ~ P311]

#### 発信規制指定

表示	内容
数字表示	発信可
-表示	発信不可

・昼間・夜間 A・夜間 B モードのとき、各外線ごとに外線発信「可」とするか「不可」とするかを、電話機ごとに指定する。

※ SLI、ユーザー登録を含む。

※リモートコールバック機能は、ユーザー登録の実装番号に対する指定内容で動作する。

### ★ [P312]

#### コールバック着信鳴動指定

表示	内容
数字表示	鳴動あり
-表示	鳴動なし (SLI)

・外線転送コールバックならびに REC お待たせ応答コールバックおよびリモートコールバック機能時に着信鳴動する電話機を外線ごとに指定する。

※初期値は、実装番号 1 ~ 5: 鳴動あり、実装番号 6: 鳴動なし

#### ◎リモートコールバックを行う電話帳グループの指定方法

TD・LD・CL (親機) で操

 →  → 9 1 4 → グループを選択して  → 5 → 1 (解除する場合は 2)

# 18 保守メニュー

Actys II 取扱説明書に記載されているメニュー設定以外に、保守対応用として下記の保守メニューが利用可能。(オートダイヤルの共通登録や詳細な情報を閲覧することが可能)

保守メニューは TD・LD・CL(親機) からアクセスすることが可能。

- ① 受話器をおいたままで、**機能**→**#**→**\***→**\*** のボタンを押す。
- ②  を操作、またはメニュー番号を押して、該当機能を選択する。
- ③ 保守メニュー一覧及び詳細については、以下を参照。

## 保守メニュー (一覧)

保守メニュー		保守メニュー	
1	オートダイヤル ※ 1	5	その他
2	主装置	1	バージョン情報
1	ユニット構成	2	ネットワーク
1	一覧表示	1	ネットワーク情報の確認
2	ユニット管理情報の初期化	1	主装置
1	VoIP ユニット	2	VoIP ※ 2
2	全ユニット	2	IP アドレスの変更
2	電話機構成 ※ 1	1	主装置
3	データ保存/復旧	2	VoIP ※ 2
1	書き込み (主装置→CF)	3	ログ強制保存
2	読み込み (CF→主装置)	4	CF 取外し
4	再起動	5	セーフティ関係
5	初期化	1	センサ検出テスト
1	パスワード	※ 1：一覧を表示中に短縮ボタンを押すことで詳細表示に切り替わる。 ※ 2：IPFU300/IPNT300 が実装されている場合、保守メニューの「VoIP」は「VoIP ルーター」の表示になる。	
1	ユーザー		
2	管理者		
3	工事者		
2	プログラム設定		
3	電話帳		
4	オートダイヤル		
5	一括		
3	VoIP ※ 2		
1	ユニット情報		
2	データ保存		
1	書き込み (VoIP→CF)		
2	読み込み (CF→VoIP)		
3	再起動		
4	初期化		
4	メンテナンス		
1	販売店名		
2	販売店電話番号		
3	工事店 (担当) 名		
4	工事区分 1 新規設置工事～7 その他		
5	会社名		
6	郵便番号		
7	住所		
8	電話番号		
9	FAX 番号		
#	データ送信		

## 保守メニュー（詳細）

メニュー番号	機能	内容
1	オートダイヤル	<p>オートダイヤルの共通編集をする。 編集内容は全電話機に登録される。</p> <p>※オートダイヤルが既に登録されている場合には、最新情報に上書きされる。 ※登録方法は取扱説明書のオートダイヤル登録を参照。</p>
2 + 1 + 1	主装置 ↳ユニット構成 ↳一覧表示	<p>各スロットに実装しているユニット名称を表示する。</p> <p>※外線系ユニットは、実装外線番号も表示する。</p>
2 + 1 + 2 + 1	主装置 ↳ユニット構成 ↳ユニット管理情報の初期化 ↳VoIP ユニット	<p>VoIP ユニットのみの管理情報を初期化し、主装置を再起動する。 再起動後、VoIP ユニットの管理情報を再認識する。</p>
2 + 1 + 2 + 2	主装置 ↳ユニット構成 ↳ユニット管理情報の初期化 ↳全ユニット	<p>全ユニットの管理情報を初期化し、主装置を再起動する。 再起動後、全ユニットの管理情報を再認識する。</p>
2 + 2	主装置 ↳電話機構成	<p>実装番号毎に電話機情報及び接続状態を表示する。</p> <p>※短縮ボタンを押下すると、一覧表示と詳細表示が切り替わる。 ※以下の情報を表示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実装番号</li> <li>・内線番号（詳細表示中のみ）</li> <li>・電話機種別</li> <li>・電話機バージョン（詳細表示中のみ）</li> <li>・TEN番号（DC/WS 電話機のみ）</li> </ul> <p>※一覧表示時、電話機が使用中の場合、画面右端に * が表示される。 ※電話機が接続されていない場合は、「実装なし」と表示される。 設定情報（プログラム設定、電話帳、オートダイヤル、その他</p>
2 + 3 + 1	主装置 ↳データ保存/復旧 ↳書き込み（主装置→CF）	<p>設定）をCFカードに書き込むことが可能。設定情報はチェックボックスをON/OFFすることで選択する。</p> <p>《ディレクトリ・ファイル構造》            DATA/AUTO.LEG（オートダイヤル）            DATA/CONFIG.LEG（プログラム設定）            DATA/IPGW.LEG（VoIP 設定）            DATA/OTHER.LEG（その他）            DATA/SPEED.LEG（電話帳）            DATA/MELO1.MID（ユーザーメロディ1）            DATA/MELO2.MID（ユーザーメロディ2）            DATA/MELO3.MID（ユーザーメロディ3）            DATA/MELO4.MID（ユーザーメロディ4）</p> <p>※その他設定とプログラム設定は対で処理される。（チェックボックスが連動する）            ※プログラム設定とその他設定は、セットで選択する。            ※Fit 情報はその他設定に保存される。REC の録音内容は保存されない。</p>

メニュー番号	機能	内容
2 + 3 + 2	主装置 ↳データ保存/復旧 ↳読み込み (CF → 主装置)	CFカードにバックアップした設定情報（プログラム設定、電話帳、オートダイヤル、その他設定）を読み込みます。設定情報はチェックボックスをON/OFFすることで、選択可能。  ※その他設定選択時、プログラム設定も選択される。（プログラム設定のみの選択は可能） ※その他設定を読み込んだ場合、システムの待機状態を待ち、18秒経過後に自動で主装置再立上げ処理が行われる。
2 + 4	主装置 ↳再起動	主装置を再起動する。  ※ PPPoE は自動的に停止してから再起動される。
2 + 5 + 1 + 1	主装置 ↳初期化 ↳パスワード ↳ユーザー	Web 設定で登録したユーザ毎のパスワードを全て工場出荷状態に戻す。
2 + 5 + 1 + 2	主装置 ↳初期化 ↳パスワード ↳管理者	Web 設定で変更したユーザ管理者のパスワードを全て工場出荷状態に戻す。
2 + 5 + 1 + 3	主装置 ↳初期化 ↳パスワード ↳工事者	Web 設定もしくは、電話機から機能特番で変更した工事者のパスワードを全て工場出荷状態に戻す。
2 + 5 + 2	主装置 ↳初期化 ↳プログラム設定	プログラム設定の内容を全て工場出荷状態に戻す。
2 + 5 + 3	主装置 ↳初期化 ↳電話帳	全ての電話帳のデータを削除する。
2 + 5 + 4	主装置 ↳初期化 ↳オートダイヤル	全てのオートダイヤルを初期化する。
2 + 5 + 5	主装置 ↳初期化 ↳一括	パスワード、プログラム設定、電話帳、オートダイヤルのデータを一括で初期化する。  ※カレンダー・時計は初期化されない。
3 + 1	VoIP ↳ユニット情報	VoIP のキャリア名を表示する。
3 + 2 + 1	VoIP ↳データ保存 ↳書き込み (VoIP → CF)	VoIP の設定データを CF カードに書き出す。
3 + 2 + 2	VoIP ↳データ保存 ↳読み込み (CF → VoIP)	CF にバックアップしたカード内の設定データを VoIP に読み込む。
3 + 3	VoIP ↳再起動	VoIP を再起動する。
3 + 4	VoIP ↳初期化	VoIP の設定を初期化する。

設定項目	内 容	データの意味 (下線は初期値を表す)
4 + 1	メンテナンス ↳販売店名	販売店名 (最大 16 桁) を登録する。
4 + 2	メンテナンス ↳販売店電話番号	販売店電話番号 (最大 24 桁) を登録する。
4 + 3	メンテナンス ↳工事店 (担当) 名	工事店 (担当者) 名 (最大 16 桁) を登録する。
4 + 4	メンテナンス ↳工事区分	工事区分を選択する。 1 新規設置工事 (設置工事時に選択する) 2 増設工事 (ユニットや電話機、回線数を増やしたときに選択する) 3 移設工事 (移設工事時に選択する) 4 場変工事 (場変工事時に選択する) 5 設定変更 (各種設定を変更したときに選択する) 6 障害対応 (障害で対応したときに選択する) 7 その他 (上記以外の内容で対応したときに選択する)
4 + 5	メンテナンス ↳お客様名	設置先の会社名 (最大 16 桁) を登録する。
4 + 6	メンテナンス ↳お客様郵便番号	設置先の郵便番号を登録する。
4 + 7	メンテナンス ↳お客様住所	設置先の住所 (最大 32 桁) を登録する。
4 + 8	メンテナンス ↳お客様電話番号	設置先の電話番号 (最大 24 桁) を登録する。  ※「電話番号」は、着信メロディーダウンロードサービスを利用する際に必要となるので、必ず登録する。
4 + 9	メンテナンス ↳お客様 FAX 番号	設置先の F A X 番号 (最大 24 桁) を登録する。
4 + #	メンテナンス ↳データ送信	編集した顧客管理情報 (販売店名、販売店電話番号、工事店 (担当) 名、工事区分、お客様名、お客様郵便番号、お客様住所、お客様電話番号、お客様 FAX 番号) を登録し、サーバーに送信する。  ※ Ethernet 接続または、ISDN 接続で送信される。
5 + 1	その他 ↳バージョン情報	主装置や、搭載されているユニットの各種ソフトウェアバージョンを確認する。
5 + 2 + 1 + 1	その他 ↳ネットワーク ↳ネットワーク情報の確認 ↳主装置	主装置の IP アドレス、サブネットマスク、MAC アドレスを確認する。

設定項目	内 容	データの意味 (下線は初期値を表す)
5 + 2 + 1 + 2	その他 ↳ネットワーク ↳ネットワーク情報の確認 ↳VoIP	VoIP の IP アドレス、サブネットマスク、MAC アドレスを確認する。  ※ LAN / WAN 毎に確認することが可能。 ※ポートの切替は上下キーで行なう。
5 + 2 + 2 + 1	その他 ↳ネットワーク ↳IP アドレスの変更 ↳主装置	主装置の IP アドレスを変更する。  ※変更を行ったあとに、主装置の再起動が必要。 ※本機能にて、サブネットマスクを変更することはできないので注意が必要。 ※工場出荷時の IP アドレス (192.168.1.253)
5 + 2 + 2 + 2	その他 ↳ネットワーク ↳IP アドレスの変更 ↳VoIP	VoIP の IP アドレスを変更することができます。  ※変更を行ったあとに、VoIP が再起動される。 ※本機能にて、サブネットマスクを変更することはできないので注意が必要。 ※工場出荷時の IP アドレス (192.168.1.254)
5 + 3	その他 ↳ログ強制保存	主装置、VoIP にため込んでいるログで、まだ CF カードへ書き出されていないログを、強制的に CF カードへ書き出す。 《ディレクトリ・ファイル構造》 log_main/mainNNN.log (MAIN 動作ログ) log_safe/safeNNN.log (セーフティ動作ログ) log_ipgw/ipgwcNNN.log (VoIP 通話ログ) log_ipgw/ipgwfNNN.log (VoIP 障害ログ) ※ NNN : 連番 (000 ~ 999)
5 + 4	その他 ↳CF 取外し	CF カードへの書き込みを停止し、主装置から CF カードを外せる状態にする。  ※この操作をしないで CF カードを主装置から外した場合、CF カードの中にあるデータが壊れる可能性があるので注意が必要。
5 + 5 + 1	その他 ↳セーフティ関係 ↳センサ検出テスト	人感センサ ON を検出した場合は、着信ランプが赤点灯する。人感センサ OFF 時には、着信ランプは消灯する。  ※本テストは、TD615/TD625 電話機がセンサグループに登録されていないと確認できないので注意が必要。

## **19** 工事後の試験

Actys II 取扱説明書の主な機能の操作を行ってください。また、オプション機器を接続したときは、そのオプションの主な機能も併せて操作確認してください。